

泉佐野市民の人権に関する意識調査報告書  
(案)

令和 4 年 3 月

泉 佐 野 市

## 市長挨撈文

# 目次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	1
2	調査対象 .....	1
3	調査期間 .....	1
4	調査方法 .....	1
5	回収状況 .....	1
6	調査結果の表示方法 .....	1
<b>II</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>2</b>
1	回答者属性 .....	2
2	あなたの「人権」に関する考え方について .....	4
3	女性の人権について .....	13
4	子どもの人権について .....	35
5	高齢者の人権について .....	44
6	障害者（児）の人権について .....	49
7	同和問題について .....	57
8	アイヌの人々の人権について .....	90
9	外国人の人権について .....	93
10	H I V感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権について .....	102
11	新型コロナウイルス感染症等について .....	105
12	情報化社会、インターネット・SNSにかかわる人権問題について .....	108
13	その他の様々な人権問題について .....	115
14	市の人権啓発に関する取り組みについて .....	123



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

人権意識の向上と市民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指し、泉佐野市の人権施策の基本方針や実施計画の基礎資料として、調査を実施するものです。

## 2 調査対象

泉佐野市在住の満 18 歳以上を 3,000 人無作為抽出

## 3 調査期間

令和 3 年 10 月 12 日から令和 3 年 11 月 9 日


## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000 通	987 通	32.9%

## 6 調査結果の表示方法

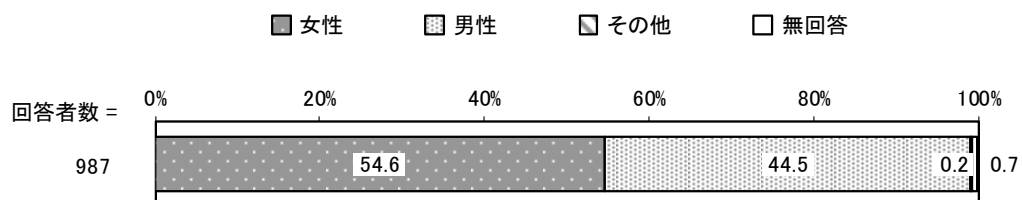
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が 1 桁の場合、回答件数による表記としています。

## II 調査結果

### 1 回答者属性

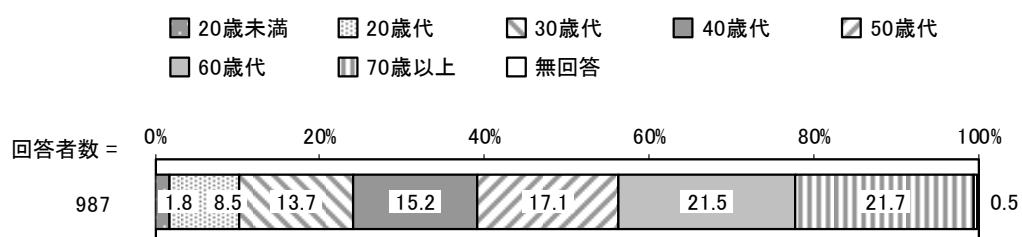
問1 あなたの性別は。(あなた自身が自認する性についてお答えください。)  
(○は1つ)

「女性」の割合が54.6%、「男性」の割合が44.5%となっています。



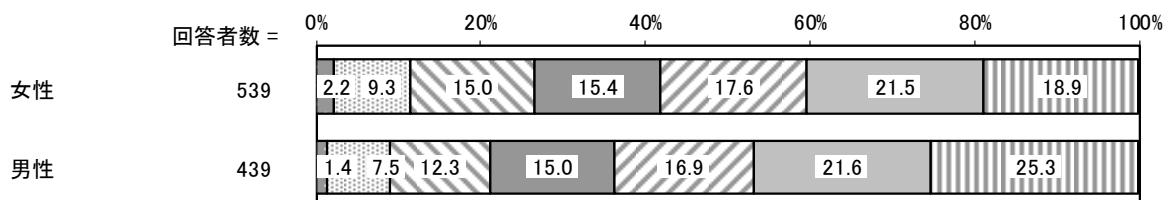
問2 あなたの年齢は。(○は1つ)

「70歳以上」の割合が21.7%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が21.5%、「50歳代」の割合が17.1%となっています。



#### 【性別】

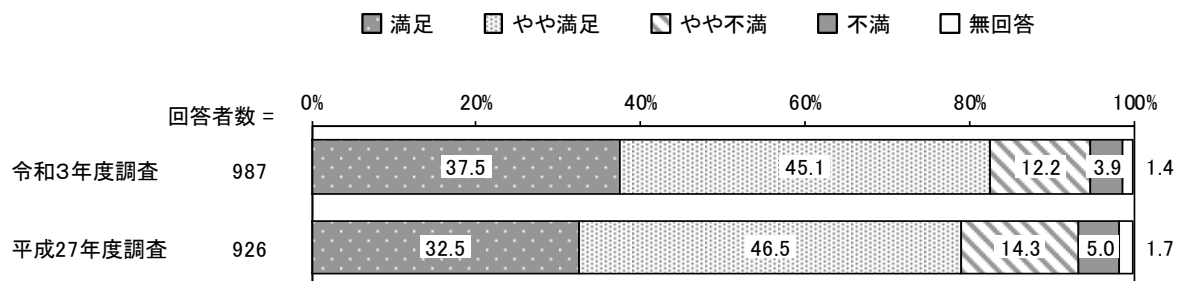
性別でみると、女性に比べ、男性で「70歳以上」の割合が高くなっています。



**問3 あなたは近所の人たちとの付き合いや人間関係に満足していますか。(○は1つ)**

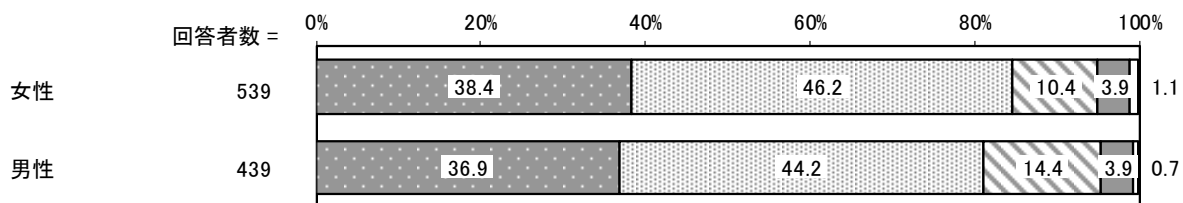
「満足」と「やや満足」を合わせた“思う”の割合が82.6%、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が16.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



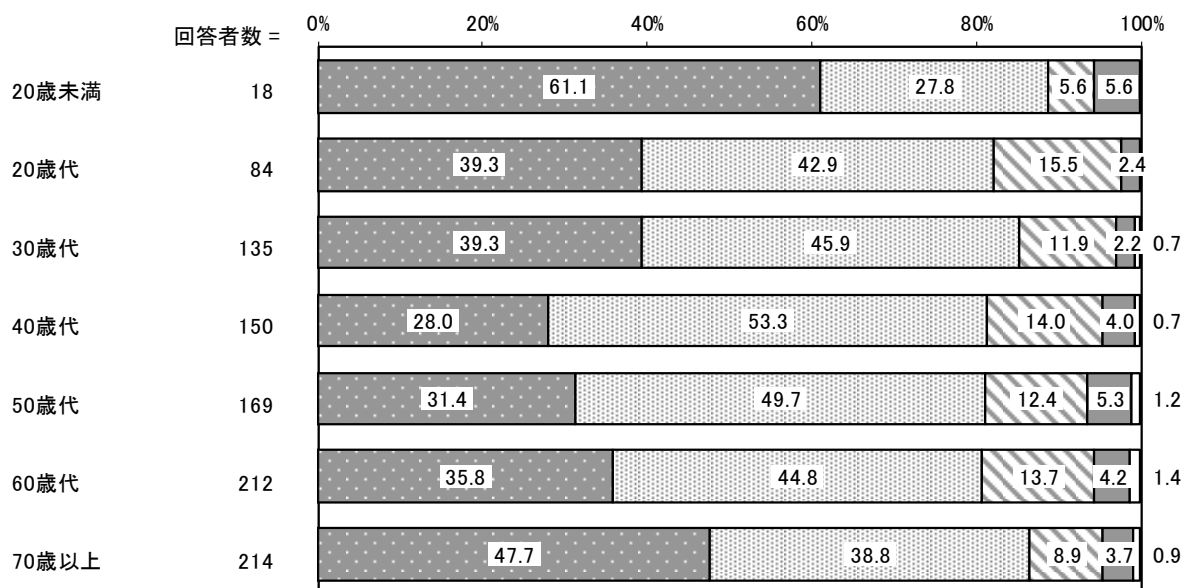
**【性別】**

性別でみると、大きな差異はみられません。



**【年齢別】**

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

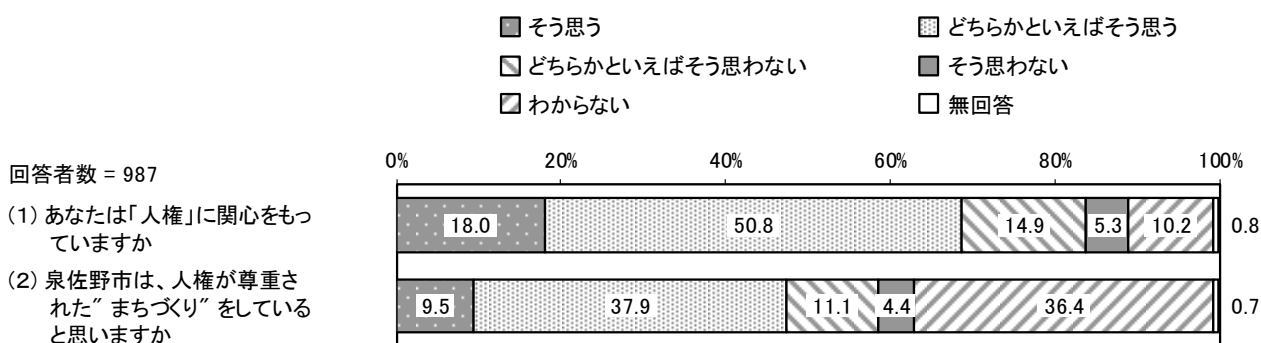


## 2 あなたの「人権」に関する考え方について

### 問4 人権に関して、次のことについてお答えください。(それぞれに○は1つつ)

『(1)あなたは「人権」に関心をもっていますか』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が68.8%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が20.2%となっています。

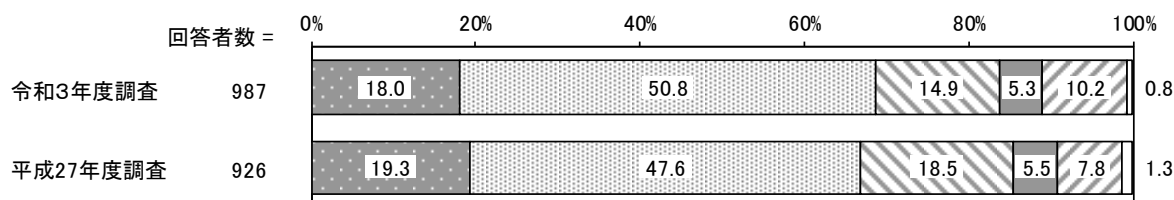
また、『(2)泉佐野市は、人権が尊重された“まちづくり”をしていると思いますか』で“思う”の割合が47.4%、“思わない”の割合が15.5%となっています。



#### (1) あなたは「人権」に関心をもっていますか

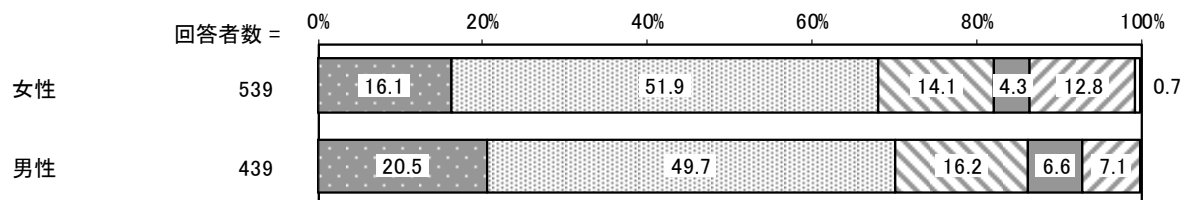
##### 【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



##### 【性別】

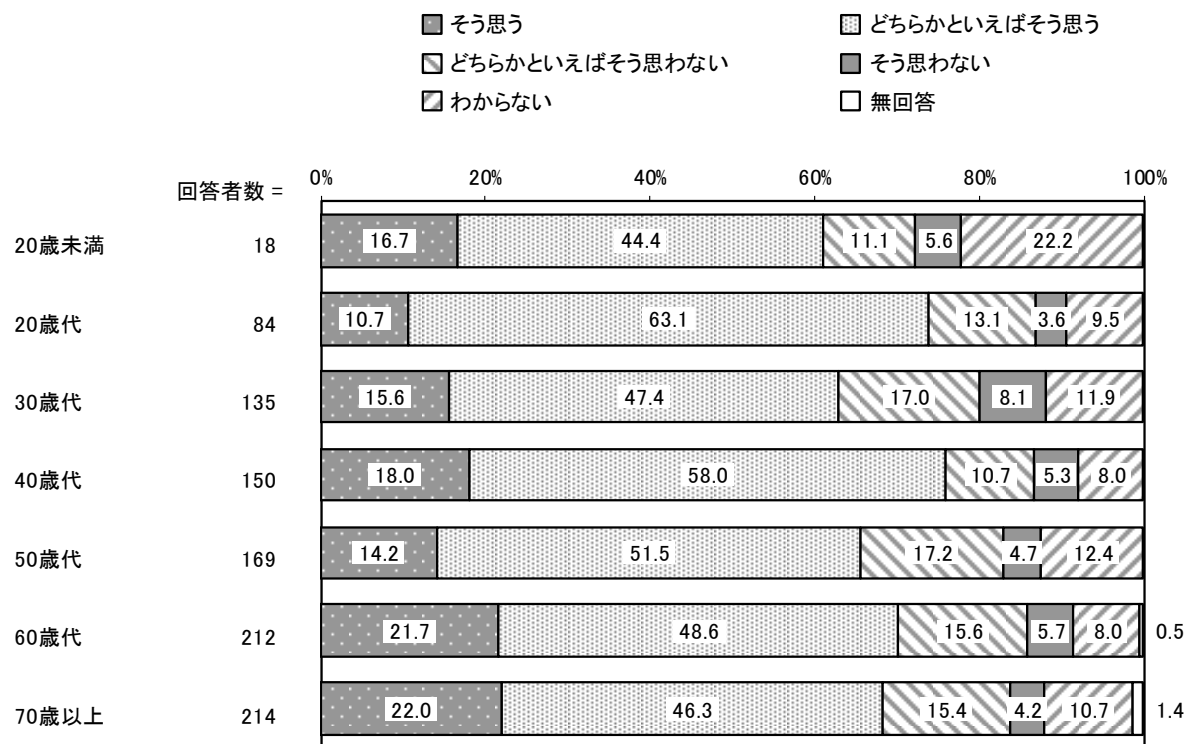
性別でみると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。





【年齢別】

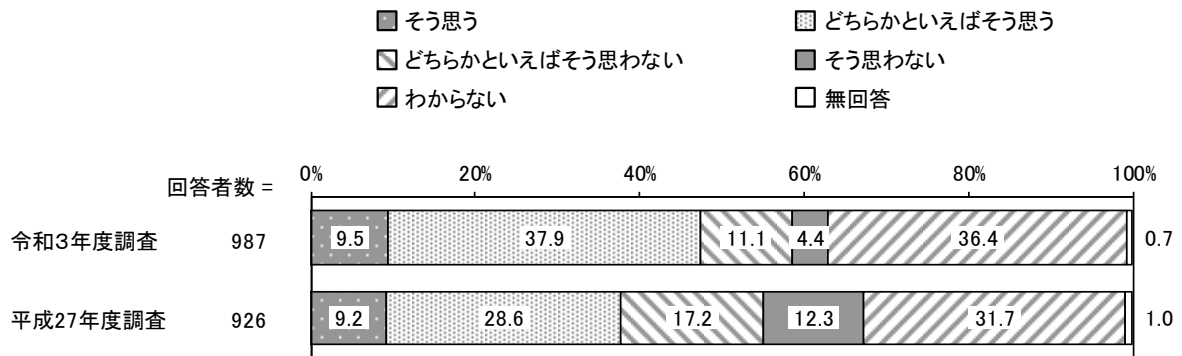
年齢別でみると、他に比べ、20歳代、40歳代で“思う”の割合が高くなっています。



(2) 泉佐野市は、人権が尊重された“まちづくり”をしていると思いますか

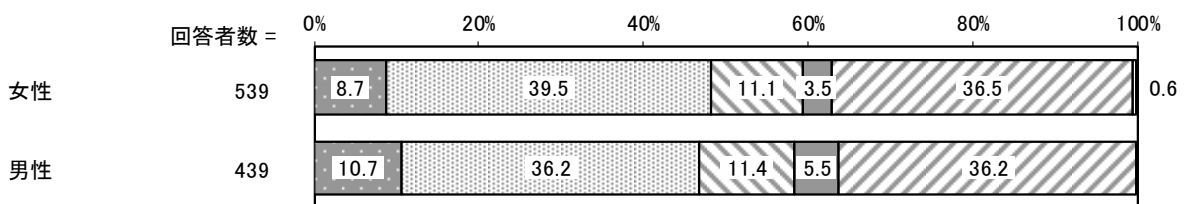
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、“思う”の割合が増加しています。一方、“思わない”の割合が減少しています。



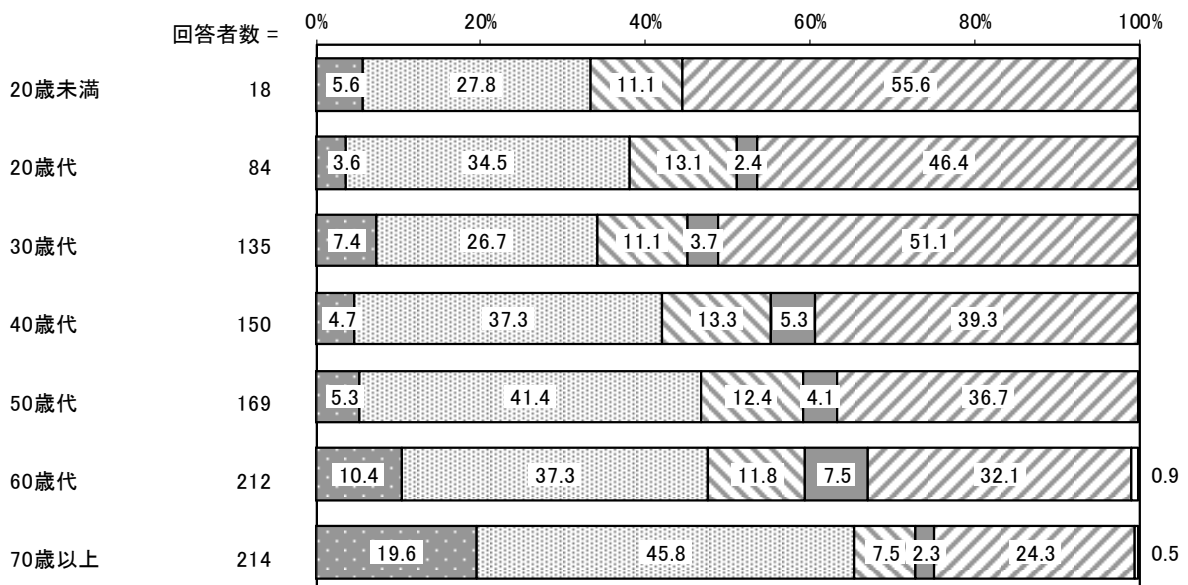
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



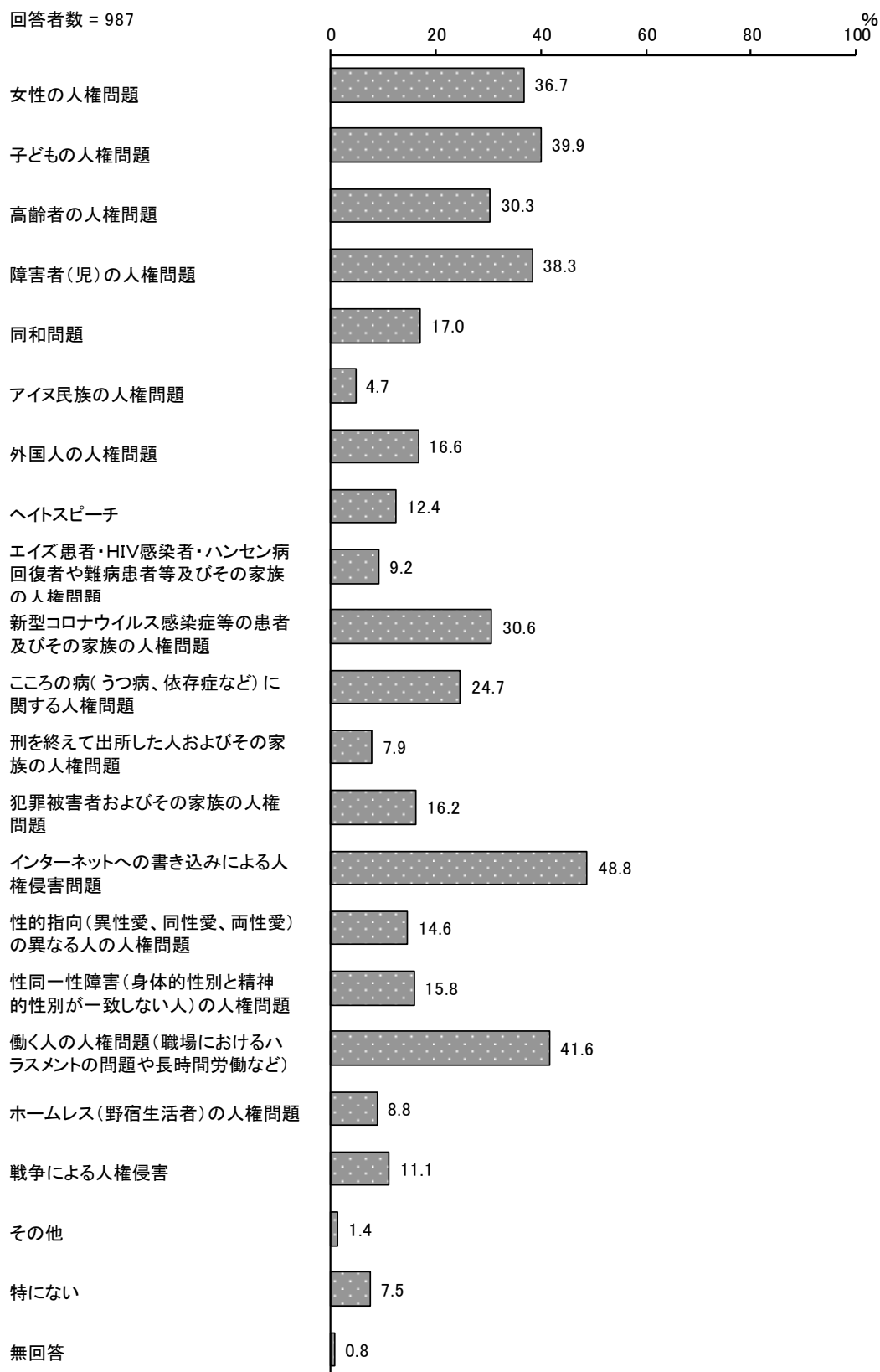
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて“思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



問5 次にあげる人権問題の中で、あなたが特に興味をもっているものをお答えください。

「インターネットへの書き込みによる人権侵害問題」の割合が48.8%と最も高く、次いで「働く人の人権問題（職場におけるハラスメントの問題や長時間労働など）」の割合が41.6%、「子どもの人権問題」の割合が39.9%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「女性の人権問題」「子どもの人権問題」「新型コロナウイルス感染症等の患者及びその家族の人権問題」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「同和問題」「ヘイトスピーチ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障害者（児）の人権問題	同和問題	アイヌ民族の人権問題	外国人の人権問題	ヘイトスピーチ	エイズ患者・HIV感染者・ハンセン病回復者や難病患者等及びその家族の人権問題	新型コロナウイルス感染症等の患者及びその家族の人権問題	こころの病（うつ病、依存症など）に関する人権問題
女性	539	46.2	43.8	31.4	40.3	11.9	4.3	16.5	9.8	9.1	34.3	27.1
男性	439	25.3	35.5	29.4	36.4	23.7	5.2	17.1	15.5	9.6	26.2	21.6

区分	刑を終えて出所した人およびその家族の人権問題	犯罪被害者およびその家族の人権問題	インターネットへの書き込みによる人権侵害問題	性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）の異なる人の人権問題	性同一性障害（身体的性別と精神的性別が一致しない人）の人権問題	働く人の人権問題（職場におけるハラスメントの問題や長時間労働など）	ホームレス（野宿生活者）の人権問題	戦争による人権侵害	その他	特になし	無回答
女性	7.2	16.0	49.5	17.6	19.3	45.3	9.5	10.8	1.1	6.3	0.4
男性	8.9	16.4	48.1	10.9	11.4	37.8	8.0	11.8	1.8	9.1	0.5

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「女性の人権問題」「外国人の人権問題」「性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）の異なる人の人権問題」の割合が、40歳代で「ヘイトスピーチ」の割合が高くなっています。また、60歳代、70歳代で「高齢者の人権問題」の割合が高くなっています。

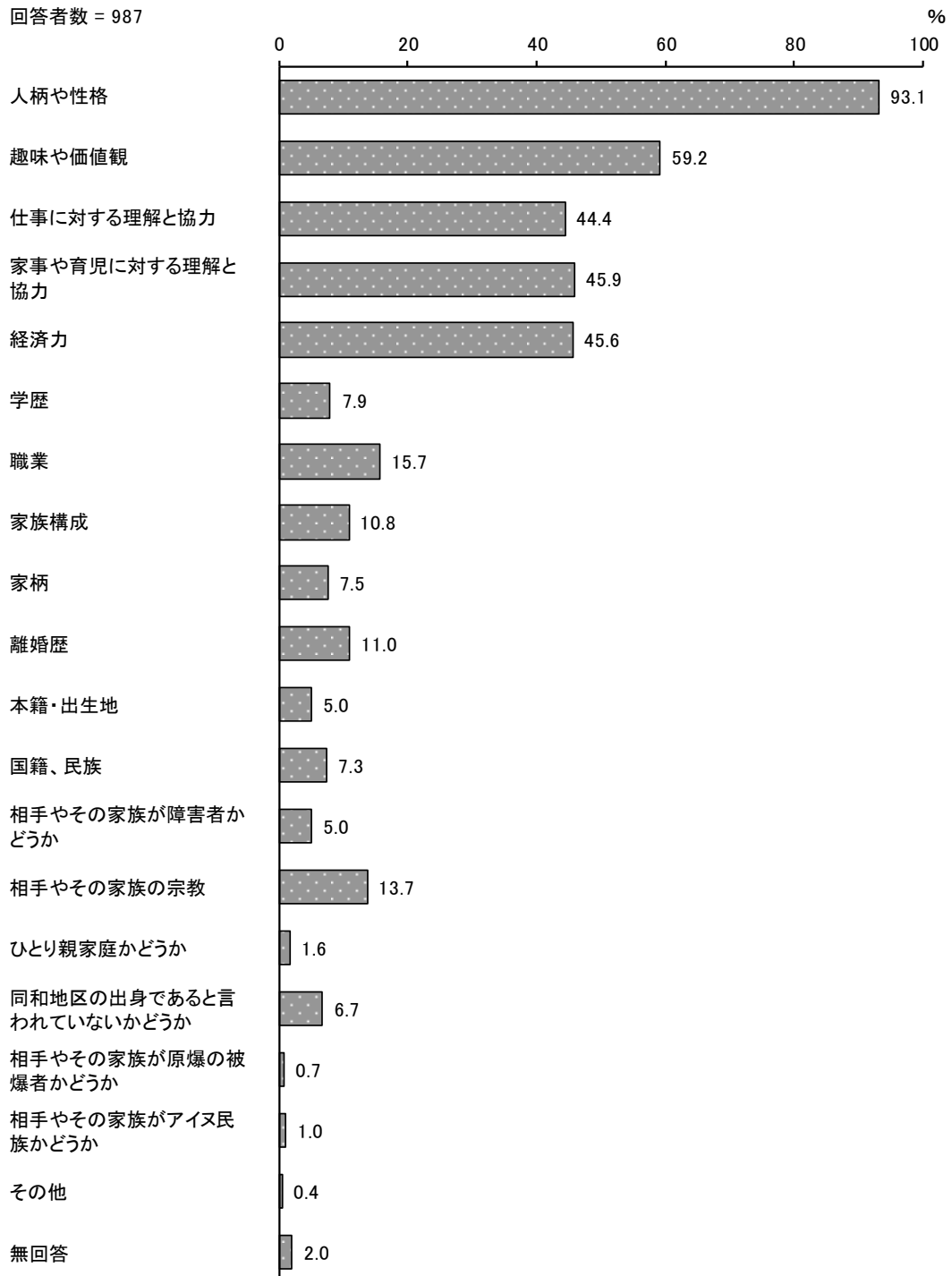
単位：％

区分	回答者数（件）	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障害者（児）の人権問題	同和問題	アイヌ民族の人権問題	外国人の人権問題	ヘイトスピーチ	エイズ患者・HIV感染者・ハンセン病回復者や難病患者等及びその家族の人権問題	新型コロナウイルス感染症等の患者及びその家族の人権問題	ここらの病（うつ病、依存症など）に関する人権問題
20歳未満	18	33.3	38.9	27.8	33.3	11.1	5.6	16.7	11.1	5.6	11.1	22.2
20歳代	84	51.2	41.7	10.7	33.3	3.6	4.8	32.1	9.5	10.7	34.5	29.8
30歳代	135	40.0	51.9	17.0	39.3	14.8	4.4	20.0	10.4	8.1	33.3	22.2
40歳代	150	46.0	48.7	25.3	40.0	15.3	6.0	19.3	20.0	10.7	30.0	31.3
50歳代	169	33.1	30.8	24.3	34.9	23.1	5.3	13.0	10.7	7.7	29.6	26.6
60歳代	212	34.9	42.0	40.6	41.5	18.4	3.3	13.7	14.2	7.1	27.8	19.3
70歳以上	214	28.0	31.3	44.9	39.3	19.6	4.7	12.6	9.3	12.1	33.2	23.8

区分	刑を終えて出所した人およびその家族の人権問題	犯罪被害者およびその家族の人権問題	インターネットへの書き込みによる人権侵害問題	性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）の異なる人の人権問題	性同一性障害（身体的性別と精神的性別が一致しない人）の人権問題	働く人の人権問題（職場におけるハラ・スメントの問題や長時間労働など）	ホームレス（野宿生活者）の人権問題	戦争による人権侵害	その他	特になし	無回答
20歳未満	11.1	16.7	38.9	22.2	33.3	16.7	5.6	11.1	—	22.2	—
20歳代	8.3	9.5	56.0	35.7	31.0	52.4	14.3	11.9	1.2	9.5	—
30歳代	3.7	18.5	46.7	19.3	20.7	47.4	7.4	6.7	2.2	6.7	—
40歳代	11.3	22.0	54.0	18.7	22.7	55.3	9.3	14.7	2.7	4.7	0.7
50歳代	3.0	13.0	52.7	12.4	14.2	37.3	6.5	4.7	2.4	8.3	—
60歳代	9.0	15.6	50.0	10.4	11.3	37.7	6.6	14.2	—	8.0	0.5
70歳以上	10.7	16.8	41.1	6.1	6.5	34.6	11.2	13.6	0.9	7.0	0.9

問6 あなたが、結婚相手など、パートナーを決めるとしたら、その人について重視することはどんなことだと思いますか。(〇はいくつでも可)

「人柄や性格」の割合が93.1%と最も高く、次いで「趣味や価値観」の割合が59.2%、「家事や育児に対する理解と協力」の割合が45.9%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家事や育児に対する理解と協力」「経済力」「職業」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	人柄や性格	趣味や価値観	仕事に対する理解と協力	家事や育児に対する理解と協力	経済力	学歴	職業	家族構成	家柄	離婚歴
女性	539	94.1	60.3	46.0	53.4	66.4	10.2	21.7	13.2	8.7	14.1
男性	439	92.5	57.9	43.1	37.1	19.8	5.0	8.2	8.2	6.2	7.1

区分	本籍・出生地	国籍、民族	相手やその家族が障害者かどうか	相手やその家族の宗教	ひとり親家庭かどうか	同和地区の出身であると言われていないかどうか	相手やその家族が原爆の被爆者かどうか	相手やその家族がアイヌ民族かどうか	その他	無回答
女性	5.0	6.9	5.0	16.7	1.7	7.6	0.9	1.1	0.4	0.9
男性	5.0	7.5	4.8	9.8	1.6	5.5	0.5	0.9	0.5	3.0

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「仕事に対する理解と協力」「家事や育児に対する理解と協力」の割合が、30歳代で「離婚歴」「相手やその家族の宗教」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	人柄や性格	趣味や価値観	仕事に対する理解と協力	家事や育児に対する理解と協力	経済力	学歴	職業	家族構成	家柄	離婚歴
20歳未満	18	88.9	44.4	33.3	44.4	44.4	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6
20歳代	84	96.4	78.6	63.1	70.2	40.5	8.3	16.7	3.6	7.1	10.7
30歳代	135	94.1	78.5	53.3	61.5	42.2	9.6	15.6	11.9	13.3	20.0
40歳代	150	96.7	65.3	52.7	49.3	48.0	5.3	18.7	9.3	4.7	14.7
50歳代	169	91.7	63.3	41.4	39.1	50.9	7.7	14.8	10.1	8.3	9.5
60歳代	212	92.5	52.8	37.7	41.5	43.4	7.5	14.2	13.2	4.7	7.5
70歳以上	214	91.6	39.7	36.0	34.6	46.7	9.3	16.4	13.1	8.4	7.9

区分	本籍・出生地	国籍、民族	相手やその家族が障害者かどうか	相手やその家族の宗教	ひとり親家庭かどうか	同和地区の出身であると言われていないかどうか	どうか	相手やその家族が原爆の被爆者かどうか	相手やその家族がアイヌ民族かどうか	その他	無回答
20歳未満	5.6	5.6	—	—	—	—	—	—	—	5.6	—
20歳代	1.2	6.0	4.8	17.9	2.4	1.2	—	1.2	—	—	—
30歳代	6.7	11.9	7.4	24.4	1.5	6.7	0.7	1.5	0.7	0.7	0.7
40歳代	2.0	6.0	4.7	15.3	0.7	4.7	—	1.3	—	—	0.7
50歳代	5.3	7.1	6.5	11.2	2.4	8.9	1.2	1.2	0.6	—	3.6
60歳代	6.6	4.7	3.8	9.9	2.4	8.0	1.4	0.9	—	—	1.9
70歳以上	5.6	7.9	3.7	10.3	0.9	7.5	0.5	0.5	0.5	0.5	2.8



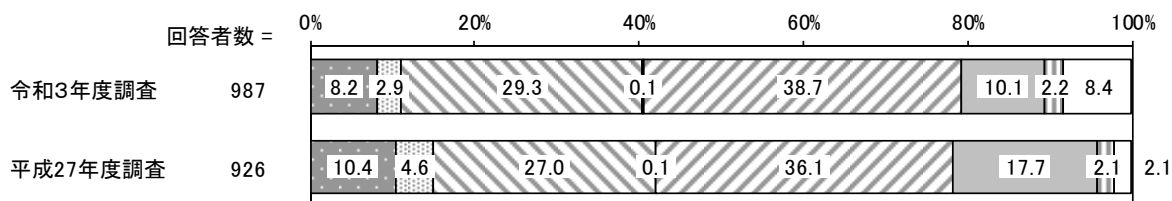
### 3 女性の人権について

問7 仕事と家庭に関する男女の役割分担について、あなたのお考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

「男性、女性で役割を決めずに、その状況に応じて分担する方が良い」の割合が38.7%と最も高く、次いで「男性、女性ともに働き、家事・育児も分担する方が良い」の割合が29.3%、「保育所や子育てサポーター、介護サービス等を利用し、男女が協力する方が良い」の割合が10.1%となっています。

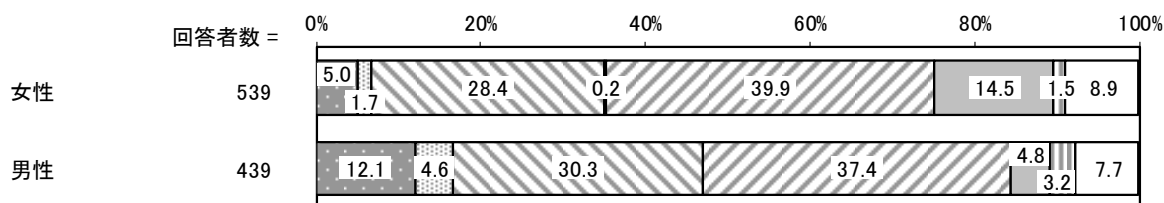
平成27年度調査と比較すると、「保育所や子育てサポーター、介護サービス等を利用し、男女が協力する方が良い」の割合が減少しています。

- 男性は働き、女性が家事・育児をする方が良い
- ▨ 男性、女性ともに働くが、家事・育児は女性がする方が良い
- ▩ 男性、女性ともに働き、家事・育児も分担する方が良い
- 女性が働き、男性が家事・育児をする方が良い
- ▨ 男性、女性で役割を決めずに、その状況に応じて分担する方が良い
- ▩ 保育所や子育てサポーター、介護サービス等を利用し、男女が協力する方が良い
- わからない
- 無回答



#### 【性別】

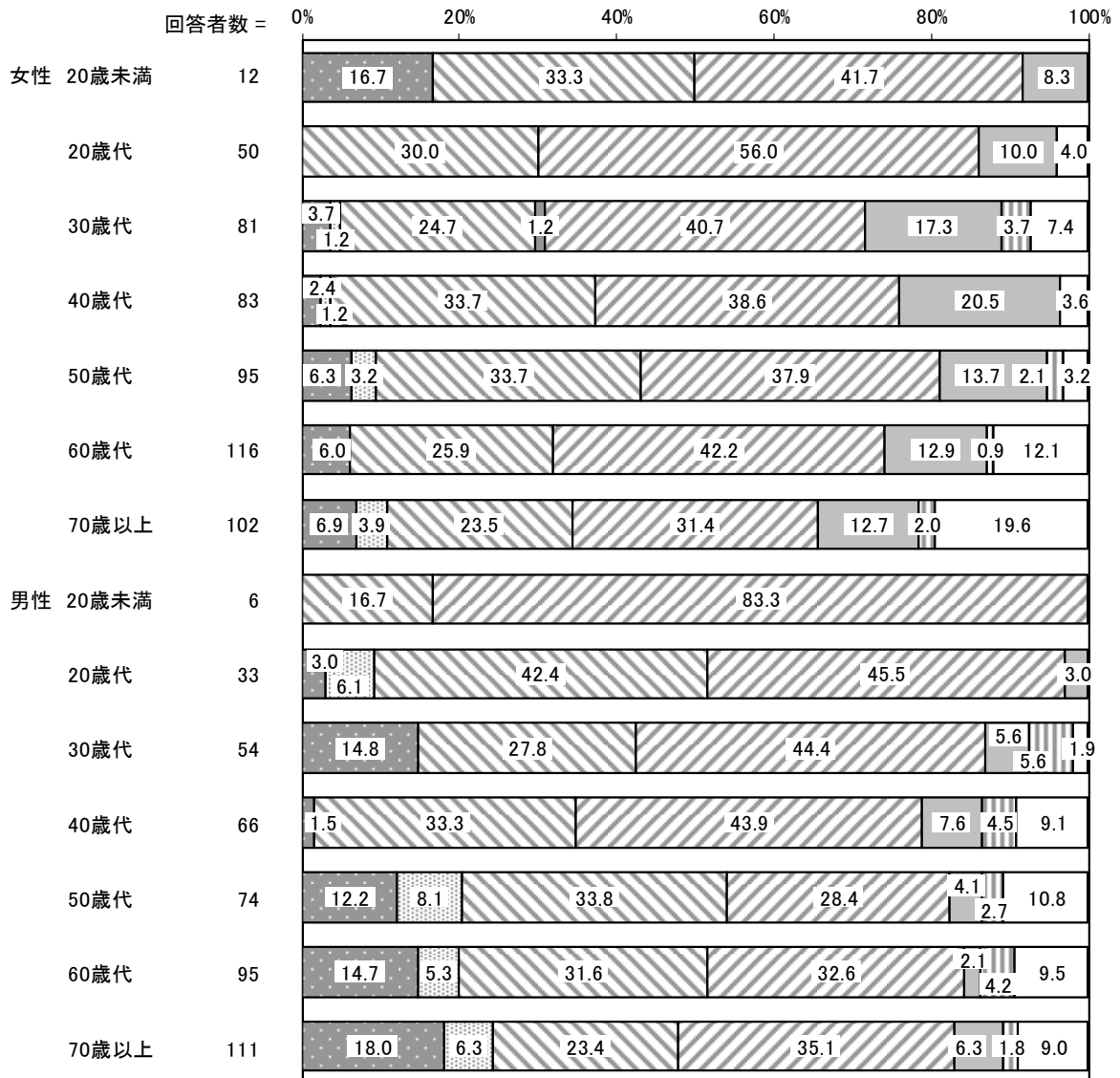
性別でみると、男性に比べ、女性で「保育所や子育てサポーター、介護サービス等を利用し、男女が協力する方が良い」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「男性は働き、女性が家事・育児をする方が良い」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の20歳代で「男性、女性で役割を決めずに、その状況に応じて分担する方が良い」の割合が高くなっています。また、男性の20歳代で「男性、女性ともに働き、家事・育児も分担する方が良い」の割合が高くなっています。

- 男性は働き、女性が家事・育児をする方が良い
- ▨ 男性、女性ともに働くが、家事・育児は女性がする方が良い
- ▩ 男性、女性ともに働き、家事・育児も分担する方が良い
- 女性が働き、男性が家事・育児をする方が良い
- ▨ 男性、女性で役割を決めずに、その状況に応じて分担する方が良い
- ▩ 保育所や子育てサポーター、介護サービス等を利用し、男女が協力する方が良い
- わからない
- 無回答

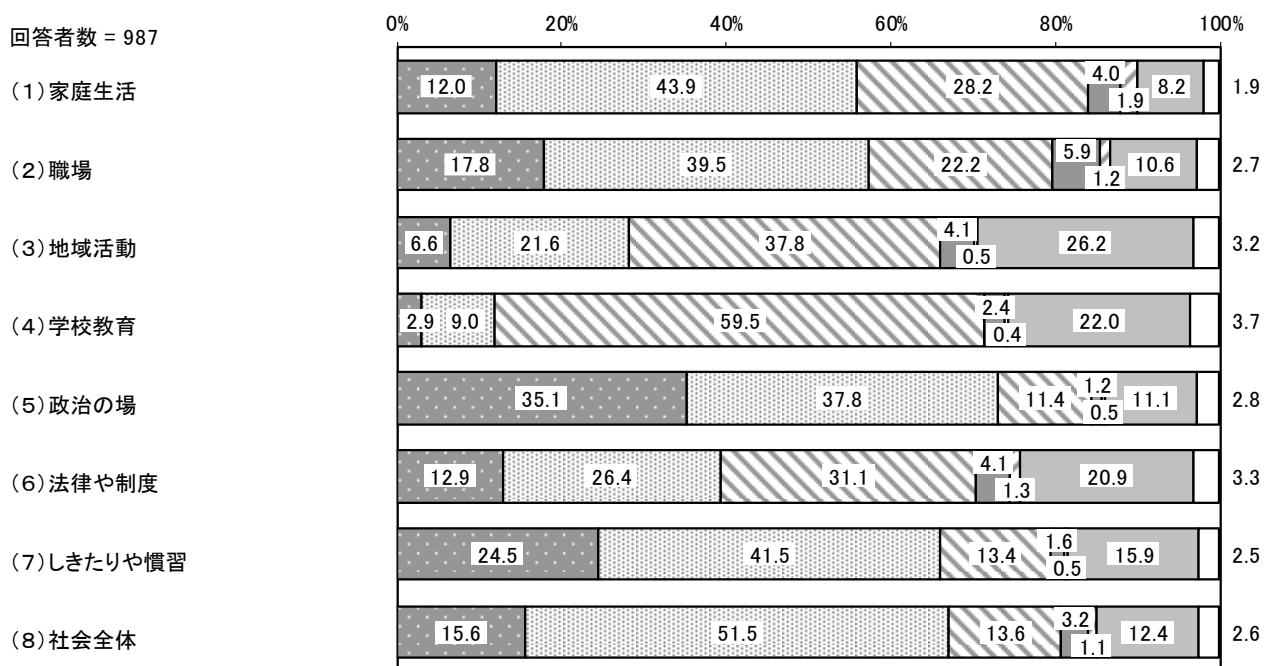


**問8 あなたは、男女の地位は平等になっていると思いますか。次のすべての項目についてお答えください。（それぞれに○は1つずつ）**

他に比べ、『政治の場』で「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性が優遇されている”の割合が72.9%と高くなっています。また、『学校教育』で「平等である」の割合が高くなっています。

- 男性が優遇されている
- 平等である
- 女性が優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性が優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- わからない

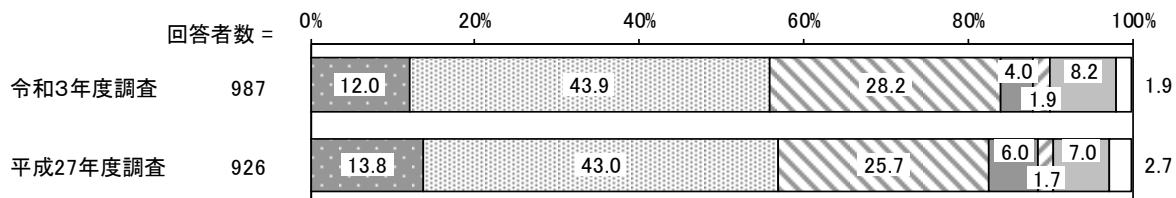
回答者数 = 987



**(1) 家庭生活**

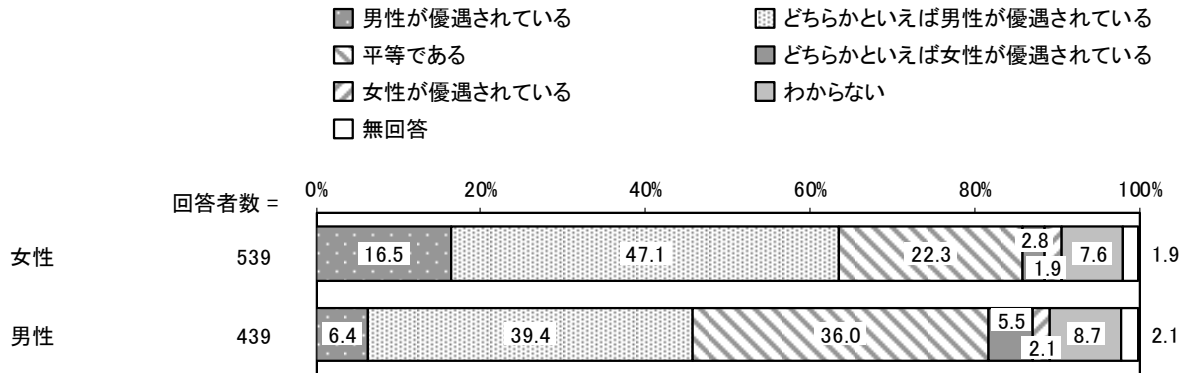
**【前回調査との比較】**

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



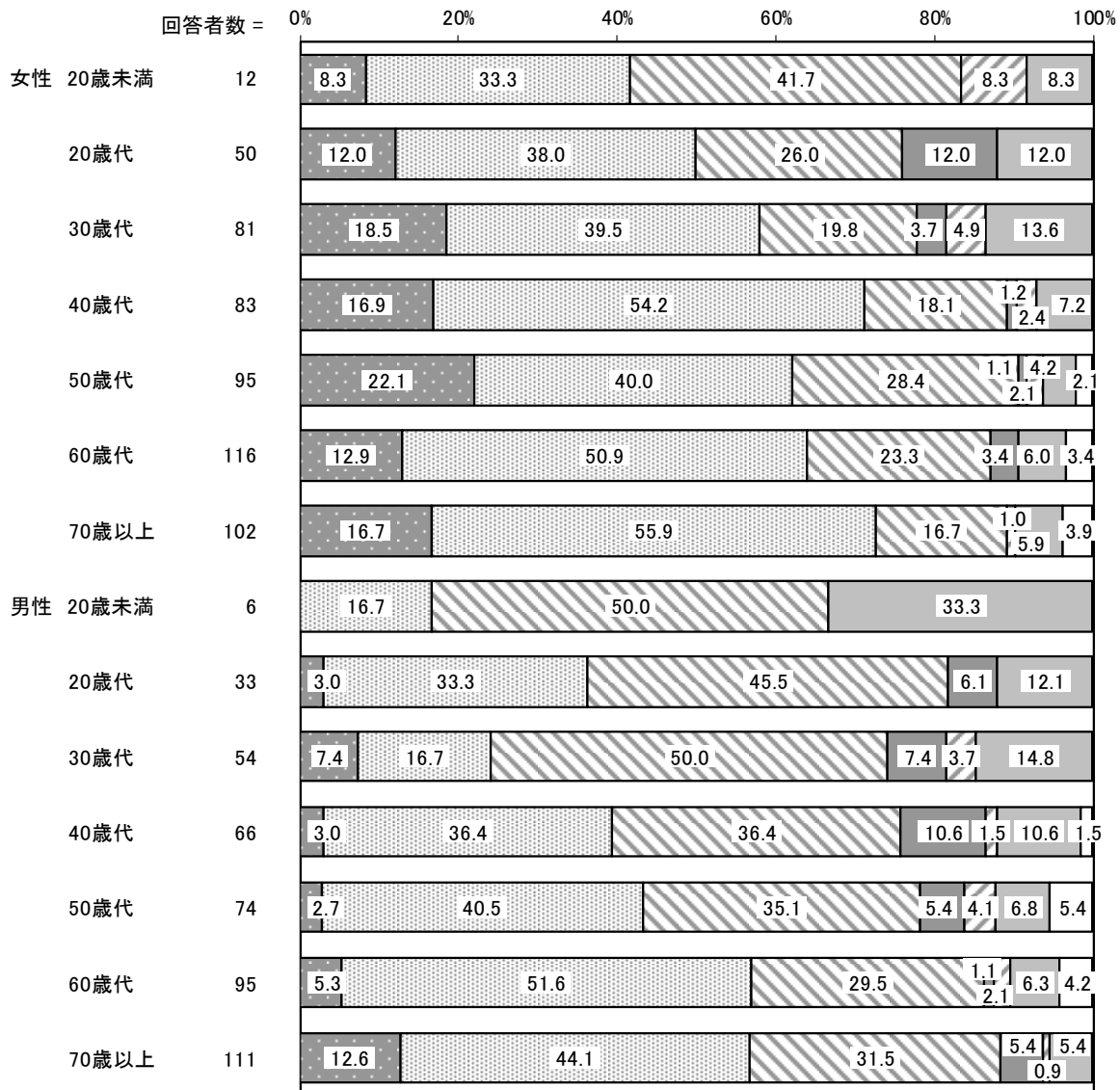
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。また、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

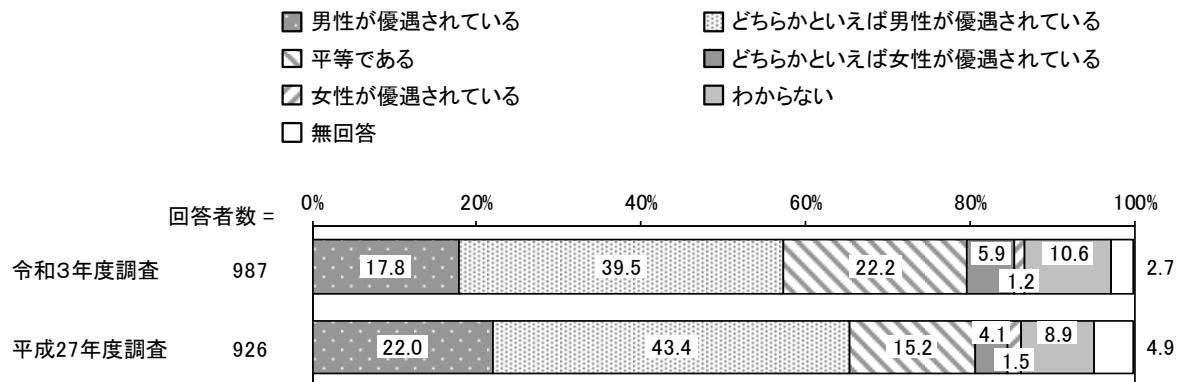
性・年齢別でみると、男女ともに年齢が高くなるにつれて“男性が優遇されている”の割合が高くなる傾向がみられます。



## (2) 職場

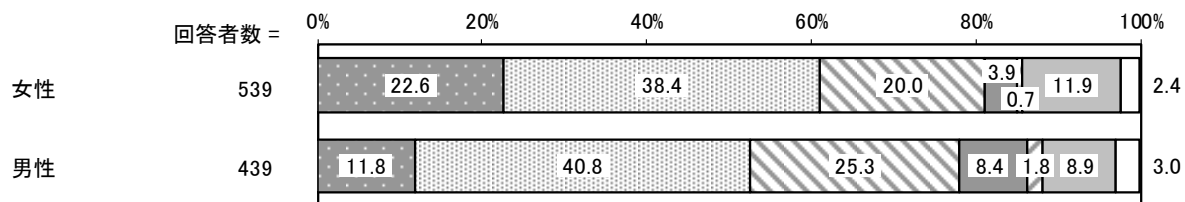
### 【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。



### 【性別】

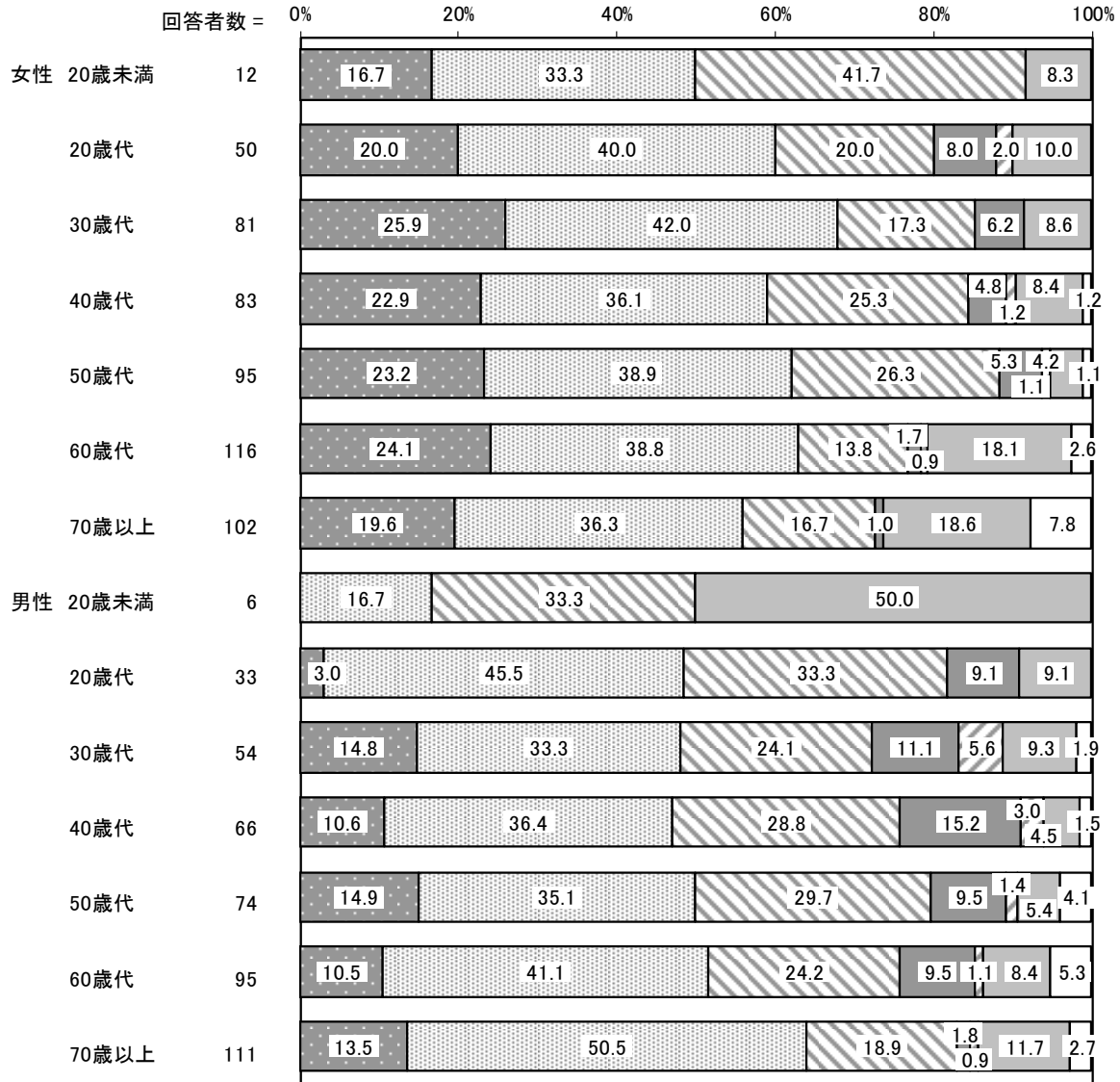
性別で見ると、男性に比べ、女性で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男性で年齢が高くなるにつれて“男性が優遇されている”の割合が高くなる傾向がみられます。また、女性の20歳未満で「平等である」の割合が高くなっています。

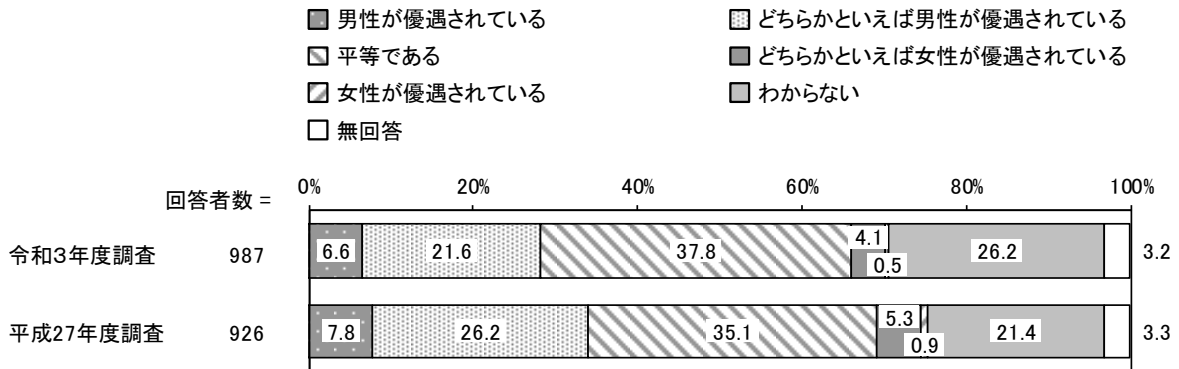
- 男性が優遇されている
- 平等である
- 女性が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性が優遇されている
- ▩ どちらかといえば女性が優遇されている
- わからない



### (3) 地域活動

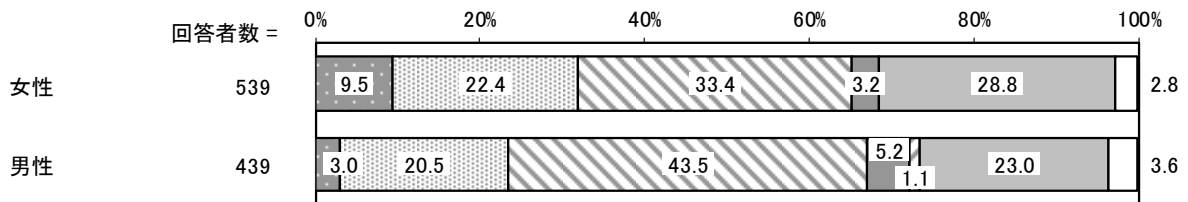
#### 【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



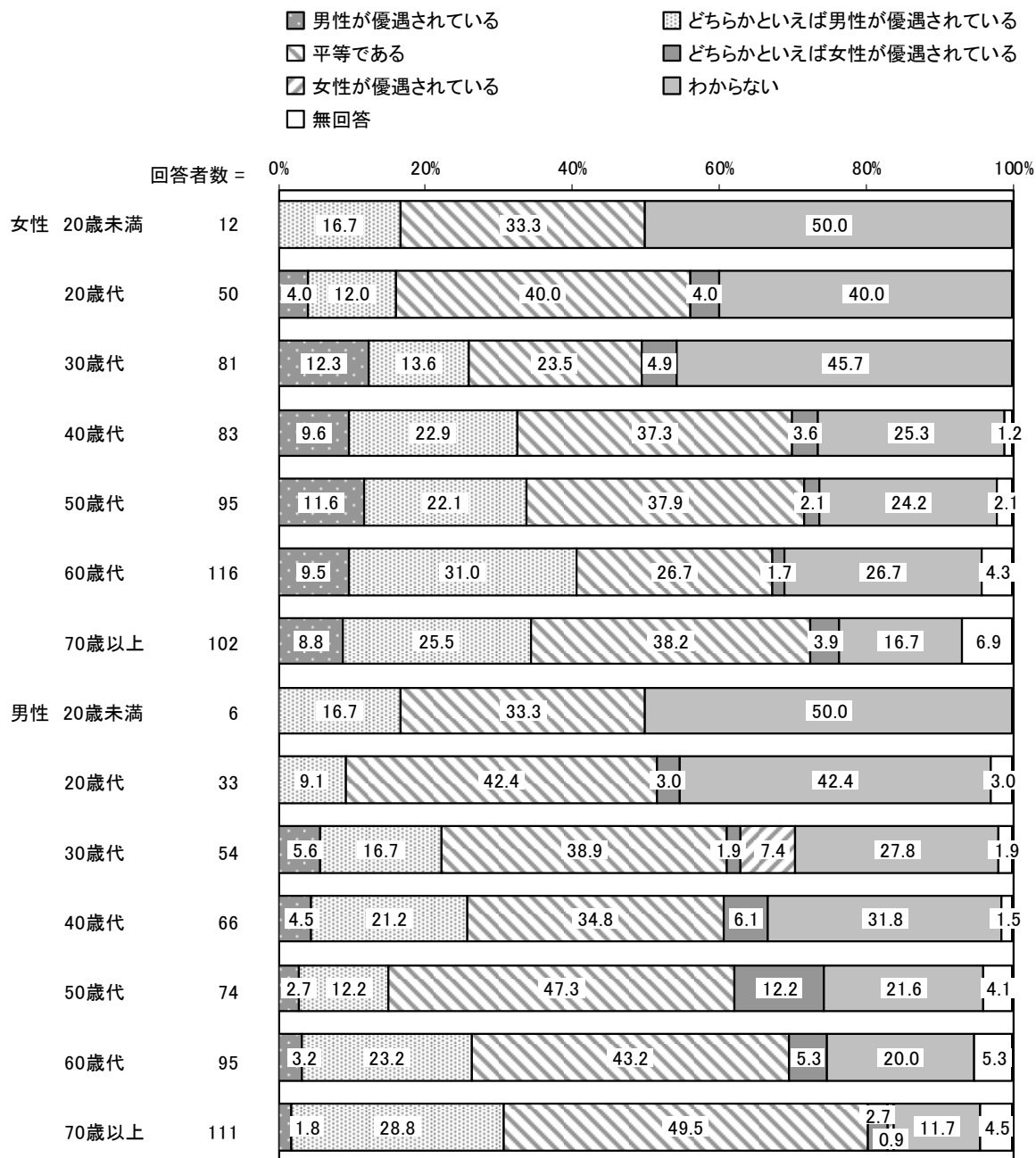
#### 【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。また、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男女ともに年齢が高くなるにつれて“男性が優遇されている”の割合が高くなる傾向がみられます。

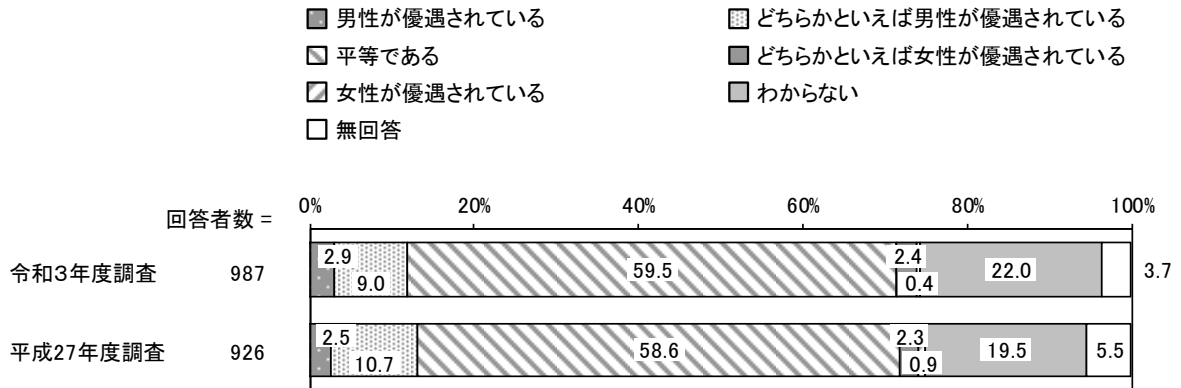




(4) 学校教育

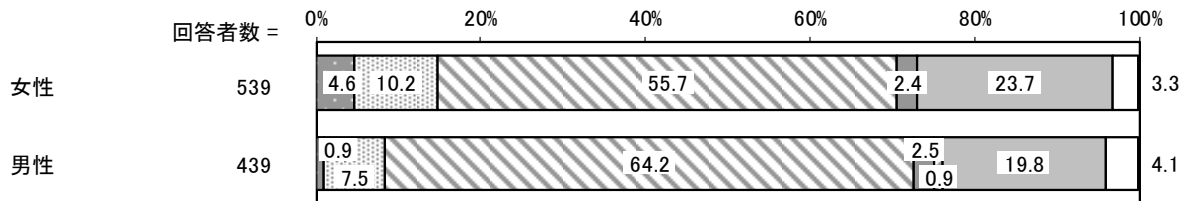
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



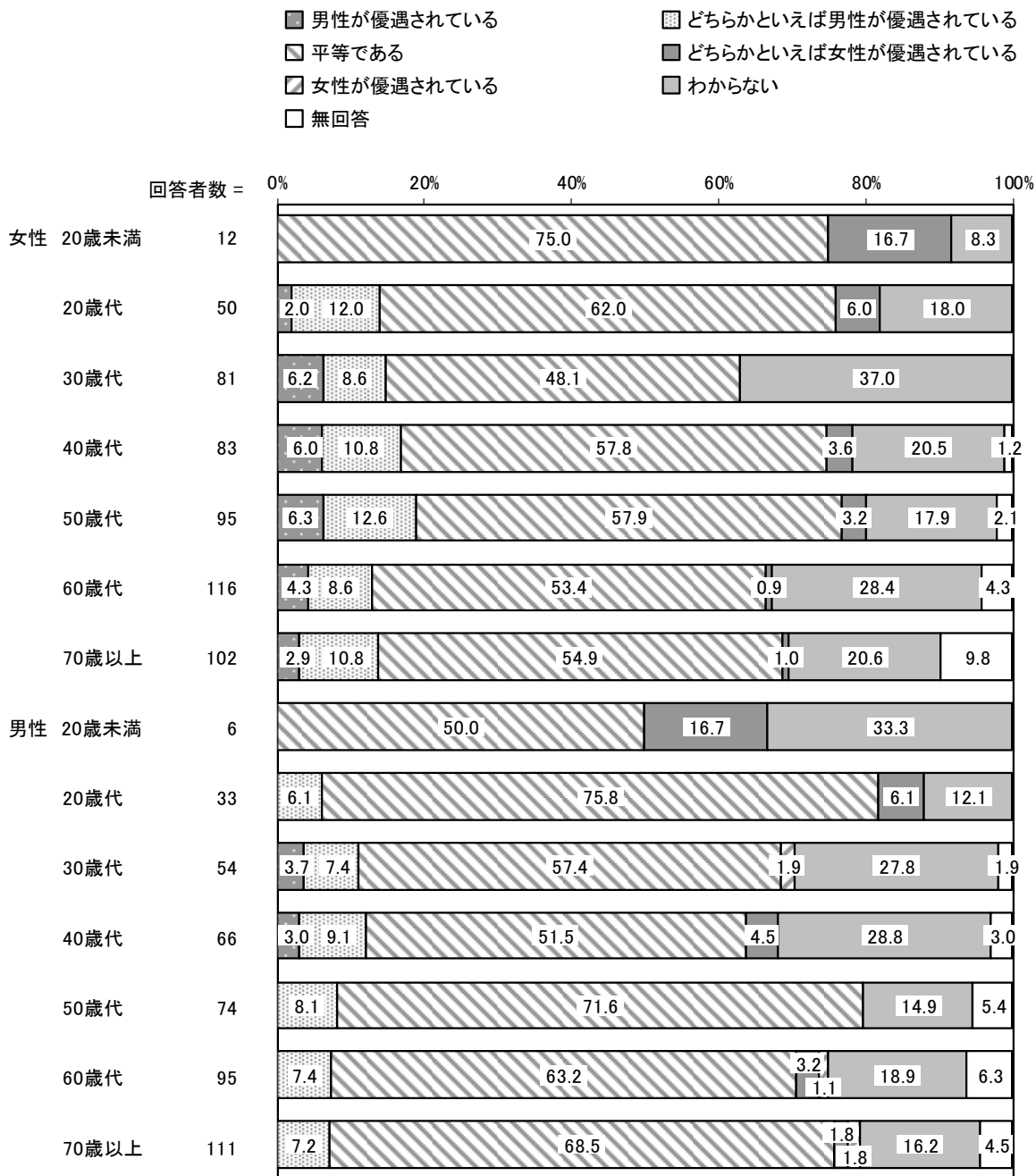
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

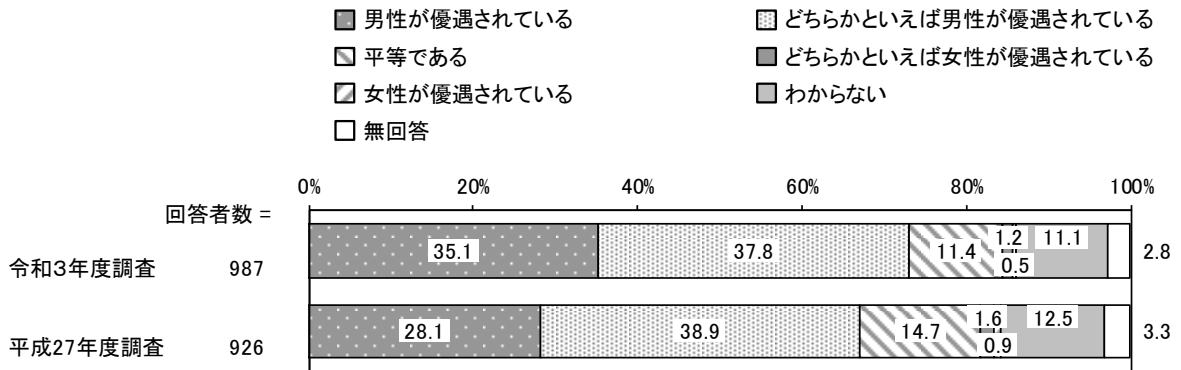
性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の20歳未満で「どちらかといえば女性が優遇されている」の割合が高くなっています。



(5) 政治の場

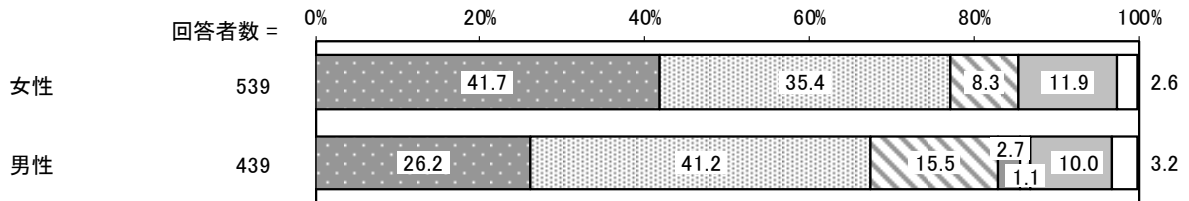
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、“男性が優遇されている”の割合が増加しています。



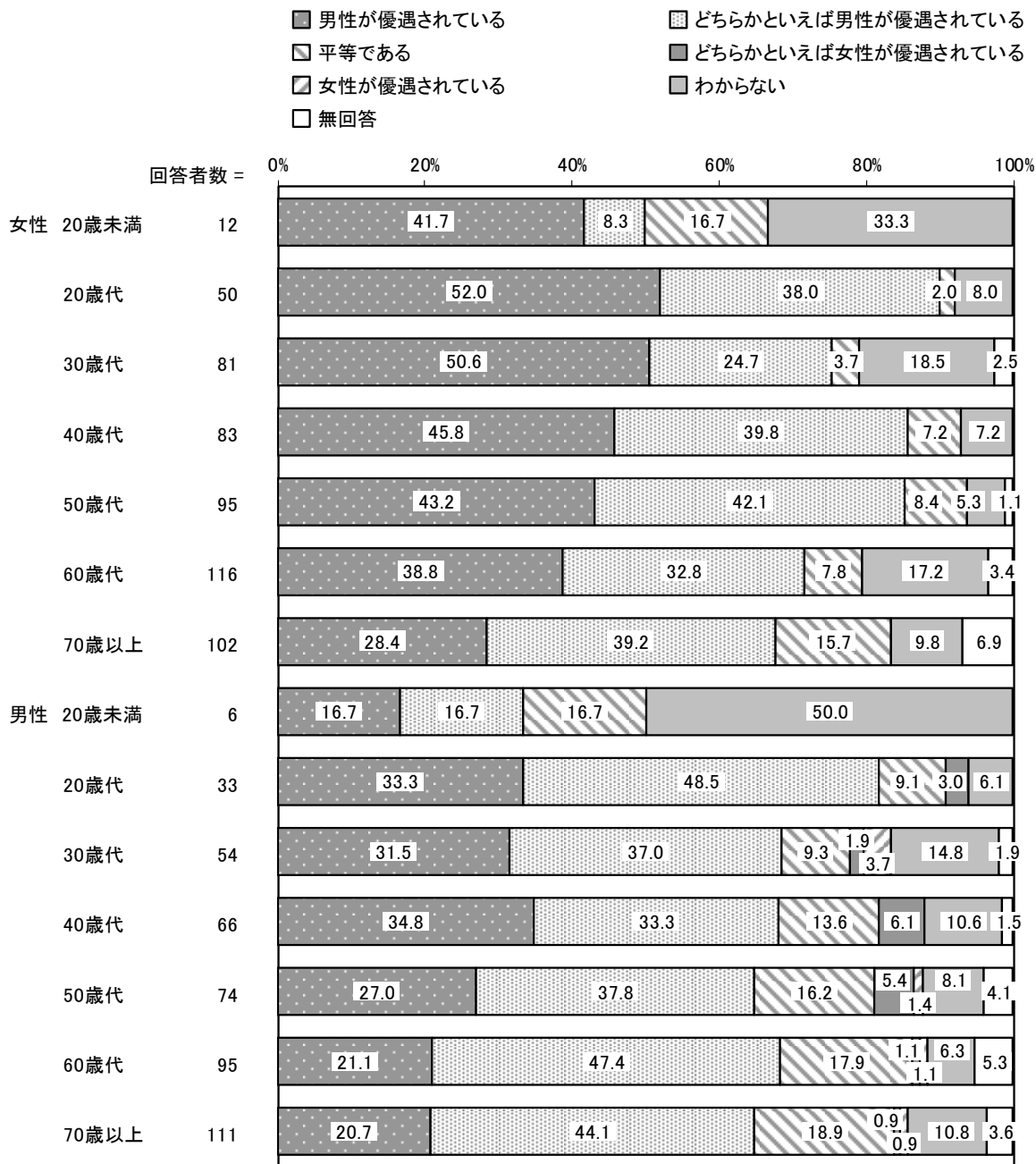
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。また、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

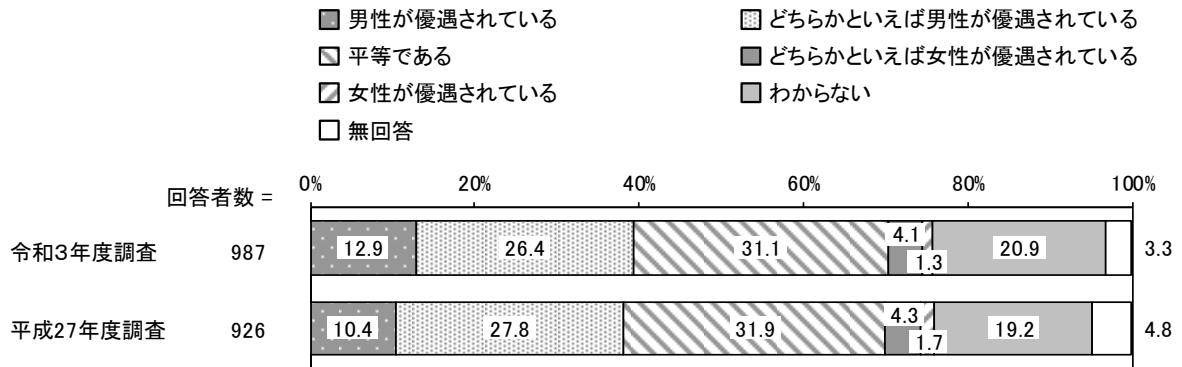
性・年齢別で見ると、女性で年齢が高くなるにつれて“男性が優遇されている”の割合が低くなる傾向がみられます。



(6) 法律や制度

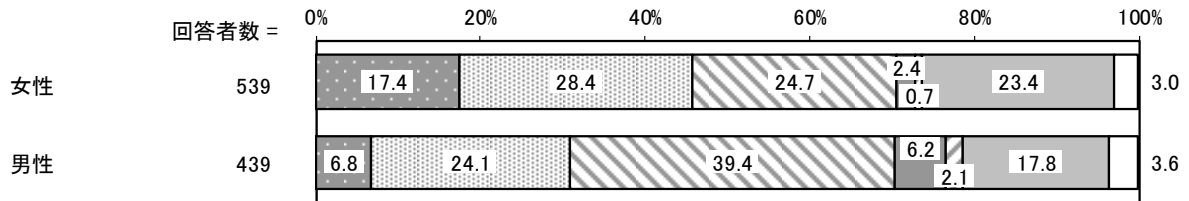
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



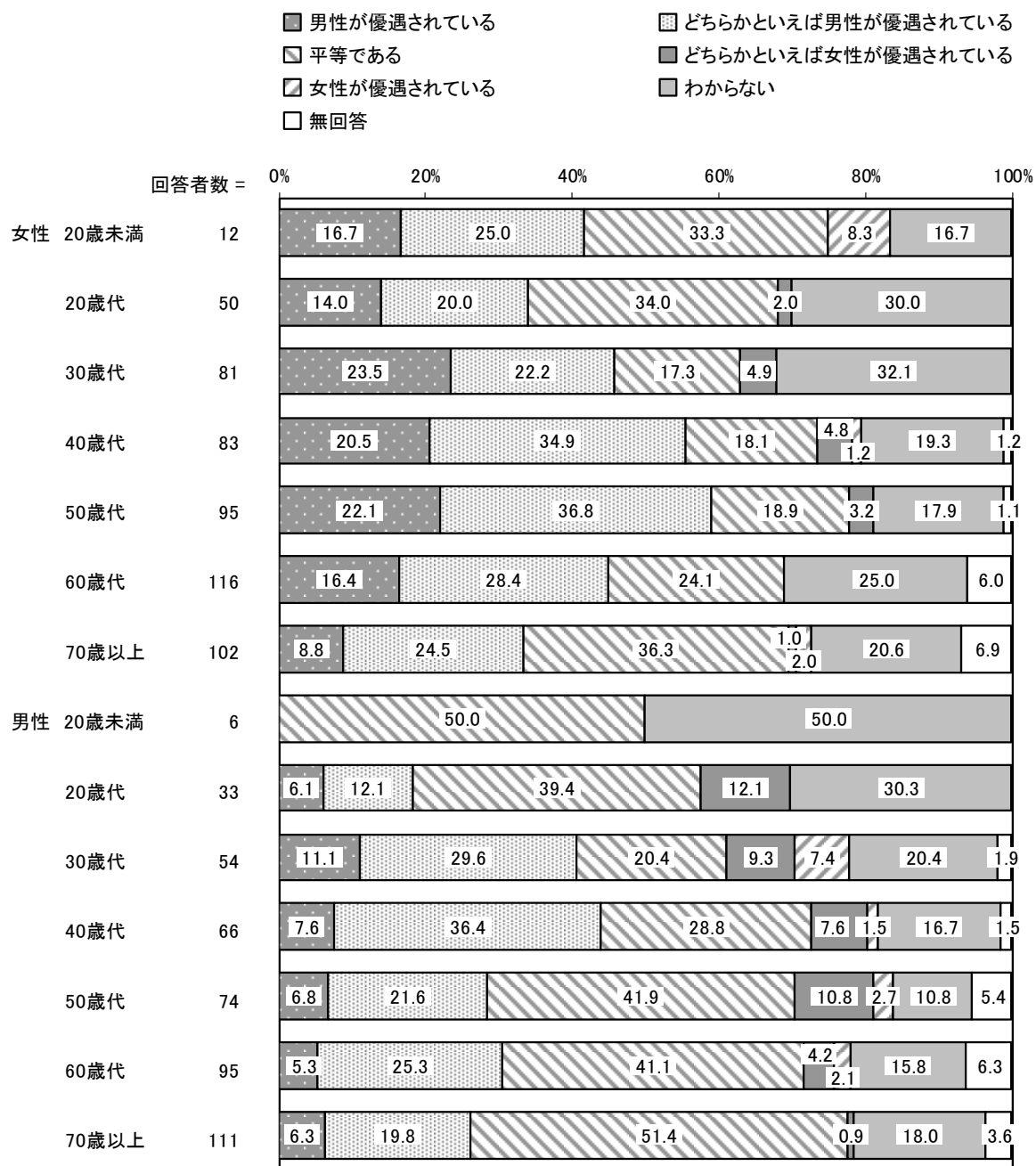
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。また、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



### 【性・年齢別】

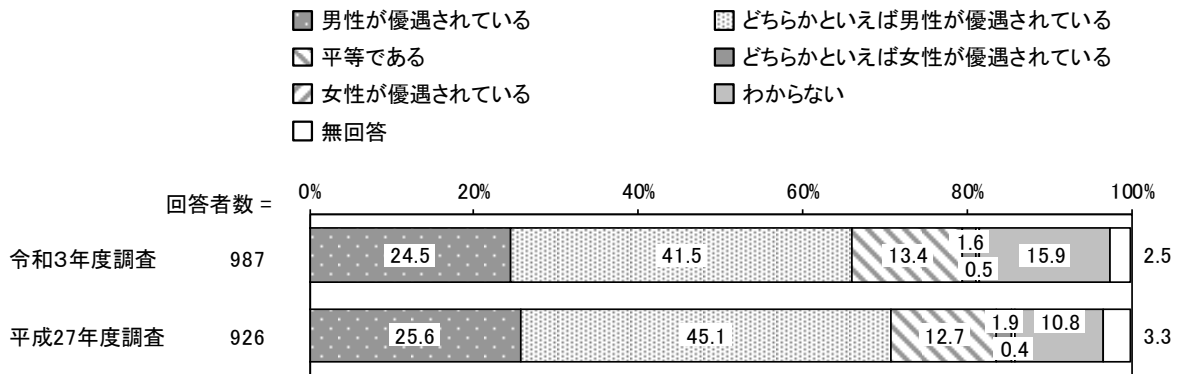
性・年齢別で見ると、他に比べ、男性の70歳以上で「平等である」の割合が高くなっています。



(7) しきたりや慣習

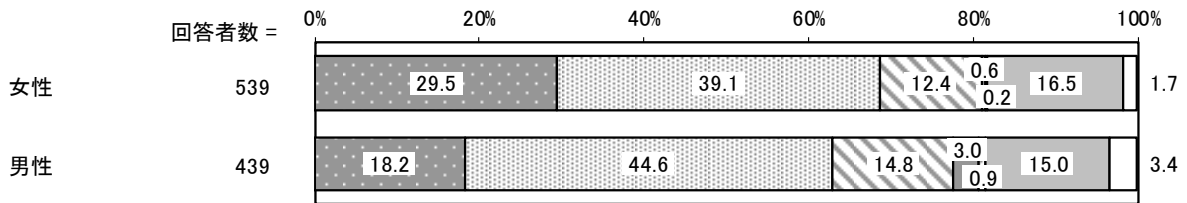
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。



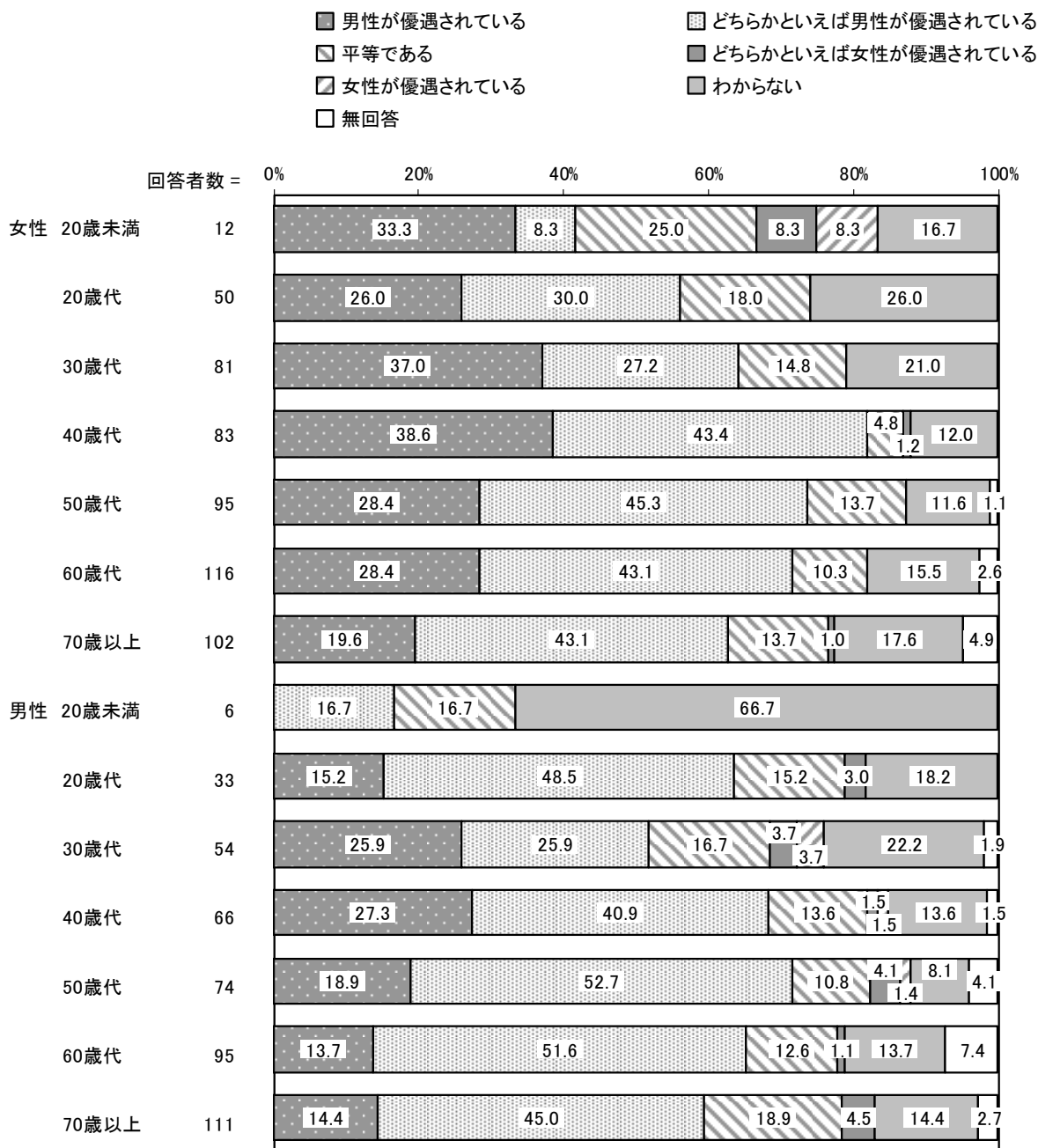
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



## 【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性 20 歳未満で「平等である」の割合が、40 歳代で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。

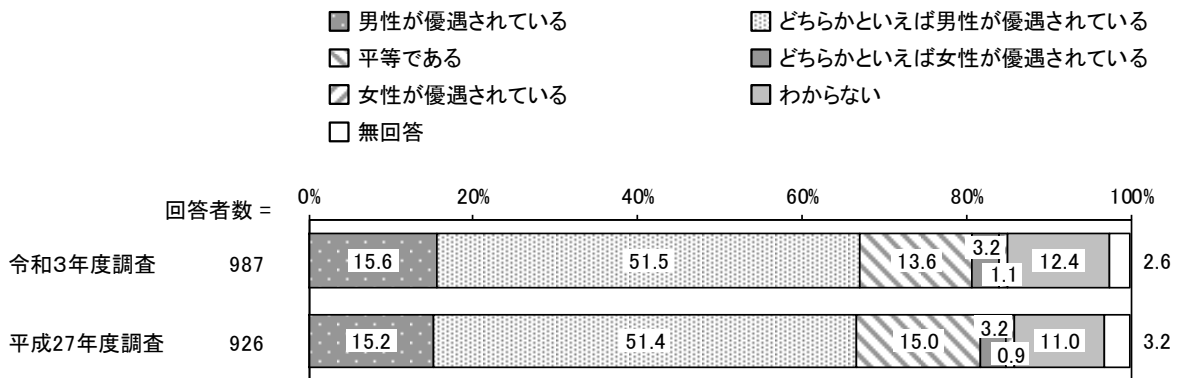




(8) 社会全体

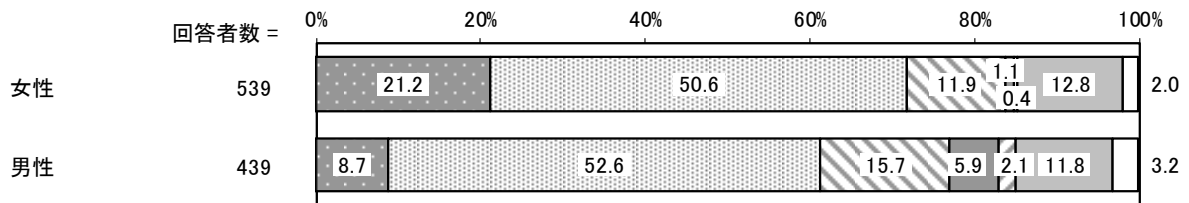
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



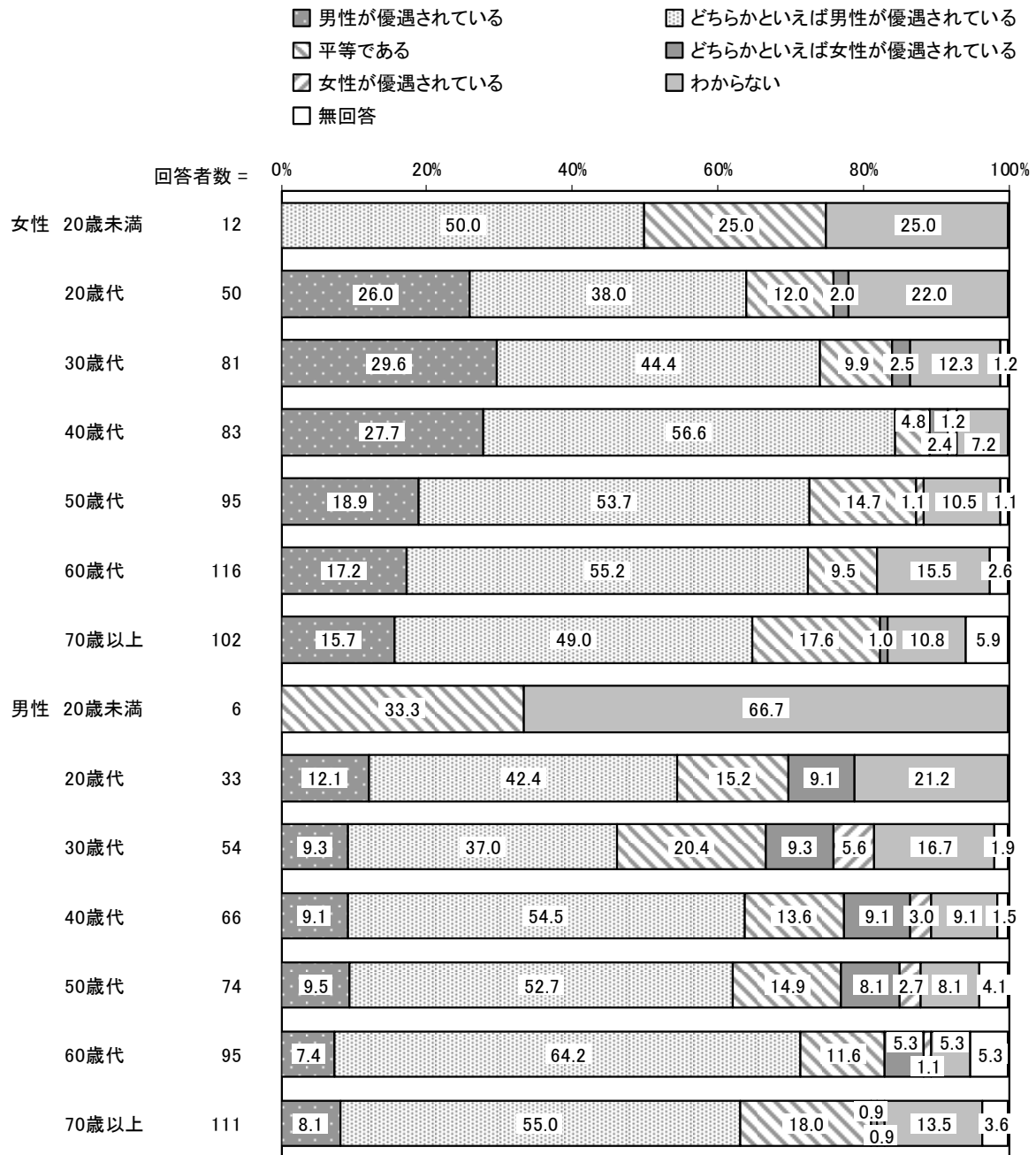
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

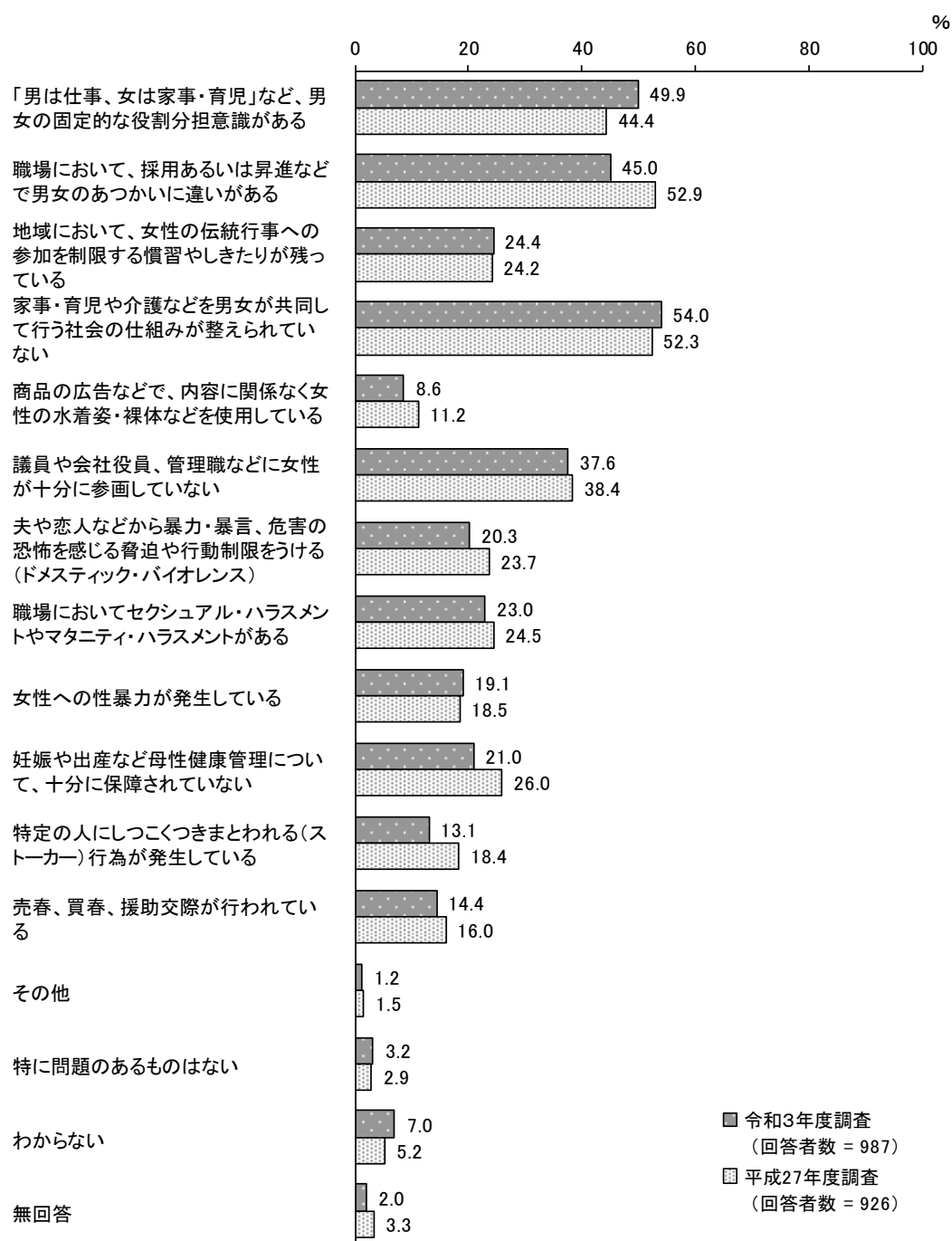
性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の40歳代で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



問9 あなたは、男女間で、どのような人権問題が起きていると思いますか。  
(〇はいくつでも可)

「家事・育児や介護などを男女が共同して行う社会の仕組みが整えられていない」の割合が54.0%と最も高く、次いで「男は仕事、女は家事・育児」など、男女の固定的な役割分担意識がある」の割合が49.9%、「職場において、採用あるいは昇進などで男女のあつかに違いがある」の割合が45.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「男は仕事、女は家事・育児」など、男女の固定的な役割分担意識がある」の割合が増加しています。一方、「職場において、採用あるいは昇進などで男女のあつかに違いがある」「特定の人にしつこくつきまとわれる(ストーカー)行為が発生している」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家事・育児や介護などを男女が共同で行う社会の仕組みが整えられていない」「女性への性暴力が発生している」「職場においてセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントがある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	「男は仕事、女は家事・育児」など、男女の固定的な役割分担意識がある	職場において、採用あるいは昇進などで男女のあつかに違いがある	地域において、女性の伝統行事への参加を制限する慣習やしきたりが残っている	家事・育児や介護などを男女が共同で行う社会の仕組みが整えられていない	商品の広告などで、内容に関係なく女性の水着姿・裸体などを使用している	議員や会社役員、管理職などに女性が十分に参画していない	夫や恋人などから暴力・暴言、危害の恐怖を感じる脅迫や行動制限をうける（ドメスティック・バイオレンス）	職場においてセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントがある
女性	539	51.8	45.5	24.9	60.1	9.5	37.1	23.7	26.2
男性	439	46.9	44.6	23.7	46.7	7.5	37.8	16.4	18.7

区分	女性への性暴力が発生している	妊娠や出産など母性健康管理について、十分に保障されていない	特定の人にしつこくつきまとわれる（ストーカー）行為が発生している	売春、買春、援助交際が行われている	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
女性	22.8	23.7	15.0	16.7	1.3	3.3	6.1	2.0
男性	14.6	17.5	10.9	11.6	1.1	3.2	8.0	2.1

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、他に比べ、女性の20歳未満で「女性への性暴力が発生している」「売春、買春、援助交際が行われている」の割合が、女性の30歳代で「男は仕事、女は家事・育児」など、男女の固定的な役割分担意識がある」「商品の広告などで、内容に関係なく女性の水着姿・裸体などを使用している」「妊娠や出産など母性健康管理について、十分に保障されていない」の割合が高くなっています。また、女性の40歳代で「家事・育児や介護などを男女が共同して行う社会の仕組みが整えられていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	「男は仕事、女は家事・育児」など、男女の固定的な役割分担意識がある	職場において、採用あるいは昇進などで男女のあつかに違いがある	地域において、女性の伝統行事への参加を制限する慣習やしきたりが残っている	家事・育児や介護などを男女が共同して行う社会の仕組みが整えられていない	商品の広告などで、内容に関係なく女性の水着姿・裸体などを使用している	議員や会社役員、管理職などに女性が十分に参画していない	夫や恋人などから暴力・暴言、危害の恐怖を感じる脅迫や行動制限をうける(ドメスティック・バイオレンス)	職場においてセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントがある
女性 20歳未満	12	41.7	33.3	33.3	50.0	—	—	25.0	25.0
20歳代	50	54.0	44.0	12.0	66.0	10.0	48.0	22.0	28.0
30歳代	81	65.4	53.1	30.9	65.4	17.3	42.0	22.2	37.0
40歳代	83	56.6	51.8	27.7	73.5	4.8	41.0	33.7	31.3
50歳代	95	49.5	38.9	24.2	50.5	8.4	28.4	22.1	17.9
60歳代	116	46.6	44.0	25.9	61.2	8.6	41.4	27.6	32.8
70歳以上	102	45.1	44.1	22.5	51.0	9.8	32.4	14.7	12.7
男性 20歳未満	6	16.7	33.3	—	16.7	—	—	16.7	16.7
20歳代	33	57.6	33.3	30.3	42.4	9.1	30.3	24.2	24.2
30歳代	54	44.4	42.6	18.5	66.7	7.4	22.2	18.5	18.5
40歳代	66	51.5	50.0	27.3	50.0	9.1	39.4	28.8	30.3
50歳代	74	44.6	45.9	17.6	47.3	8.1	37.8	13.5	21.6
60歳代	95	46.3	44.2	26.3	41.1	6.3	38.9	10.5	11.6
70歳以上	111	45.9	45.9	25.2	42.3	7.2	47.7	12.6	14.4

(次のページへ)

単位：%

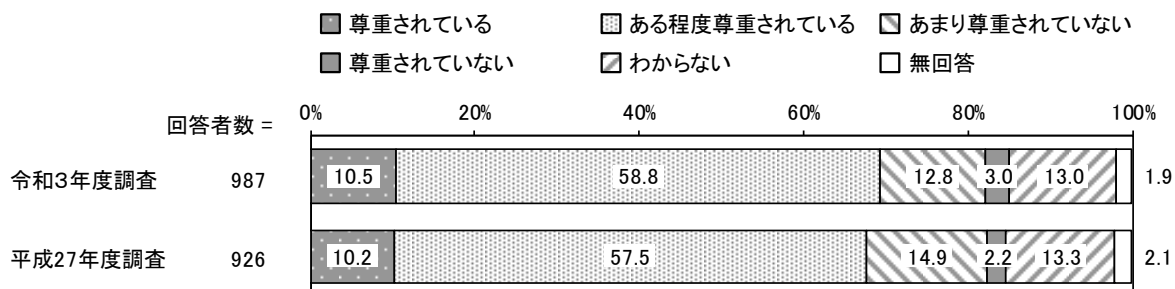
区分	女性への性暴力が発生している	妊娠や出産など母性健康管理について、十分に保障されていない	特定の人にしつこくつきまとわれる（ストーカー）行為が発生している	売春、買春、援助交際が行われている	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
女性 20歳未満	41.7	25.0	8.3	33.3	8.3	8.3	16.7	—
20歳代	32.0	34.0	18.0	16.0	2.0	2.0	10.0	2.0
30歳代	28.4	40.7	18.5	13.6	1.2	2.5	3.7	—
40歳代	26.5	10.8	19.3	18.1	2.4	3.6	1.2	—
50歳代	18.9	17.9	16.8	14.7	2.1	4.2	7.4	2.1
60歳代	21.6	20.7	15.5	17.2	—	3.4	5.2	0.9
70歳以上	13.7	24.5	5.9	17.6	—	2.9	8.8	6.9
男性 20歳未満	—	—	—	—	—	33.3	16.7	—
20歳代	15.2	6.1	12.1	15.2	3.0	—	9.1	—
30歳代	16.7	18.5	5.6	5.6	—	3.7	13.0	—
40歳代	19.7	24.2	16.7	15.2	3.0	3.0	6.1	1.5
50歳代	14.9	20.3	9.5	13.5	1.4	4.1	6.8	4.1
60歳代	11.6	7.4	10.5	7.4	—	2.1	6.3	3.2
70歳以上	13.5	24.3	11.7	14.4	0.9	2.7	8.1	1.8

## 4 子どもの人権について

### 問10 あなたは、子どもの人権は尊重されていると思いますか。(○は1つ)

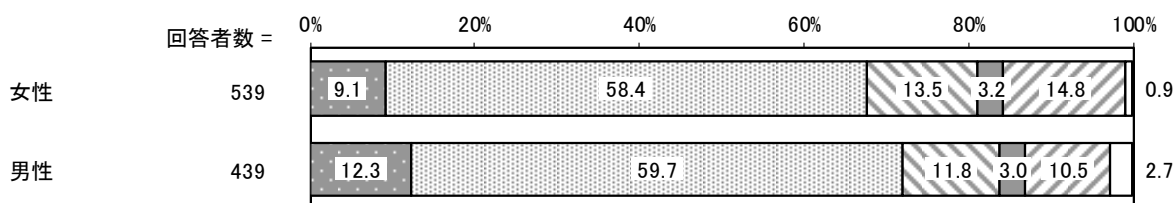
「尊重されている」と「ある程度尊重されている」を合わせた“尊重されている”の割合が69.3%、「あまり尊重されていない」と「尊重されていない」を合わせた“尊重されていない”の割合が15.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



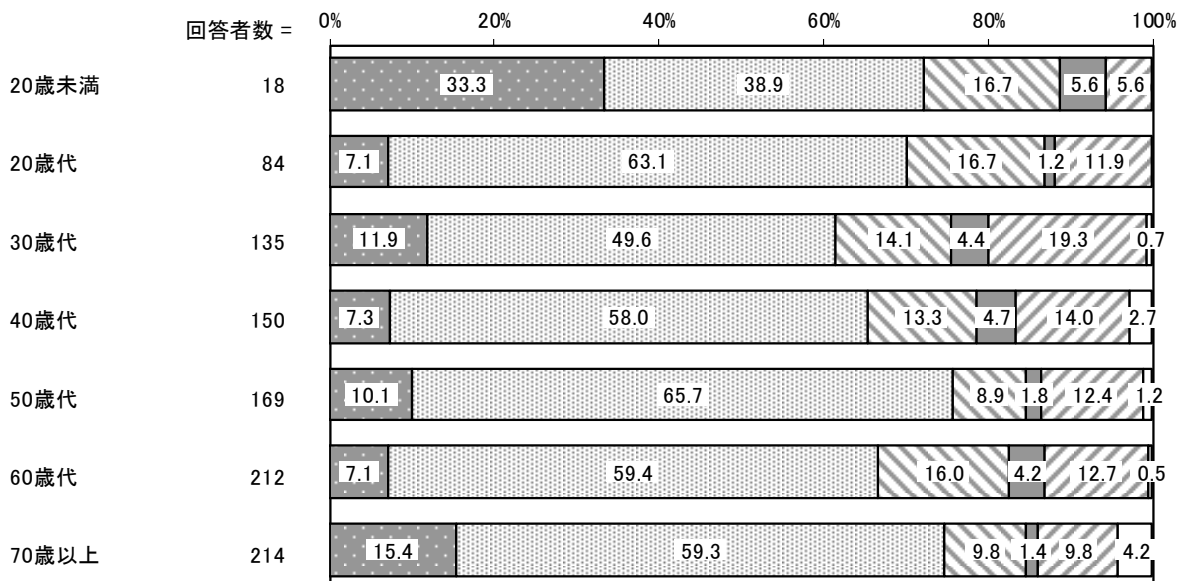
#### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



#### 【年齢別】

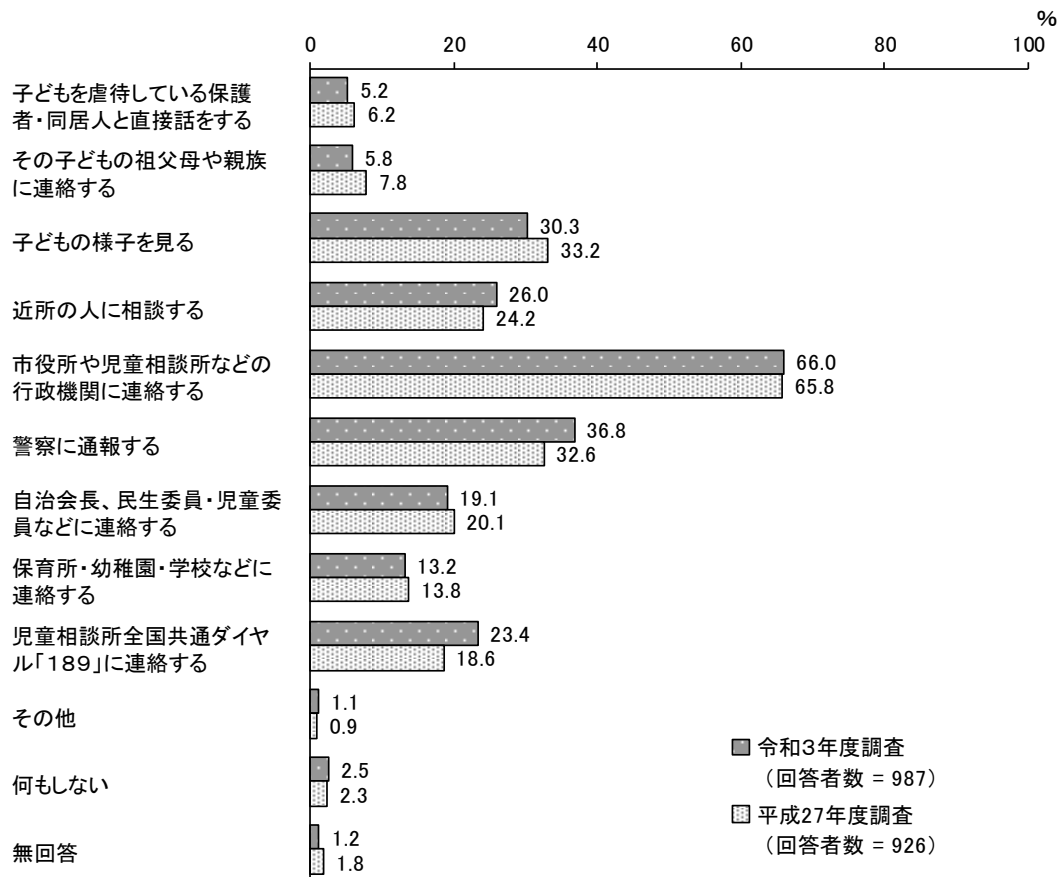
年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



**問 11 あなたは、近所や身近なところにいる子どもが、親（保護者）や同居人から虐待を受けていることを知ったらどうしますか。（○はいくつでも可）**

「市役所や児童相談所などの行政機関に連絡する」の割合が66.0%と最も高く、次いで「警察に通報する」の割合が36.8%、「子どもの様子を見る」の割合が30.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**【性別】**

性別で見ると、男性に比べ、女性で「子どもの様子を見る」「児童相談所全国共通ダイヤル「189」に連絡する」の割合が高くなっています。また、男性で「警察に通報する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子どもを虐待している保護者・同居人と直接話をする	その子どもの祖父母や親族に連絡する	子どもの様子を見る	近所の人に相談する	市役所や児童相談所などの行政機関に連絡する	警察に通報する	自治会長、民生委員・児童委員などに連絡する	保育所・幼稚園・学校などに連絡する	児童相談所全国共通ダイヤル「189」に連絡する	その他	何もしない	無回答
女性	539	3.5	5.2	36.5	30.1	64.9	34.1	18.0	13.4	26.2	0.9	1.7	0.6
男性	439	7.1	6.2	23.0	21.4	67.7	40.3	20.7	13.2	20.3	1.4	3.4	2.1



## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「子どもを虐待している保護者・同居人と直接話をする」「何もしない」、30歳代で「子どもの様子を見る」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「その子どもの祖父母や親族に連絡する」「自治会長、民生委員・児童委員などに連絡する」の割合が高くなっています。

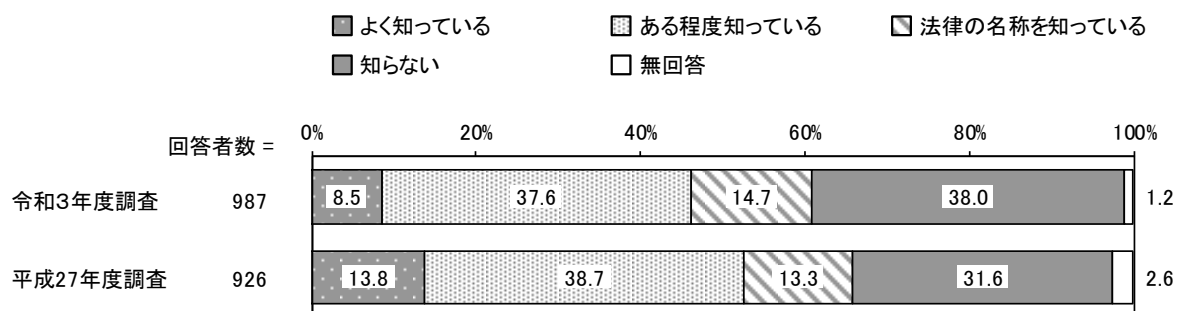
単位：％

区分	回答者数(件)	子どもを虐待している保護者・同居人と直接話をする	その子どもの祖父母や親族に連絡する	子どもの様子を見る	近所の人に相談する	市役所や児童相談所などの行政機関に連絡する	警察に通報する	自治会長、民生委員・児童委員などに連絡する	保育所・幼稚園・学校などに連絡する	児童相談所全国共通ダイヤル「189」に連絡する	その他	何もしない	無回答
20歳未満	18	16.7	—	16.7	5.6	50.0	33.3	11.1	—	22.2	—	11.1	—
20歳代	84	3.6	3.6	35.7	20.2	63.1	39.3	7.1	7.1	25.0	3.6	2.4	—
30歳代	135	9.6	3.0	41.5	31.9	69.6	43.7	8.9	18.5	28.1	—	3.0	0.7
40歳代	150	4.7	4.0	30.0	19.3	68.7	48.0	5.3	16.7	25.3	1.3	0.7	2.0
50歳代	169	3.0	0.6	26.0	28.4	70.4	35.5	15.4	8.9	23.7	0.6	2.4	1.2
60歳代	212	5.2	7.1	32.5	26.4	65.6	36.3	24.1	16.5	23.6	0.9	2.4	1.9
70歳以上	214	3.7	12.1	23.8	29.0	62.1	25.7	38.8	11.2	18.2	1.4	3.3	0.9

問 12 平成 12 (2000) 年 11 月「児童虐待の防止等に関する法律 (児童虐待防止法)」が施行され、児童虐待を発見したときに通告することを義務づけていますが、あなたは、そのことを知っていますか。(〇は 1 つ)

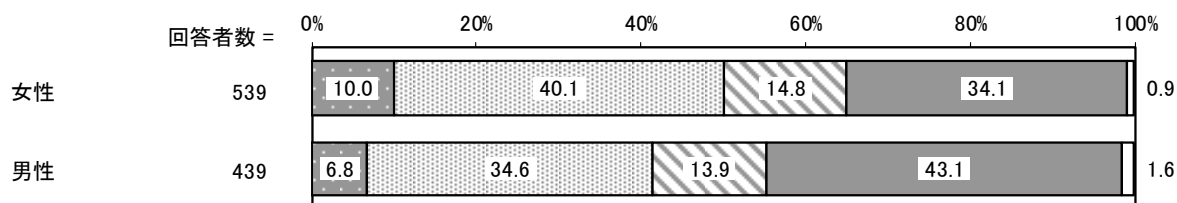
「知らない」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「ある程度知っている」の割合が 37.6%、「法律の名称を知っている」の割合が 14.7%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。一方、「よく知っている」の割合が減少しています。



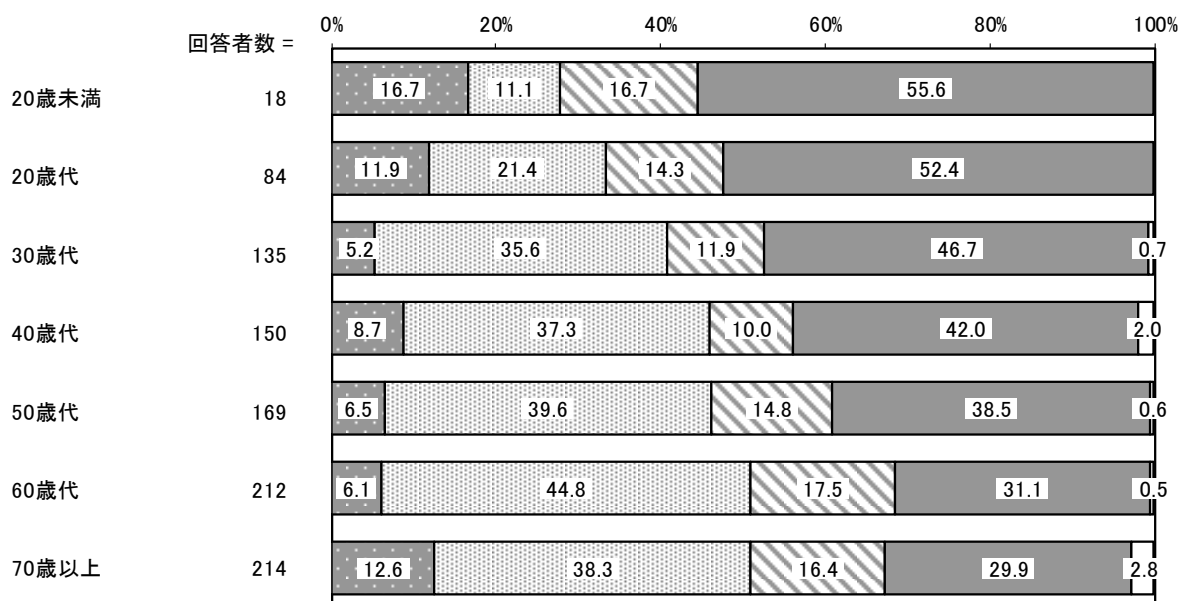
### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「ある程度知っている」の割合が高くなっています。また、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



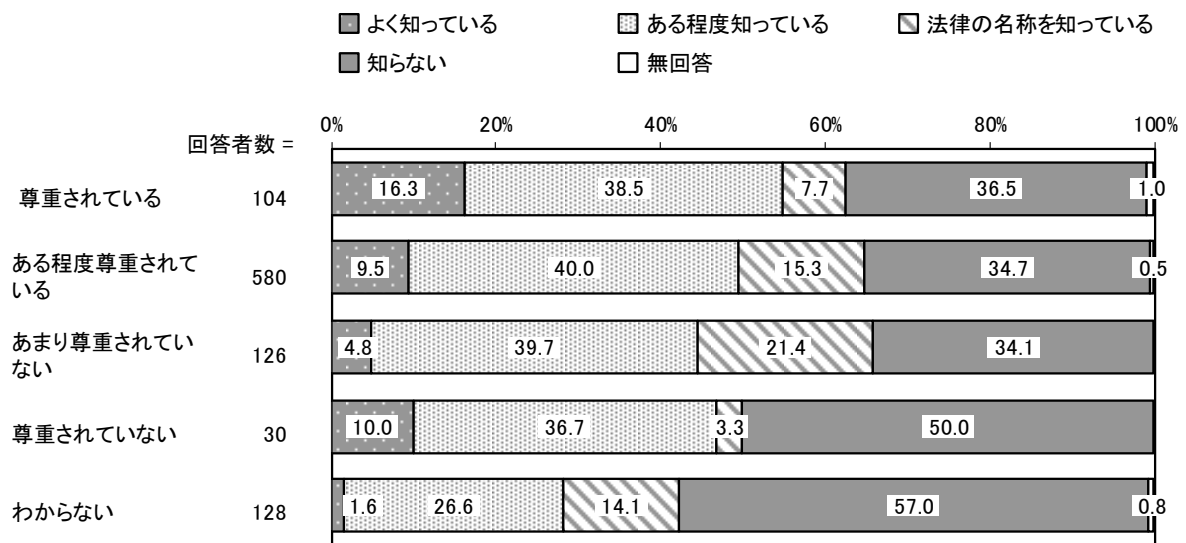
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で「ある程度知っている」の割合が高くなっています。



### 【子どもの人権の認識度別】

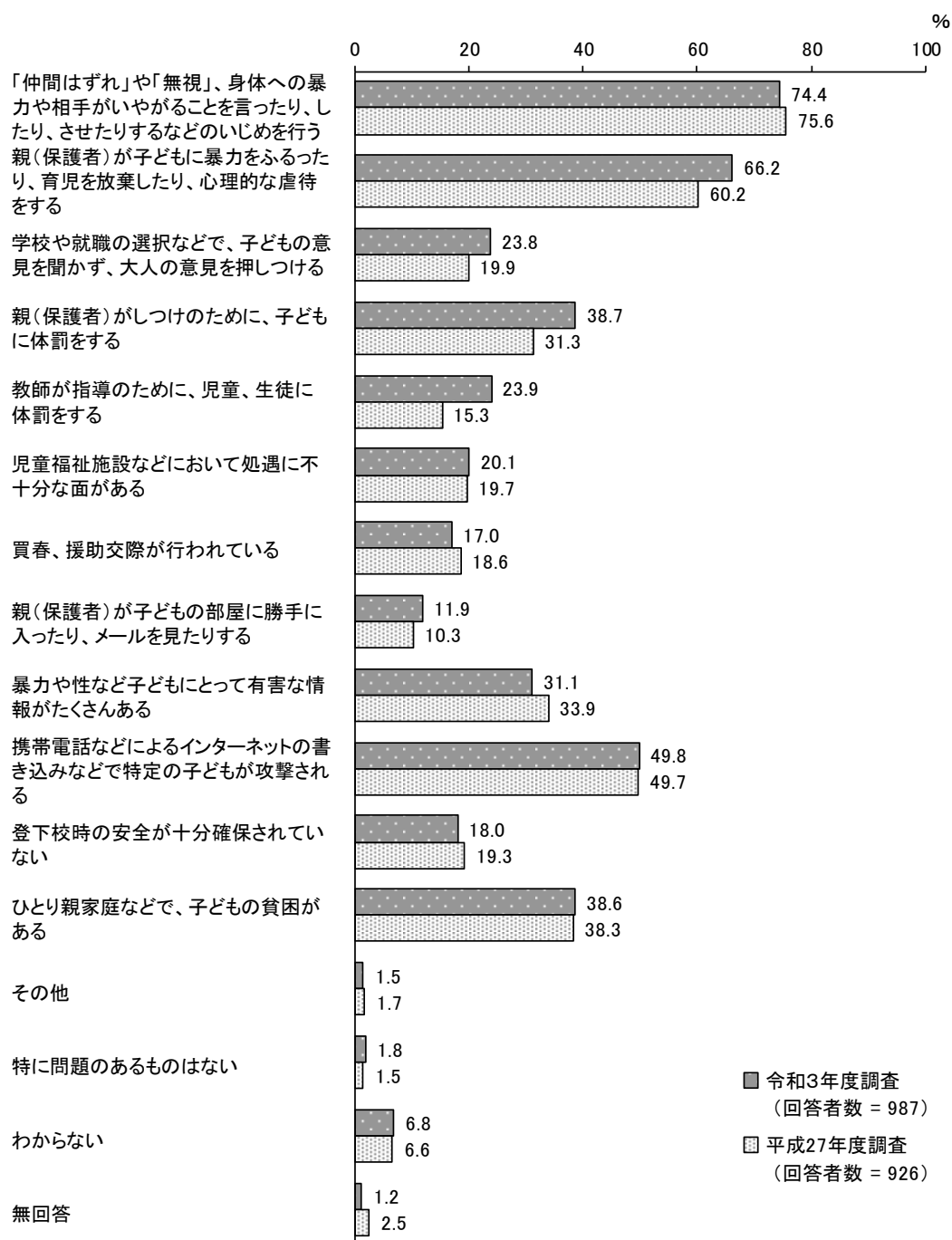
子どもの人権の認識度別でみると、他に比べ、尊重されているで「よく知っている」の割合が高くなっています。また、あまり尊重されていないで「法律の名称を知っている」の割合が高くなっています。



### 問13 あなたは、子どもについて、どのような人権問題が起きていると思いますか。

「仲間はずれ」や「無視」、身体への暴力や相手がいやがることを言ったり、したり、させたりするなどのいじめを行う」の割合が74.4%と最も高く、次いで「親（保護者）が子どもに暴力をふるったり、育児を放棄したり、心理的な虐待をする」の割合が66.2%、「携帯電話などによるインターネットの書き込みなどで特定の子どもが攻撃される」の割合が49.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「親（保護者）が子どもに暴力をふるったり、育児を放棄したり、心理的な虐待をする」「親（保護者）がしつけのために、子どもに体罰をする」「教師が指導のために、児童、生徒に体罰をする」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「親（保護者）が子どもに暴力をふるったり、育児を放棄したり、心理的な虐待をする」「携帯電話などによるインターネットの書き込みなどで特定の子供が攻撃される」「ひとり親家庭などで、子どもの貧困がある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	「仲間はずれ」や「無視」、身体への暴力や相手がいやがることを言ったり、したり、させたりするなどのいじめを行う	親（保護者）が子どもに暴力をふるったり、育児を放棄したり、心理的な虐待をする	学校や就職の選択などで、子どもの意見を聞かず、大人の意見を押しつける	親（保護者）がしつけのために、子どもに体罰をする	教師が指導のために、児童、生徒に体罰をする	児童福祉施設などにおいて処遇に十分な面がある	買春、援助交際が行われている	親（保護者）が子どもの部屋に勝手に入ったり、メールを見たりする
女性	539	76.1	70.9	24.1	42.1	23.4	21.3	19.5	13.5
男性	439	72.9	61.0	23.7	34.6	24.4	18.7	14.4	9.8
区分	回答者数（件）	暴力や性など子どもにとって有害な情報がたくさんある	携帯電話などによるインターネットの書き込みなどで特定の子供が攻撃される	登下校時の安全が十分確保されていない	ひとり親家庭などで、子どもの貧困がある	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
女性	35.4	54.0	20.0	42.3	1.7	1.1	6.3	0.6	
男性	26.2	45.3	15.7	34.6	1.4	2.7	7.3	1.8	

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「児童福祉施設などにおいて処遇に不十分な面がある」「親（保護者）が子どもの部屋に勝手に入ったり、メールを見たりする」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	「仲間はずれ」や「無視」、身体への暴力や相手がいやがることを言ったり、したり、させたりするなどのいじめを行う	親（保護者）が子どもにも暴力をふるったり、育児を放棄したり、心理的な虐待をする	学校や就職の選択などで、子どもの意見を聞かず、大人の意見を押しつける	親（保護者）がしつけのために、子どもに体罰をする	教師が指導のために、児童、生徒に体罰をする	児童福祉施設などにおいて処遇に不十分な面がある	買春、援助交際が行われている	親（保護者）が子どもの部屋に勝手に入ったり、メールを見たりする
20歳未満	18	72.2	61.1	44.4	38.9	22.2	16.7	16.7	16.7
20歳代	84	81.0	76.2	41.7	47.6	34.5	28.6	17.9	26.2
30歳代	135	76.3	79.3	37.8	43.7	33.3	20.7	18.5	18.5
40歳代	150	75.3	67.3	28.0	38.0	21.3	19.3	21.3	11.3
50歳代	169	74.0	73.4	19.5	44.4	17.8	17.2	17.8	8.9
60歳代	212	81.6	64.2	17.9	36.8	19.8	19.8	15.6	8.5
70歳以上	214	63.6	50.5	13.1	30.4	24.3	20.1	14.0	7.9

区分	暴力や性など子どもにとって有害な情報がたくさんある	携帯電話などによるインターネットの書き込みなどで特定の子どもの攻撃される	登下校時の安全が十分確保されていない	ひとり親家庭などで、子どもの貧困がある	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
20歳未満	11.1	33.3	11.1	16.7	—	11.1	11.1	—
20歳代	20.2	51.2	28.6	42.9	2.4	—	3.6	—
30歳代	37.0	57.8	27.4	39.3	0.7	1.5	5.2	0.7
40歳代	32.7	60.7	20.7	44.0	2.7	2.7	5.3	1.3
50歳代	33.1	54.4	13.6	39.6	0.6	1.2	7.7	—
60歳代	31.6	49.5	17.0	40.1	1.9	0.9	6.1	1.9
70歳以上	30.8	35.5	11.2	33.2	1.4	2.8	9.8	1.9

## 【子どもの人権の認識度別】

子どもの人権の認識度別でみると、他に比べ、あまり尊重されていないで「「仲間はずれ」や「無視」、身体への暴力や相手がいやがることを言ったり、したり、させたりするなどのいじめを行う」「学校や就職の選択などで、子どもの意見を聞かず、大人の意見を押しつける」の割合が高くなっています。また、尊重されていないで「親（保護者）がしつけのために、子どもに体罰をする」「教師が指導のために、児童、生徒に体罰をする」「買春、援助交際が行われている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	「仲間はずれ」や「無視」、身体への暴力や相手がいやがることを言ったり、したり、させたりするなどのいじめを行う	親（保護者）が子どもに暴力をふるったり、育児を放棄したり、心理的な虐待をする	学校や就職の選択などで、子どもの意見を聞かず、大人の意見を押しつける	親（保護者）がしつけのために、子どもに体罰をする	教師が指導のために、児童、生徒に体罰をする	児童福祉施設などにおいて処遇に十分な面がある	買春、援助交際が行われている	親（保護者）が子どもの部屋に勝手に入ったり、メールを見たりする
尊重されている	104	70.2	52.9	18.3	29.8	8.7	8.7	13.5	8.7
ある程度尊重されている	580	75.9	71.4	22.8	40.5	23.3	22.6	18.4	11.7
あまり尊重されていない	126	86.5	69.8	40.5	47.6	38.1	27.0	21.4	17.5
尊重されていない	30	80.0	86.7	33.3	63.3	50.0	30.0	26.7	23.3
わからない	128	61.7	48.4	17.2	25.8	18.8	10.9	8.6	7.8

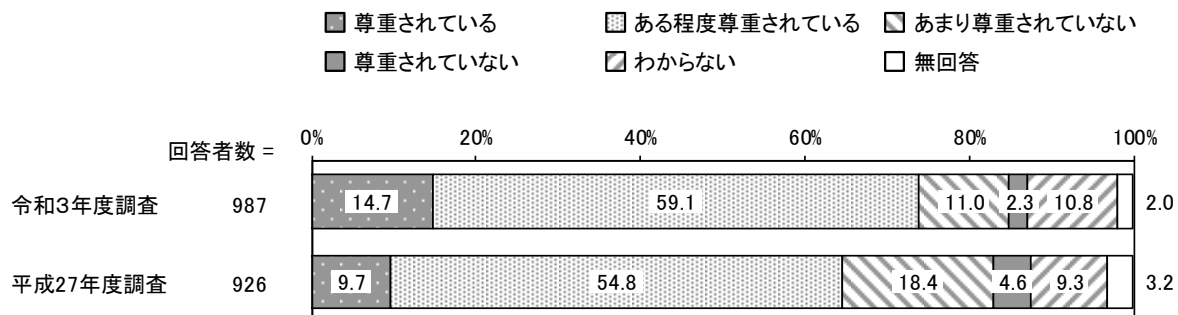
区分	暴力や性など子どもにとって有害な情報がたくさんある	携帯電話などによるインターネットの書き込みなどで特定の子どもの攻撃される	登下校時の安全が十分確保されていない	ひとり親家庭などで、子どもの貧困がある	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
尊重されている	26.9	40.4	16.3	36.5	1.0	5.8	5.8	1.9
ある程度尊重されている	32.2	51.9	18.3	37.8	1.6	1.6	4.5	0.3
あまり尊重されていない	34.9	57.1	20.6	51.6	3.2	—	3.2	—
尊重されていない	46.7	63.3	40.0	56.7	—	—	—	—
わからない	23.4	40.6	10.9	30.5	0.8	2.3	24.2	0.8

## 5 高齢者の人権について

### 問 14 あなたは、高齢者の人権は尊重されていると思いますか。(○は1つ)

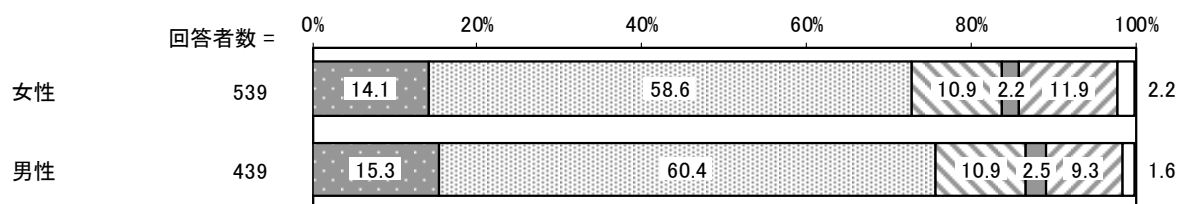
「尊重されている」と「ある程度尊重されている」を合わせた“尊重されている”の割合が73.8%、「あまり尊重されていない」と「尊重されていない」を合わせた“尊重されていない”の割合が13.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“尊重されていない”の割合が減少しています。



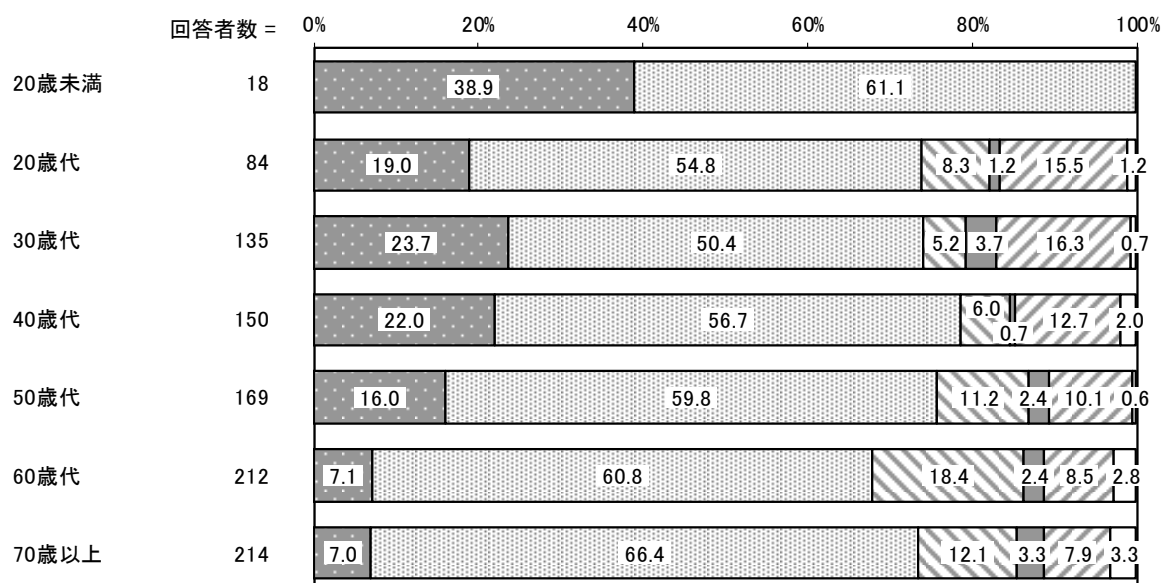
#### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で“尊重されている”の割合が、60歳代で“尊重されていない”の割合が高くなっています。

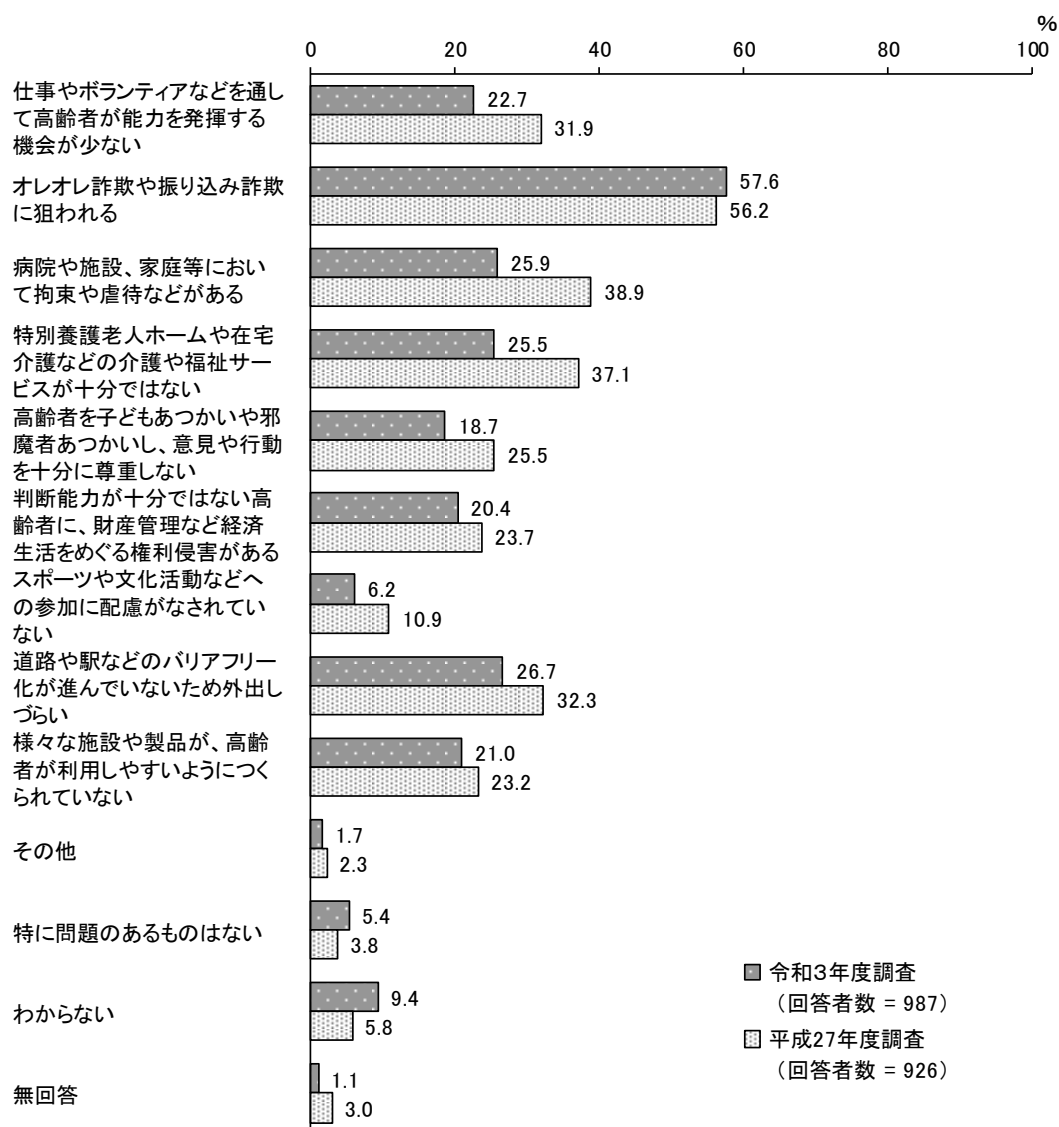




**問 15 あなたは、高齢者について、どのような人権問題が起きていると思いますか。**

「オレオレ詐欺や振り込み詐欺に狙われる」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「道路や駅などのバリアフリー化が進んでいないため外出しづらい」の割合が 26.7%、「病院や施設、家庭等において拘束や虐待などがある」の割合が 25.9%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「仕事やボランティアなどを通して高齢者が能力を発揮する機会が少ない」「病院や施設、家庭等において拘束や虐待などがある」「特別養護老人ホームや在宅介護などの介護や福祉サービスが十分ではない」「高齢者を子どもあつかいや邪魔者あつかいし、意見や行動を十分に尊重しない」「道路や駅などのバリアフリー化が進んでいないため外出しづらい」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「オレオレ詐欺や振り込み詐欺に狙われる」「病院や施設、家庭等において拘束や虐待などがある」「道路や駅などのバリアフリー化が進んでいないため外出しづらい」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「仕事やボランティアなどを通して高齢者が能力を発揮する機会が少ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事やボランティアなどを通して高齢者が能力を発揮する機会が少ない	オレオレ詐欺や振り込み詐欺に狙われる	病院や施設、家庭等において拘束や虐待などがある	特別養護老人ホームや在宅介護などの介護や福祉サービスが十分ではない	高齢者を子どもあつかいや邪魔者あつかいし、意見や行動を十分に尊重しない	判断能力が十分ではない高齢者に、財産管理など経済生活をめぐる権利侵害がある
女性	539	20.2	63.1	29.9	25.2	18.7	22.1
男性	439	26.2	51.3	21.2	26.4	19.1	18.7

区分	スポーツや文化活動などへの参加に配慮がなされていない	道路や駅などのバリアフリー化が進んでいないため外出しづらい	様々な施設や製品が、高齢者が利用しやすいようにつくられていない	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
女性	6.1	31.9	23.4	2.0	3.5	8.5	0.9
男性	6.4	21.0	18.2	1.4	7.1	10.5	1.4

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「病院や施設、家庭等において拘束や虐待などがある」「高齢者を子どもあつかいや邪魔者あつかいし、意見や行動を十分に尊重しない」の割合が高くなっています。また、50歳代で「様々な施設や製品が、高齢者が利用しやすいようにつくられていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事やボランティアなどを通して高齢者が能力を発揮する機会が少ない	オレオレ詐欺や振り込み詐欺に狙われる	病院や施設、家庭等において拘束や虐待などがある	特別養護老人ホームや在宅介護などの介護や福祉サービスが十分ではない	高齢者を子どもあつかいや邪魔者あつかいし、意見や行動を十分に尊重しない	判断能力が十分ではない高齢者に、財産管理など経済生活をめぐる権利侵害がある
20歳未満	18	5.6	38.9	16.7	11.1	22.2	11.1
20歳代	84	14.3	66.7	40.5	15.5	32.1	21.4
30歳代	135	14.8	56.3	31.9	21.5	23.0	20.7
40歳代	150	20.7	56.7	28.0	28.0	18.0	26.0
50歳代	169	21.9	65.1	30.2	33.1	17.8	23.1
60歳代	212	30.2	58.0	17.9	31.6	16.5	17.9
70歳以上	214	27.6	50.9	20.6	20.1	14.5	17.3

区分	スポーツや文化活動などへの参加に配慮がなされていない	道路や駅などのバリアフリー化が進んでいないため外出しづらい	様々な施設や製品が、高齢者が利用しやすいようにつくられていない	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
20歳未満	—	11.1	5.6	5.6	27.8	11.1	—
20歳代	6.0	26.2	22.6	—	2.4	7.1	—
30歳代	7.4	28.1	20.7	0.7	3.7	13.3	1.5
40歳代	4.0	29.3	20.0	3.3	5.3	7.3	2.0
50歳代	4.1	26.0	28.4	2.4	4.1	10.7	—
60歳代	5.2	29.7	21.7	0.9	3.3	8.0	0.5
70歳以上	10.3	23.8	16.4	1.9	7.9	9.8	2.3

### 【高齢者の人権の認識度別】

高齢者の人権の認識度別でみると、他に比べ、尊重されているで「特に問題のあるものはない」の割合が高くなっています。また、尊重されていないで「特別養護老人ホームや在宅介護などの介護や福祉サービスが十分ではない」「判断能力が十分ではない高齢者に、財産管理など経済生活をめぐる権利侵害がある」「スポーツや文化活動などへの参加に配慮がなされていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事やボランティアなどを通して高齢者が能力を発揮する機会が少ない	オレオレ詐欺や振り込み詐欺に狙われる	病院や施設、家庭等において拘束や虐待などがある	特別養護老人ホームや在宅介護などの介護や福祉サービスが十分ではない	高齢者を子どもあつかいや邪魔者あつかいし、意見や行動を十分に尊重しない	判断能力が十分ではない高齢者に、財産管理など経済生活をめぐる権利侵害がある
尊重されている	145	12.4	53.1	15.2	16.6	9.0	19.3
ある程度尊重されている	583	22.1	61.1	29.0	25.4	18.9	20.8
あまり尊重されていない	109	48.6	57.8	33.0	41.3	37.6	26.6
尊重されていない	23	52.2	65.2	39.1	52.2	39.1	39.1
わからない	107	8.4	43.0	15.9	15.0	9.3	8.4

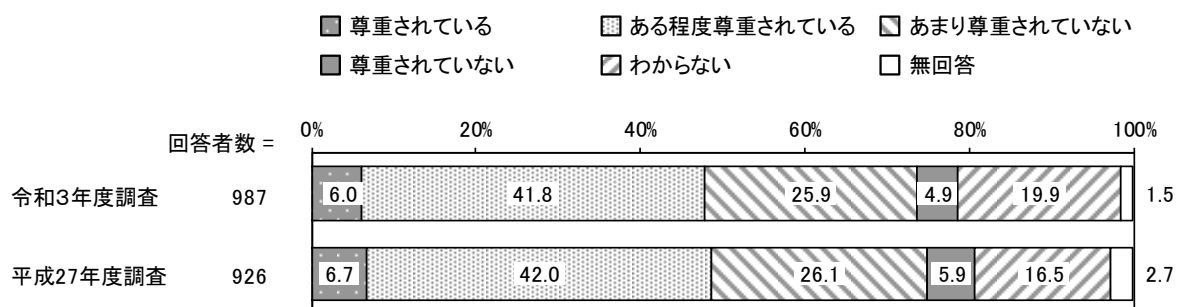
区分	スポーツや文化活動などへの参加に配慮がなされていない	道路や駅などのバリアフリー化が進んでいないため外出しづらい	様々な施設や製品が、高齢者が利用しやすいようにつくられていない	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
尊重されている	2.8	15.9	9.0	4.1	15.9	2.8	0.7
ある程度尊重されている	5.1	27.1	21.4	1.4	4.6	8.1	0.3
あまり尊重されていない	11.9	38.5	35.8	0.9	—	3.7	0.9
尊重されていない	39.1	47.8	34.8	4.3	—	4.3	—
わからない	3.7	24.3	17.8	0.9	1.9	34.6	0.9

## 6 障害者（児）の人権について

### 問 16 あなたは、障害者の人権は尊重されていると思いますか。（○は1つ）

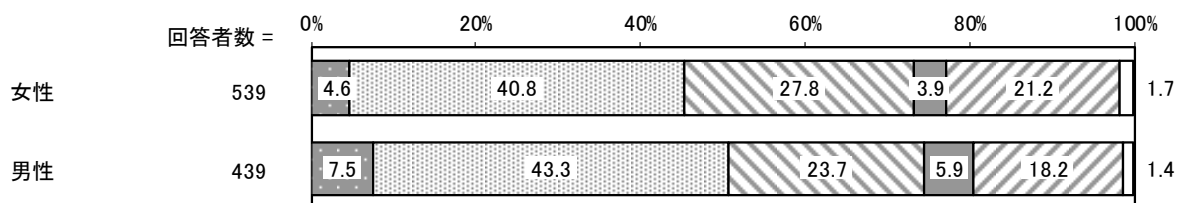
「尊重されている」と「ある程度尊重されている」を合わせた“尊重されている”の割合が 47.8%、「あまり尊重されていない」「尊重されていない」を合わせた“尊重されていない”の割合が 30.8%、「わからない」の割合が 19.9%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



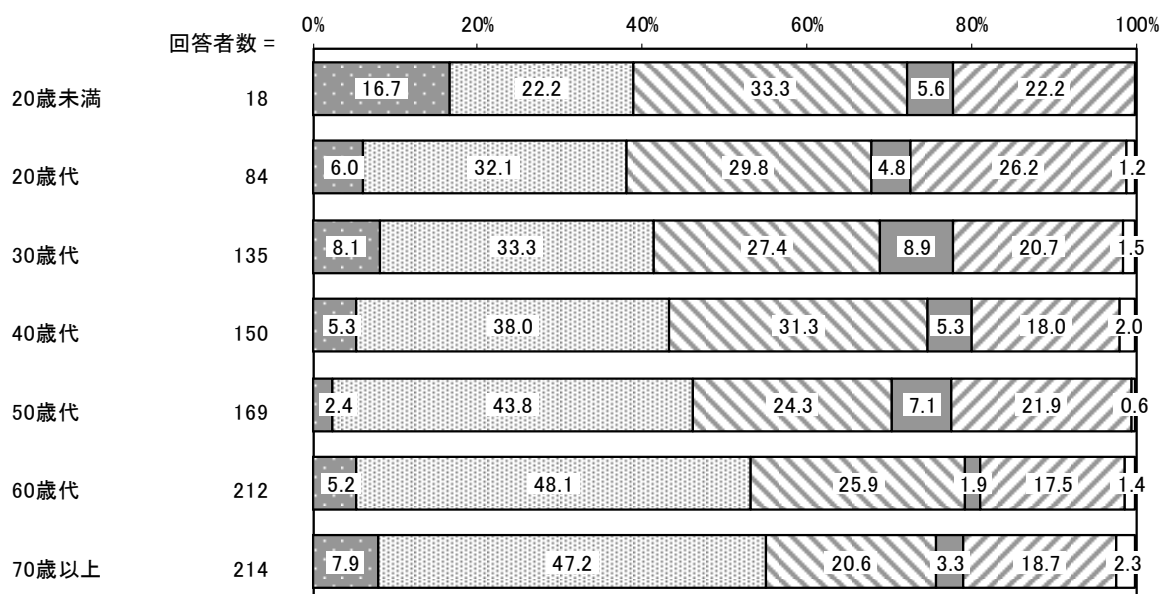
#### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



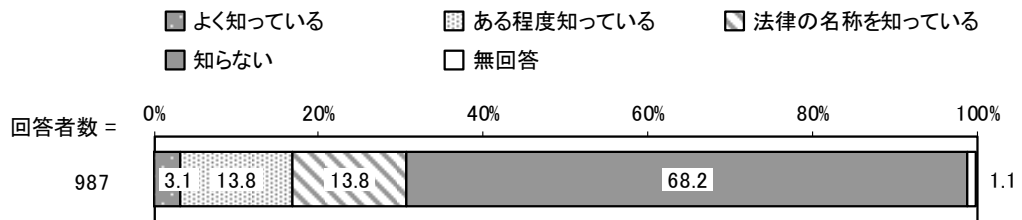
#### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて“尊重されている”の割合が高くなる傾向がみられます。



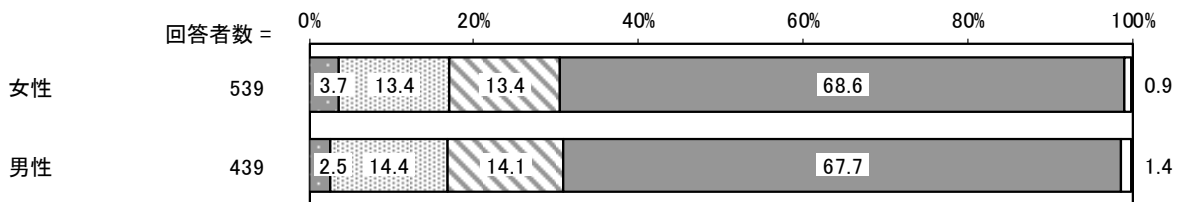
問 17 あなたは、平成 28 (2016) 年 4 月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (障害者差別解消法)」が施行されていることを知っていますか。  
(○は 1 つ)

「知らない」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「ある程度知っている」、「法律の名称を知っている」の割合が 13.8%となっています。



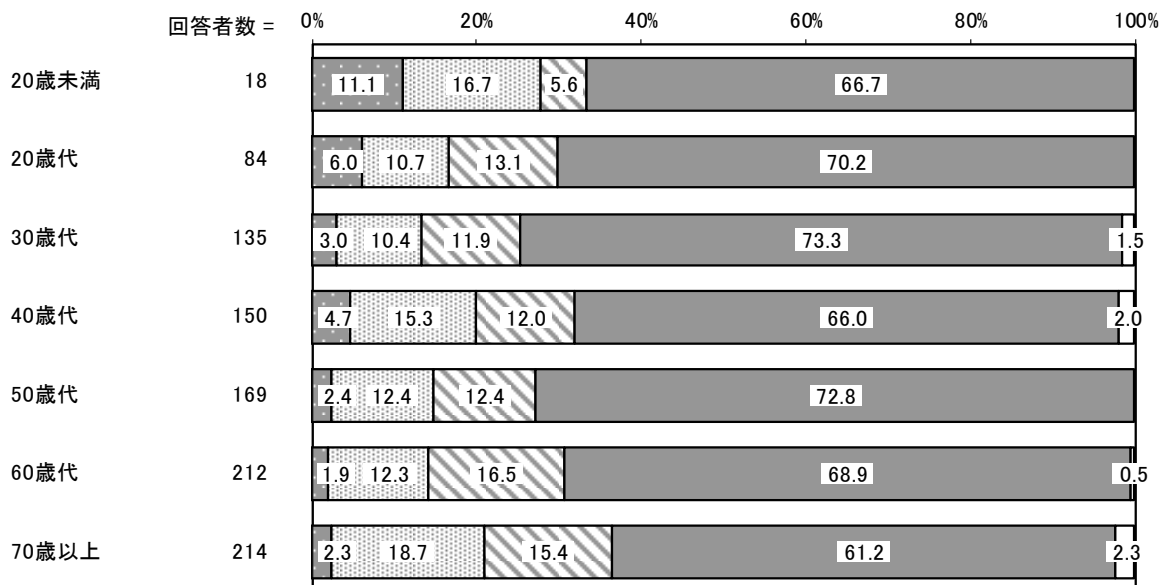
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



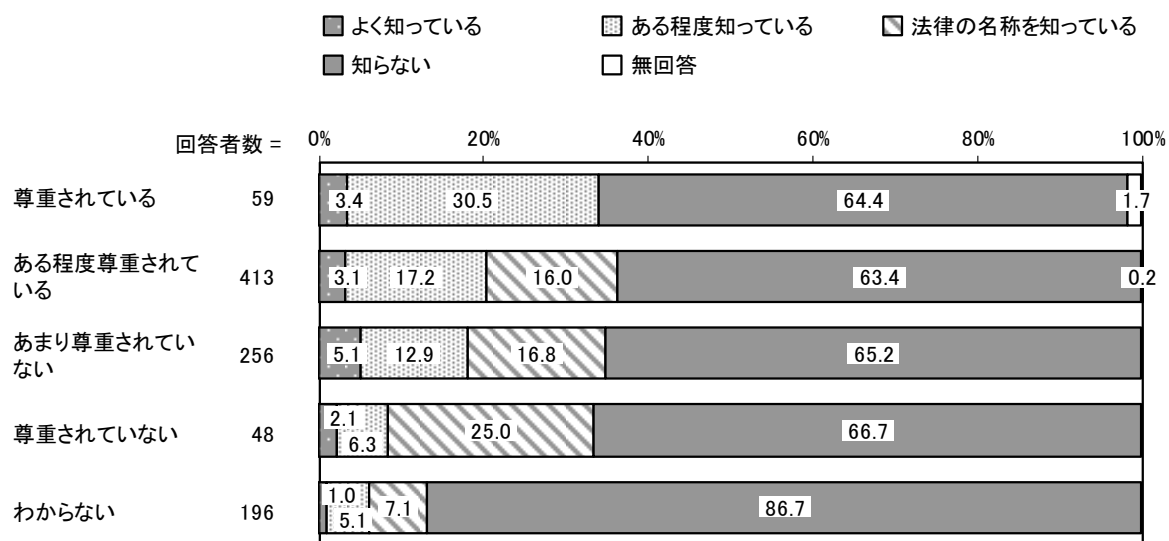
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「よく知っている」の割合が高くなっています。



### 【障害者の人権の認識度別】

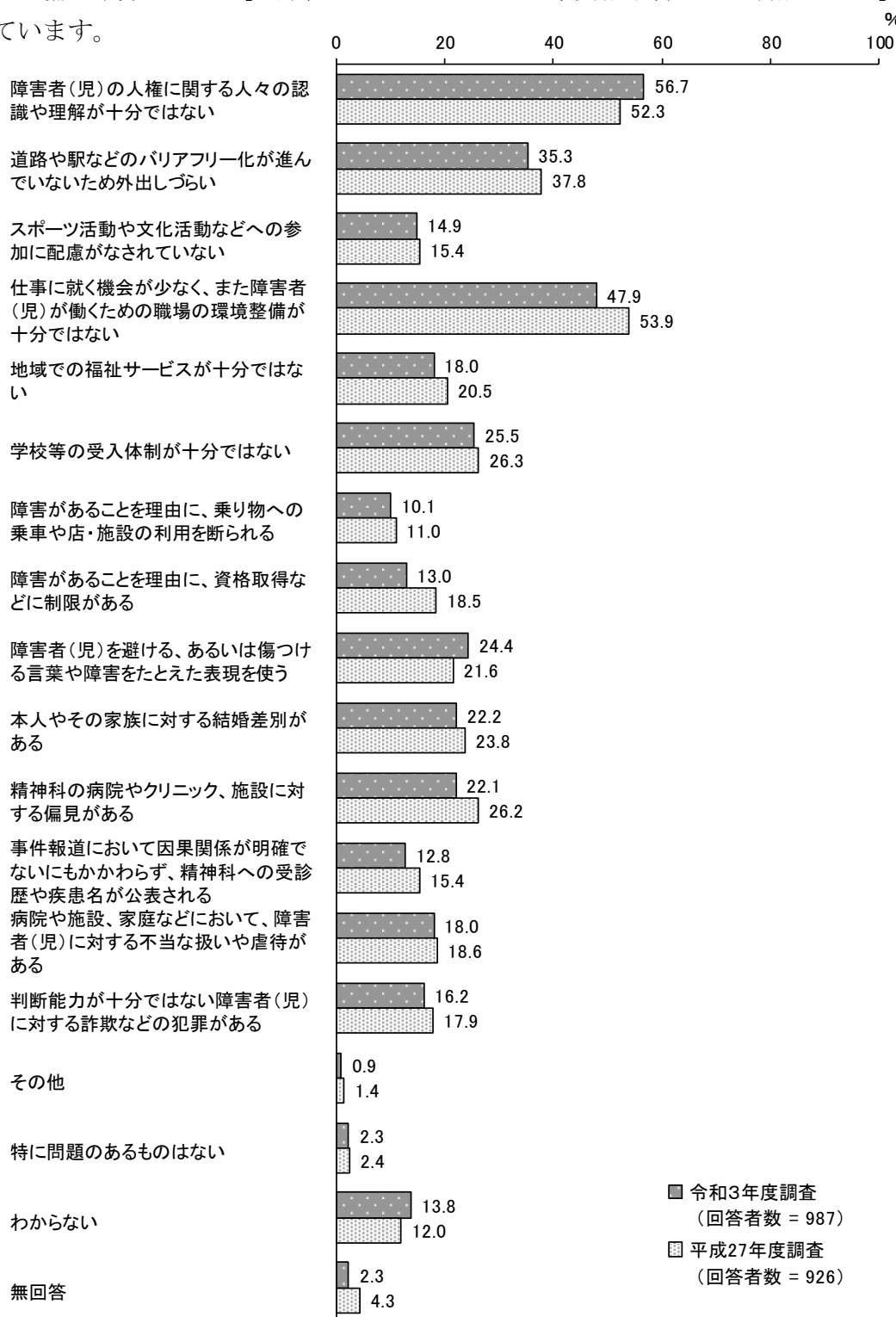
障害者の人権の認識度別でみると、他に比べ、尊重されているで「ある程度知っている」の割合が高くなっています。また、尊重されていないで「法律の名称を知っている」の割合が高くなっています。



問 18 あなたは、障害者について、どのような人権問題が起きていると思いますか。  
(〇はいくつでも可)

「障害者(児)の人権に関する人々の認識や理解が十分ではない」の割合が56.7%と最も高く、次いで「仕事に就く機会が少なく、また障害者(児)が働くための職場の環境整備が十分ではない」の割合が47.9%、「道路や駅などのバリアフリー化が進んでいないため外出しづらい」の割合が35.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「仕事に就く機会が少なく、また障害者(児)が働くための職場の環境整備が十分ではない」「障害があることを理由に、資格取得などに制限がある」の割合が減少しています。





【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「道路や駅などのバリアフリー化が進んでいないため外出しづらい」「学校等の受入体制が十分ではない」「精神科の病院やクリニック、施設に対する偏見がある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	障害者(児)の人権に関する人々の認識や理解が十分ではない	道路や駅などのバリアフリー化が進んでいないため外出しづらい	スポーツ活動や文化活動などへの参加に配慮がなされていない	働くための職場の環境整備が十分ではない	地域での福祉サービスが十分ではない	学校等の受入体制が十分ではない	障害があることを理由に、乗り物への乗車や店・施設の利用を断られる	障害があることを理由に、資格取得などに制限がある	障害者(児)を避ける、あるいは傷つける言葉や障害をたとえた表現を使う
女性	539	59.0	39.5	16.0	48.2	18.7	28.6	10.6	14.5	26.3
男性	439	54.4	30.1	13.9	47.8	17.5	22.1	9.6	11.4	22.1

区分	本人やその家族に対する結婚差別がある	精神科の病院やクリニック、施設に対する偏見がある	事件報道において因果関係が明確でないにもかかわらず、精神科への受診歴や疾患名が公表される	病院や施設、家庭などにおいて、障害者(児)に対する不当な扱いや虐待がある	判断能力が十分ではない障害者(児)に対する詐欺などの犯罪がある	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
女性	23.4	25.2	13.9	20.4	20.4	0.7	2.0	13.2	1.9
男性	21.0	18.0	11.6	15.5	11.4	1.1	2.7	14.1	2.7

## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「スポーツ活動や文化活動などへの参加に配慮がなされていない」「病院や施設、家庭などにおいて、障害者（児）に対する不当な扱いや虐待がある」の割合が、20歳代で「障害者（児）の人権に関する人々の認識や理解が十分ではない」「障害者（児）を避ける、あるいは傷つける言葉や障害をたとえた表現を使う」の割合が高くなっています。また、40歳代で「仕事に就く機会が少なく、また障害者（児）が働くための職場の環境整備が十分ではない」「本人やその家族に対する結婚差別がある」の割合が、60歳代で「道路や駅などのバリアフリー化が進んでいないため外出しづらい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	障害者（児）の人権に関する人々の認識や理解が十分ではない	道路や駅などのバリアフリー化が進んでいないため外出しづらい	スポーツ活動や文化活動などへの参加に配慮がなされていない	仕事に就く機会が少なく、また障害者（児）が働くための職場の環境整備が十分ではない	地域での福祉サービスが十分ではない	学校等の受入体制が十分ではない	障害があることを理由に、乗り物への乗車や店・施設の利用を断られる	障害があることを理由に、資格取得などに制限がある	障害者（児）を避ける、あるいは傷つける言葉や障害をたとえた表現を使う
20歳未満	18	50.0	11.1	27.8	33.3	5.6	11.1	—	5.6	22.2
20歳代	84	71.4	27.4	20.2	47.6	21.4	32.1	16.7	19.0	56.0
30歳代	135	64.4	37.0	18.5	49.6	20.0	36.3	13.3	17.8	38.5
40歳代	150	63.3	38.7	16.7	56.7	19.3	29.3	14.0	18.7	36.7
50歳代	169	57.4	33.7	11.2	47.3	20.7	29.6	8.9	11.2	18.3
60歳代	212	56.6	45.3	13.7	48.6	17.5	23.1	6.6	10.8	12.3
70歳以上	214	42.1	28.5	12.6	42.5	14.5	14.5	8.4	7.9	11.7

(次のページへ)

単位：%

区分	本人やその家族に対する結婚差別がある	精神科の病院やクリニック、施設に対する偏見がある	事件報道において因果関係が明確でないにもかかわらず、精神科への受診歴や疾患名が公表される	病院や施設、家庭などにおいて、障害者（児）に対する不当な扱いや虐待がある	判断能力が十分ではない障害者（児）に対する詐欺などの犯罪がある	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
20歳未満	—	22.2	16.7	27.8	—	—	5.6	11.1	5.6
20歳代	25.0	26.2	21.4	22.6	15.5	—	—	7.1	2.4
30歳代	23.7	25.9	18.5	21.5	17.8	2.2	3.7	9.6	1.5
40歳代	30.7	29.3	18.0	20.0	21.3	2.0	2.0	11.3	0.7
50歳代	24.9	27.8	8.3	19.5	18.9	—	2.4	10.7	0.6
60歳代	21.7	16.5	11.8	14.6	16.0	0.5	1.9	13.2	1.9
70歳以上	14.5	14.0	6.5	14.5	11.7	0.9	2.8	23.4	5.1

【高齢者の人権の認識度別】

高齢者の人権の認識度別でみると、他に比べ、尊重されていないで「仕事に就く機会が少なく、また障害者（児）が働くための職場の環境整備が十分ではない」「地域での福祉サービスが十分ではない」「障害があることを理由に、乗り物への乗車や店・施設の利用を断られる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	障害者（児）の人権に関する人々の認識や理解が十分ではない	道路や駅などのバリアフリー化が進んでいないため外出しづらい	スポーツ活動や文化活動などへの参加に配慮がなされていない	仕事に就く機会が少なく、また障害者（児）が働くための職場の環境整備が十分ではない	地域での福祉サービスが十分ではない	学校等の受入体制が十分ではない	障害があることを理由に、乗り物への乗車や店・施設の利用を断られる	障害があることを理由に、資格取得などに制限がある	障害者（児）を避ける、あるいは傷つける言葉や障害をたとえた表現を使う
尊重されている	145	53.1	37.2	11.0	50.3	13.8	26.2	14.5	12.4	21.4
ある程度尊重されている	583	57.8	35.2	15.1	49.6	17.3	25.7	9.1	13.0	25.2
あまり尊重されていない	109	61.5	42.2	20.2	51.4	25.7	32.1	11.0	15.6	29.4
尊重されていない	23	69.6	43.5	21.7	56.5	47.8	39.1	21.7	30.4	34.8
わからない	107	45.8	25.2	10.3	31.8	15.0	12.1	5.6	7.5	18.7

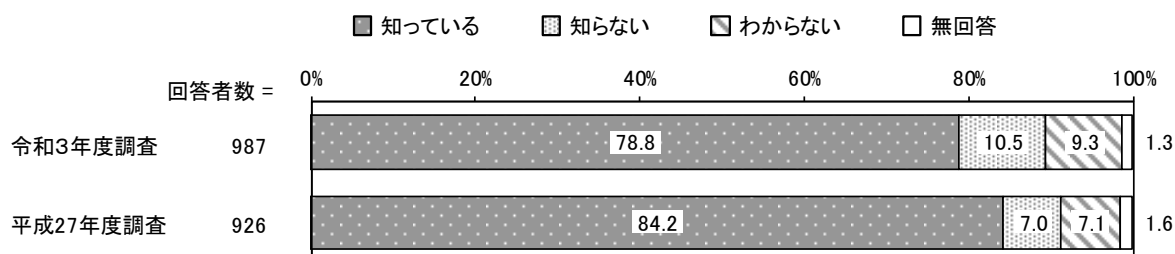
区分	本人やその家族に対する結婚差別がある	精神科の病院やクリニック、施設に対する偏見がある	事件報道において因果関係が明確でないにもかかわらず、精神科への受診歴や疾患名が公表される	病院や施設、家庭などにおいて、障害者（児）に対する不当な扱いや虐待がある	判断能力が十分ではない障害者（児）に対する詐欺などの犯罪がある	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
尊重されている	21.4	26.2	11.0	15.2	12.4	2.1	6.2	4.8	2.1
ある程度尊重されている	23.8	20.4	13.0	18.9	17.0	0.9	1.7	13.7	1.5
あまり尊重されていない	23.9	26.6	12.8	21.1	19.3	—	0.9	8.3	1.8
尊重されていない	30.4	34.8	21.7	39.1	30.4	4.3	—	17.4	—
わからない	15.0	16.8	10.3	10.3	9.3	—	2.8	30.8	5.6

## 7 同和問題について

### 問 19 あなたは、同和地区があることを知っていますか。(〇は1つ)

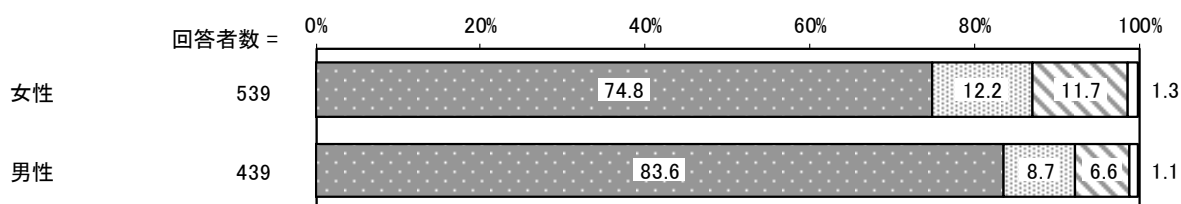
「知っている」の割合が78.8%と最も高く、次いで「知らない」の割合が10.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「知っている」の割合が減少しています。



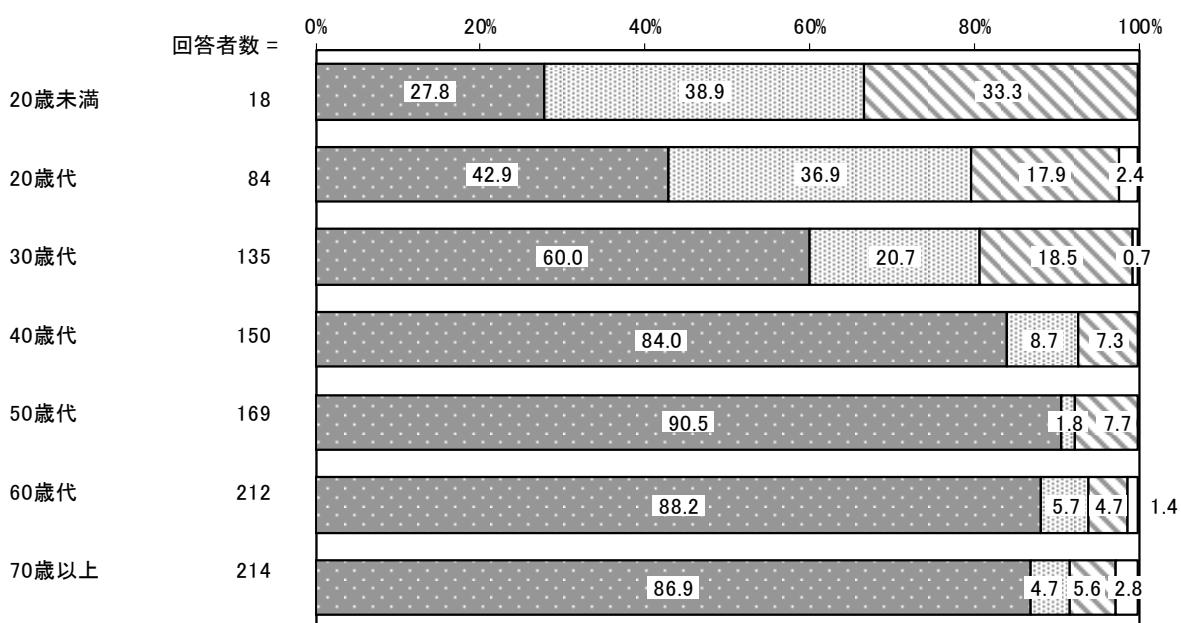
#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「知っている」の割合が高くなっています。



#### 【年齢別】

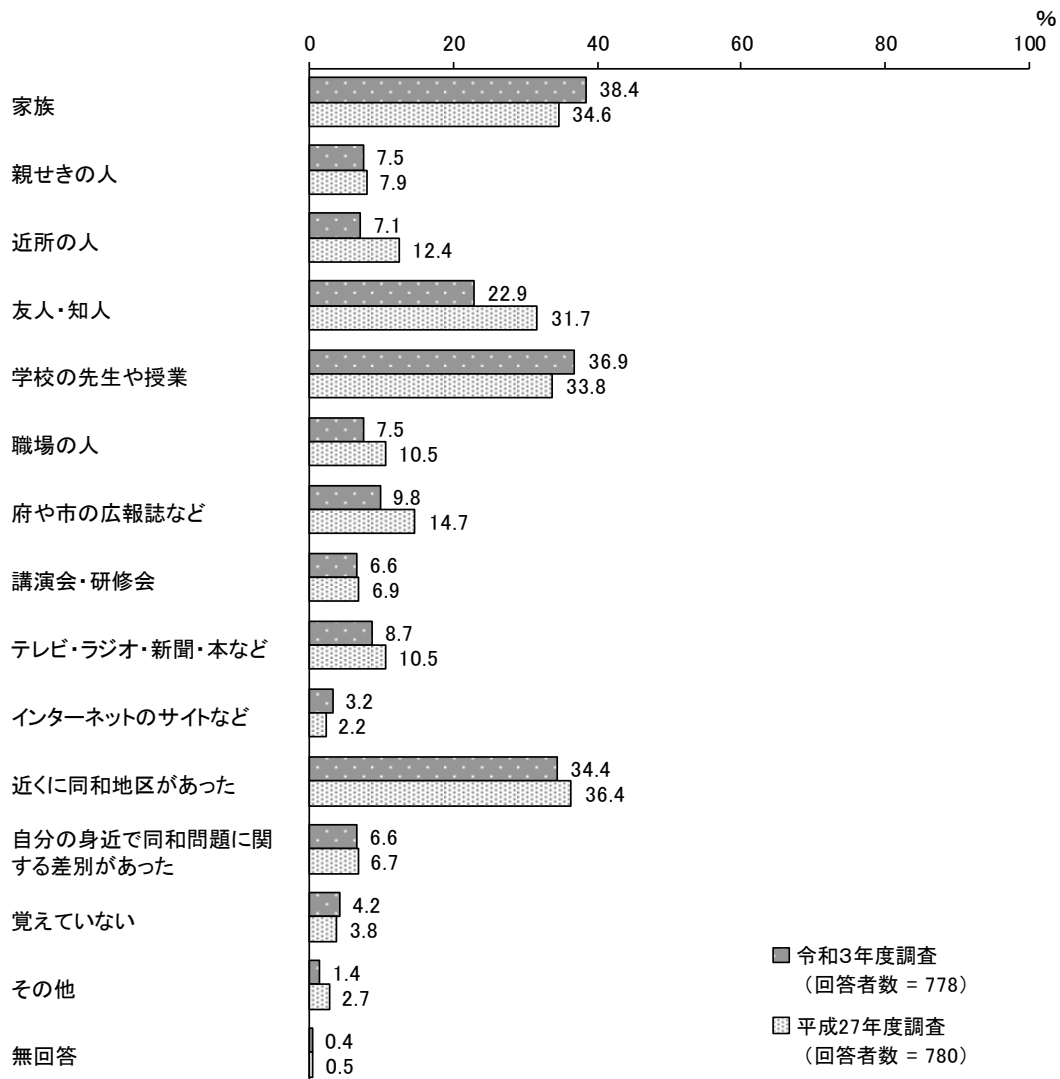
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「知っている」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 20 同和地区があることを知っている場合は、どのようにして知りましたか。

「家族」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「学校の先生や授業」の割合が 36.9%、「近くに同和地区があった」の割合が 34.4%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「近所の人」「友人・知人」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族」「学校の先生や授業」の割合が高くなっています。また、男性で「友人・知人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族	親せきの人	近所の人	友人・知人	学校の先生や授業	職場の人	府や市の広報誌など	講演会・研修会	テレビ・ラジオ・新聞・本など	インターネットのサイトなど	近くに同和地区があった	自分の身近で同和問題に関する差別	覚えていない	その他	無回答
女性	403	41.4	5.5	6.2	16.4	42.4	6.7	10.9	4.5	8.4	2.0	35.2	6.7	3.5	1.5	0.5
男性	367	34.9	9.8	8.2	30.0	31.3	8.4	8.4	9.0	9.3	4.6	34.1	6.5	4.9	1.4	0.3

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「学校の先生や授業」の割合が、70歳以上で「府や市の広報誌など」「テレビ・ラジオ・新聞・本など」「近くに同和地区があった」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「友人・知人」の割合が高くなる傾向がみられます。

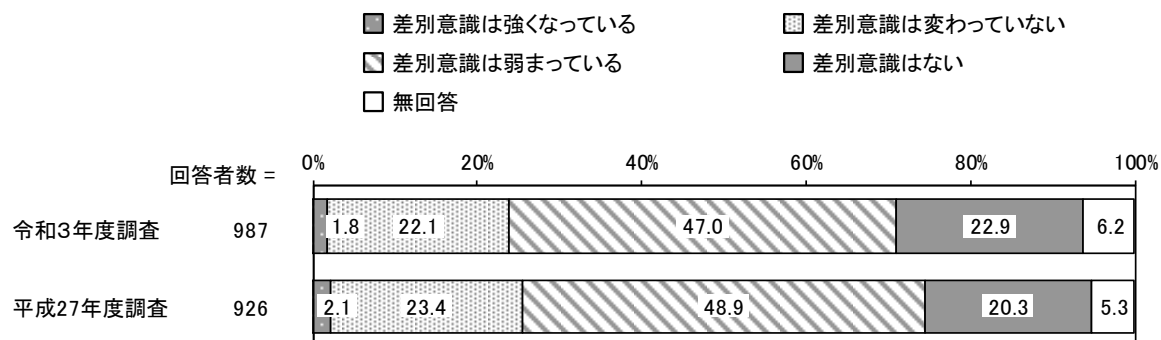
単位：％

区分	回答者数(件)	家族	親せきの人	近所の人	友人・知人	学校の先生や授業	職場の人	府や市の広報誌など	講演会・研修会	テレビ・ラジオ・新聞・本など	インターネットのサイトなど	近くに同和地区があった	自分の身近で同和問題に関する差別	覚えていない	その他	無回答
20歳未満	5	20.0	—	—	—	40.0	—	—	—	—	—	40.0	—	—	20.0	—
20歳代	36	44.4	2.8	—	2.8	50.0	5.6	5.6	2.8	2.8	11.1	13.9	—	2.8	—	—
30歳代	81	37.0	8.6	4.9	13.6	60.5	12.3	2.5	9.9	2.5	8.6	22.2	6.2	3.7	2.5	—
40歳代	126	42.9	9.5	9.5	15.9	56.3	9.5	4.0	4.8	5.6	4.8	32.5	7.1	3.2	1.6	0.8
50歳代	153	46.4	5.2	6.5	27.5	43.1	9.8	3.9	2.0	8.5	1.3	37.3	5.2	3.9	0.7	—
60歳代	187	41.7	7.5	3.7	26.7	30.5	3.2	11.2	8.6	8.6	2.1	32.1	7.0	5.3	1.1	0.5
70歳以上	186	25.8	8.6	11.8	28.0	12.4	7.0	21.5	9.1	15.6	1.1	45.7	8.6	4.3	1.6	0.5

**問 21 同和地区や同和地区の人への差別意識について、いまでも残っていると思いますか。**

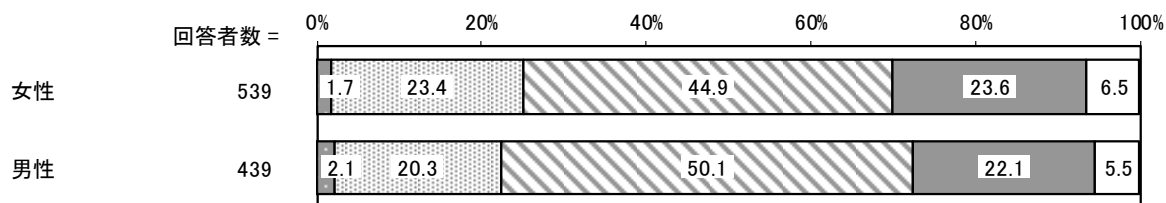
「差別意識は弱まっている」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「差別意識はない」の割合が 22.9%、「差別意識は変わっていない」の割合が 22.1%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



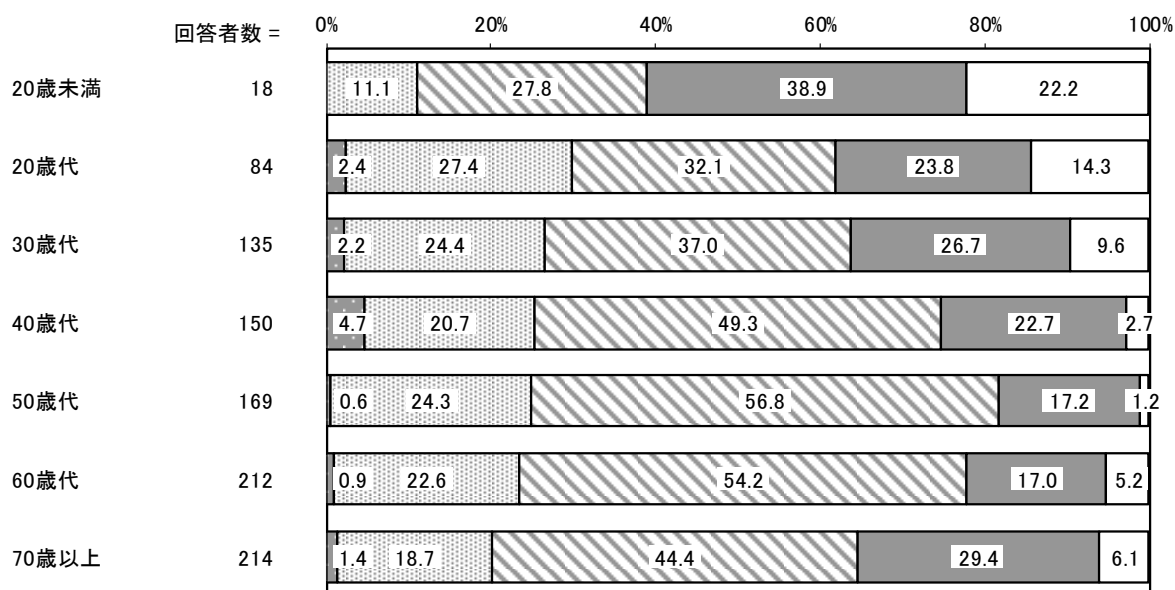
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「差別意識は弱まっている」の割合が高くなっています。



**【年齢別】**

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「差別意識はない」の割合が、50歳代、60歳代で「差別意識は弱まっている」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「差別意識は弱まっている」の割合が高くなる傾向がみられます。

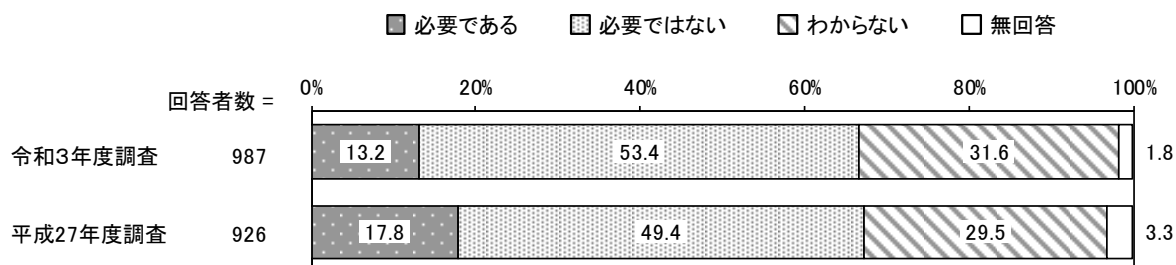




**問 22 あなたやあなたの子どもが結婚する場合、結婚相手の身元調査をする必要があると思いますか。(○は1つ)**

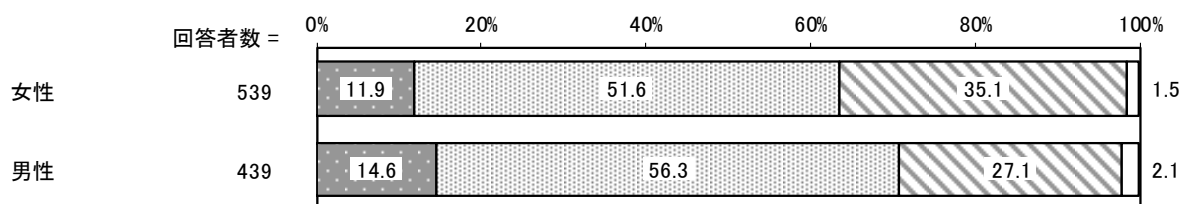
「必要ではない」の割合が53.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が31.6%、「必要である」の割合が13.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



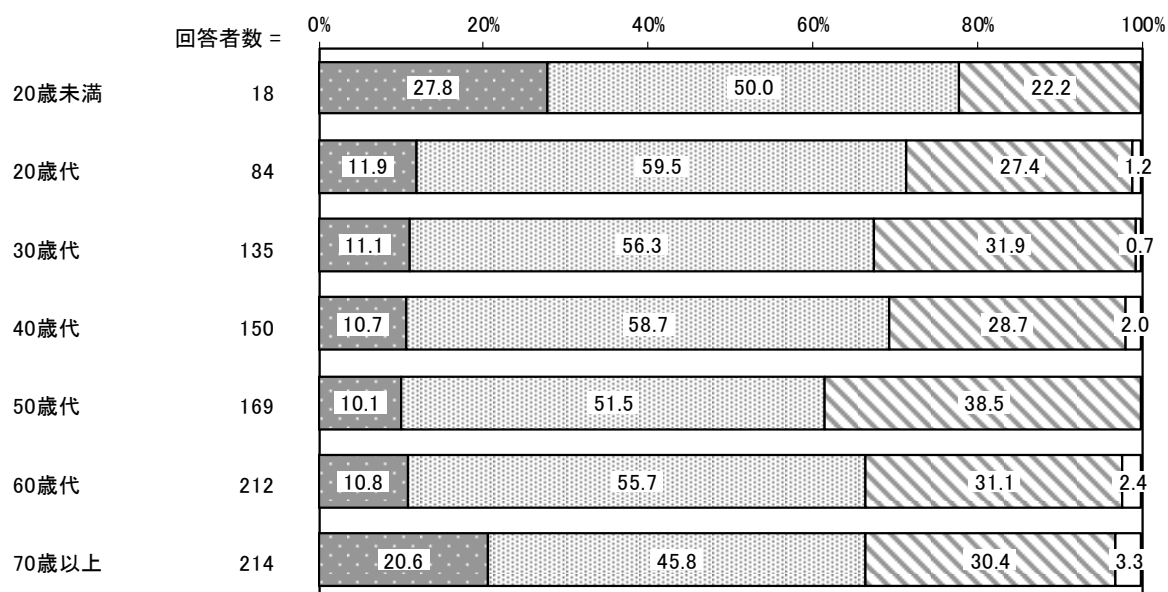
**【性別】**

性別で見ると、女性に比べ、男性で「必要ではない」の割合が高くなっています。



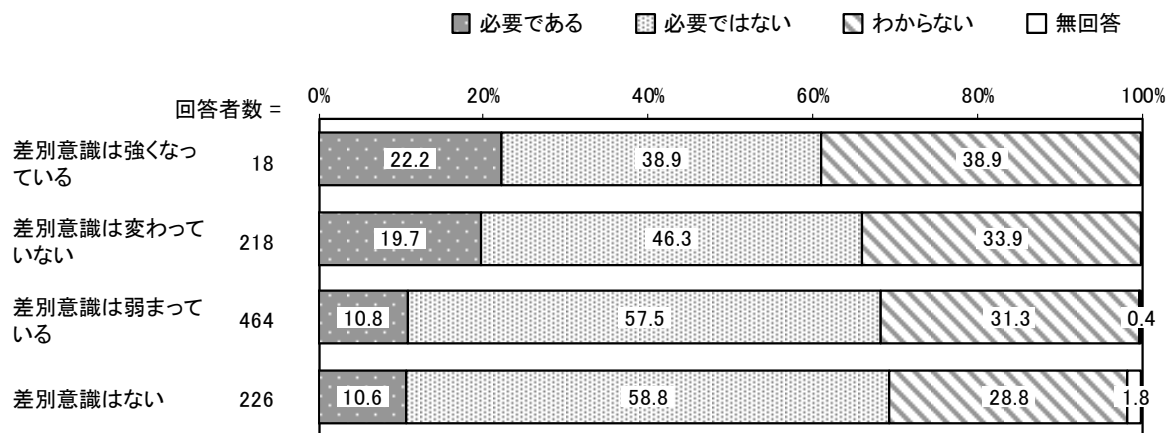
**【年齢別】**

年齢別で見ると、他に比べ、20歳未満で「必要である」の割合が高くなっています。



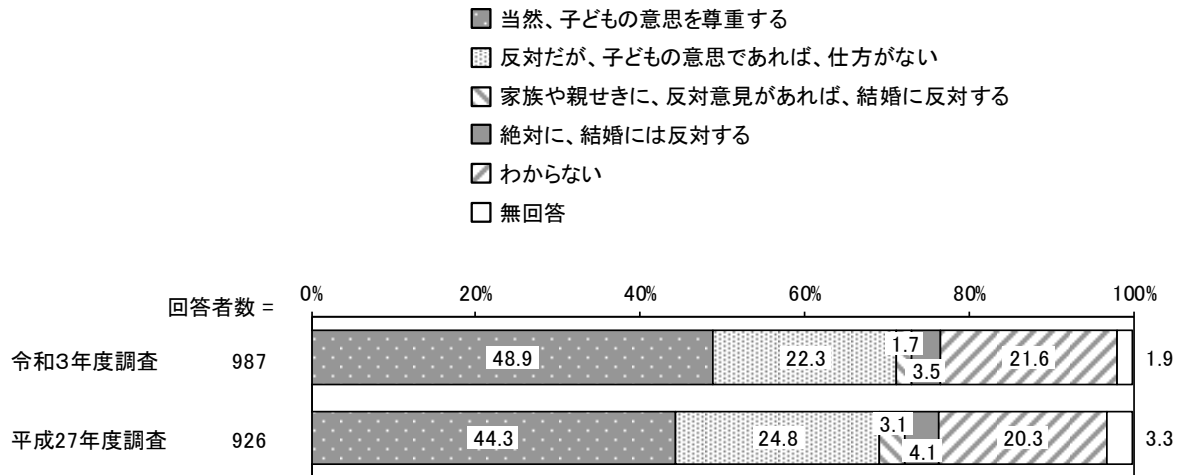
### 【同和地区や同和地区の人への差別意識への認識度別】

同和地区や同和地区の人への差別意識への認識度別でみると、他に比べ、差別意識は弱まっている、差別意識はないで「必要ではない」の割合が高くなっています。



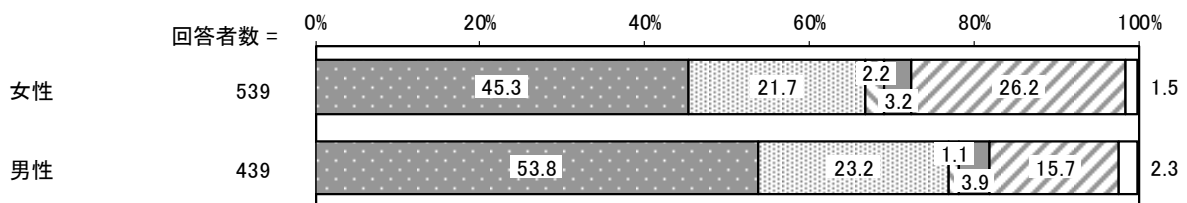
**問 23 仮に、あなたに子どもがおり、あなたの子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身であるとわかったとき、あなたはどのようにしますか。(○は1つ)**

「当然、子どもの意思を尊重する」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「反対だが、子どもの意思であれば、仕方がない」の割合が 22.3%、「わからない」の割合が 21.6%となっています。平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**【性別】**

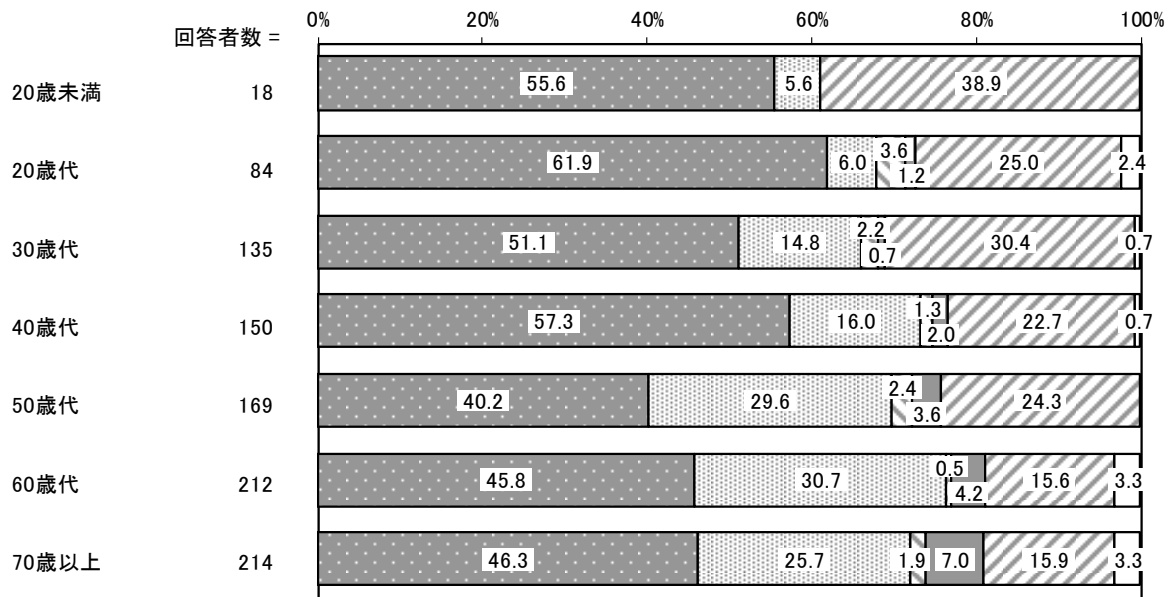
性別で見ると、女性に比べ、男性で「当然、子どもの意思を尊重する」の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

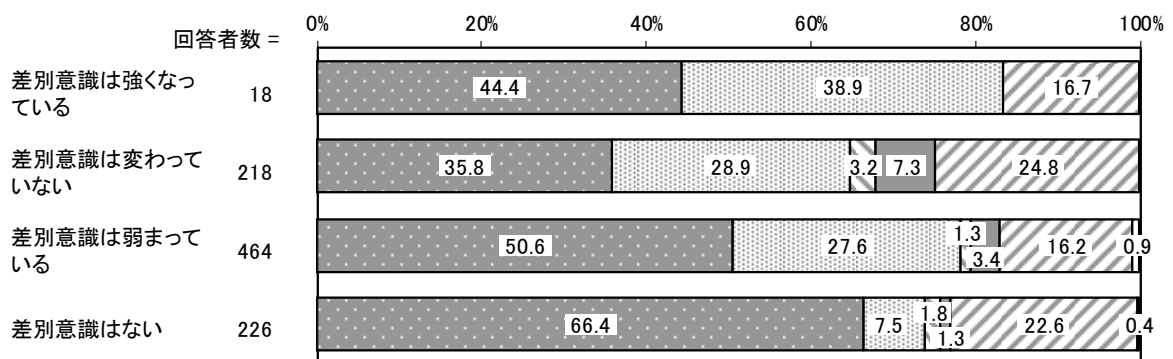
年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「当然、子どもの意思を尊重する」の割合が高くなっています。また、50歳代、60歳代で「反対だが、子どもの意思であれば、仕方がない」の割合が高くなっています。

- 当然、子どもの意思を尊重する
- ▨ 反対だが、子どもの意思であれば、仕方がない
- ▩ 家族や親せきに、反対意見があれば、結婚に反対する
- 絶対に、結婚には反対する
- ▨ わからない
- 無回答



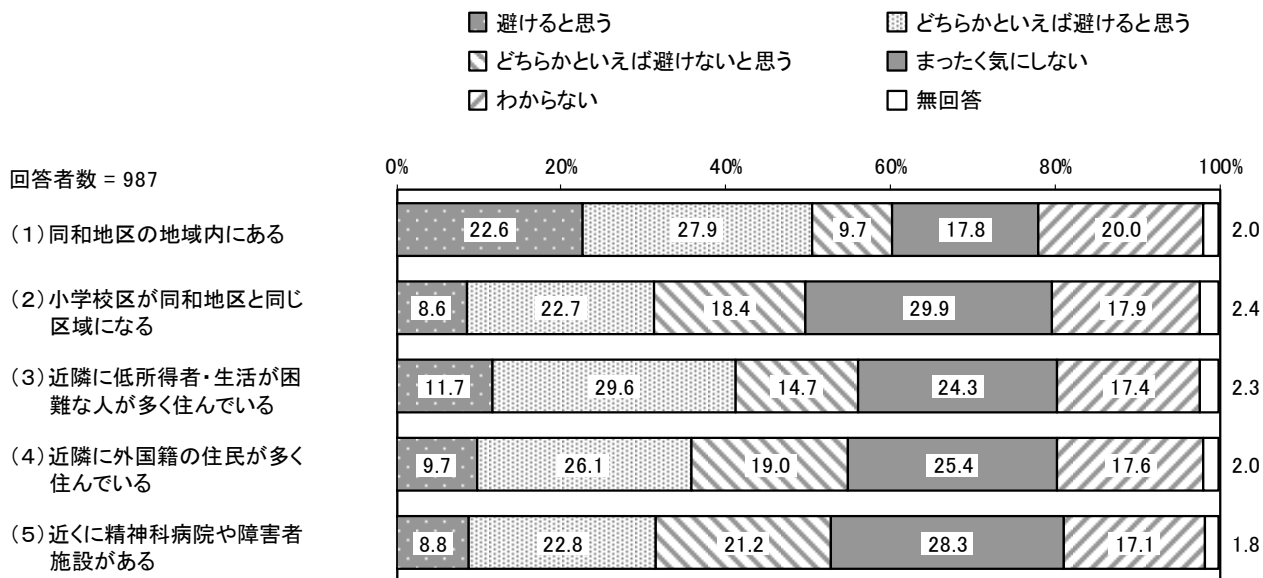
### 【同和地区や同和地区の人への差別意識への認識度】

同和地区や同和地区の人への差別意識への認識度別でみると、他に比べ、差別意識はないで「当然、子どもの意思を尊重する」の割合が高くなっています。また、差別意識は強くなっているで「反対だが、子どもの意思であれば、仕方がない」の割合が高くなっています。



**問 24** あなたが住居を選ぶ際（購入、賃貸契約等）、価格や立地条件などが条件にあっても次のような条件の物件の場合、避けることがありますか。  
（それぞれに○は1つずつ）

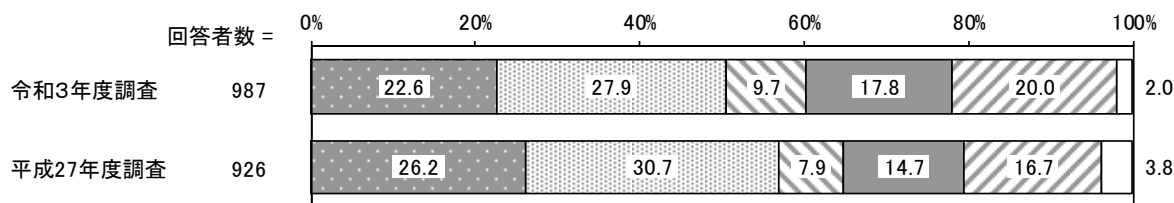
他に比べ、『(1) 同和地区の地域内にある』で「避けると思う」と「どちらかといえば避けると思う」を合わせた“避けると思う”の割合が50.5%と高くなっています。



**(1) 同和地区の地域内にある**

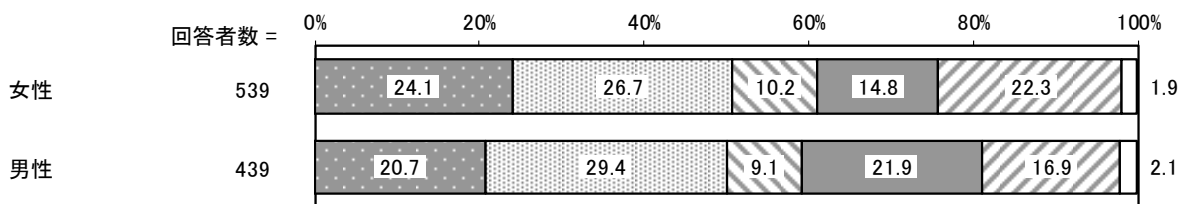
**【前回調査との比較】**

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



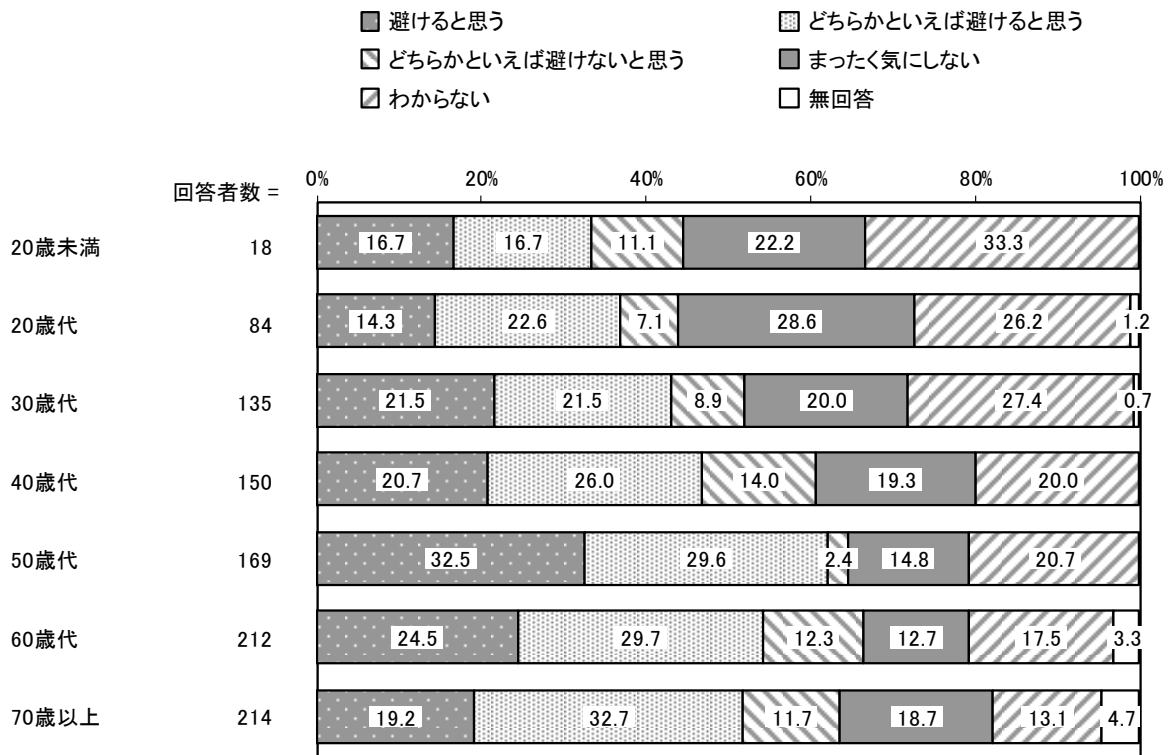
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらかといえば避けたくない」と「まったく気にしない」を合わせた“気にしない”の割合が高くなっています。



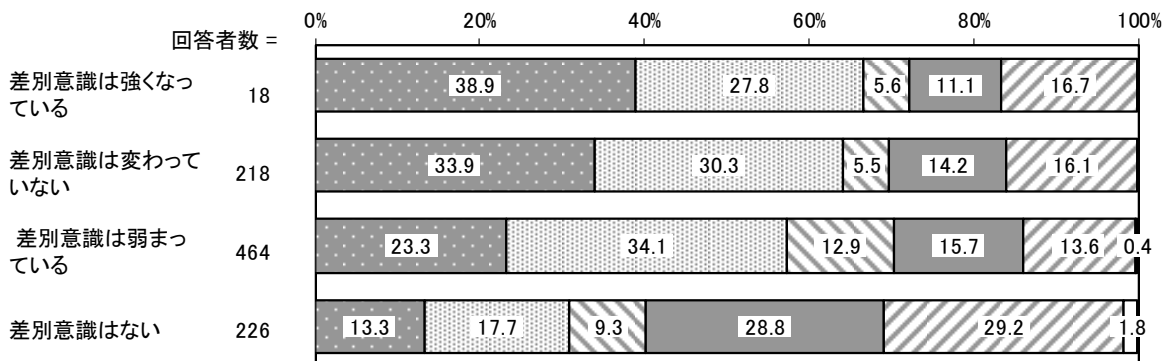
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満、20歳代で“気にしない”の割合が高くなっています。また、50歳代で“避けると思う”の割合が高くなっています。



### 【同和地区や同和地区の人への差別意識への認識度】

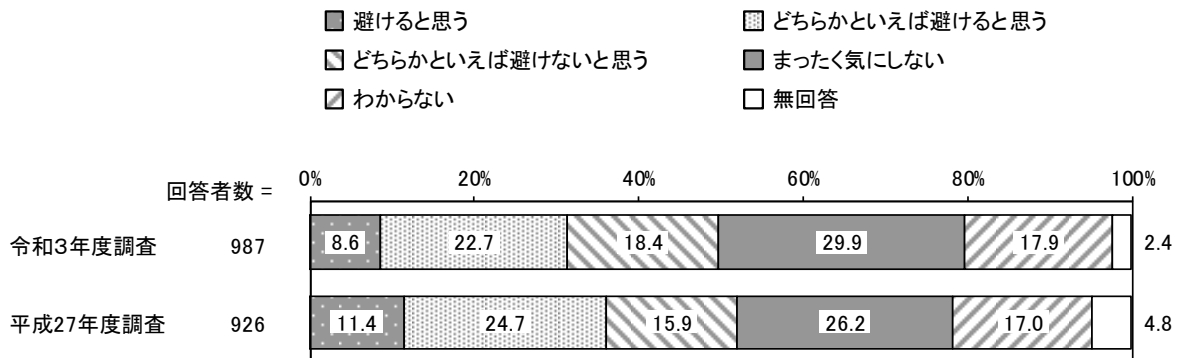
同和地区や同和地区の人への差別意識への認識度別でみると、他に比べ、差別意識は強くなっているで“避けると思う”の割合が高くなっています。また、差別意識はないで“気にしない”の割合が高くなっています。



(2) 小学校区が同和地区と同じ区域になる

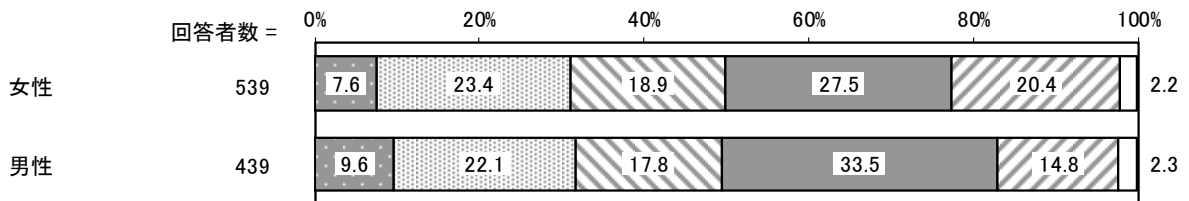
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



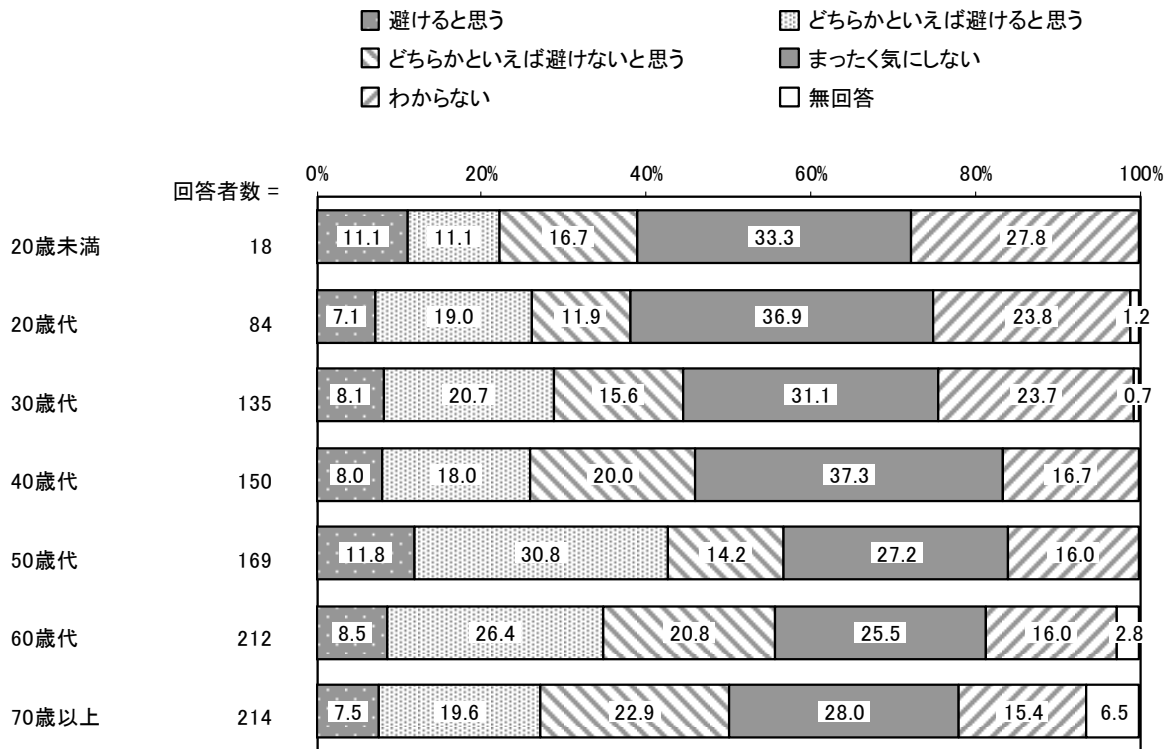
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“気にしない”の割合が高くなっています。



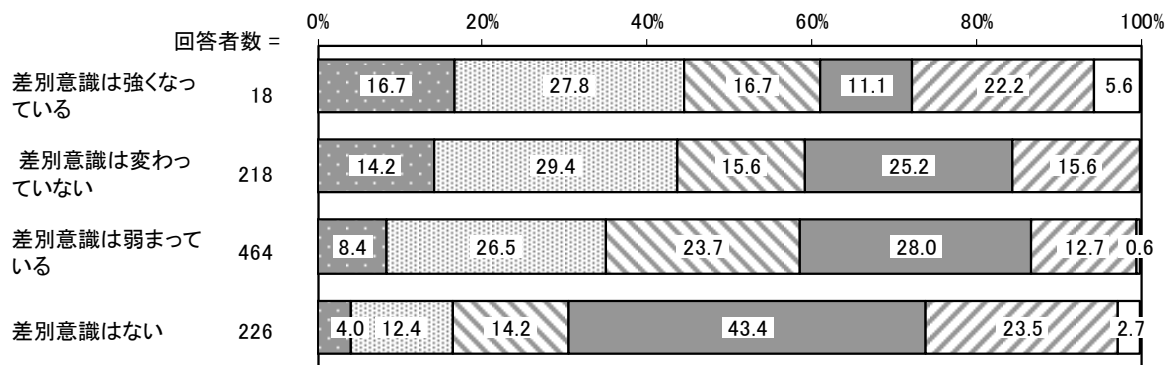
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳代で“避けると思う”の割合が高くなっています。



### 【同和地区や同和地区の人への差別意識への認識度】

同和地区や同和地区の人への差別意識への認識度別でみると、他に比べ、差別意識はないで“気にしない”の割合が高くなっています。

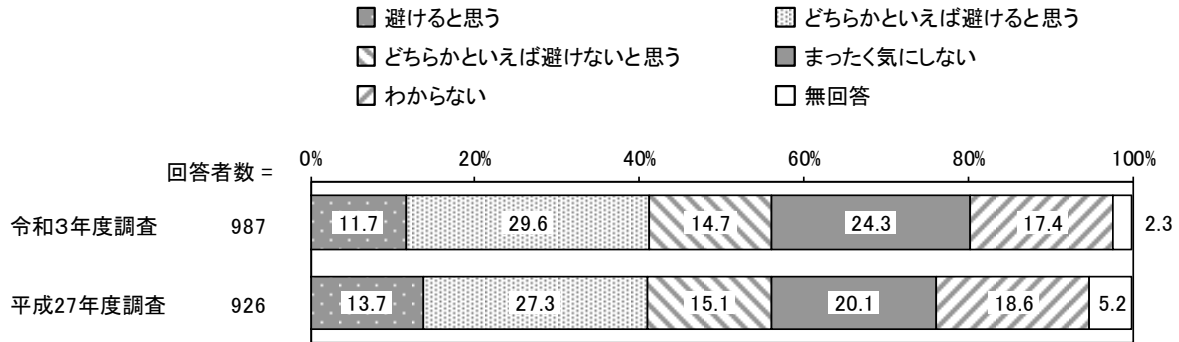




(3) 近隣に低所得者・生活が困難な人が多く住んでいる

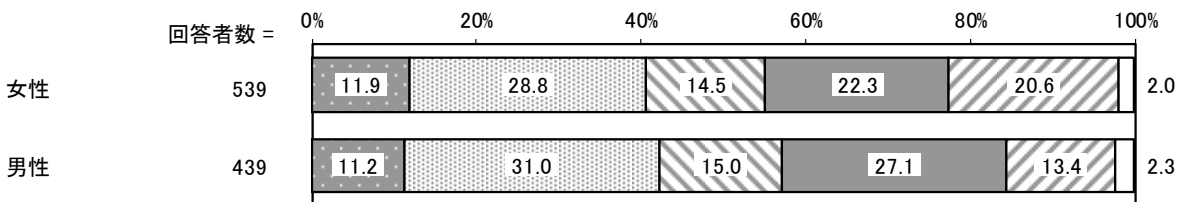
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



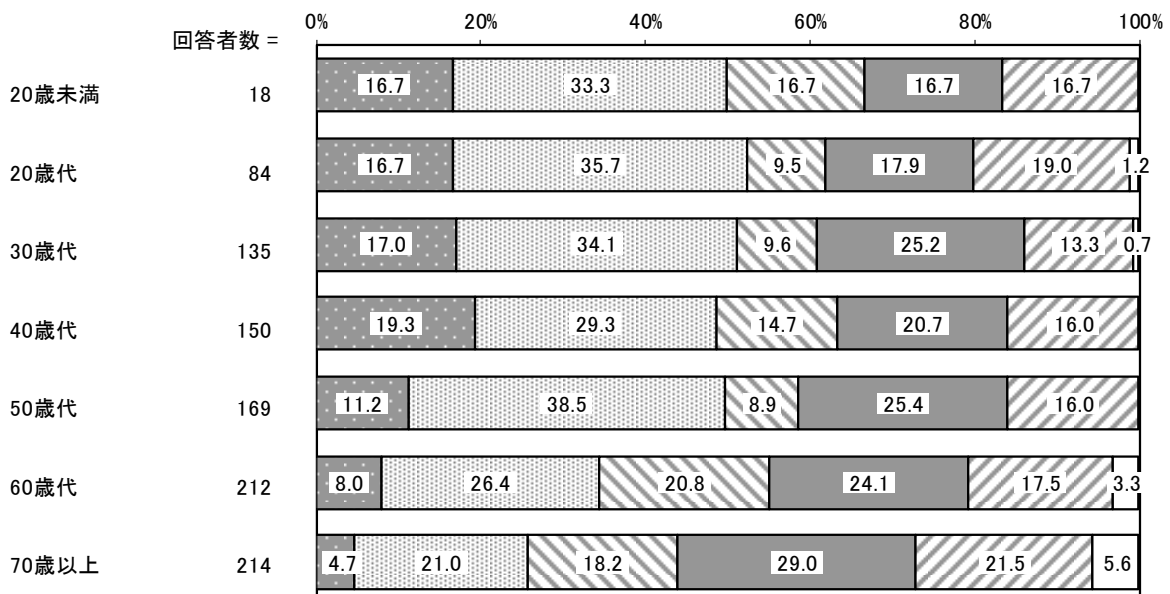
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“気にしない”の割合が高くなっています。



【年齢別】

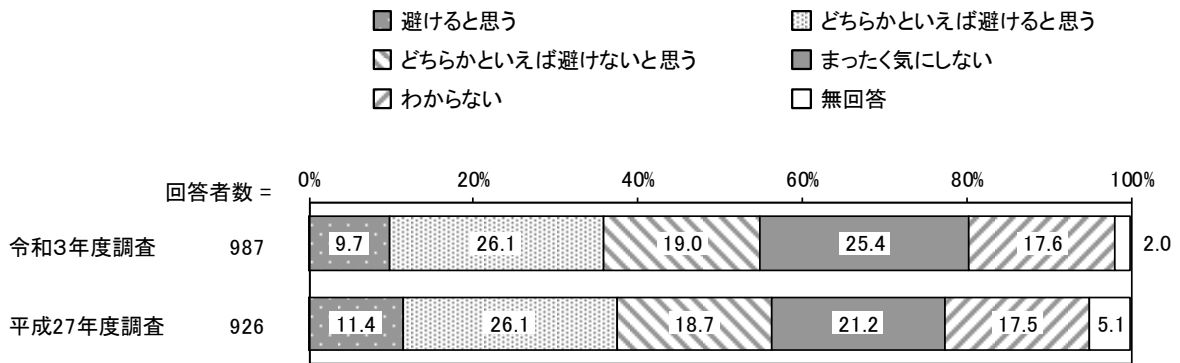
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“気にしない”の割合が高くなっています。



(4) 近隣に外国籍の住民が多く住んでいる

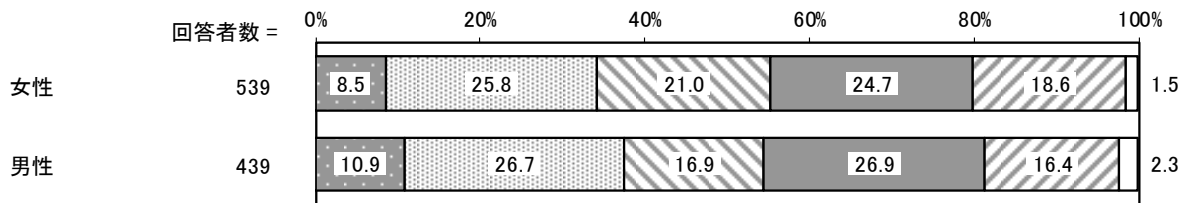
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



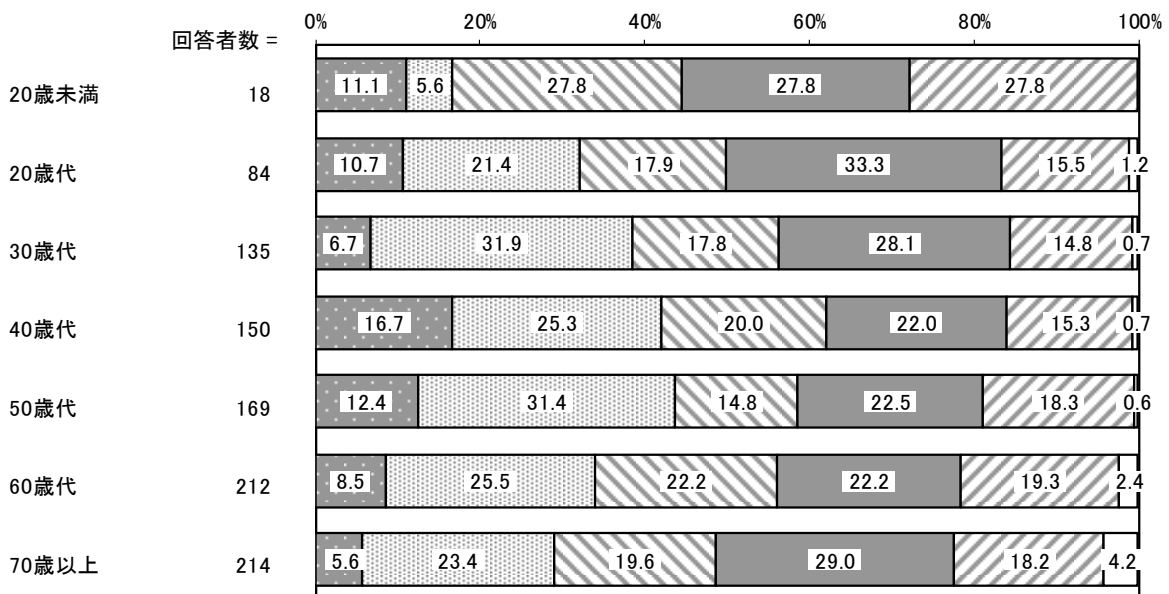
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

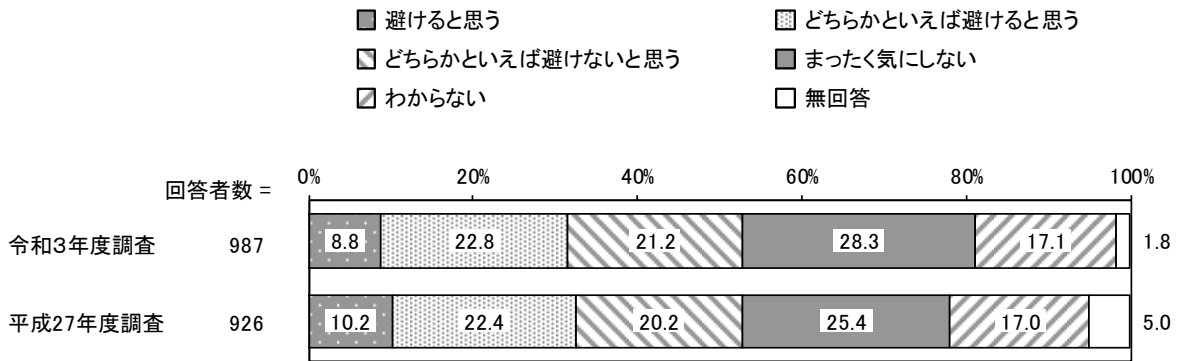
年齢別でみると、他に比べ、20歳未満、20歳代で“気にしない”の割合が高くなっています。



(5) 近くに精神科病院や障害者施設がある

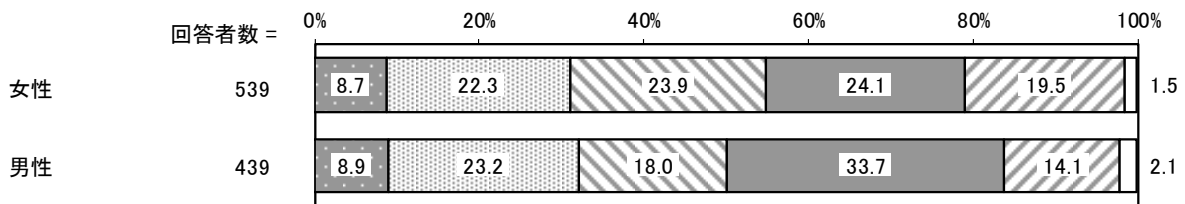
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



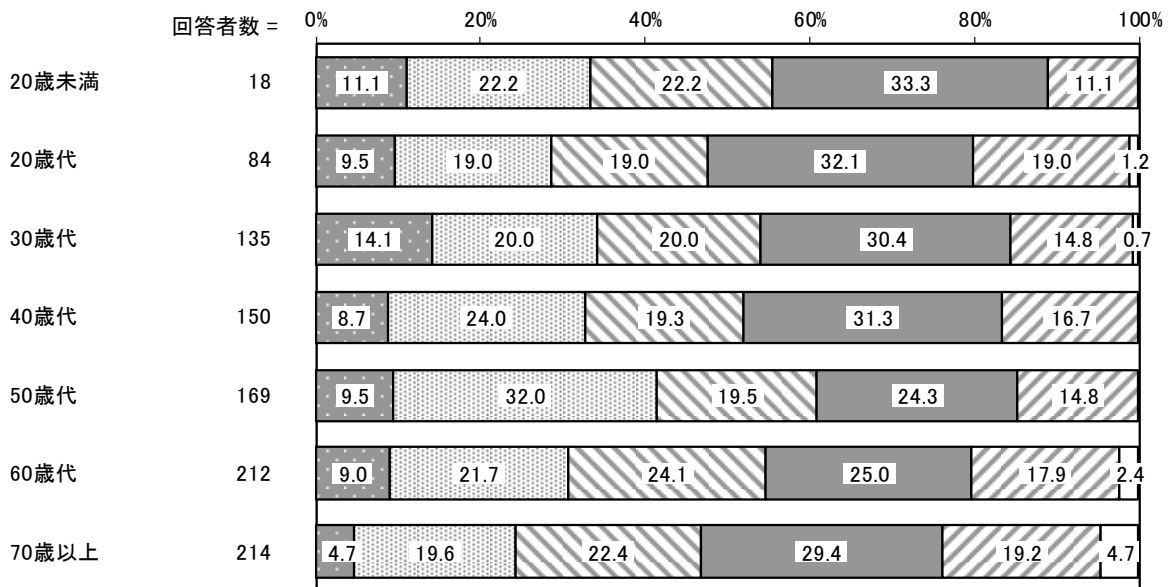
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“気にしない”の割合が高くなっています。



【年齢別】

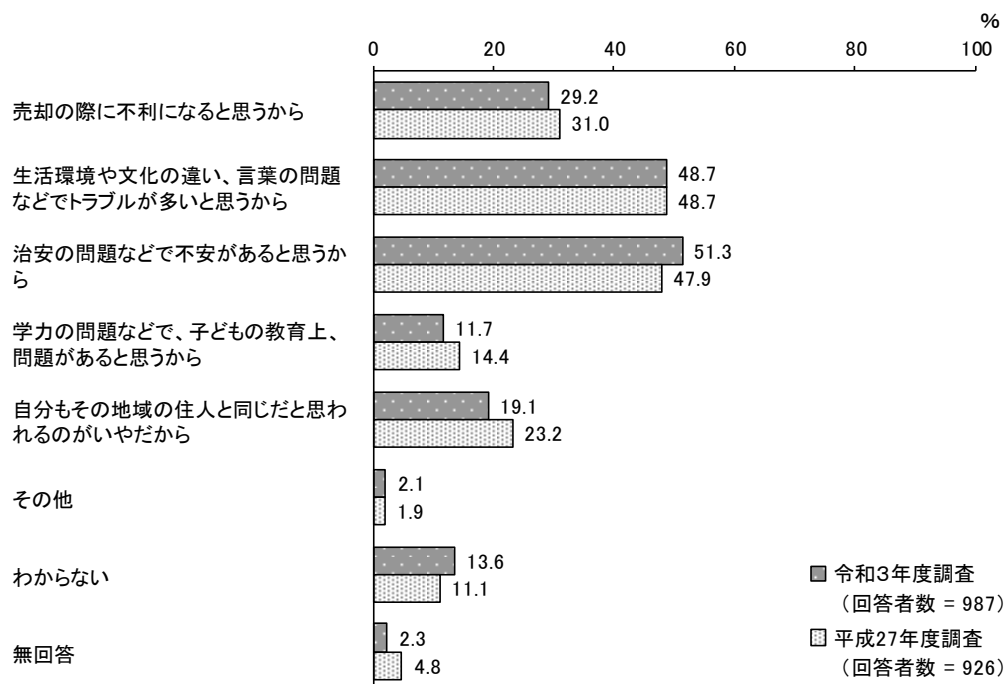
年齢別でみると、他に比べ、50歳代で“避けると思う”の割合が高くなっています。



問 25 問 24 のような場合に、住居の購入や入居を避ける人がいるのはなぜだと思いますか。 あなたのお考えに近いものを選んでください。(〇はいくつでも可)

「治安の問題などで不安があると思うから」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」の割合が 48.7%、「売却の際に不利になると思うから」の割合が 29.2%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	売却の際に不利になると思うから	生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから	治安の問題などで不安があると思うから	学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから	自分もその地域の住人と同じだと思われるのがいやだから	その他	わからない	無回答
女性	539	28.0	47.9	53.1	11.9	19.5	1.9	13.2	2.2
男性	439	31.0	50.3	49.2	11.4	19.1	2.5	13.4	2.5

### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代、30歳代で「治安の問題などで不安があると思うから」の割合が高くなっています。また、30歳代で「生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	売却の際に不利になると思うから	生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから	治安の問題などで不安があると思うから	学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから	自分もその地域の住人と同じだと思われるのがいやだから	その他	わからない	無回答
20歳未満	18	5.6	27.8	61.1	5.6	16.7	11.1	11.1	11.1
20歳代	84	9.5	47.6	71.4	17.9	21.4	2.4	13.1	—
30歳代	135	25.9	54.8	68.1	17.0	17.0	0.7	10.4	1.5
40歳代	150	30.0	50.7	66.0	11.3	18.7	3.3	8.7	0.7
50歳代	169	33.7	50.3	49.7	13.0	16.0	1.2	11.2	1.8
60歳代	212	32.5	50.0	40.1	9.9	22.6	3.3	14.2	1.9
70歳以上	214	33.6	44.4	34.6	7.5	19.6	0.9	19.6	5.1

### 【同和地区や同和地区の人への差別意識への認識度】

同和地区や同和地区の人への差別意識への認識度別でみると、他に比べ、差別意識は強くなっているで「売却の際に不利になると思うから」「治安の問題などで不安があると思うから」「学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから」の割合が高くなっています。差別意識は弱まっているで「生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	売却の際に不利になると思うから	生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから	治安の問題などで不安があると思うから	学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから	自分もその地域の住人と同じだと思われるのがいやだから	その他	わからない	無回答
差別意識は強くなっている	18	44.4	44.4	66.7	22.2	27.8	—	5.6	—
差別意識は変わっていない	218	31.2	49.1	51.8	14.7	25.2	1.8	10.1	0.9
差別意識は弱まっている	464	30.8	55.2	54.5	12.7	21.3	2.6	6.9	1.9
差別意識はない	226	25.7	39.4	45.6	6.6	11.5	0.9	24.8	4.0

### 【同和地区の地域内にある場合】

同和地区の地域内にある場合別でみると、他に比べ、避けると思うで「治安の問題などで不安があると思うから」「学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから」「自分もその地域の住人と同じだと思われるのがいやだから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	売却の際に不利になると思うから	生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから	治安の問題などで不安があると思うから	学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから	自分もその地域の住人と同じだと思われるのがいやだから	その他	わからない	無回答
避けると思う	223	35.0	59.2	59.2	17.5	31.8	2.7	4.9	1.8
どちらかといえば避けると思う	275	33.5	54.5	53.1	11.3	19.3	2.2	4.0	1.8
どちらかといえば避けないと思う	96	27.1	47.9	51.0	10.4	11.5	1.0	10.4	2.1
まったく気にしない	176	28.4	43.8	48.3	10.8	19.3	0.6	22.2	1.1
わからない	197	19.3	37.1	46.2	8.1	10.2	3.0	28.9	2.5

### 【小学校区が同和地区と同じ区域になる場合】

小学校区が同和地区と同じ区域になる場合別でみると、他に比べ、避けると思うで「売却の際に不利になると思うから」「治安の問題などで不安があると思うから」「学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから」「自分もその地域の住人と同じだと思われるのがいやだから」の割合が高くなっています。

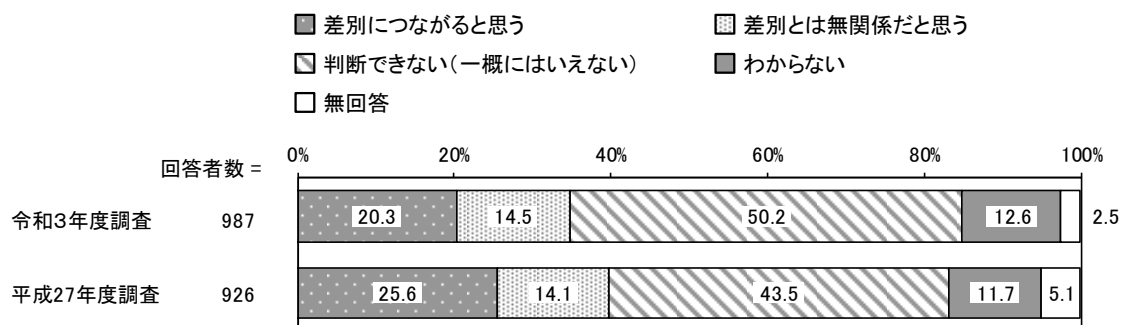
単位：％

区分	回答者数(件)	売却の際に不利になると思うから	生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから	治安の問題などで不安があると思うから	学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから	自分もその地域の住人と同じだと思われるのがいやだから	その他	わからない	無回答
避けると思う	85	40.0	58.8	64.7	23.5	37.6	4.7	3.5	1.2
どちらかといえば避けると思う	224	29.5	63.4	55.8	15.6	22.8	2.2	3.1	2.2
どちらかといえば避けないと思う	182	29.7	49.5	53.3	9.3	18.7	1.6	7.1	2.7
まったく気にしない	295	29.8	43.1	47.5	9.2	18.3	1.0	18.6	1.7
わからない	177	23.7	37.3	48.0	9.0	10.2	2.8	27.7	0.6

**問 26 あなたは、不動産取引の際に、問 25 のような理由で避けることをどう思いますか。(○は1つ)**

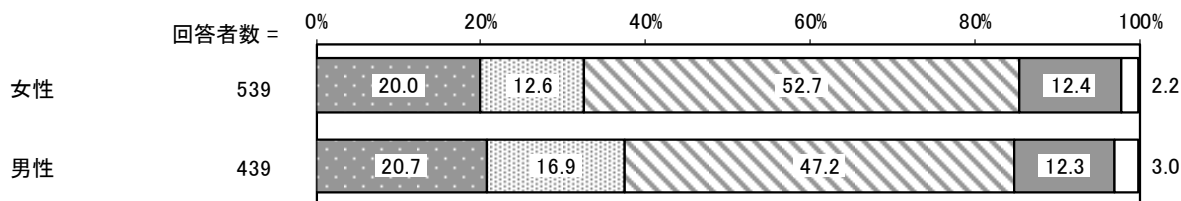
「判断できない(一概にはいえない)」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「差別につながると思う」の割合が 20.3%、「差別とは無関係だと思う」の割合が 14.5%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「判断できない(一概にはいえない)」の割合が増加しています。一方、「差別につながると思う」の割合が減少しています。



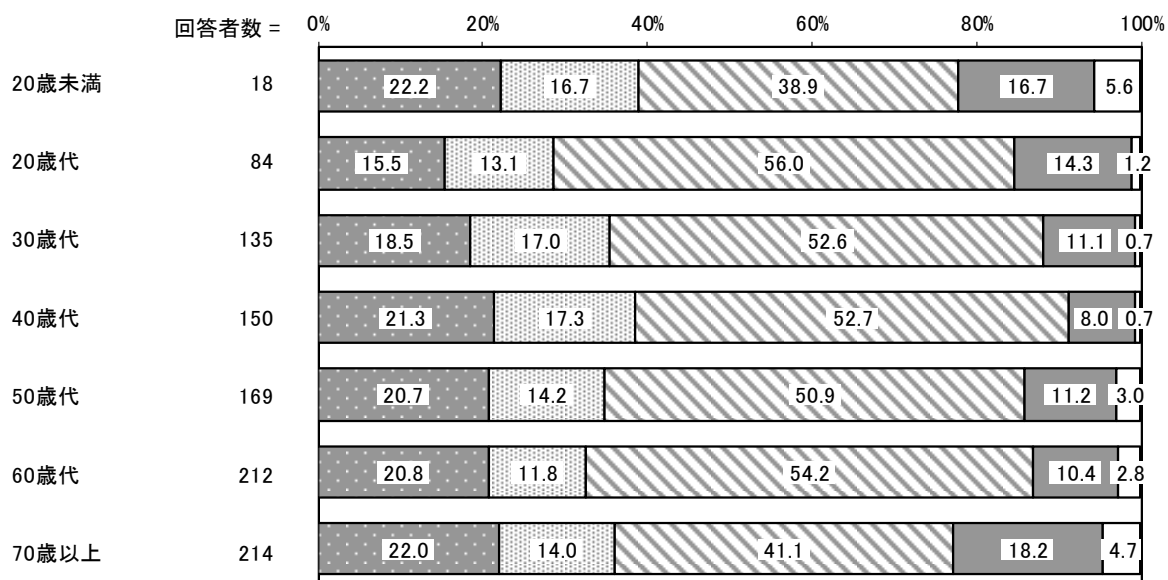
**【性別】**

性別でみると、男性に比べ、女性で「判断できない(一概にはいえない)」の割合が高くなっています。



**【年齢別】**

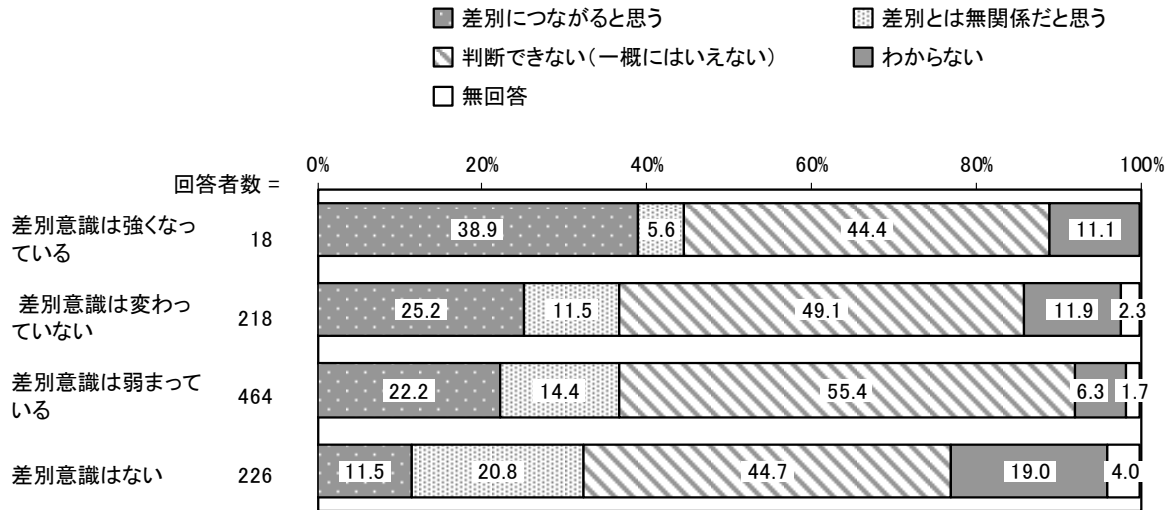
年齢別でみると、大きな差異はみられません。





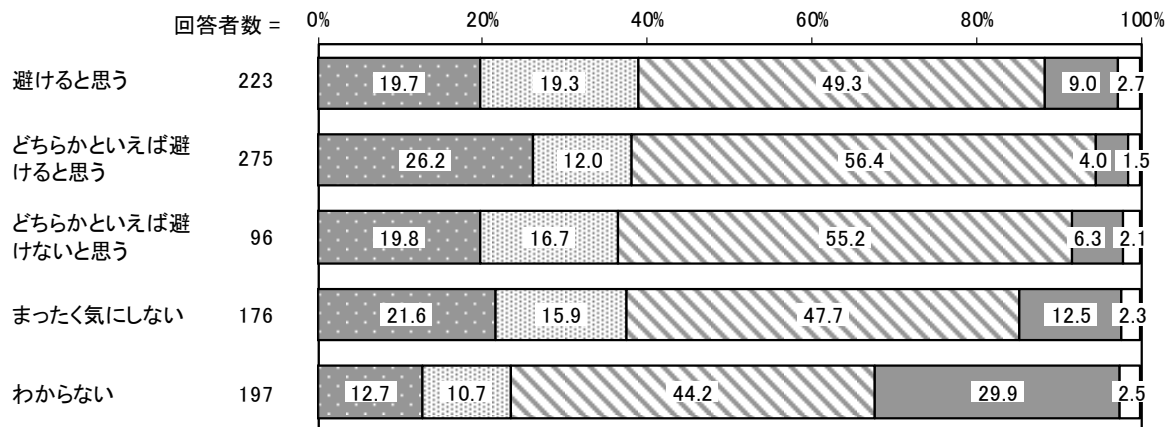
### 【同和地区や同和地区の人への差別意識への認識度】

同和地区や同和地区の人への差別意識への認識度別でみると、他に比べ、差別意識は強くなっている「差別につながると思う」の割合が、差別意識は弱まっているで「判断できない(一概にはいえない)」の割合が高くなっています。また、差別意識はないで「差別とは無関係だと思う」の割合が高くなっています。



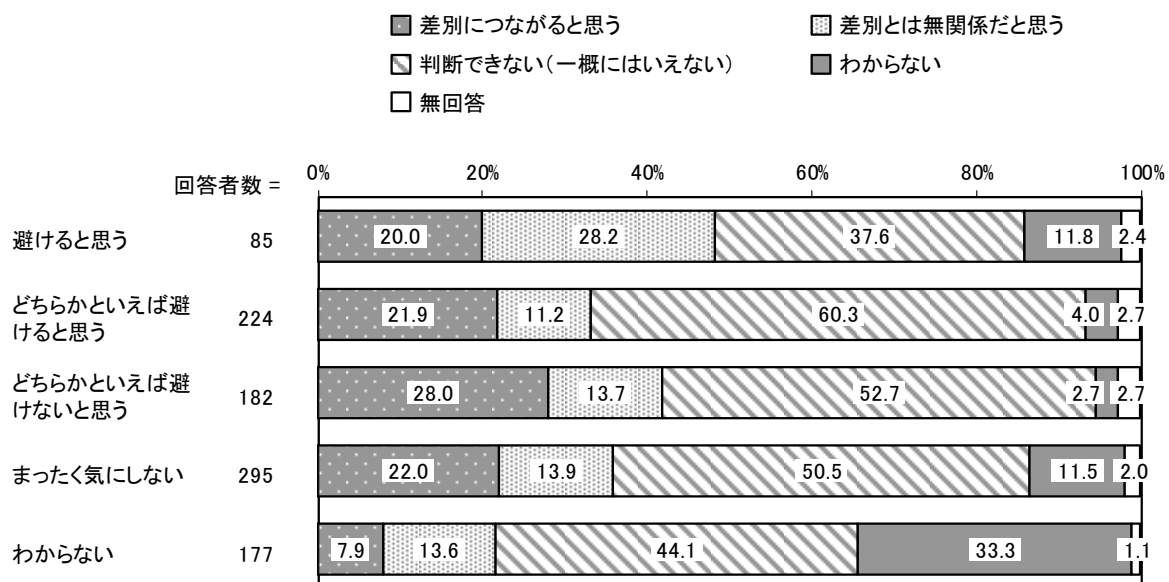
### 【同和地区の地域内にある場合】

同和地区の地域内にある場合別でみると、どちらかといえば避けると思うで「差別につながると思う」の割合が高くなっています。



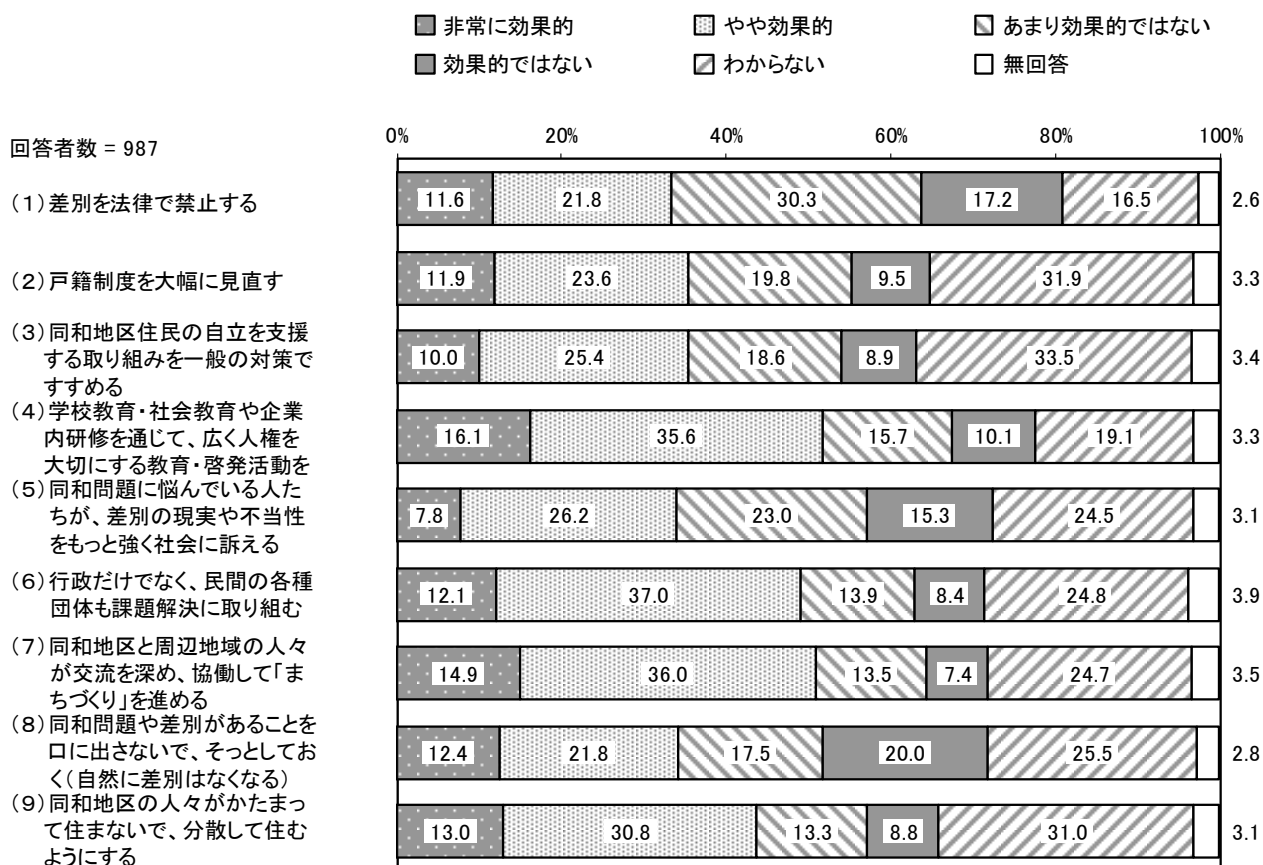
### 【小学校区が同和地区と同じ区域になる場合】

小学校区が同和地区と同じ区域になる場合別でみると、他に比べ、避けると思うで「差別とは無関係だと思う」の割合が、どちらかといえば避けると思うで「判断できない（一概にはいえない）」の割合が高くなっています。また、どちらかといえば避けないと思うで「差別につながると思う」の割合が高くなっています。



問 27 同和問題を解決するために、次にあげる施策や対応は、どの程度効果的だと思いますか。次のすべての項目についてお答えください。  
(それぞれに○は1つずつ)

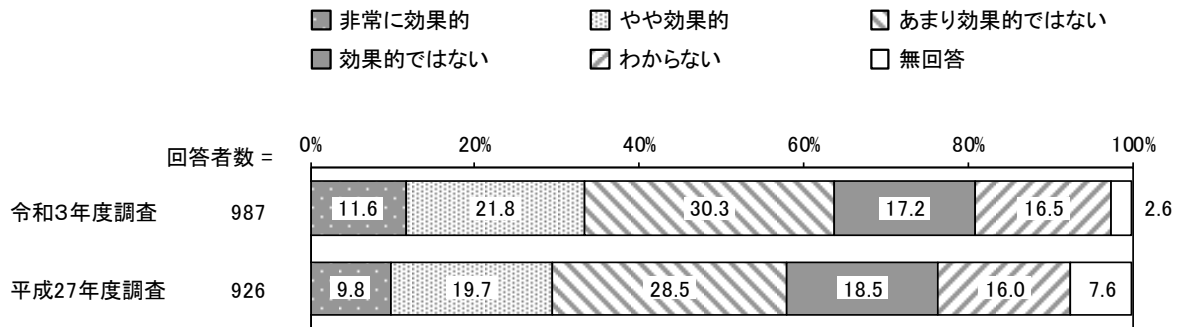
他に比べ、『(4) 学校教育・社会教育や企業内研修を通じて、広く人権を大切にする教育・啓発活動を行う』『(6) 行政だけでなく、民間の各種団体も課題解決に取り組む』『(7) 同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、協働して「まちづくり」を進める』で「非常に効果的」と「やや効果的」を合わせた“効果的”の割合が高くなっています。



(1) 差別を法律で禁止する

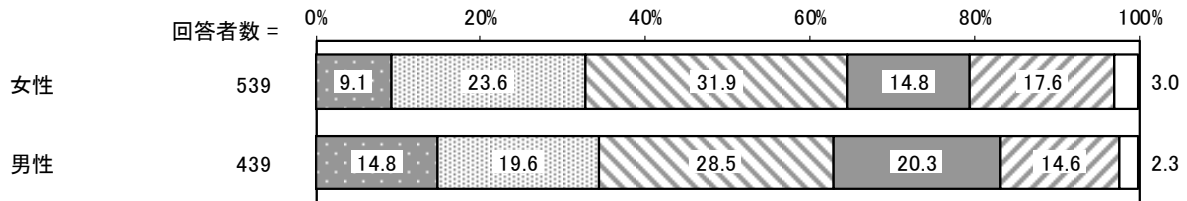
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



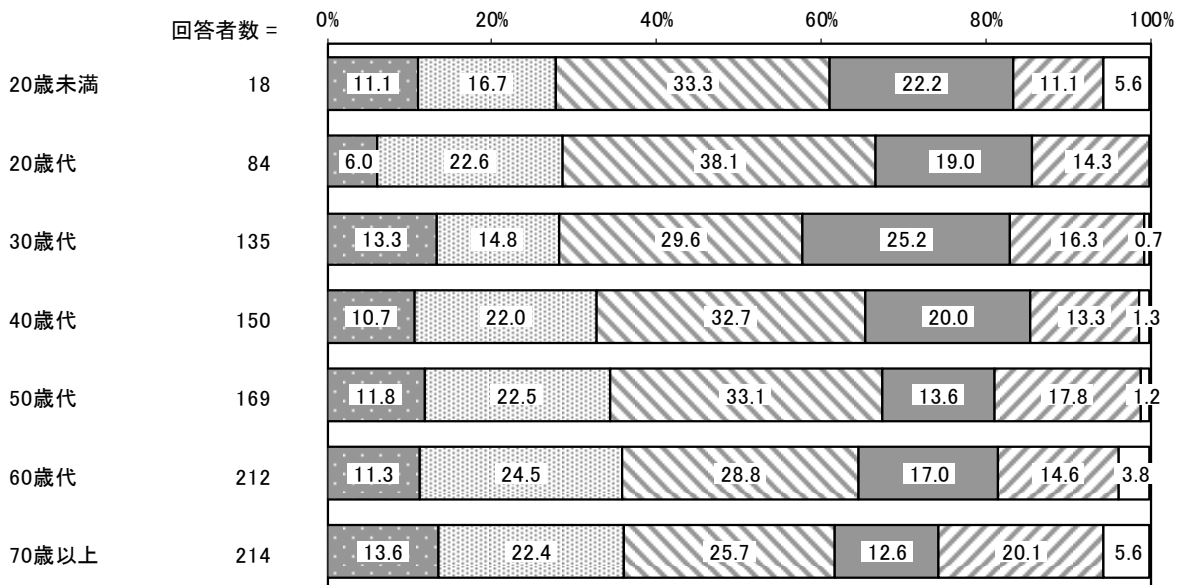
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

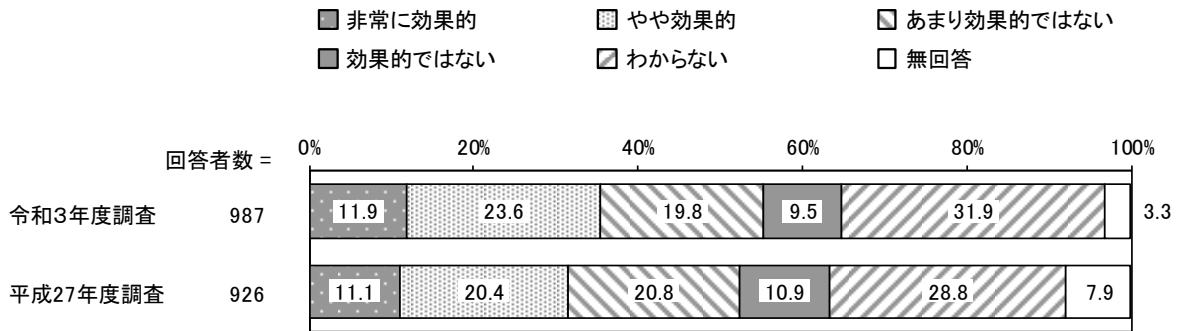
年齢別でみると、大きな差異はみられません。



## (2) 戸籍制度を大幅に見直す

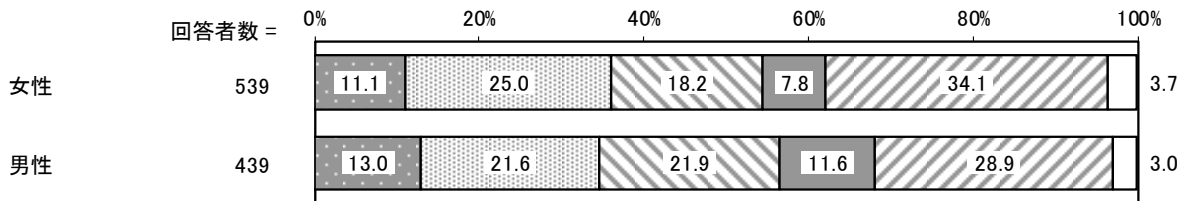
### 【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



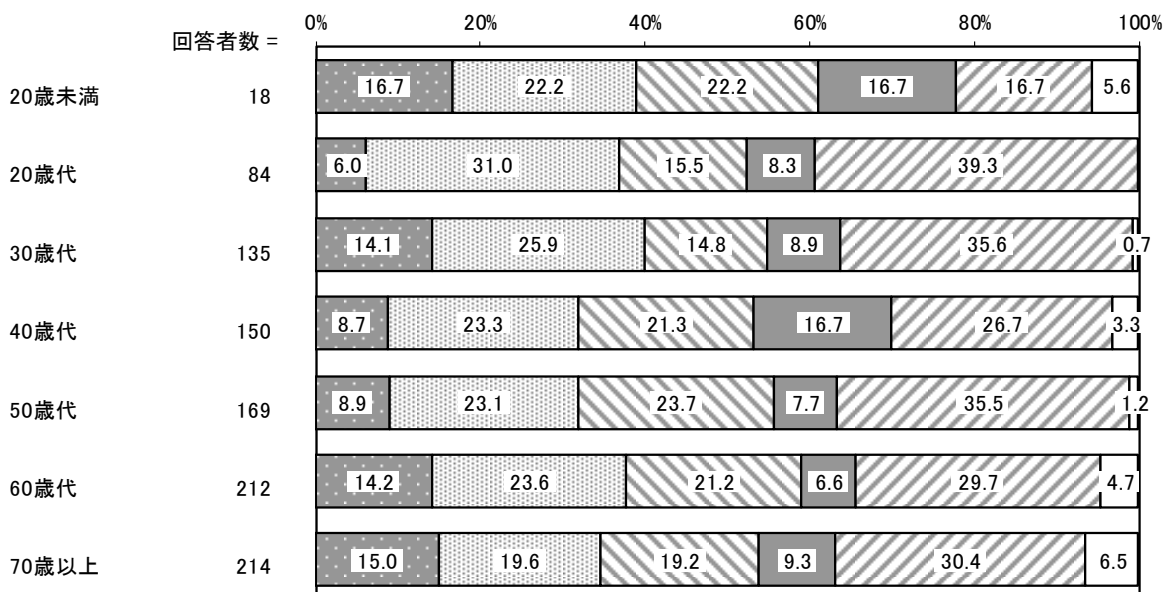
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「あまり効果的ではない」と「効果的ではない」を合わせた“効果的ではない”の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

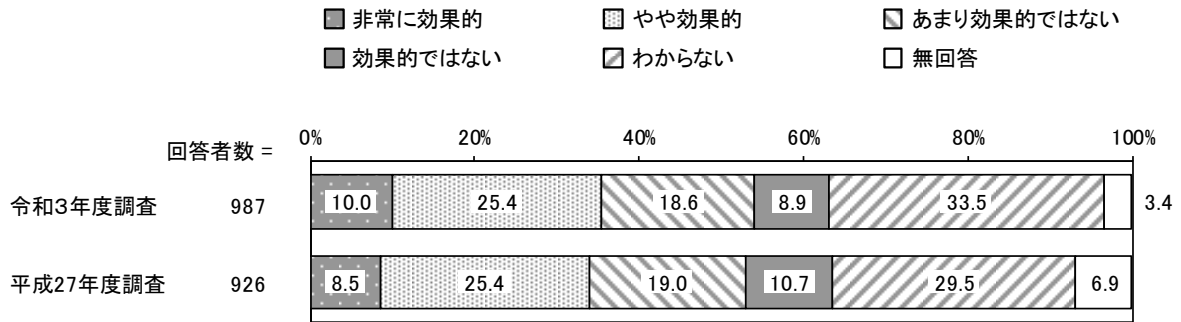
年齢別でみると、他に比べ、20歳未満、40歳代で“効果的ではない”の割合が高くなっています。



(3) 同和地区住民の自立を支援する取り組みを一般の対策ですすめる

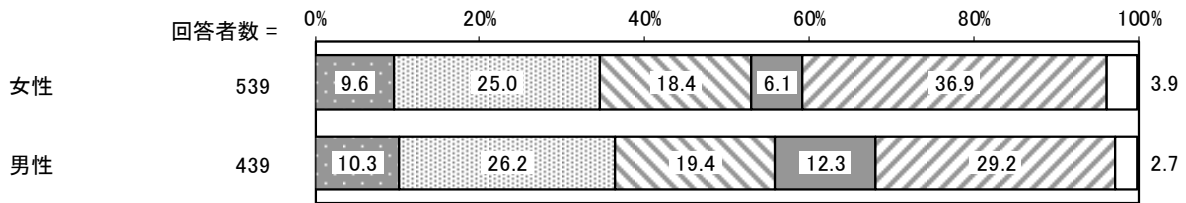
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



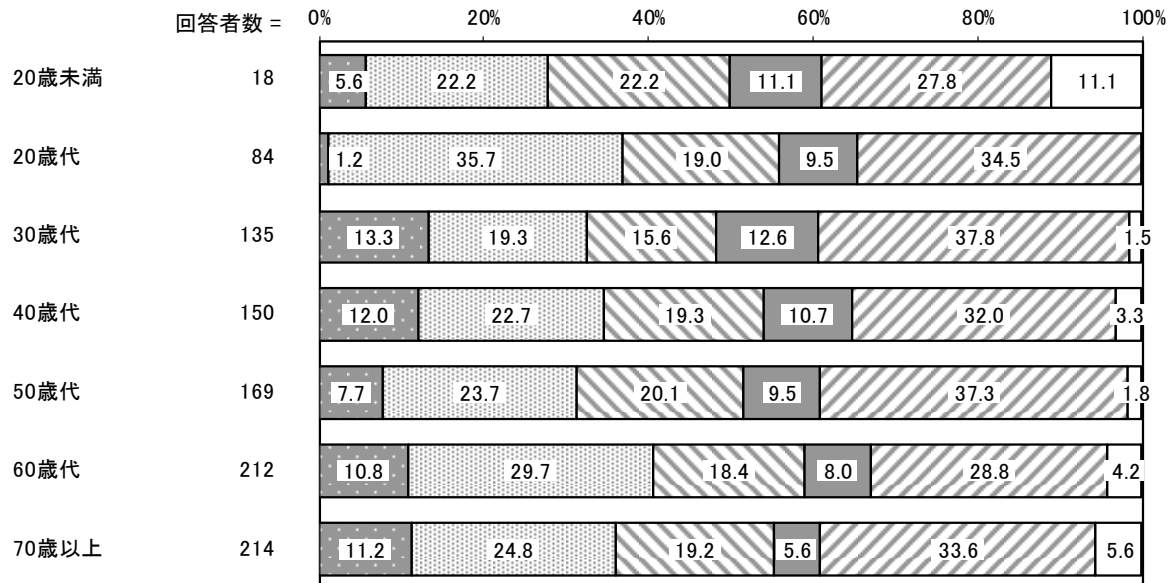
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“効果的ではない”の割合が高くなっています。



【年齢別】

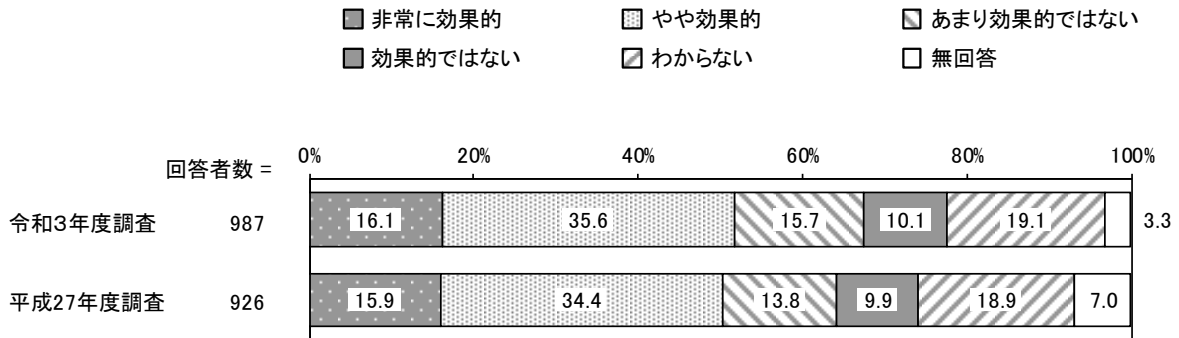
年齢別でみると、他に比べ、20歳代、60歳代で“効果的”の割合が高くなっています。



(4) 学校教育・社会教育や企業内研修を通じて、広く人権を大切にせる教育・啓発活動を行う

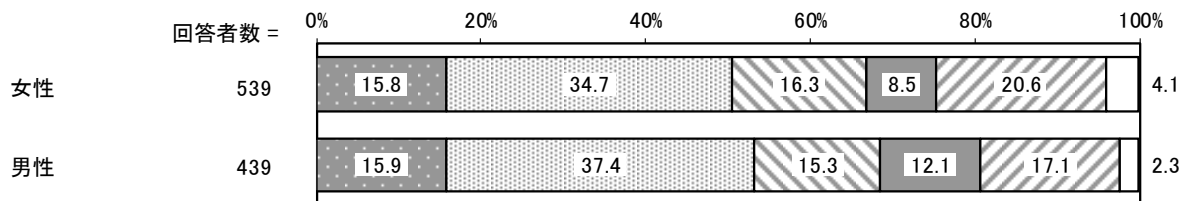
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



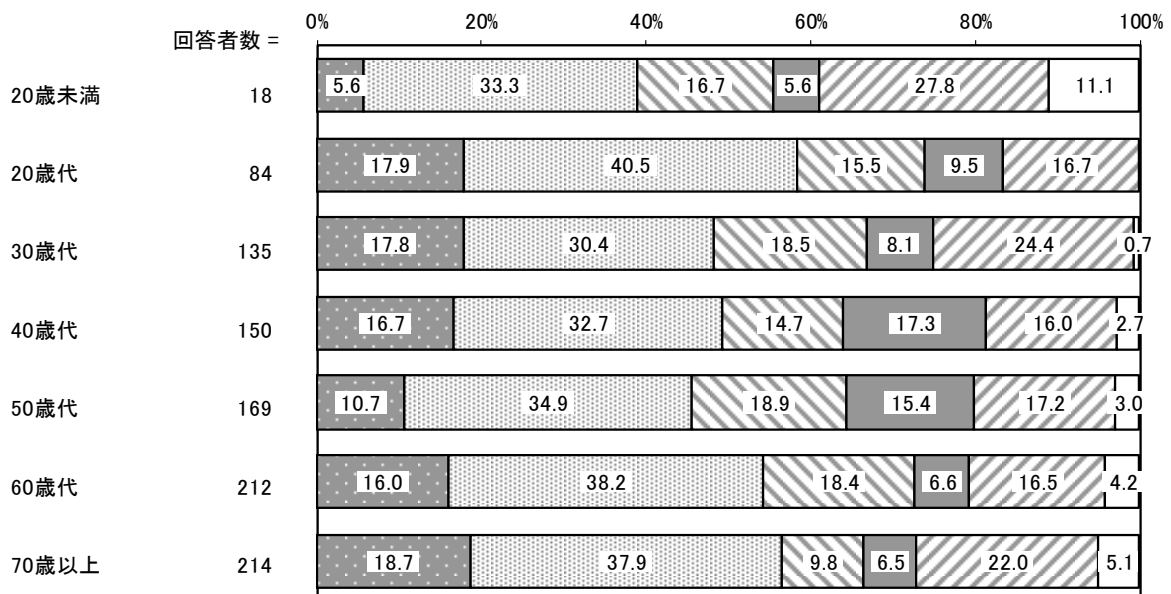
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

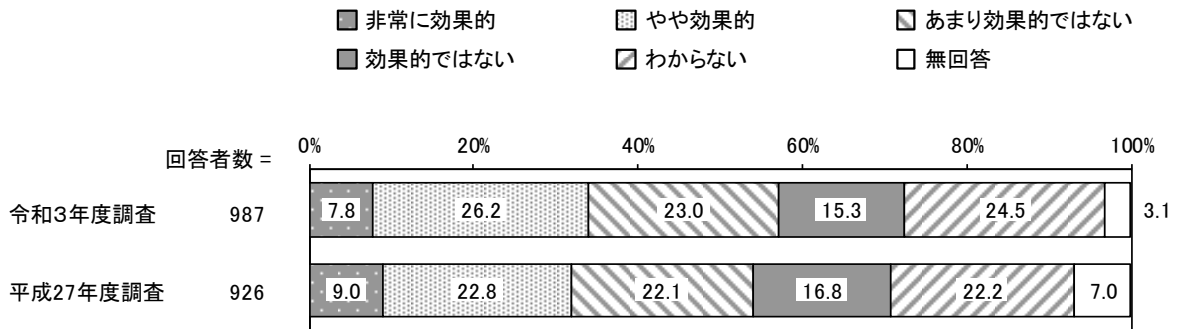
年齢別でみると、他に比べ、20歳代、70歳以上で“効果的”の割合が高くなっています。



(5) 同和問題に悩んでいる人たちが、差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える

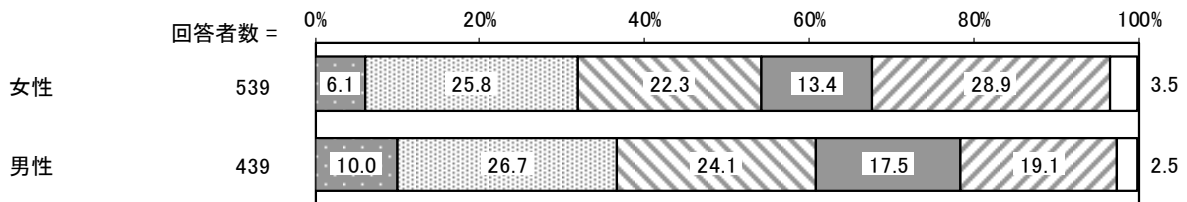
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



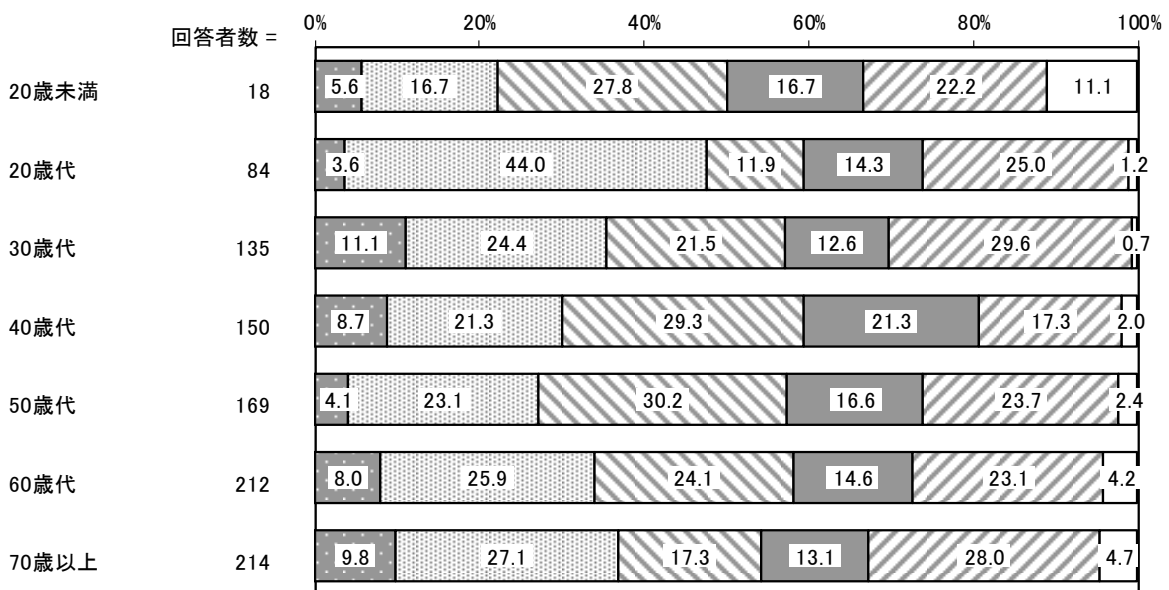
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で“効果的”の割合が高くなっています。また、40歳代で“効果的ではない”の割合が高くなっています。

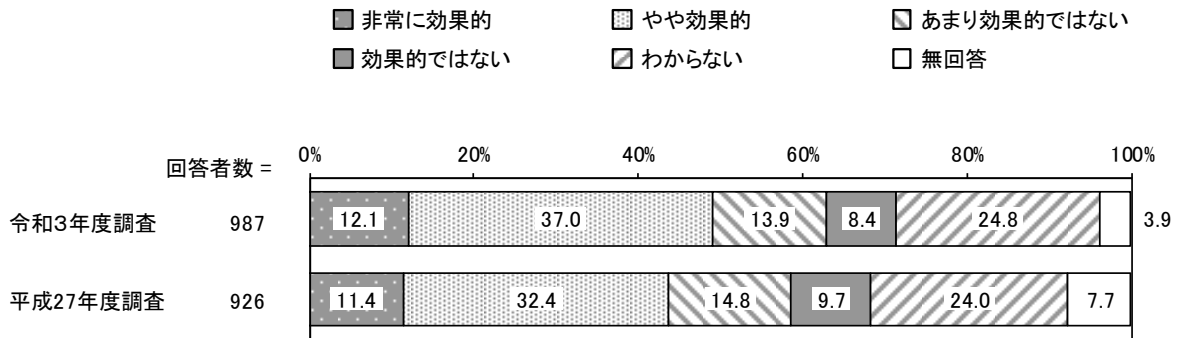




(6) 行政だけでなく、民間の各種団体も課題解決に取り組む

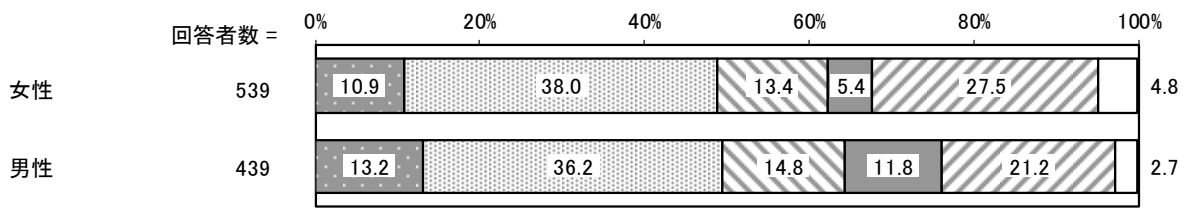
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



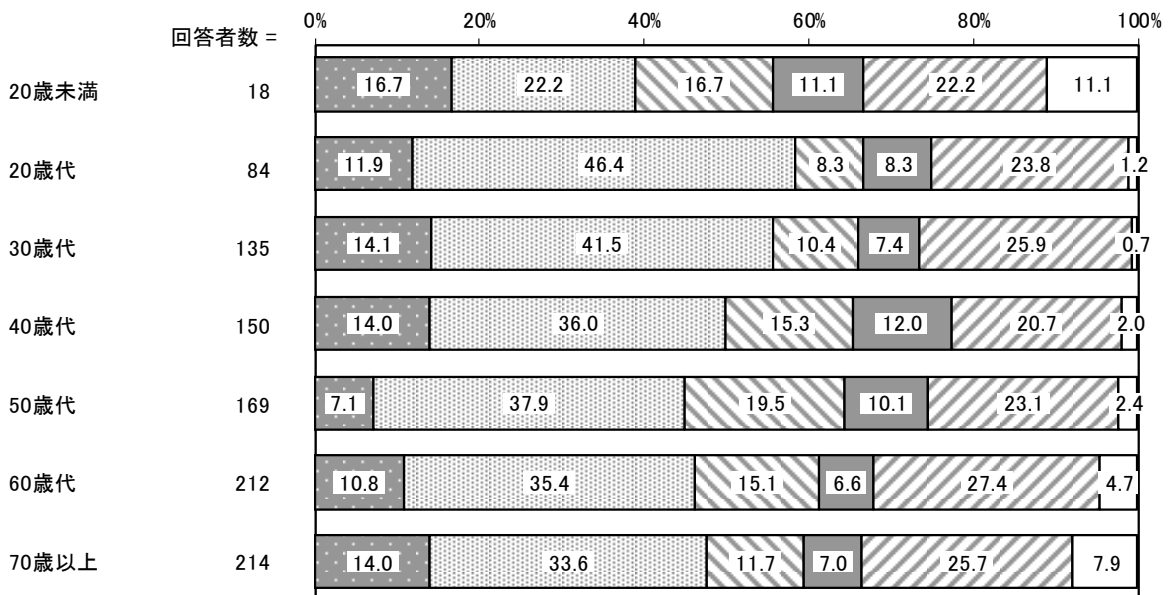
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“効果的ではない”の割合が高くなっています。



【年齢別】

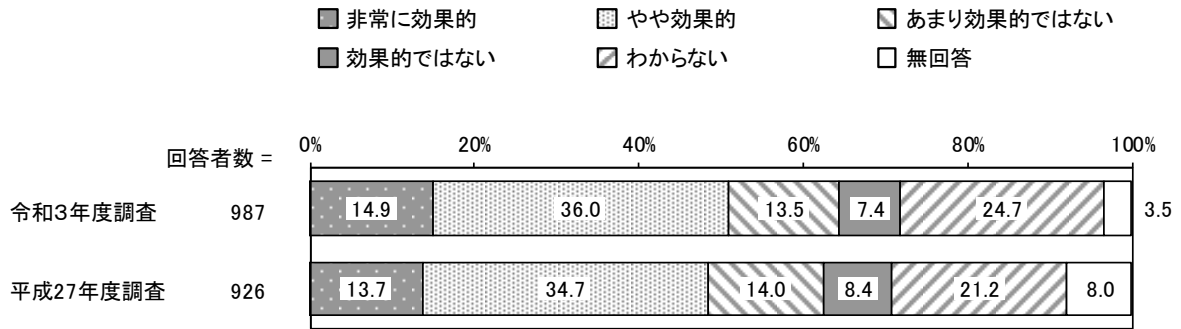
年齢別でみると、他に比べ、20歳代で“効果的”の割合が高くなっています。また、50歳代で“効果的ではない”の割合が高くなっています。



(7) 同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、協働して「まちづくり」を進める

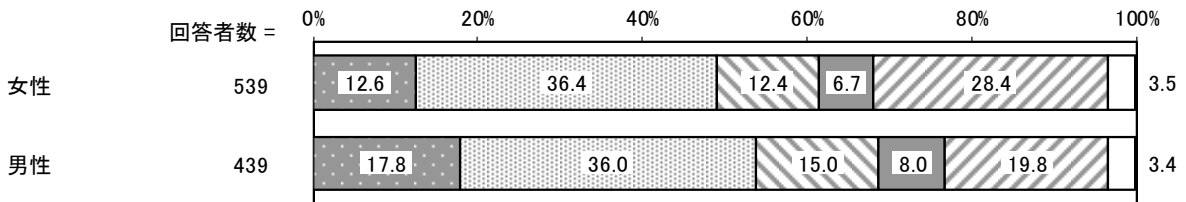
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



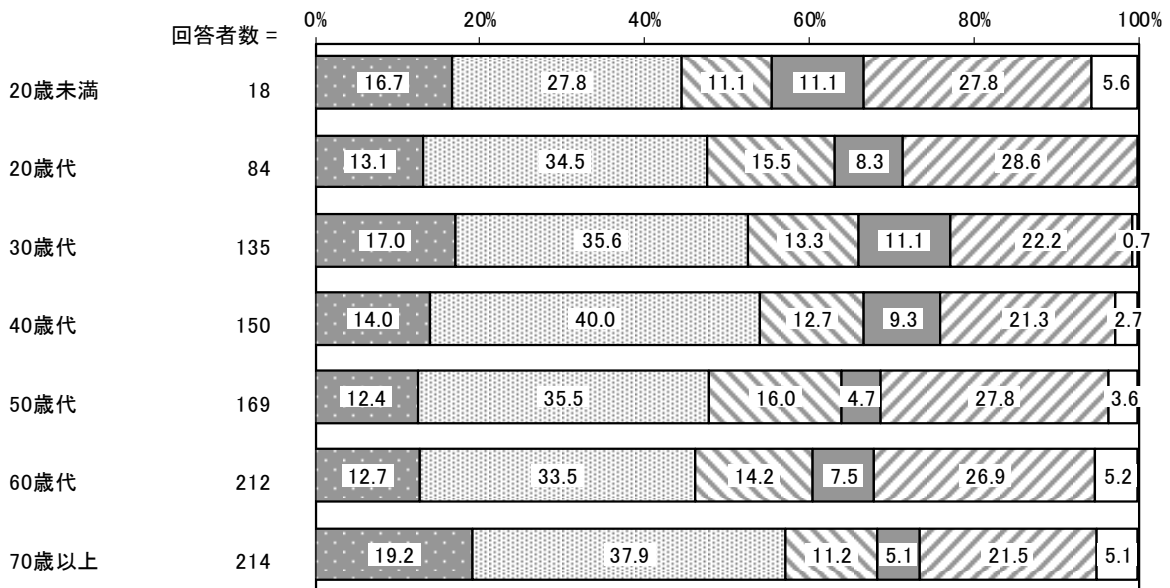
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“効果的”の割合が高くなっています。



【年齢別】

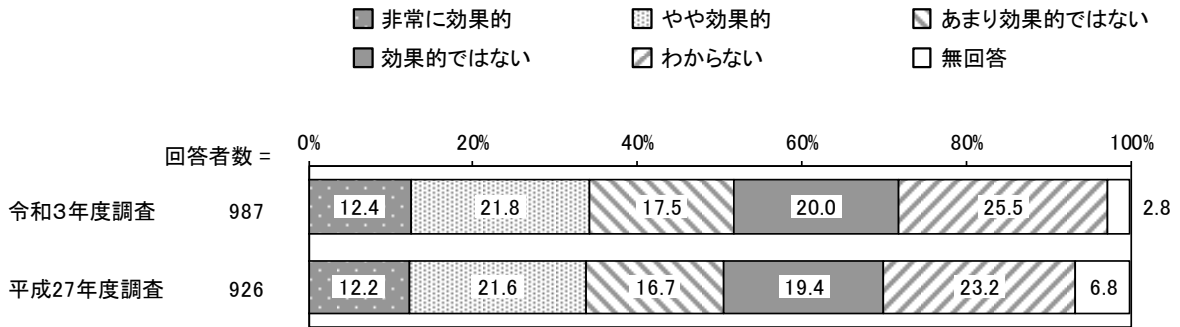
年齢別でみると、70歳以上で“効果的”の割合が高くなっています。



(8) 同和問題や差別があることを口に出さずに、そっとしておく（自然に差別はなくなる）

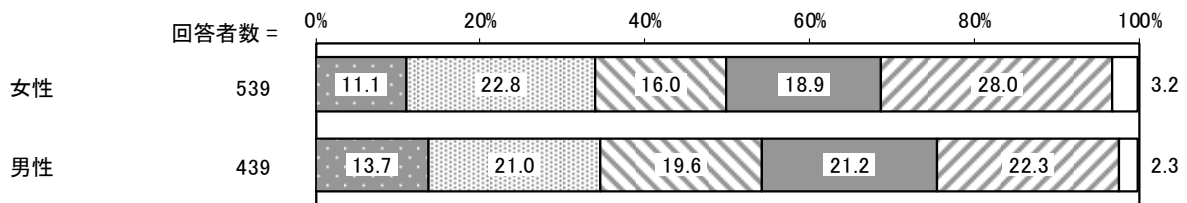
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



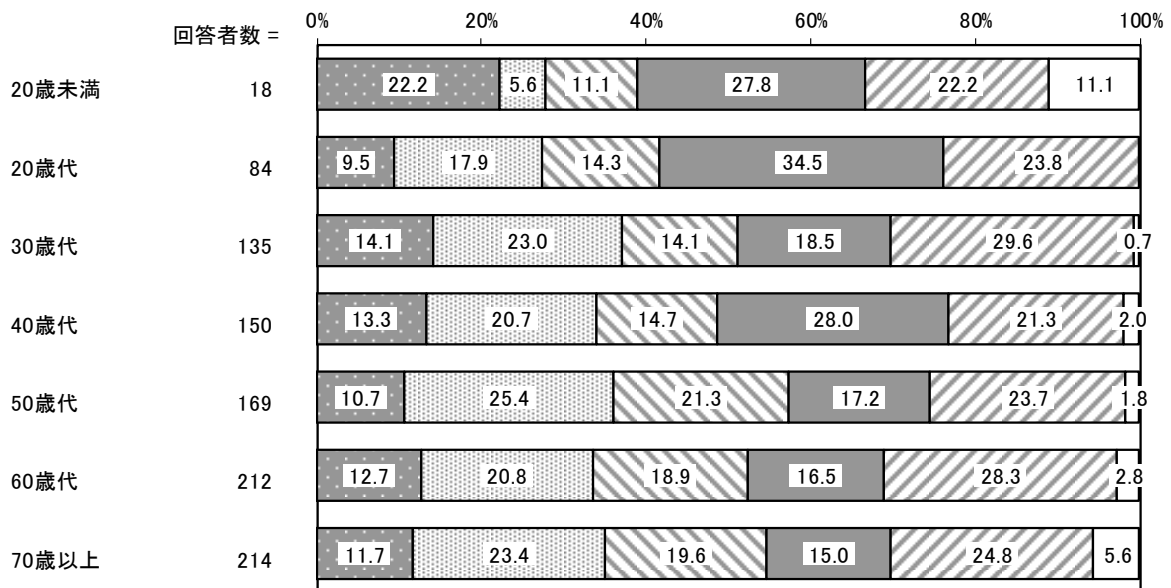
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

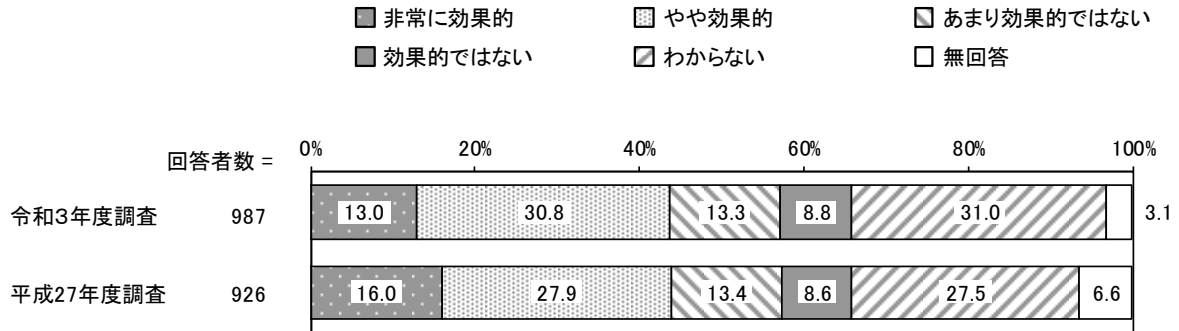
年齢別でみると、他に比べ、20歳代で“効果的ではない”の割合が高くなっています。



(9) 同和地区の人々がかたまって住まないで、分散して住むようにする

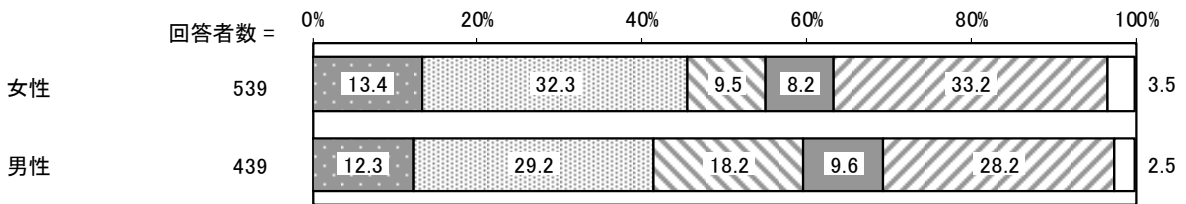
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



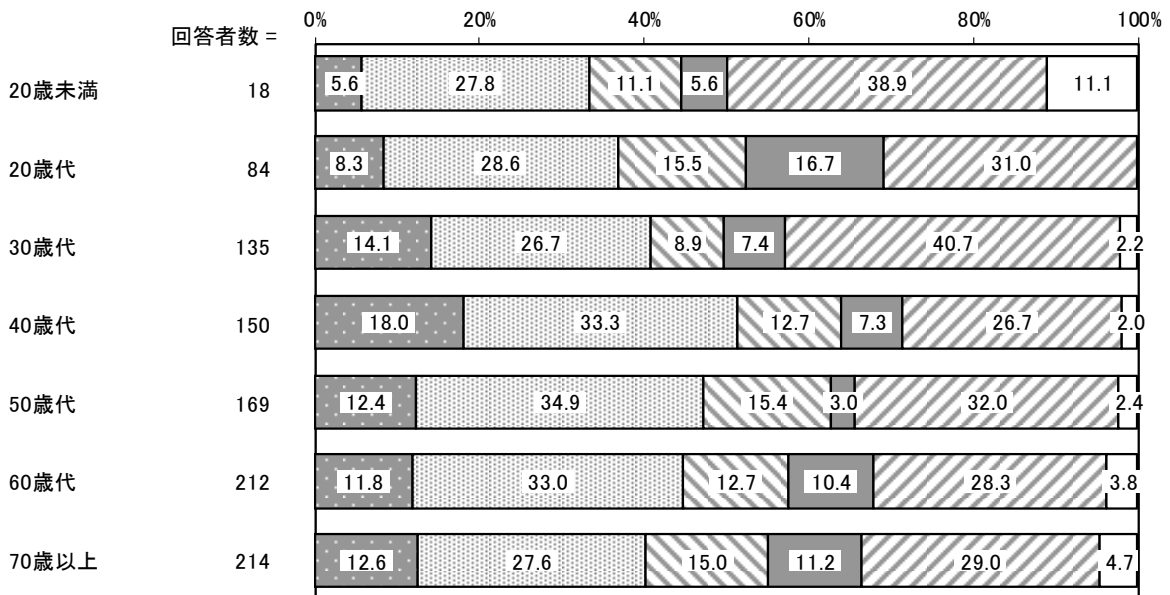
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“効果的ではない”の割合が高くなっています。



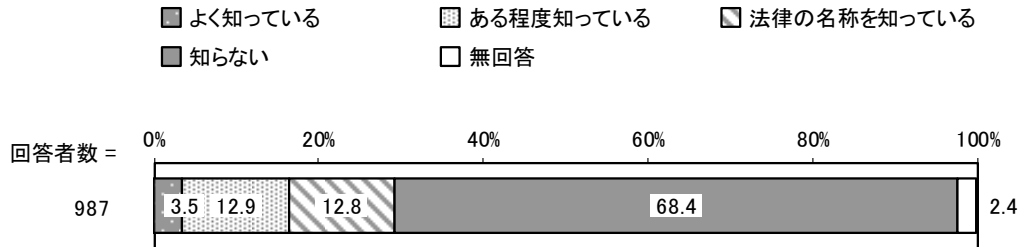
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20 歳代で“効果的ではない”の割合が高くなっています。また、40 歳代で“効果的”の割合が高くなっています。



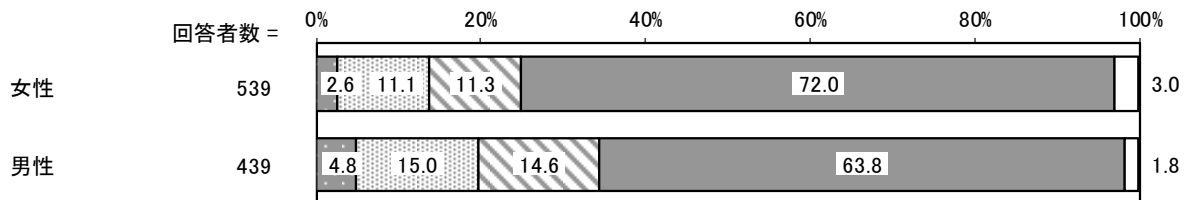
問 28 あなたは、平成 28（2016）年 12 月に「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」が施行されていることを知っていますか。（○は 1 つ）

「知らない」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「ある程度知っている」の割合が 12.9%、「法律の名称を知っている」の割合が 12.8%となっています。



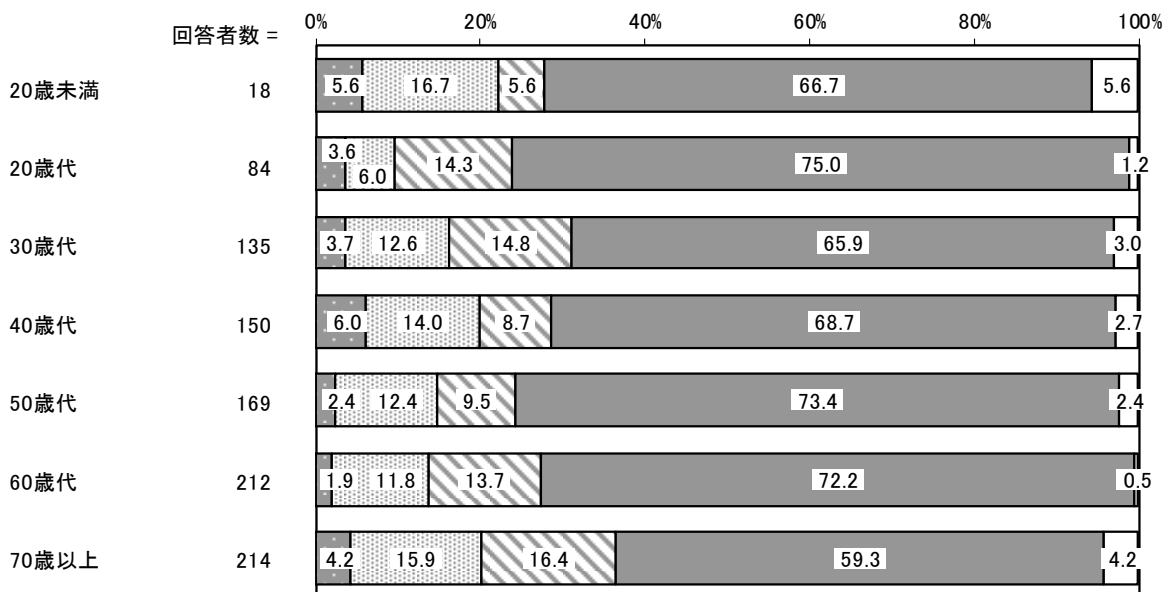
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

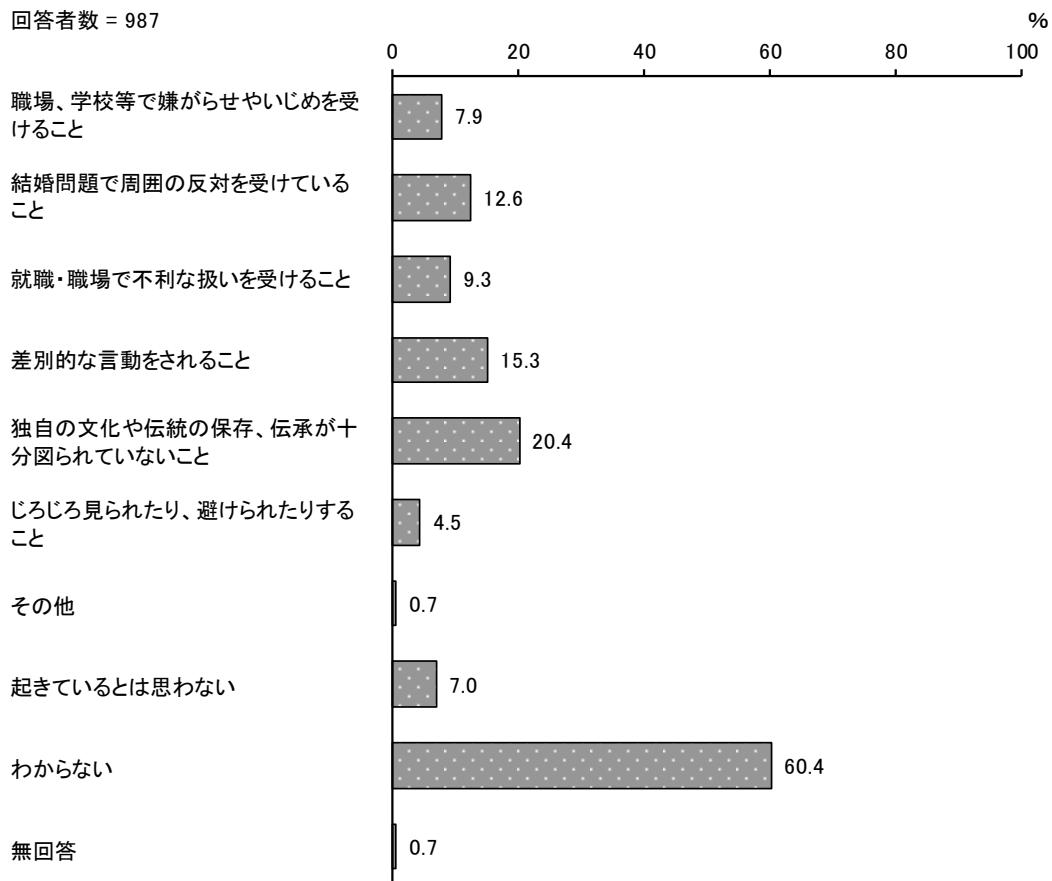
年齢別でみると、他に比べ、30歳代と70歳以上で「法律の名称を知っている」の割合が高くなっています。



## 8 アイヌの人々の人権について

問 29 あなたは、アイヌの人々に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(〇はいくつでも可)

「わからない」の割合が60.4%と最も高く、次いで「独自の文化や伝統の保存、伝承が十分図られていないこと」の割合が20.4%、「差別的な言動をされること」の割合が15.3%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受けていること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	独自の文化や伝統の保存、伝承が十分図られていないこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	その他	起きているとは思わない	わからない	無回答
女性	539	7.8	12.4	9.6	16.1	19.7	4.3	0.4	6.1	61.4	0.9
男性	439	8.0	12.8	8.9	14.6	21.2	4.8	1.1	8.2	58.8	0.5

【年齢別】

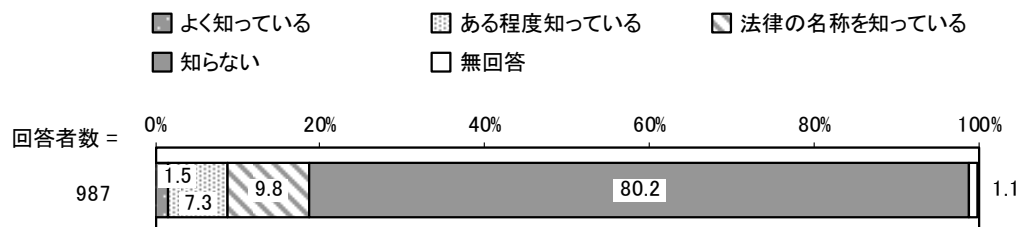
年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」「就職・職場で不利な扱いを受けること」の割合が高くなっています。また30歳代、40歳代で「独自の文化や伝統の保存、伝承が十分図られていないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受けていること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	独自の文化や伝統の保存、伝承が十分図られていないこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	その他	起きているとは思わない	わからない	無回答
20歳未満	18	16.7	16.7	22.2	22.2	11.1	5.6	—	5.6	66.7	—
20歳代	84	10.7	11.9	11.9	23.8	16.7	8.3	1.2	4.8	54.8	—
30歳代	135	12.6	12.6	11.9	23.0	23.0	5.9	0.7	5.2	58.5	—
40歳代	150	7.3	13.3	10.0	22.7	23.3	2.0	0.7	7.3	56.7	—
50歳代	169	8.3	12.4	6.5	11.2	16.6	5.3	—	8.3	65.1	1.2
60歳代	212	5.7	11.3	8.0	13.2	20.3	4.2	0.9	7.1	63.2	—
70歳以上	214	5.1	13.1	8.4	7.0	21.5	3.3	0.9	7.9	59.3	2.3

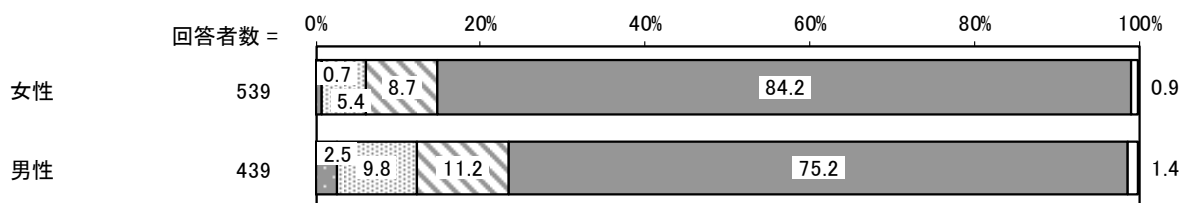
問 30 あなたは、令和元（2019）年5月に「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律（アイヌ施策推進法）」が施行されていることを知っていますか。（○は1つ）

「知らない」の割合が80.2%と最も高くなっています。



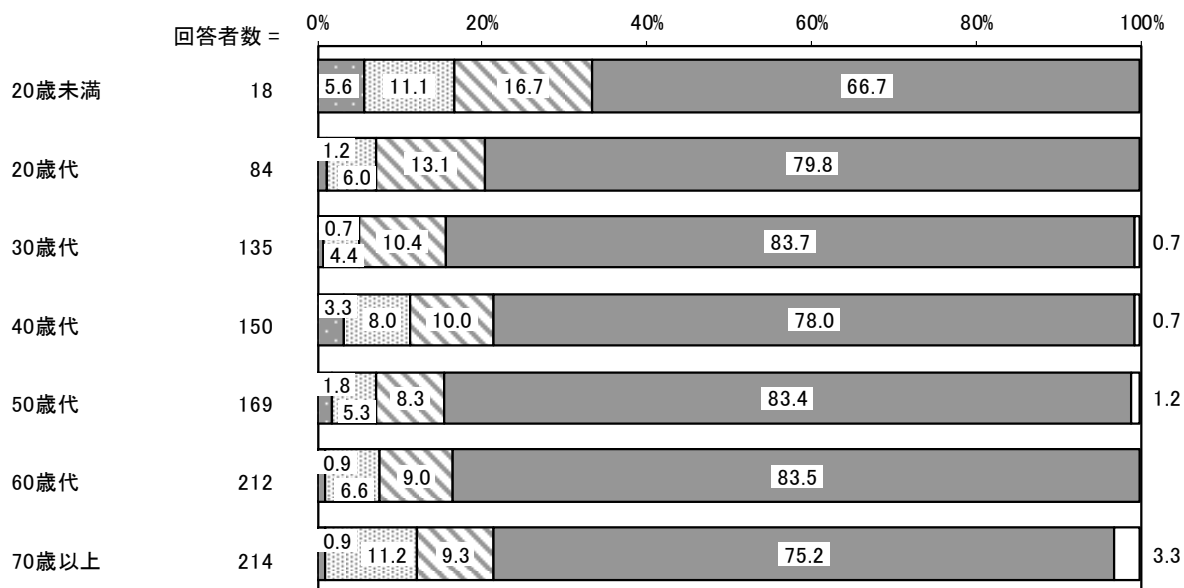
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「法律の名称を知っている」の割合が高くなっています。



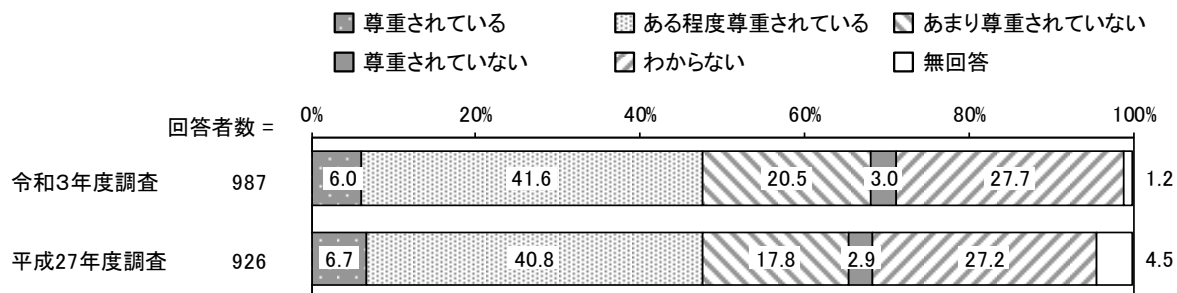


## 9 外国人の人権について

### 問 31 あなたは、外国人の人権は尊重されていると思いますか。(○は1つ)

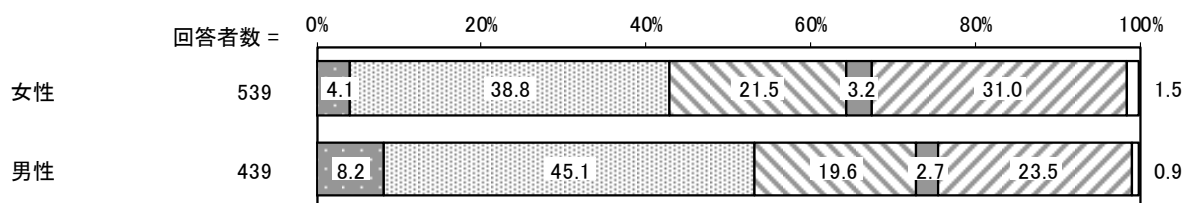
「尊重されている」と「ある程度尊重されている」を合わせた“尊重されている”の割合が 47.6% と最も高く、次いで「わからない」の割合が 27.7%、「あまり尊重されていない」と「尊重されていない」を合わせた“尊重されていない”の割合が 23.5%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



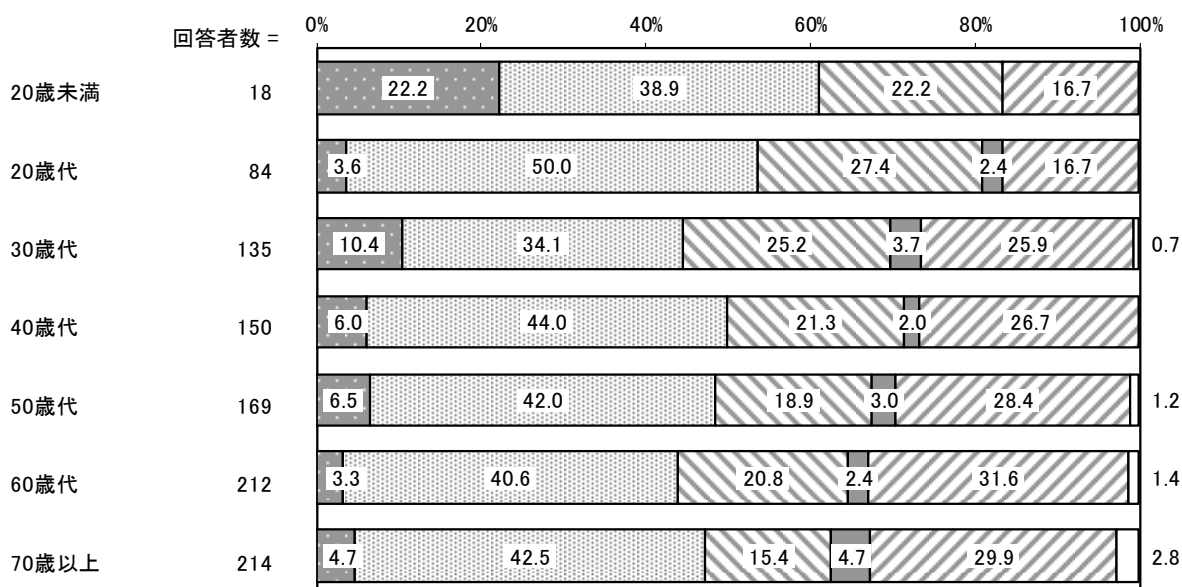
#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“尊重されている”の割合が高くなっています。また、女性で「わからない」の割合が高くなっています。



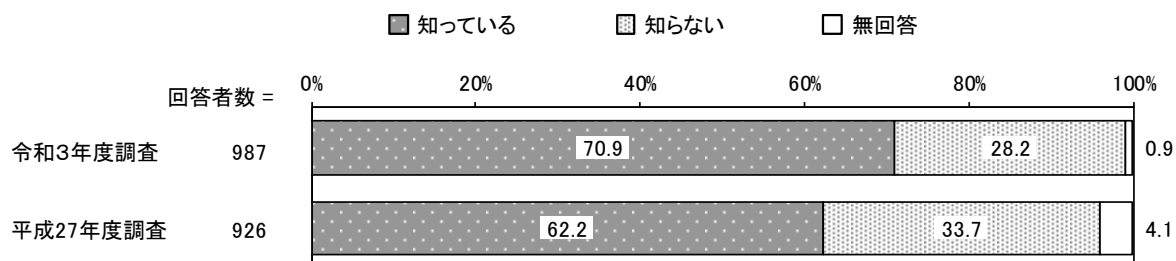
#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で“尊重されている”の割合が、20歳代で“尊重されていない”の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「わからない」の割合が高くなる傾向がみられます。



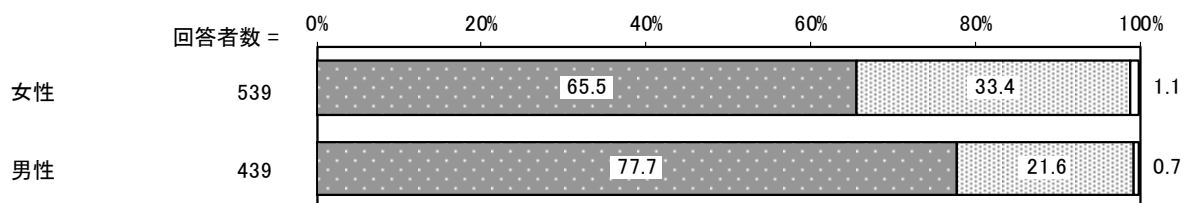
問 32 あなたは、「ヘイトスピーチ」という行為があることを知っていますか。  
(○は1つ)

「知っている」の割合が70.9%、「知らない」の割合が28.2%となっています。  
平成27年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。



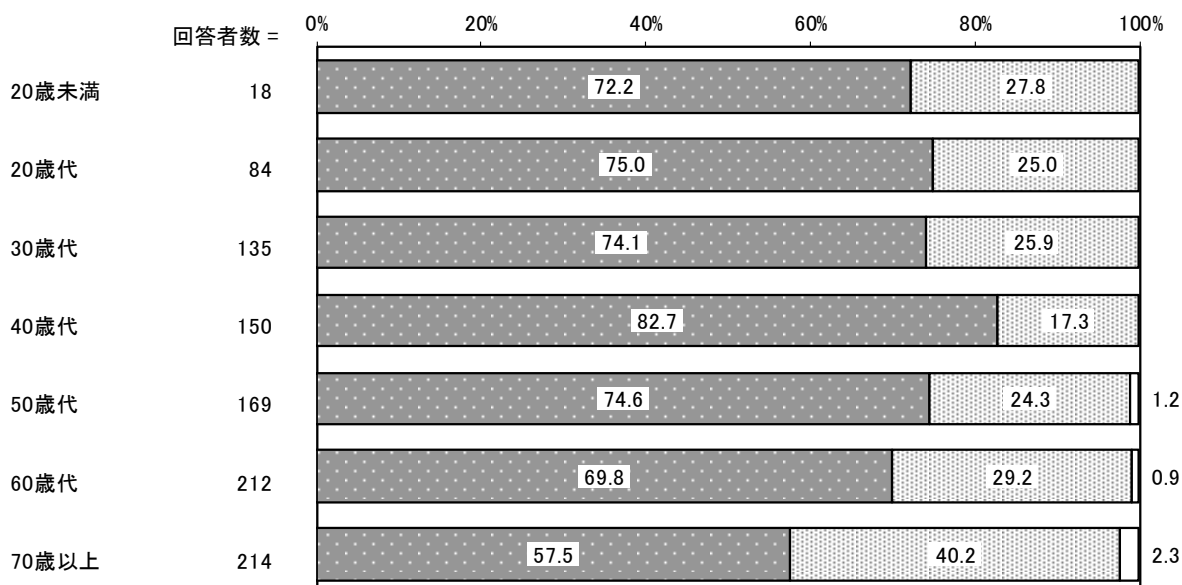
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「知っている」の割合が高くなっています。



【年齢別】

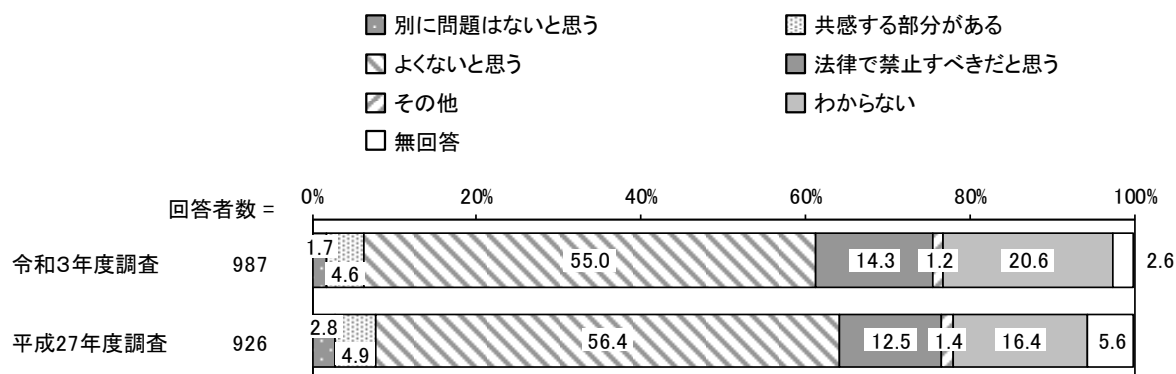
年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「知っている」の割合が高くなっています。一方、70歳以上で「知らない」の割合が高くなっています。



**問 33 あなたは、外国人などに対しヘイトスピーチを行うことについてどう思いますか。**

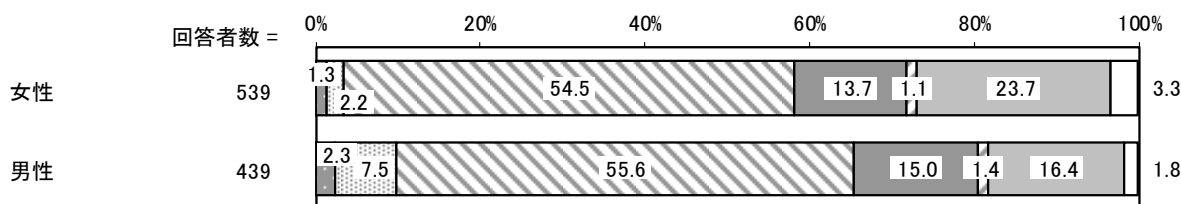
「よくないと思う」の割合が55.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が20.6%、「法律で禁止すべきだと思う」の割合が14.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



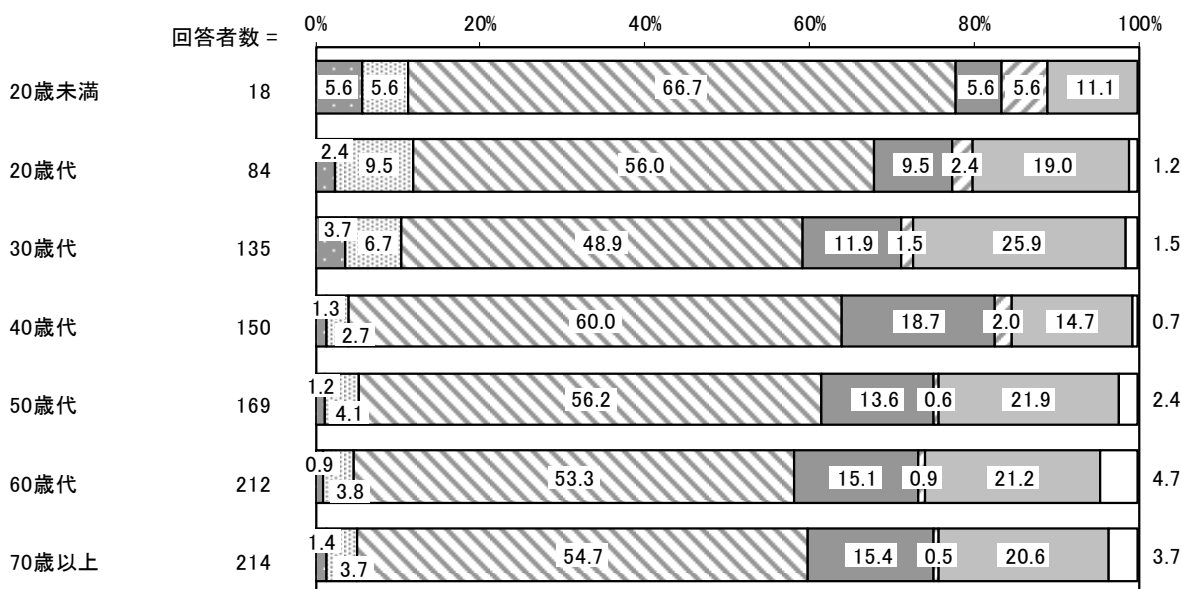
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「共感する部分がある」の割合が高くなっています。また、女性で「わからない」の割合が高くなっています。



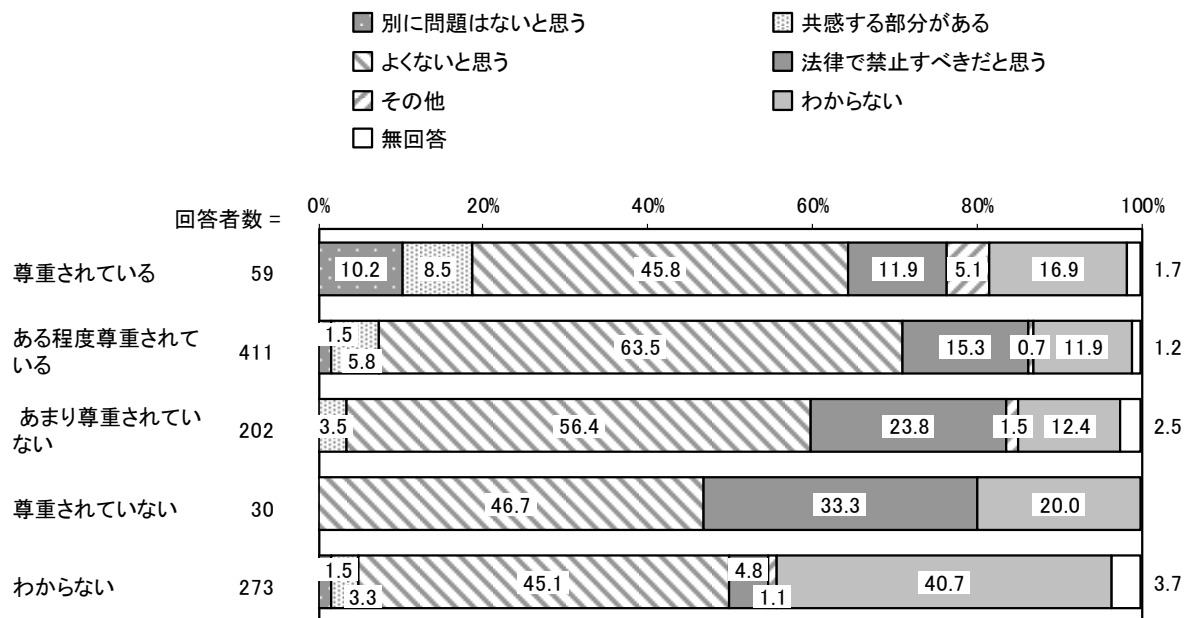
**【年齢別】**

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「よくないと思う」の割合が高くなっています。



### 【外国人の人権の認識度別】

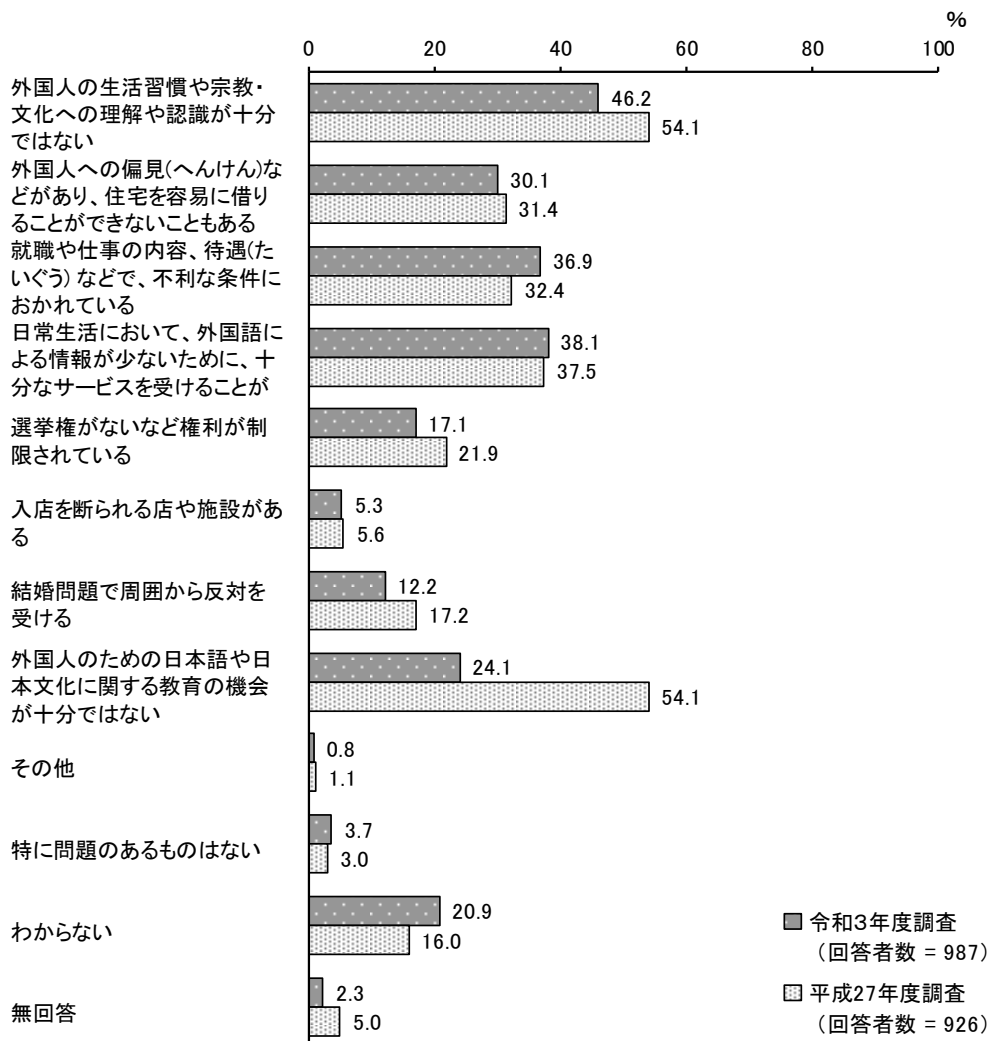
外国人の人権の認識度別でみると、他に比べ、尊重されているで「別に問題はないと思う」の割合が、ある程度尊重されているで「よくないと思う」の割合が高くなっています。また、尊重されていないで「法律で禁止すべきだと思う」の割合が高くなっています。



**問 34 あなたは、外国人について、どのような人権問題が起きていると思いますか。**

「外国人の生活習慣や宗教・文化への理解や認識が十分ではない」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「日常生活において、外国語による情報が少ないために、十分なサービスを受けることができない」の割合が 38.1%、「就職や仕事の内容、待遇(たいぐう)などで、不利な条件におかれている」の割合が 36.9%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「外国人の生活習慣や宗教・文化への理解や認識が十分ではない」「外国人のための日本語や日本文化に関する教育の機会が十分ではない」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「日常生活において、外国語による情報が少ないために、十分なサービスを受けることができない」の割合が高くなっています。また、男性で「外国人の生活習慣や宗教・文化への理解や認識が十分ではない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	外国人の生活習慣や宗教・文化への理解や認識が十分ではない	外国人への偏見(へんけん)などがあり、住宅を容易に借りることができないこともある	就職や仕事の内容、待遇(たいぐう)などで、不利な条件におかれている	日常生活において、外国語による情報が少ないために、十分なサービスを受けることができない	選挙権がないなど権利が制限されている	入店を断られる店や施設がある
女性	539	44.0	30.2	39.0	41.4	18.6	4.6
男性	439	49.0	30.1	34.6	34.9	15.3	6.2

区分	結婚問題で周囲から反対を受ける	外国人のための日本語や日本文化に関する教育の機会が十分ではない	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
女性	13.0	23.7	0.6	3.2	21.5	3.0
男性	11.2	24.8	1.1	4.6	19.4	1.6

## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「外国人の生活習慣や宗教・文化への理解や認識が十分ではない」「就職や仕事の内容、待遇(たいぐう)などで、不利な条件におかれている」「選挙権がないなど権利が制限されている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	外国人の生活習慣や宗教・文化への理解や認識が十分ではない	外国人への偏見(へんけん)などがあり、住宅を容易に借りることができないこともある	就職や仕事の内容、待遇(たいぐう)などで、不利な条件におかれている	日常生活において、外国語による情報が少ないために、十分なサービスを受けることができない	選挙権がないなど権利が制限されている	入店を断られる店や施設がある
20歳未満	18	33.3	16.7	44.4	27.8	11.1	11.1
20歳代	84	57.1	36.9	52.4	44.0	29.8	9.5
30歳代	135	49.6	31.1	41.5	38.5	17.8	7.4
40歳代	150	51.3	32.0	38.7	40.0	16.7	8.0
50歳代	169	52.1	32.5	37.9	36.7	13.6	2.4
60歳代	212	46.7	30.7	36.3	45.3	17.5	4.2
70歳以上	214	32.2	24.3	26.2	29.9	15.0	3.3

区分	結婚問題で周囲から反対を受ける	外国人のための日本語や日本文化に関する教育の機会が十分ではない	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
20歳未満	11.1	5.6	—	11.1	22.2	—
20歳代	15.5	26.2	1.2	1.2	11.9	1.2
30歳代	16.3	22.2	—	7.4	19.3	1.5
40歳代	14.7	26.7	1.3	4.0	18.0	1.3
50歳代	11.8	18.3	1.8	1.8	16.0	2.4
60歳代	7.5	28.8	0.5	3.8	21.7	2.8
70歳以上	11.7	24.3	0.5	3.3	29.4	3.7

## 【外国人の人権の認識度別】

外国人の人権の認識度別でみると、他に比べ、尊重されていないで「日常生活において、外国語による情報が少ないために、十分なサービスを受けることができない」「外国人のための日本語や日本文化に関する教育の機会が十分ではない」の割合が高くなっています。また、あまり尊重されていないで「選挙権がないなど権利が制限されている」の割合が高くなっています。

単位：%

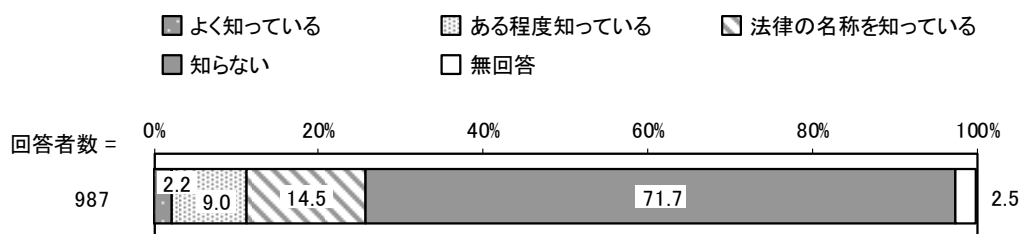
区分	回答者数(件)	外国人の生活習慣や宗教・文化への理解や認識が十分ではない	外国人への偏見(へんけん)などがあり、住宅を容易に借りることができないこともある	就職や仕事の内容、待遇(たいぐう)などで、不利な条件におかれている	日常生活において、外国語による情報が少ないために、十分なサービスを受けることができない	選挙権がないなど権利が制限されている	入店を断られる店や施設がある
尊重されている	59	39.0	16.9	16.9	23.7	13.6	3.4
ある程度尊重されている	411	52.3	32.8	37.5	41.8	16.1	5.1
あまり尊重されていない	202	60.4	46.5	59.9	53.5	31.7	9.4
尊重されていない	30	56.7	43.3	63.3	66.7	23.3	10.0
わからない	273	27.5	15.4	20.5	21.6	8.1	1.8

区分	結婚問題で周囲から反対を受ける	外国人のための日本語や日本文化に関する教育の機会が十分ではない	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
尊重されている	10.2	13.6	3.4	18.6	20.3	3.4
ある程度尊重されている	15.1	29.7	0.5	3.2	11.4	1.5
あまり尊重されていない	14.9	31.2	1.0	2.0	7.4	1.5
尊重されていない	16.7	46.7	—	—	6.7	—
わからない	5.9	10.6	0.7	3.3	47.3	2.6



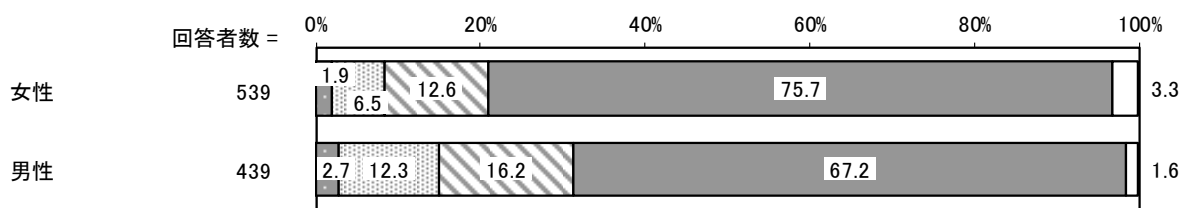
問 35 あなたは、平成 28（2016）年 6 月に「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進に関する法

「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた“知っている”の割合が 11.2%、となっています。また、「知らない」の割合が 71.7%、「法律の名称を知っている」の割合が 14.5% となっています。



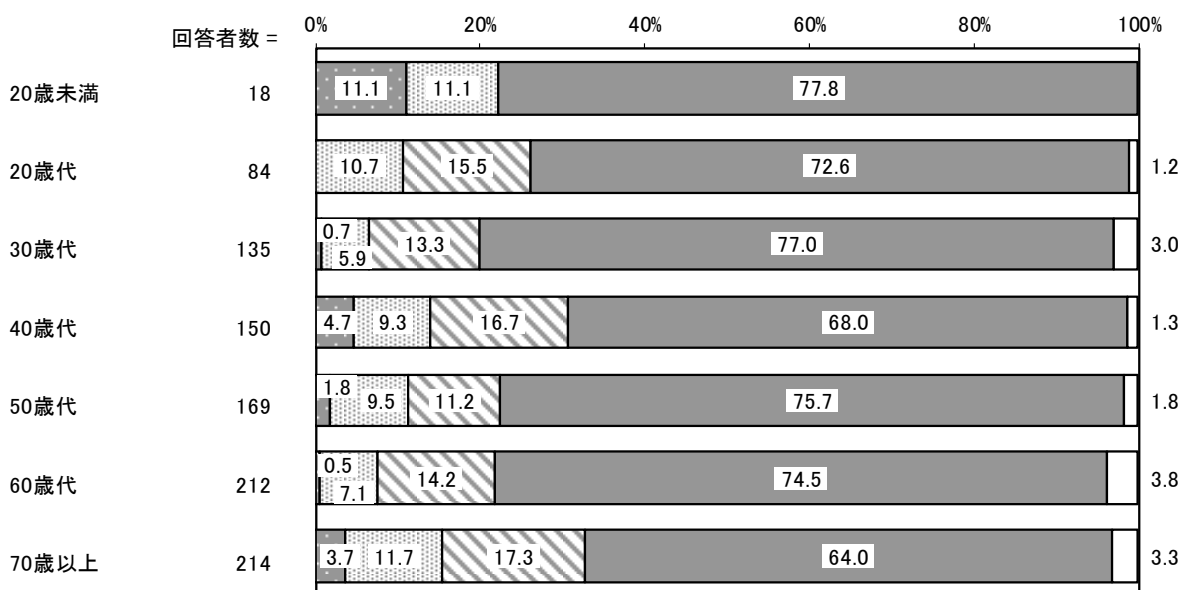
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「知らない」割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で“知っている”の割合が高くなっています。

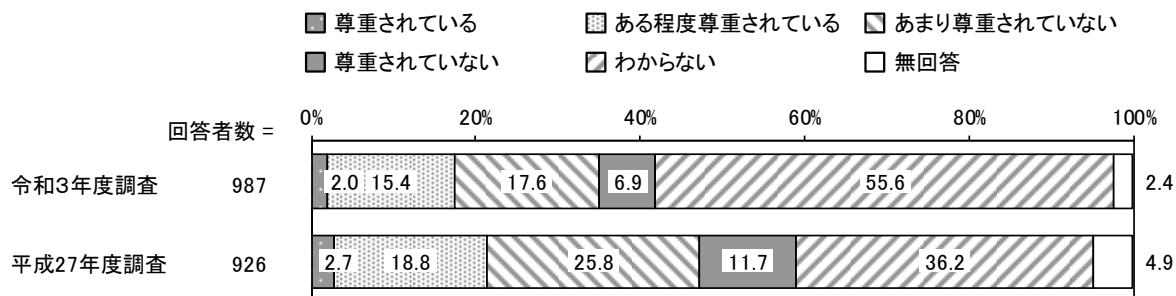


## 10 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権について

問 36 あなたは、HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権は尊重されていると思いますか。(○は1つ)

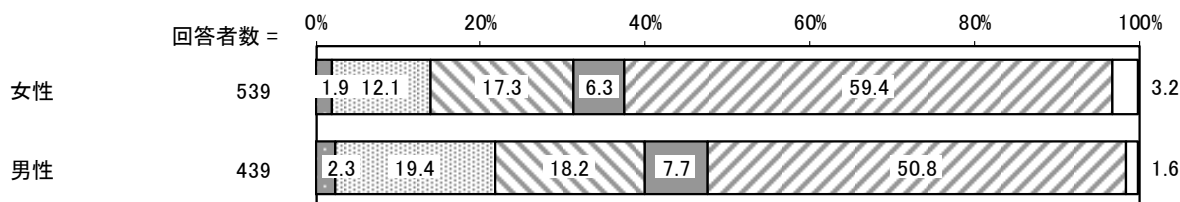
「わからない」の割合が55.6%と最も高く、次いで「あまり尊重されていない」と「尊重されていない」を合わせた“尊重されていない”の割合が24.5%、「尊重されている」と「ある程度尊重されている」を合わせた“尊重されている”の割合が17.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、“尊重されていない”の割合が減少しています。



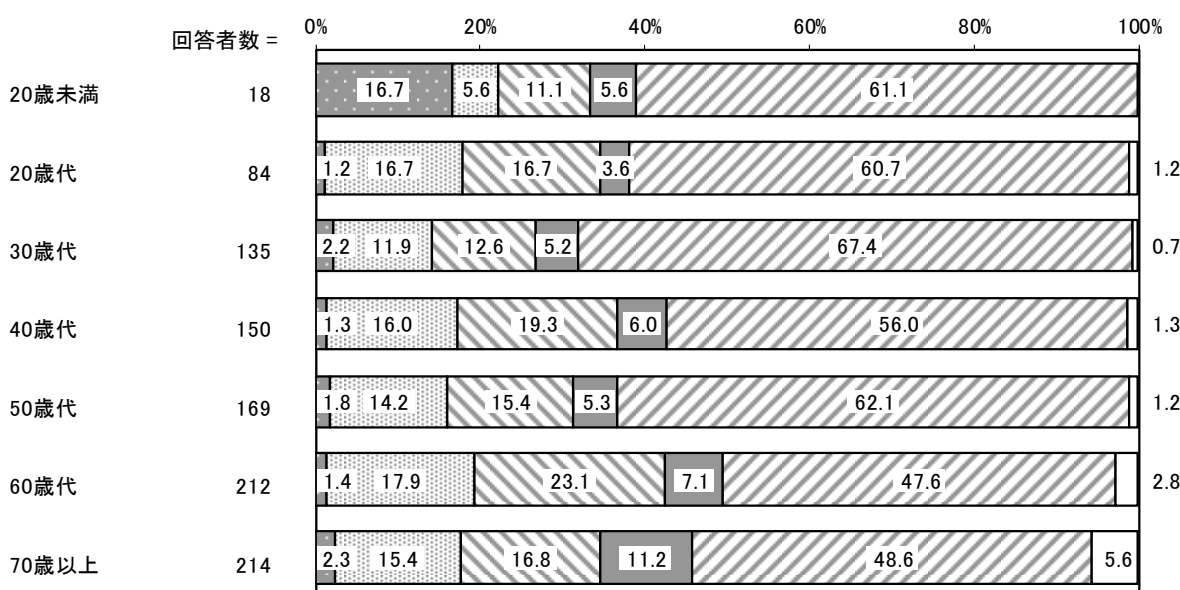
### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。また、男性で“尊重されている”の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

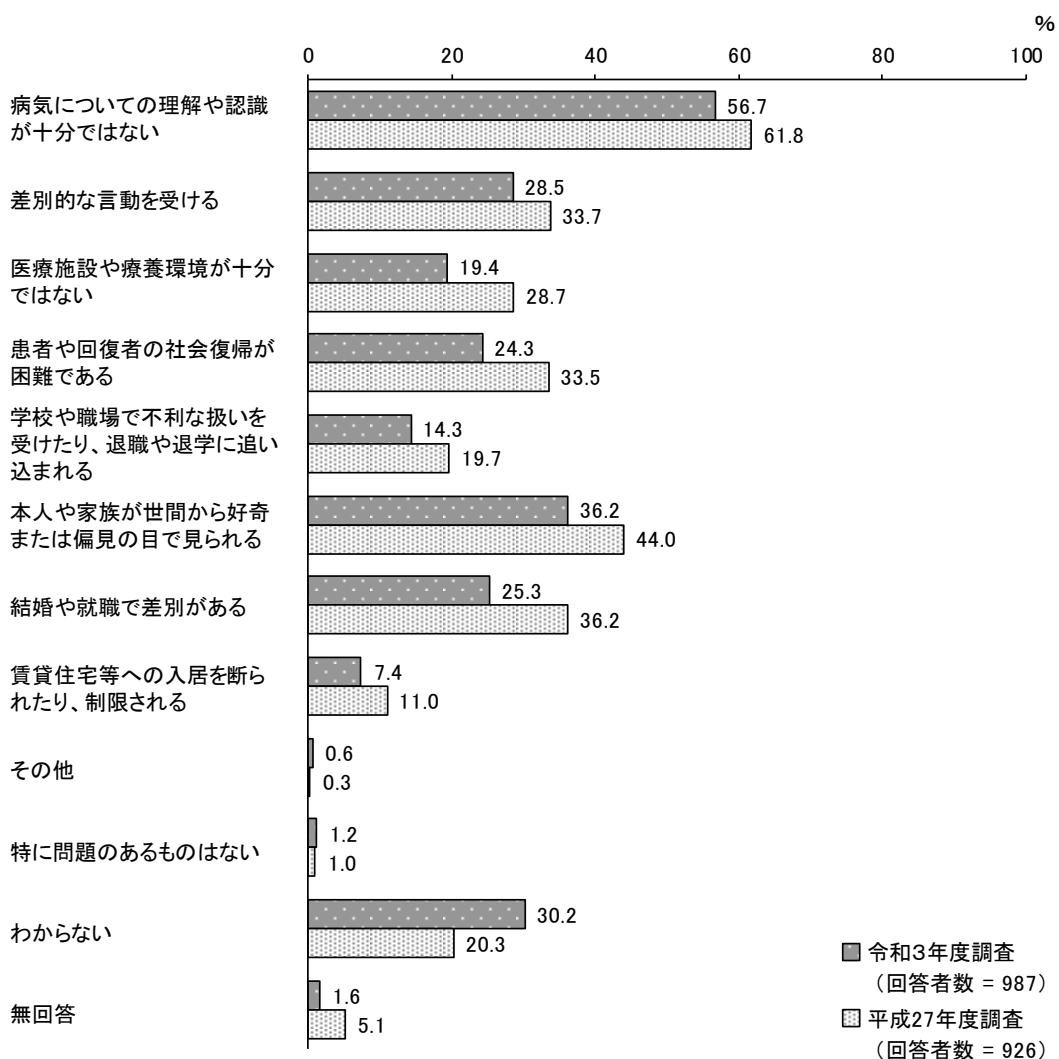
年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で“尊重されている”の割合が高くなっています。また、60歳代で“尊重されていない”の割合が高くなっています。



問 37 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族について、どのような人権問題が起きていると思いますか。(〇はいくつでも可)

「病気についての理解や認識が十分ではない」の割合が56.7%と最も高く、次いで「本人や家族が世間から好奇または偏見の目で見られる」の割合が36.2%、「わからない」の割合が30.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、「病気についての理解や認識が十分ではない」「差別的な言動を受ける」「医療施設や療養環境が十分ではない」「患者や回復者の社会復帰が困難である」「学校や職場で不利な扱いを受けたり、退職や退学に追い込まれる」「本人や家族が世間から好奇または偏見の目で見られる」「結婚や就職で差別がある」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「病気についての理解や認識が十分ではない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	病気についての理解や認識が十分ではない	差別的な言動を受ける	医療施設や療養環境が十分ではない	患者や回復者の社会復帰が困難である	学校や職場で不利な扱いを受けたり、退職や退学に追い込まれる	本人や家族が世間から好奇または偏見の目で見られる	結婚や就職で差別がある	賃貸住宅等への入居を断られたり、制限される	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
女性	539	60.1	28.8	19.7	25.8	14.7	36.4	24.9	7.1	0.4	1.1	29.9	1.7
男性	439	52.6	28.5	19.4	22.8	13.9	36.4	25.7	8.0	0.9	1.4	30.5	1.4

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「医療施設や療養環境が十分ではない」「患者や回復者の社会復帰が困難である」「学校や職場で不利な扱いを受けたり、退職や退学に追い込まれる」の割合が高くなっています。また、20歳代、40歳代で「差別的な言動を受ける」の割合が高くなっています。

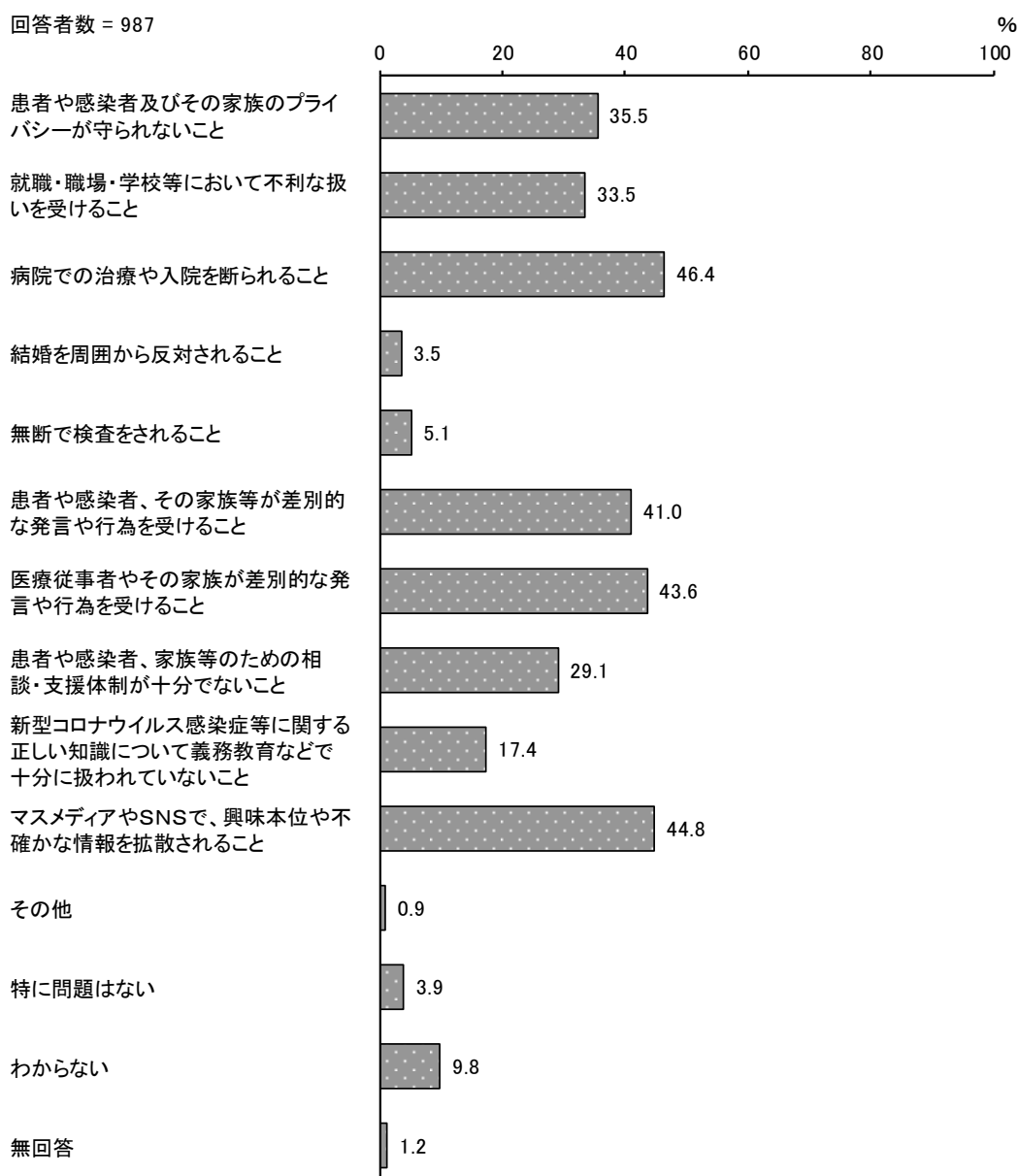
単位：％

区分	回答者数（件）	病気についての理解や認識が十分ではない	差別的な言動を受ける	医療施設や療養環境が十分ではない	患者や回復者の社会復帰が困難である	学校や職場で不利な扱いを受けたり、退職や退学に追い込まれる	本人や家族が世間から好奇または偏見の目で見られる	結婚や就職で差別がある	賃貸住宅等への入居を断られたり、制限される	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
20歳未満	18	50.0	16.7	11.1	11.1	5.6	44.4	11.1	—	—	5.6	27.8	—
20歳代	84	61.9	41.7	21.4	19.0	17.9	41.7	21.4	6.0	1.2	1.2	23.8	1.2
30歳代	135	57.0	35.6	18.5	18.5	15.6	40.7	28.9	5.9	0.7	1.5	30.4	0.7
40歳代	150	58.7	41.3	24.7	31.3	24.7	48.0	28.7	8.7	1.3	0.7	23.3	1.3
50歳代	169	55.0	24.3	17.8	22.5	11.8	32.5	23.1	5.9	0.6	1.8	32.5	1.2
60歳代	212	59.0	23.6	21.2	26.9	12.7	32.1	26.9	8.0	—	0.5	30.7	2.4
70歳以上	214	52.8	19.6	15.9	25.2	9.3	29.4	23.4	9.3	0.5	1.4	35.5	1.9

## 11 新型コロナウイルス感染症等について

問 38 新型コロナウイルス感染症等に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも可)

「病院での治療や入院を断られること」の割合が46.4%と最も高く、次いで「マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報を拡散されること」の割合が44.8%、「医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること」の割合が43.6%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「患者や感染者及びその家族のプライバシーが守られないこと」「就職・職場・学校等において不利な扱いを受けること」「病院での治療や入院を断られること」「患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること」「医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること」「患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと」「マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報を拡散されること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	患者や感染者及びその家族のプライバシーが守られないこと	就職・職場・学校等において不利な扱いを受けること	病院での治療や入院を断られること	結婚を周囲から反対されること	無断で検査をされること	患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること	医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること
女性	539	39.0	37.3	50.3	4.3	5.4	45.3	51.2
男性	439	30.8	28.7	41.2	2.5	4.8	36.2	33.9

区分	患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	新型コロナウイルス感染症等に関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと	マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報を拡散されること	その他	特に問題はない	わからない	無回答
女性	31.7	17.6	48.4	0.4	2.6	8.9	1.1
男性	25.7	16.9	40.3	1.6	5.5	11.2	1.4

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「患者や感染者及びその家族のプライバシーが守られないこと」「就職・職場・学校等において不利な扱いを受けること」の割合が高くなっています。また、60歳代で「病院での治療や入院を断られること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	患者や感染者及びその家族のプライバシーが守られないこと	就職・職場・学校等において不利な扱いを受けること	病院での治療や入院を断られること	結婚を周囲から反対されること	無断で検査をされること	患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること	医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること
20歳未満	18	5.6	27.8	22.2	—	—	22.2	27.8
20歳代	84	41.7	45.2	38.1	8.3	10.7	53.6	48.8
30歳代	135	48.9	49.6	39.3	5.9	8.9	54.8	54.1
40歳代	150	40.0	39.3	50.0	4.0	8.0	53.3	55.3
50歳代	169	34.3	34.3	42.0	2.4	1.8	39.1	42.6
60歳代	212	29.7	28.3	54.7	2.8	3.3	37.3	40.1
70歳以上	214	29.4	19.2	48.1	1.4	3.3	26.2	32.2

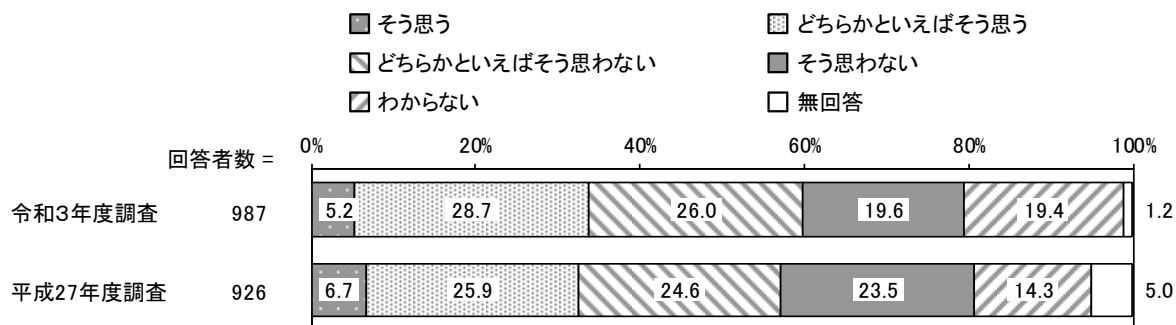
区分	患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	新型コロナウイルス感染症等に關する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと	マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報を拡散されること	その他	特に問題はない	わからない	無回答
20歳未満	11.1	—	27.8	5.6	16.7	22.2	—
20歳代	34.5	22.6	59.5	1.2	2.4	7.1	—
30歳代	31.1	19.3	52.6	0.7	3.7	8.1	—
40歳代	32.0	18.0	56.0	1.3	3.3	4.7	1.3
50歳代	23.7	13.0	39.1	1.2	3.6	11.8	—
60歳代	29.2	19.3	41.0	0.9	3.8	10.4	0.9
70歳以上	29.0	16.8	36.0	—	4.2	12.6	3.7

## 12 情報化社会、インターネット・SNSにかかわる人権問題について

問 39 あなたは、自分や家族の個人情報保護され、適切に取り扱われていると思いますか。(○は1つ)

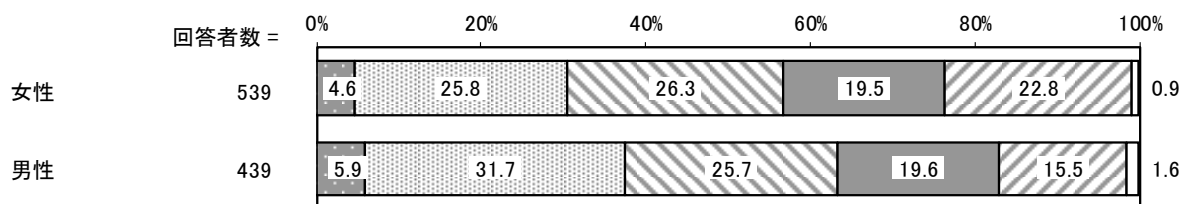
「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が45.6%と最も高く、次いで「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が33.9%、「わからない」の割合が19.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。



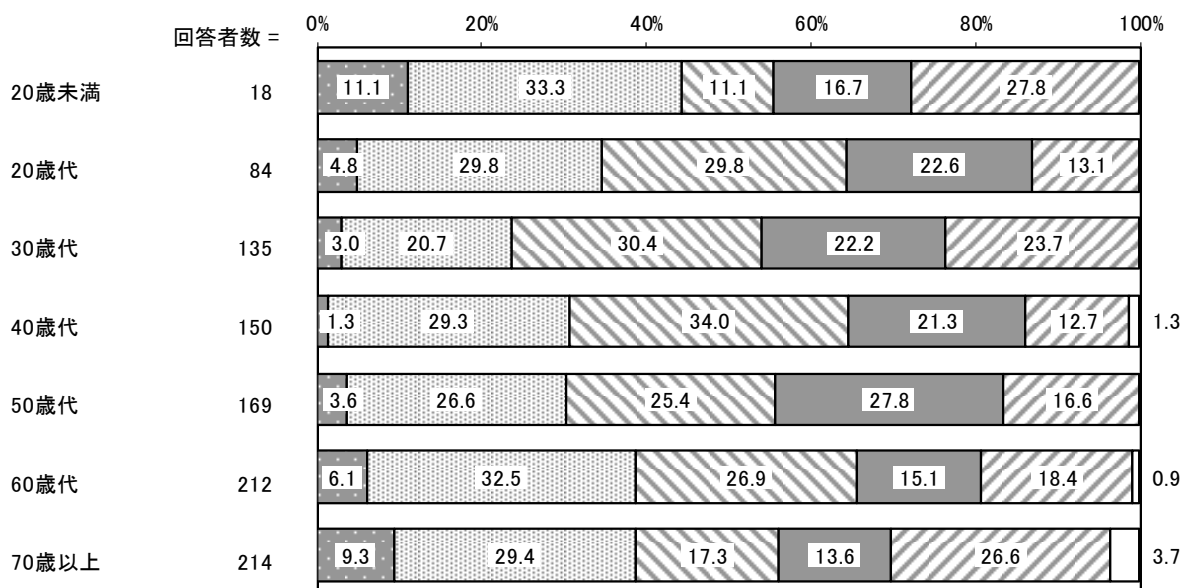
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“思う”の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で“思う”の割合が高くなっています。また、40歳代で“思わない”の割合が高くなっています。

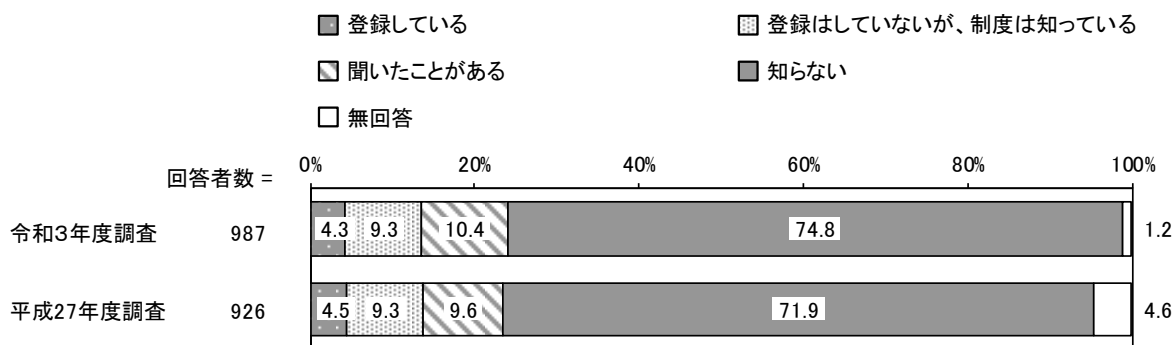




**問 40 あなたは、泉佐野市に戸籍謄本や住民票にかかわって「本人通知制度」があることを知っていますか。(○は1つ)**

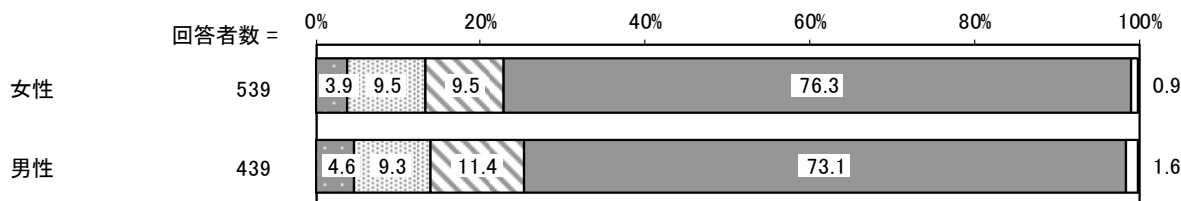
「知らない」の割合が74.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が10.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



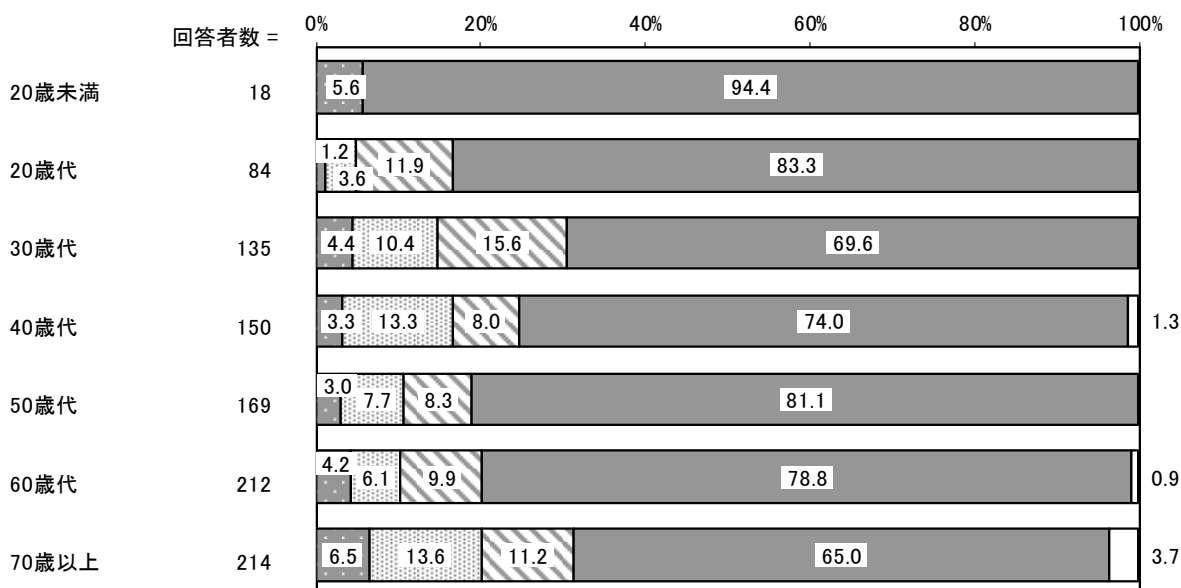
**【性別】**

性別でみると、大きな差異はみられません。



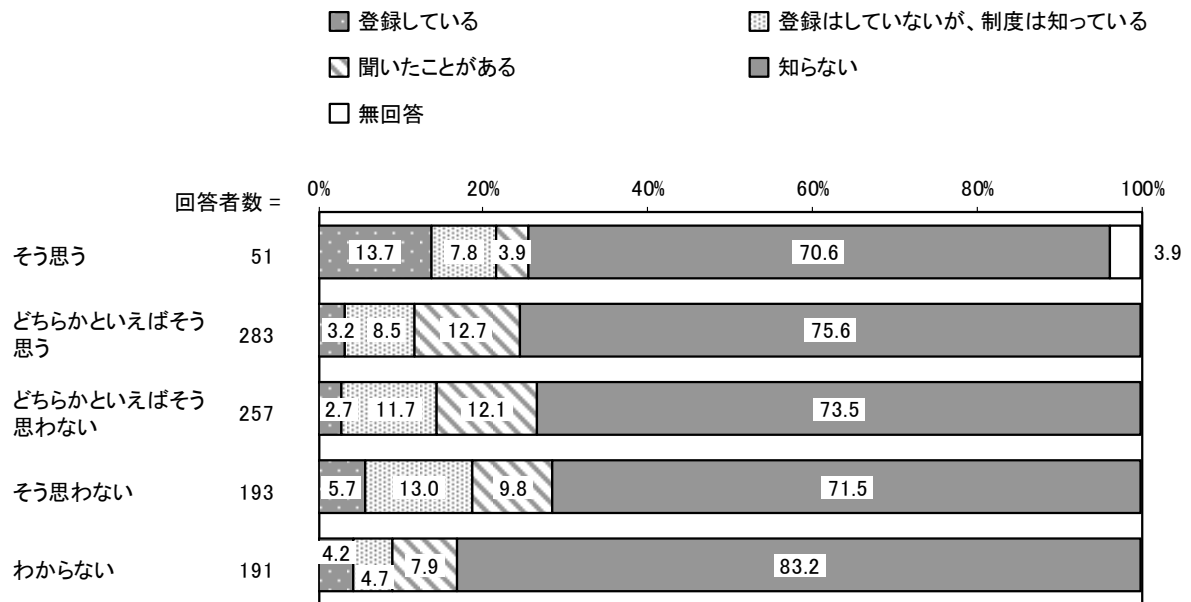
**【年齢別】**

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「知らない」の割合が高くなっています。また30歳代で「聞いたことがある」の割合が高くなっています。



【自分や家族の個人情報保護が適切に扱われていることへの認識度別】

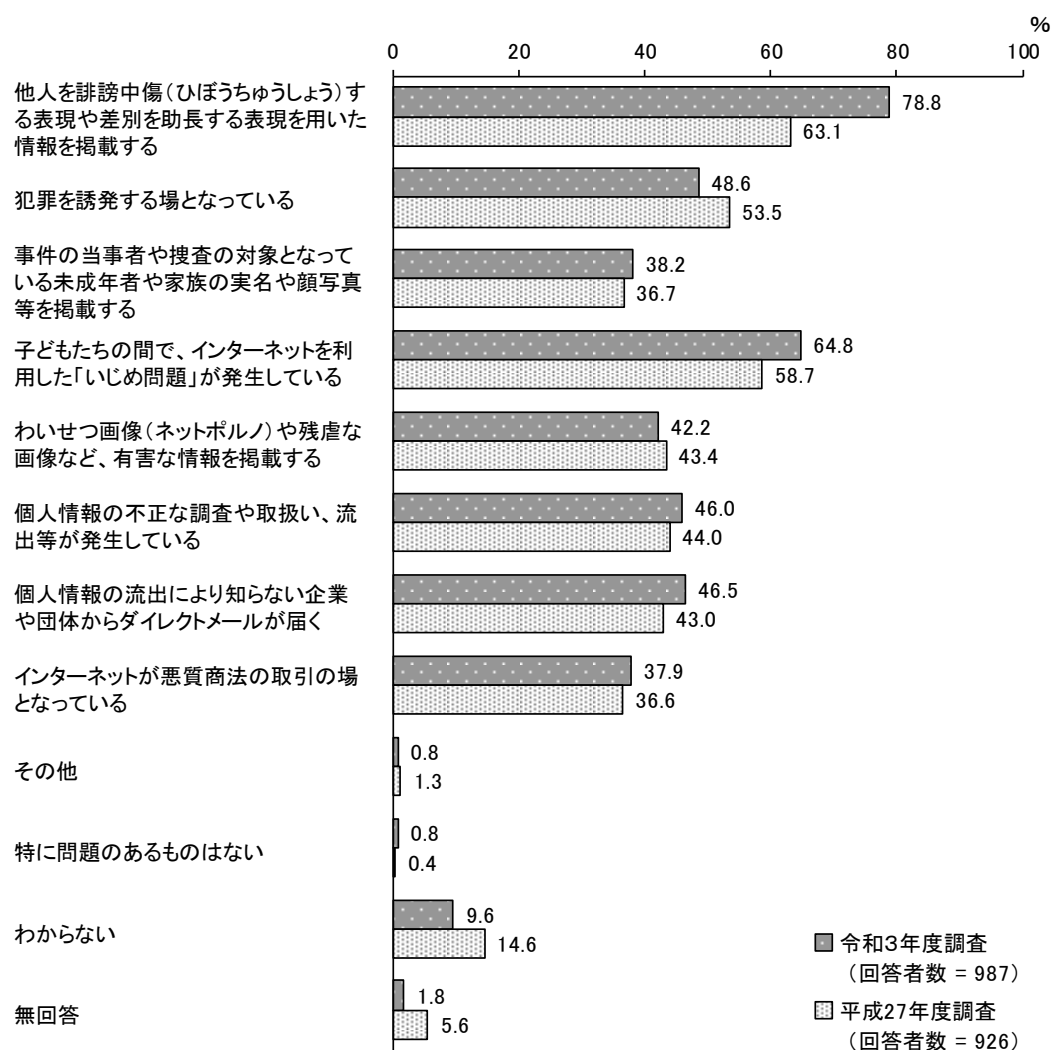
自分や家族の個人情報保護が適切に扱われていることへの認識度別でみると、他に比べ、そう思うで「登録している」の割合が高くなっています。また、そう思わないで「登録はしていないが、制度は知っている」の割合が高くなっています。



問 41 パソコン・モバイル端末や携帯電話・スマートフォンなどを利用したインターネット上のサイトやSNSなどでは、どのような人権問題が起きていると思いますか。(〇はいくつでも可)

「他人を誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）する表現や差別を助長する表現を用いた情報を掲載する」の割合が78.8%と最も高く、次いで「子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生している」の割合が64.8%、「犯罪を誘発する場となっている」の割合が48.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「他人を誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）する表現や差別を助長する表現を用いた情報を掲載する」「子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生している」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「他人を誹謗中傷（ひぼうちゆうしょう）する表現や差別を助長する表現を用いた情報を掲載する」「事件の当事者や捜査の対象となっている未成年者や家族の実名や顔写真等を掲載する」「子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生している」「わいせつ画像（ネットポルノ）や残虐な画像など、有害な情報を掲載する」「個人情報の不正な調査や取扱い、流出等が発生している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	他人を誹謗中傷（ひぼうちゆうしょう）する表現や差別を助長する表現を用いた情報を掲載する	犯罪を誘発する場となっている	事件の当事者や捜査の対象となっている未成年者や家族の実名や顔写真等を掲載する	子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生している	わいせつ画像（ネットポルノ）や残虐な画像など、有害な情報を掲載する	個人情報の不正な調査や取扱い、流出等が発生している
女性	539	81.1	50.3	42.5	70.5	45.8	49.0
男性	439	75.9	47.4	33.5	58.8	38.5	42.6

区分	個人情報の流出により知らない企業や団体からダイレクトメールが届く	インターネットが悪質商法の取引の場となっている	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
女性	48.6	40.3	0.2	—	7.6	1.9
男性	44.4	35.5	1.6	1.8	12.1	1.8

## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「犯罪を誘発する場となっている」の割合が高くなっています。また、30歳代で「子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生している」「個人情報の流出により知らない企業や団体からダイレクトメールが届く」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	他人を誹謗中傷(ひぼうちゆうしょう)する表現や差別を助長する表現を用いた情報を掲載する	犯罪を誘発する場となっている	事件の当事者や捜査の対象となっている未成年者や家族の実名や顔写真等を掲載する	子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生している	わいせつ画像(ネットポルノ)や残虐な画像など、有害な情報を掲載する	個人情報の不正な調査や取扱い、流出等が発生している
20歳未満	18	72.2	38.9	22.2	61.1	27.8	33.3
20歳代	84	86.9	59.5	53.6	73.8	54.8	59.5
30歳代	135	83.7	54.8	56.3	78.5	51.9	60.0
40歳代	150	87.3	50.0	42.7	73.3	46.0	57.3
50歳代	169	86.4	49.1	39.1	71.0	46.2	46.7
60歳代	212	75.5	52.4	33.0	60.8	42.9	42.0
70歳以上	214	64.5	36.9	24.3	47.7	27.1	29.0

区分	個人情報の流出により知らない企業や団体からダイレクトメールが届く	インターネットが悪質商法の取引の場となっている	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
20歳未満	38.9	11.1	—	5.6	11.1	—
20歳代	54.8	44.0	1.2	—	6.0	—
30歳代	59.3	48.1	—	2.2	5.9	0.7
40歳代	52.7	43.3	1.3	—	1.3	0.7
50歳代	49.7	40.8	—	—	7.1	1.2
60歳代	42.9	37.3	0.9	0.9	9.9	1.9
70歳以上	33.2	26.6	1.4	0.9	20.6	4.7

### 【自分や家族の個人情報が保護され、適切に取り扱われているということへの認識度別】

自分や家族の個人情報が保護され、適切に取り扱われているということへの認識度別でみると、他に比べ、そう思わないで「事件の当事者や捜査の対象となっている未成年者や家族の実名や顔写真等を掲載する」「個人情報の不正な調査や取扱い、流出等が発生している」「個人情報の流出により知らない企業や団体からダイレクトメールが届く」「インターネットが悪質商法の取引の場となっている」の割合が高くなっています。

単位：％

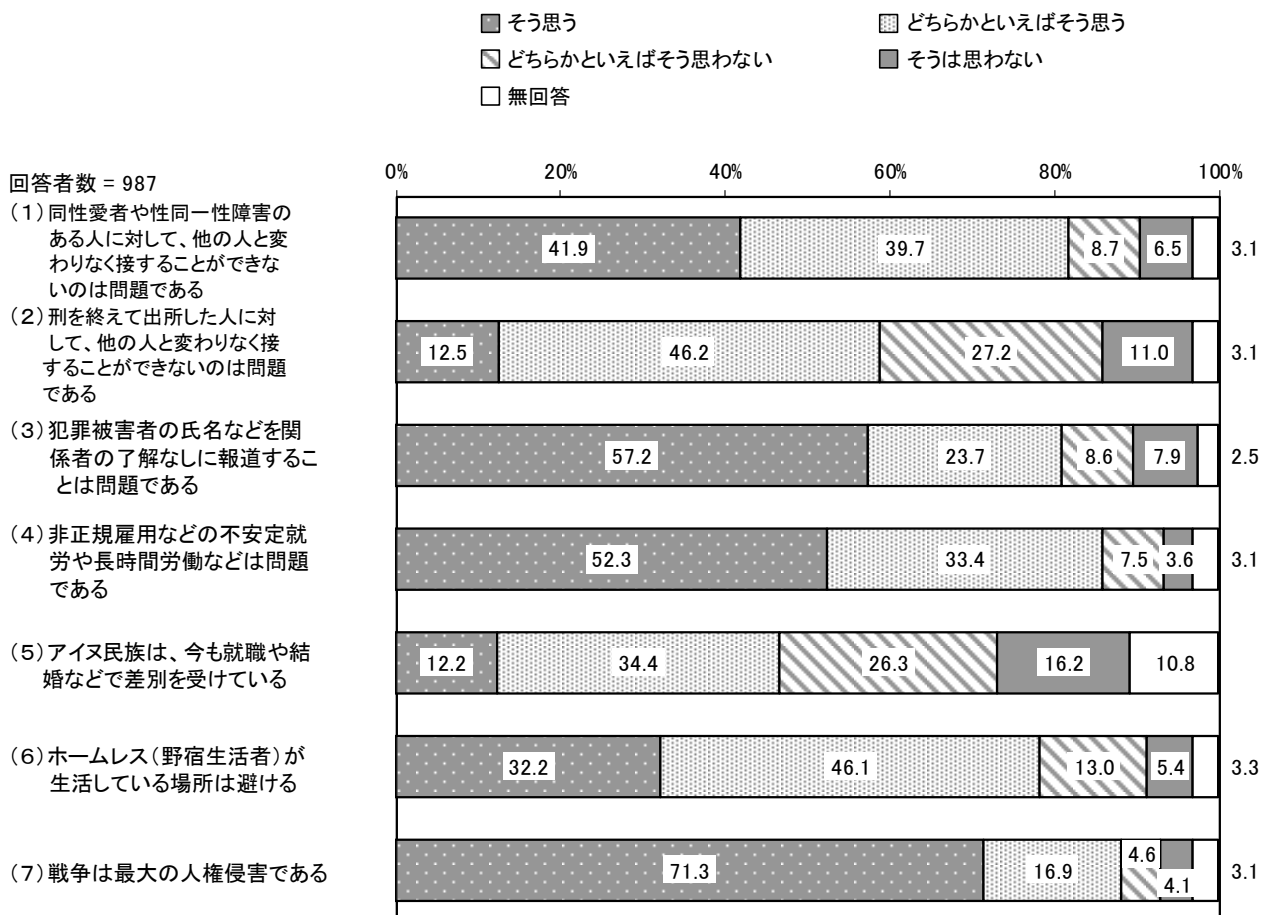
区分	回答者数(件)	他人を誹謗中傷(ひぼうちゆうしょう)する表現や差別を助長する表現を用いた情報を掲載する	犯罪を誘発する場となっている	事件の当事者や捜査の対象となっている未成年者や家族の実名や顔写真等を掲載する	子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生している	わいせつ画像(ネットポルノ)や残虐な画像など、有害な情報を掲載する	個人情報の不正な調査や取扱い、流出等が発生している
そう思う	51	56.9	23.5	25.5	49.0	29.4	27.5
どちらかといえばそう思う	283	86.2	49.5	38.2	67.5	43.1	44.5
どちらかといえばそう思わない	257	87.2	57.6	43.2	75.5	50.2	53.7
そう思わない	193	86.5	59.1	49.2	73.1	52.3	63.7
わからない	191	59.2	34.0	26.2	46.1	25.7	27.2

区分	個人情報の流出により知らない企業や団体からダイレクトメールが届く	インターネットが悪質商法の取引の場となっている	その他	特に問題のあるものはない	わからない	無回答
そう思う	31.4	27.5	2.0	3.9	13.7	5.9
どちらかといえばそう思う	42.4	37.5	0.7	0.4	4.9	1.1
どちらかといえばそう思わない	55.3	39.7	0.8	0.4	4.7	0.4
そう思わない	63.7	51.3	1.0	0.5	3.6	0.5
わからない	29.8	27.7	0.5	1.6	27.7	0.5

### 13 その他の様々な人権問題について

問 42 次にあげる様々な人権問題について、あなたのお考えをお聞きかせください。  
(それぞれに○は1つずつ)

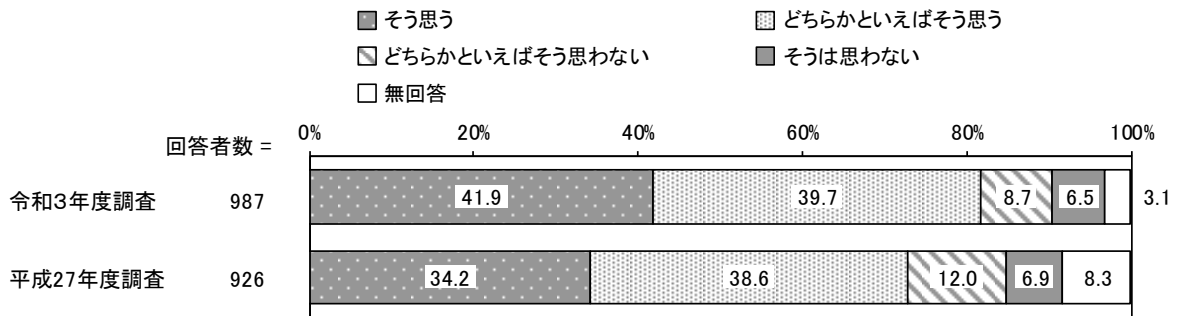
戦争は最大の人権侵害であるで「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が88.2%と最も高くなっています。また、アイヌ民族は、今も就職や結婚などで差別を受けているで「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が42.5%と高くなっています。



(1) 同性愛者や性同一性障害のある人に対して、他の人と変わりなく接することができないのは問題である

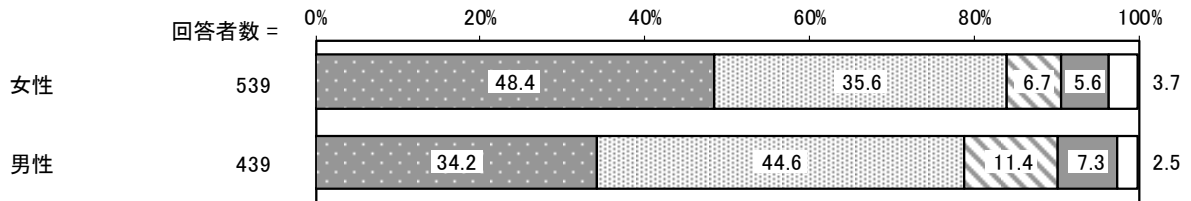
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、“思う”の割合が高くなっています。



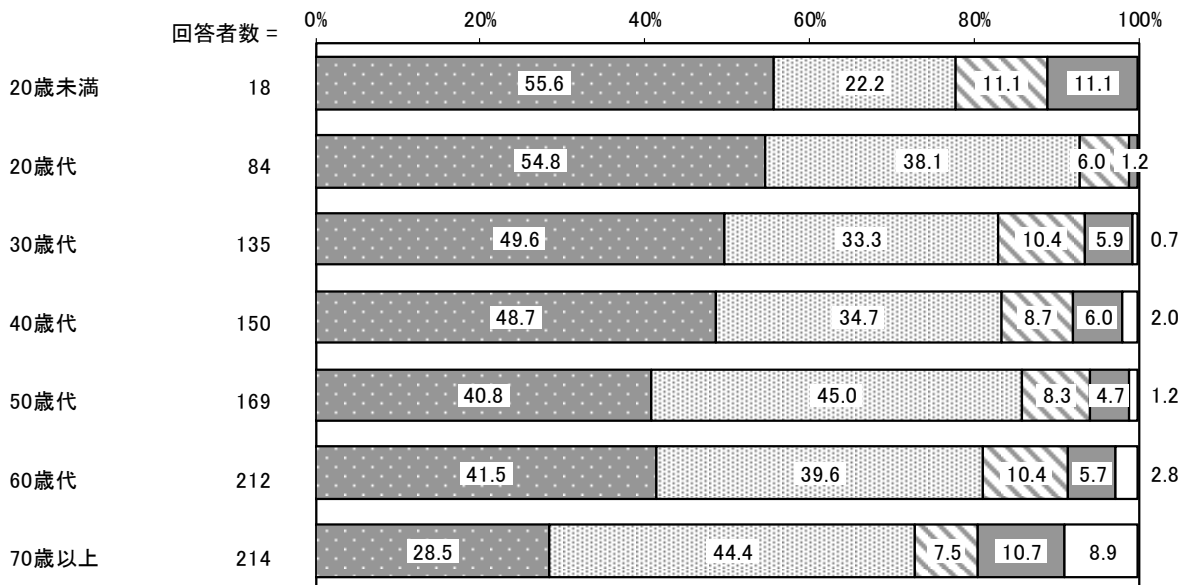
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“思う”の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で“思う”の割合が高くなっています。

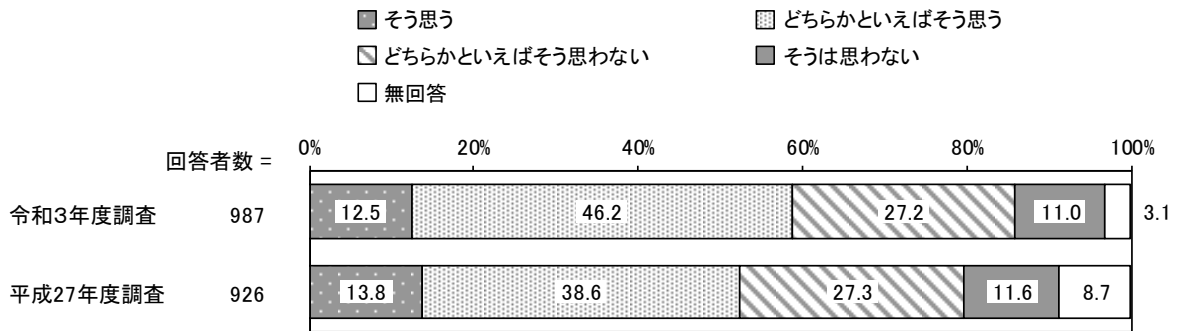




(2) 刑を終えて出所した人に対して、他の人と変わりなく接することができないのは問題である

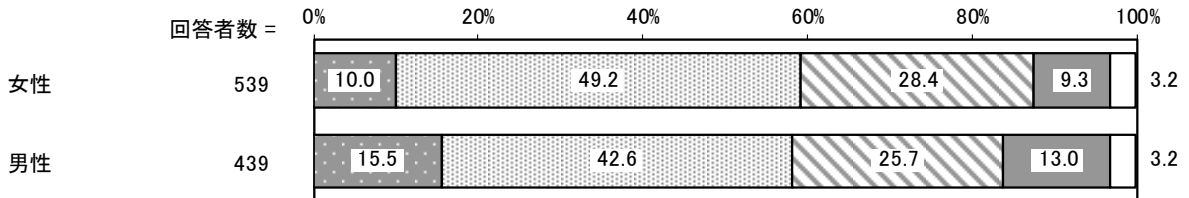
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、“思う”の割合が増加しています。



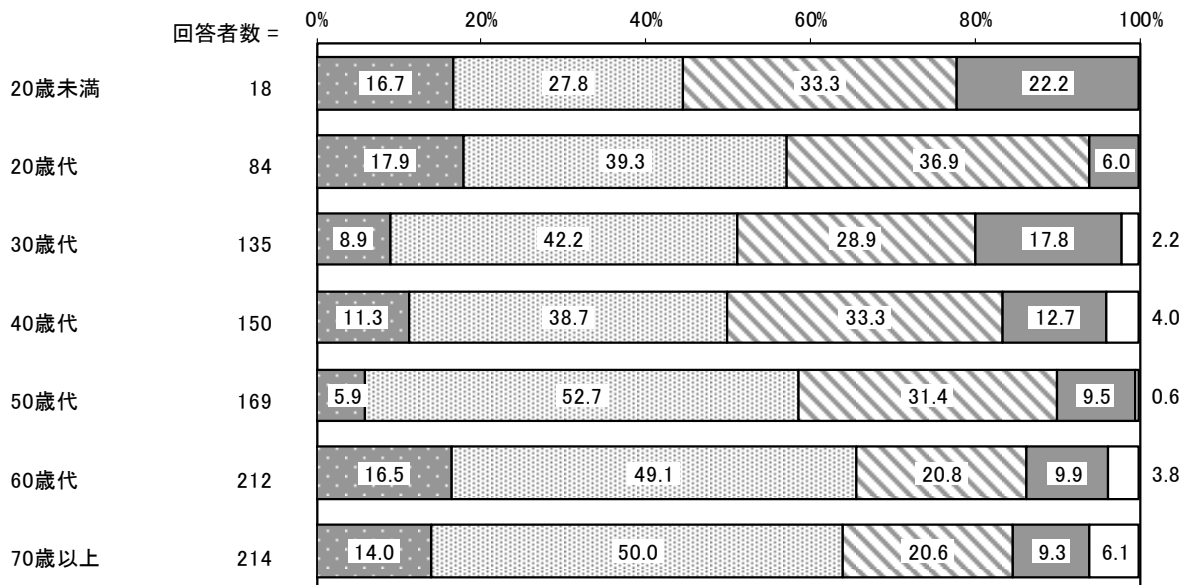
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

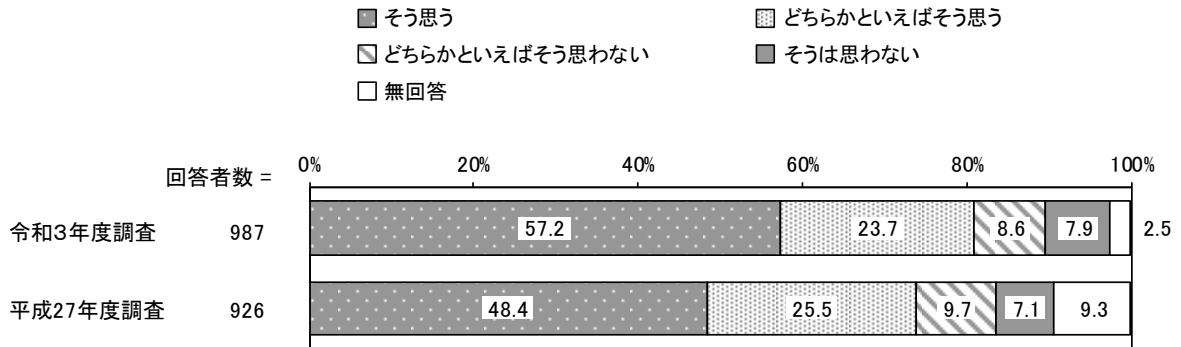
年齢別でみると、他に比べ、60歳代、70歳以上で“思う”の割合が高くなっています。また、20歳未満で“思わない”の割合が高くなっています。



(3) 犯罪被害者の氏名などを関係者の了解なしに報道することは問題である

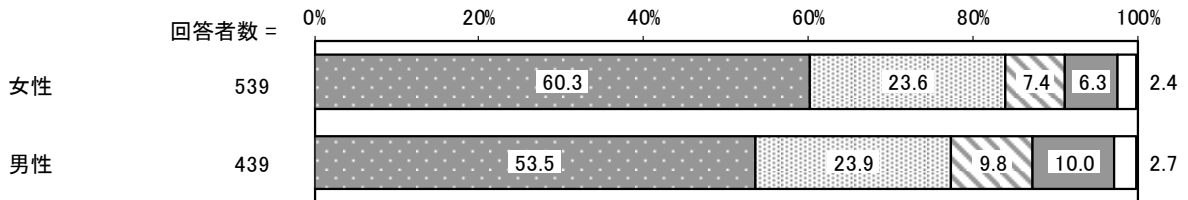
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、“思う”の割合が増加しています。



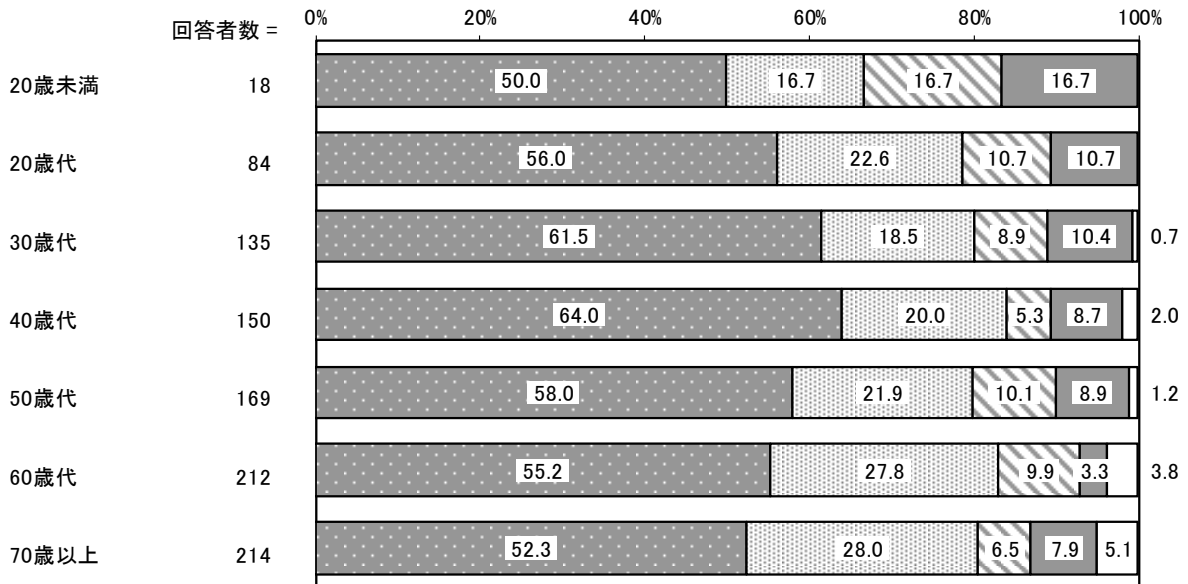
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“思う”の割合が高くなっています。



【年齢別】

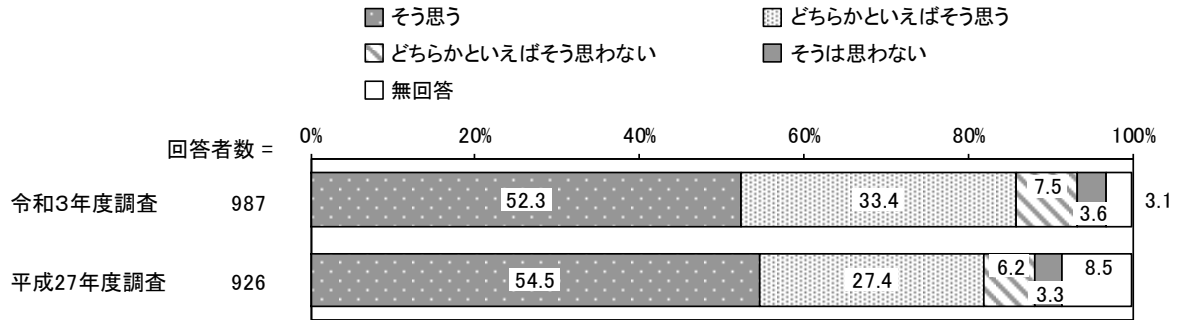
年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で“思わない”の割合が高くなっています。



(4) 非正規雇用などの不安定就労や長時間労働などは問題である

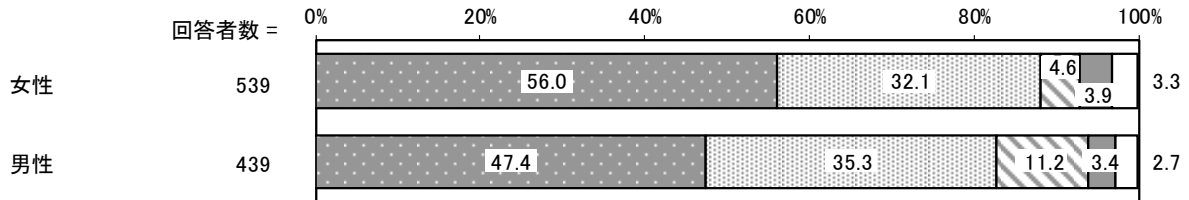
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、“思う”の割合が増加しています。



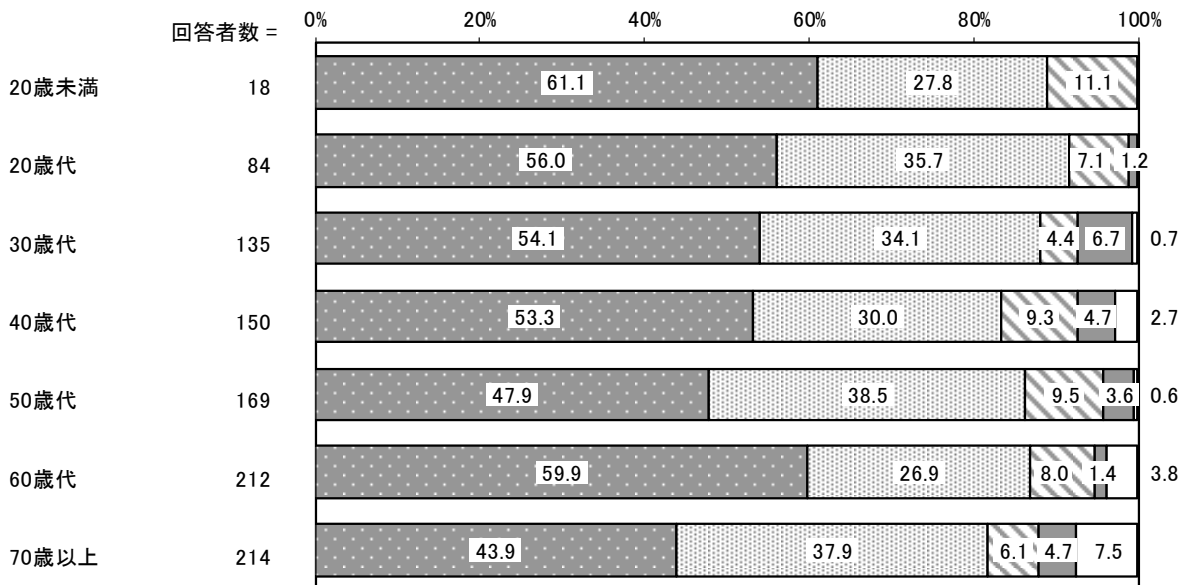
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“思う”の割合が高くなっています。



【年齢別】

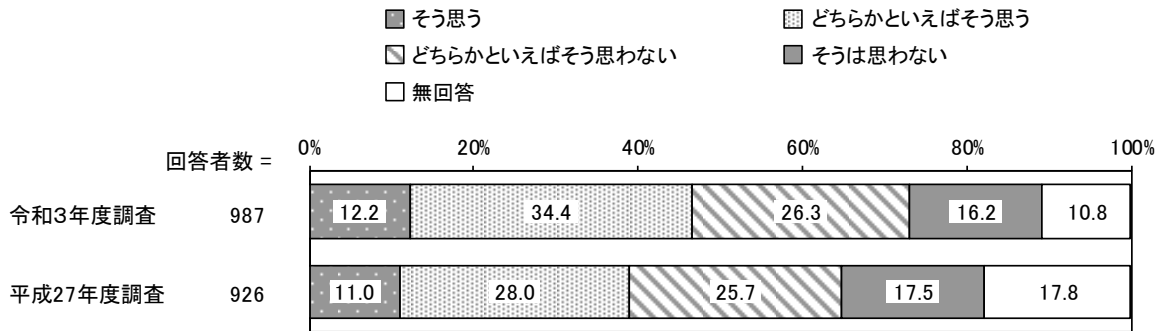
年齢別でみると、大きな差異はみられません。



(5) アイヌ民族は、今も就職や結婚などで差別を受けている

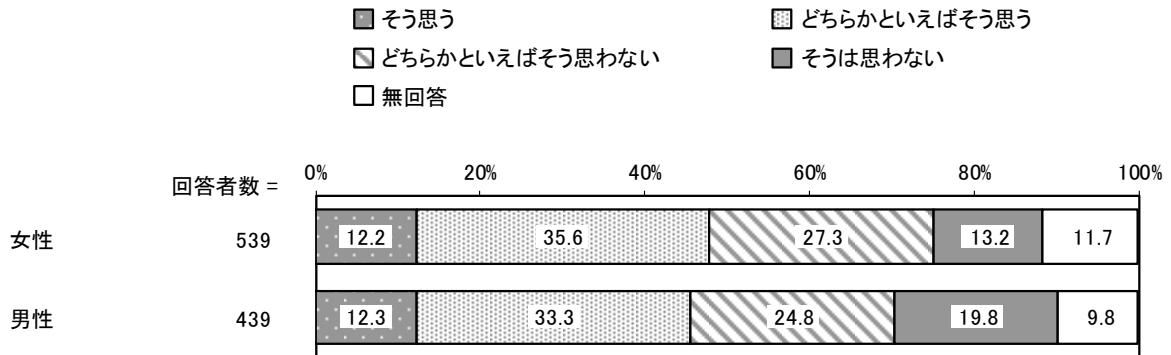
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、“思う”の割合が増加しています。



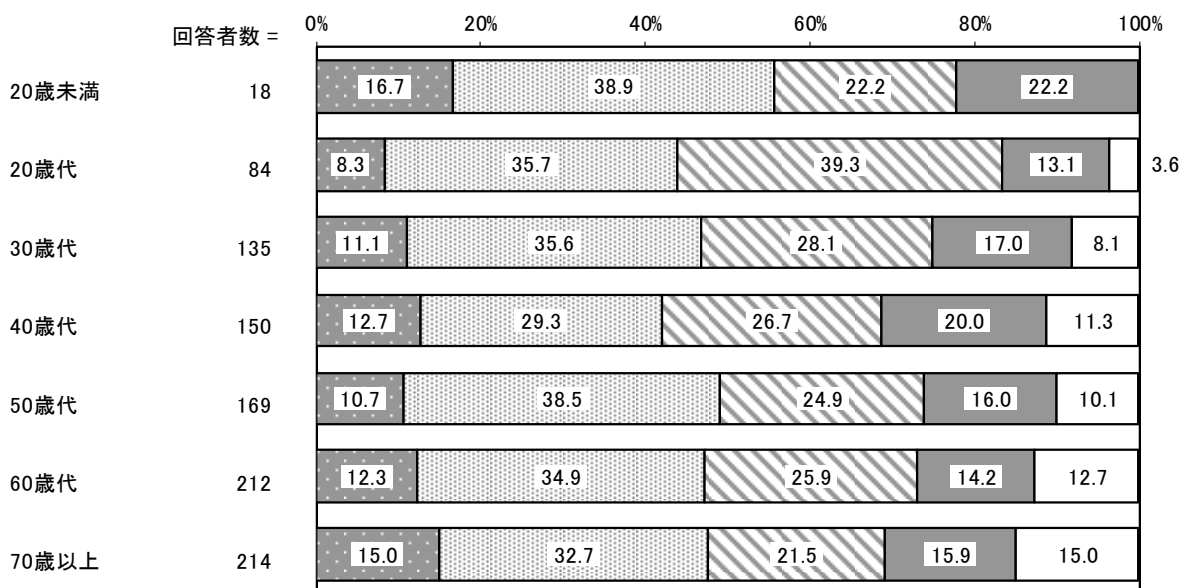
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

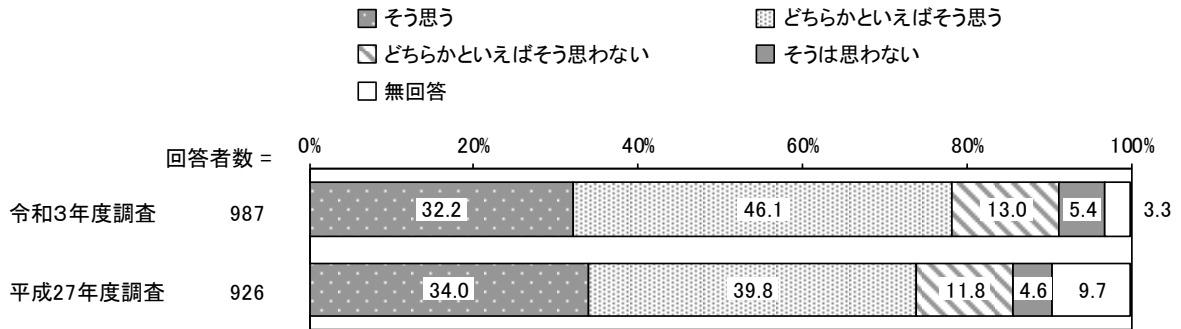
年齢別で見ると、他に比べ、20歳未満で“思う”の割合が高くなっています。また、20歳代で“思わない”の割合が高くなっています。



(6) ホームレス（野宿生活者）が生活している場所は避ける

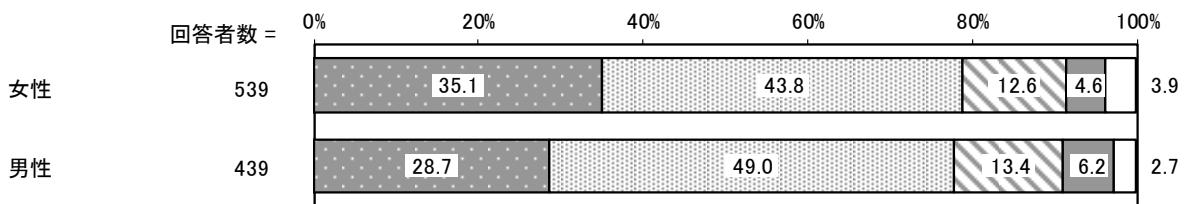
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、“思う”の割合が増加しています。



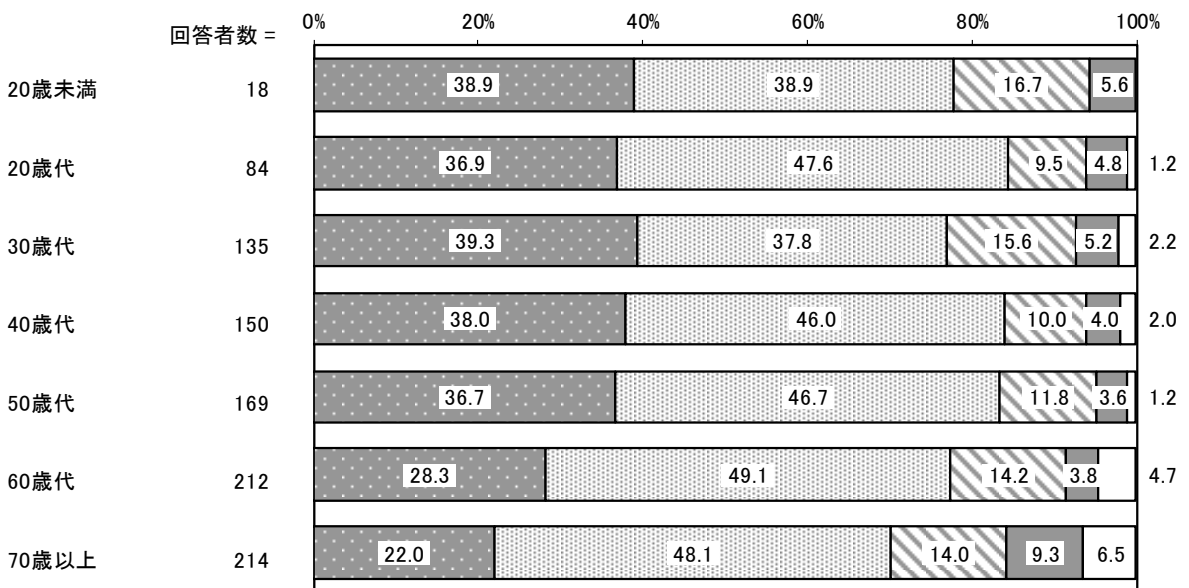
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

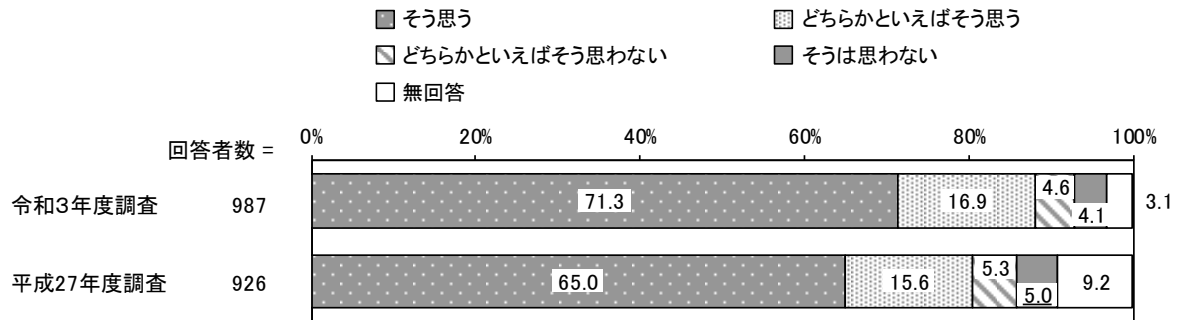
年齢別でみると、他に比べ、20歳代、40歳代、50歳代で“思う”の割合が高くなっています。



## (7) 戦争は最大の人権侵害である

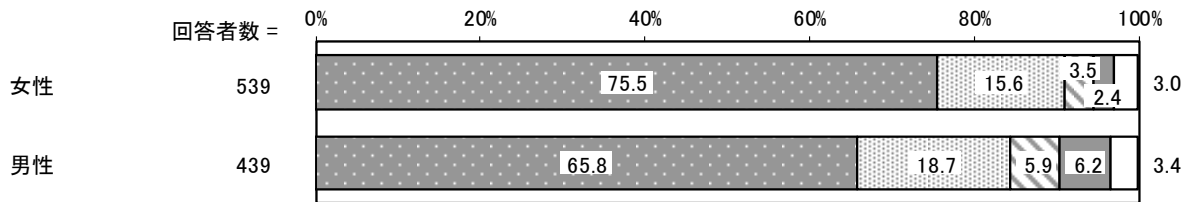
### 【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、“思う”の割合が増加しています。



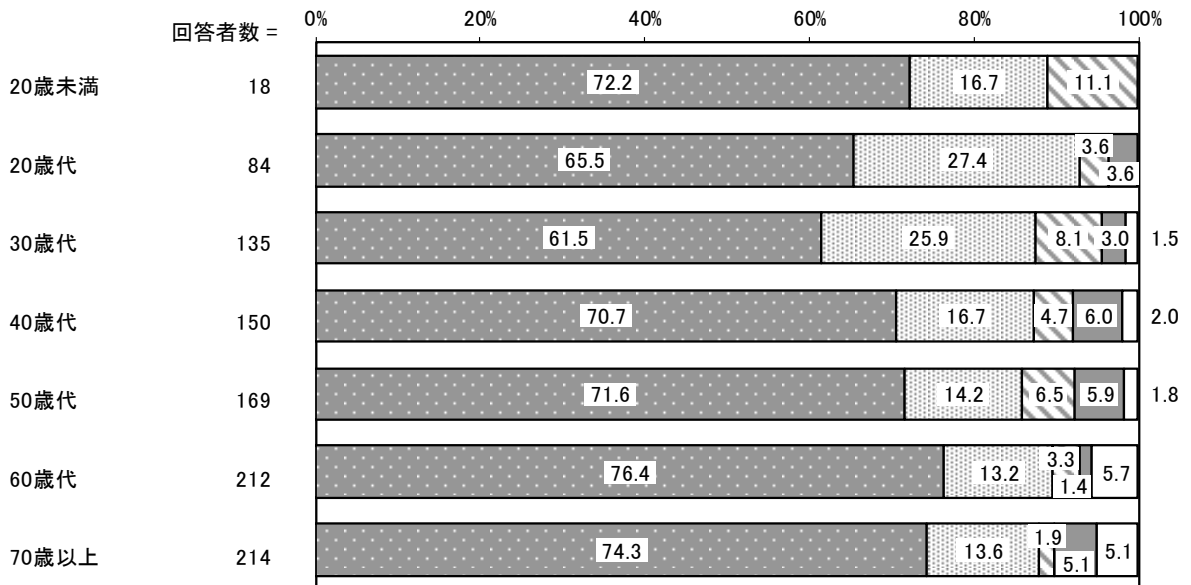
### 【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で“思う”の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

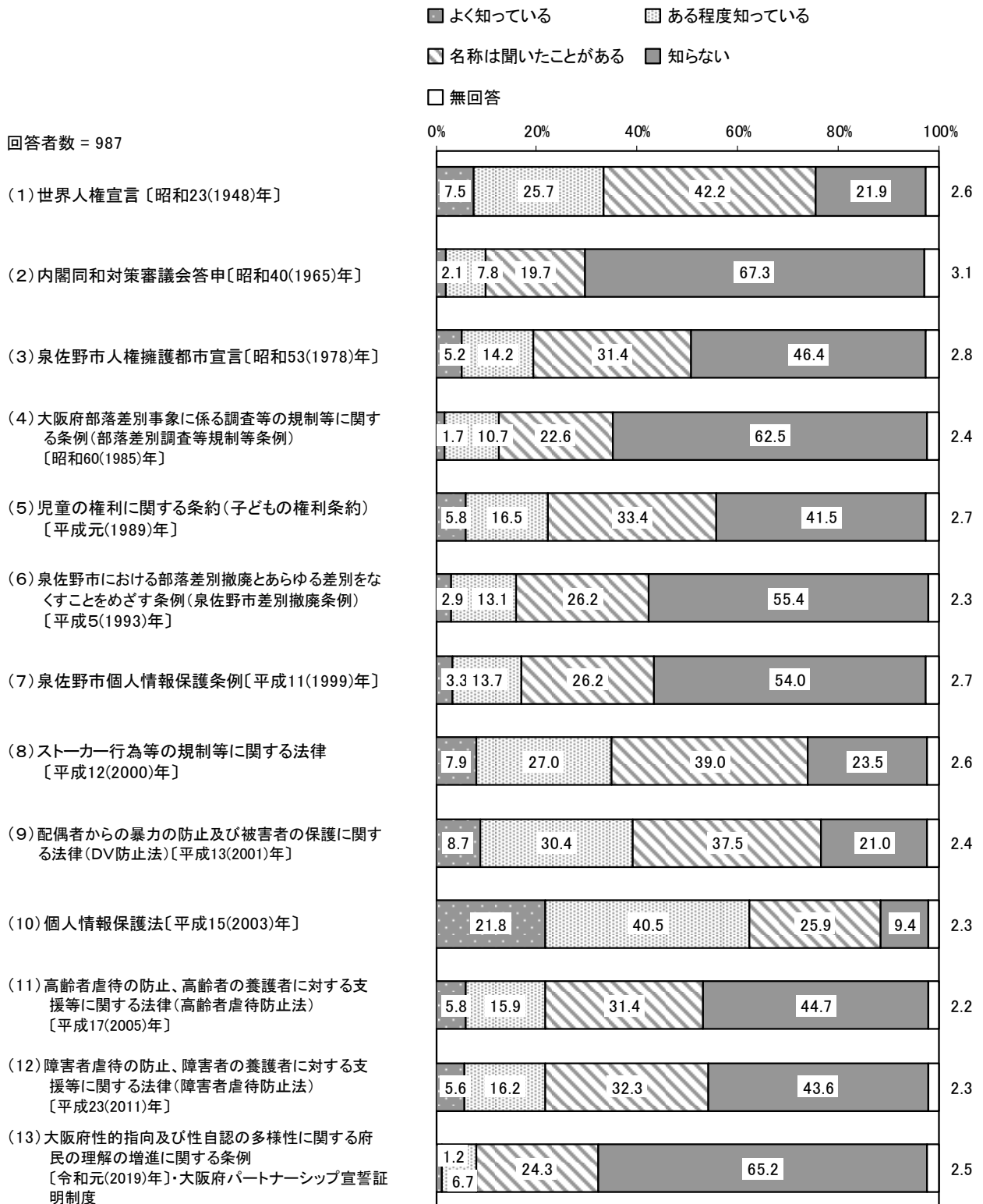
年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で“思う”の割合が高くなっています。



## 14 市の人権啓発に関する取り組みについて

問 43 あなたは、次の人権に関する宣言、法律や条例などについてどの程度知っていますか。すべての項目についてお答えください。（それぞれに○は1つずつ）

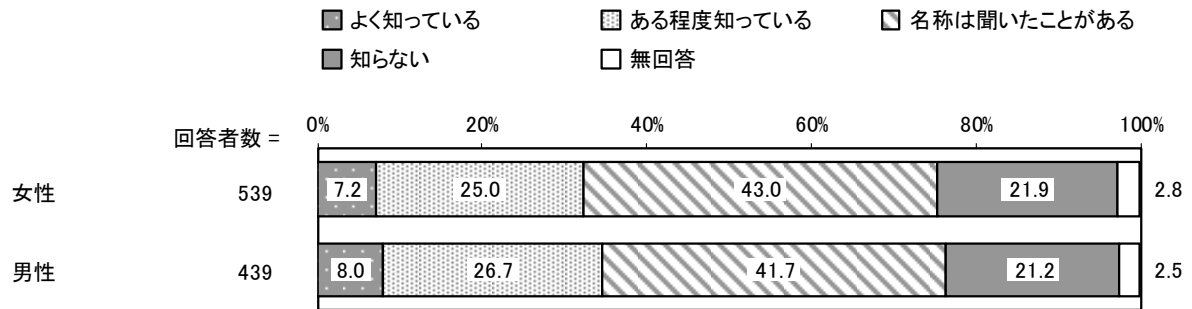
個人情報保護法〔平成15(2003)年〕で「よく知っている」の割合が21.8%、「ある程度知っている」の割合が40.5%と高くなっています。また、内閣同和対策審議会答申〔昭和40(1965)年〕で「知らない」が67.3%と高くなっています。



(1) 世界人権宣言〔昭和23(1948)年〕

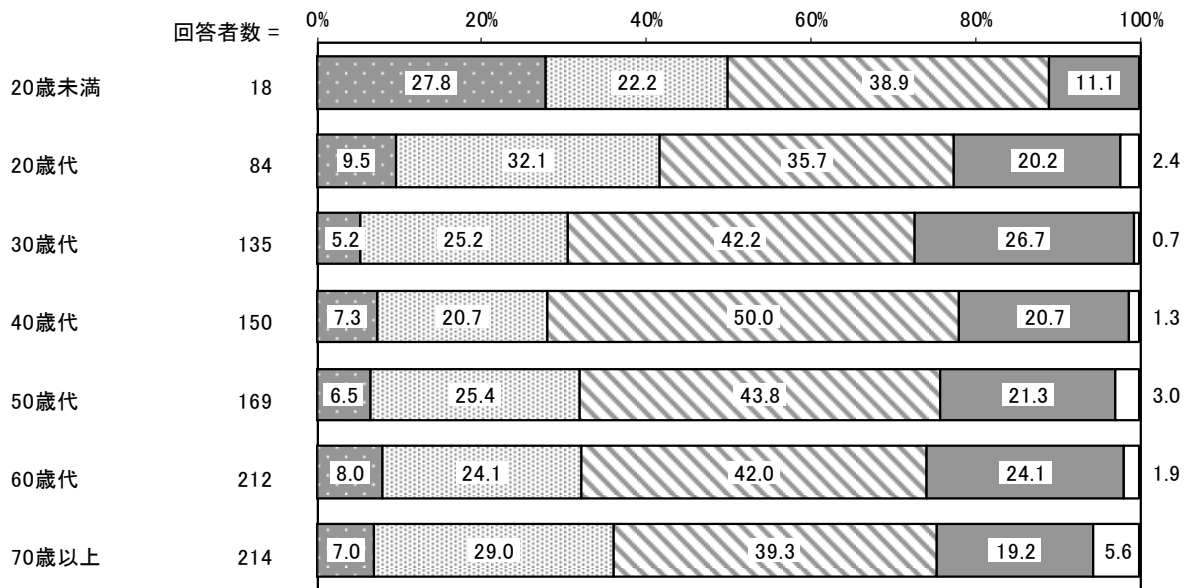
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「よく知っている」の割合が高くなっています。また、40歳代で「名称は聞いたことがある」の割合が高くなっています。

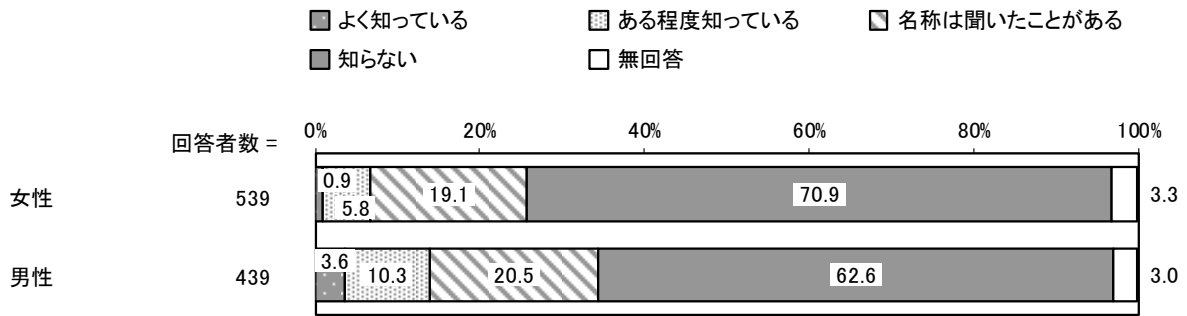




(2) 内閣同和对策審議会答申〔昭和40(1965)年〕

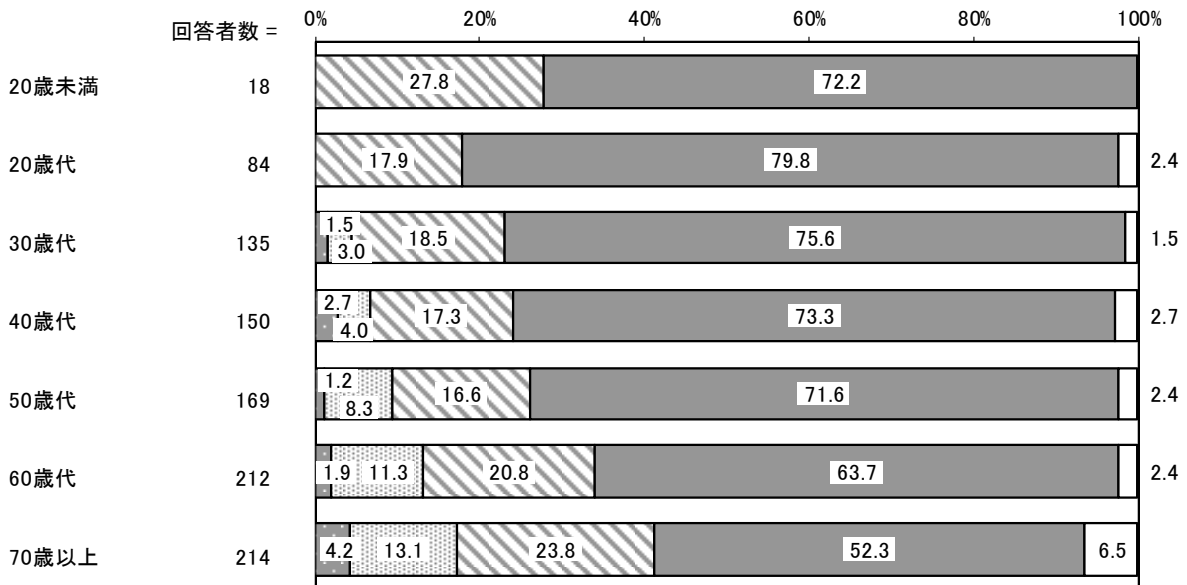
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

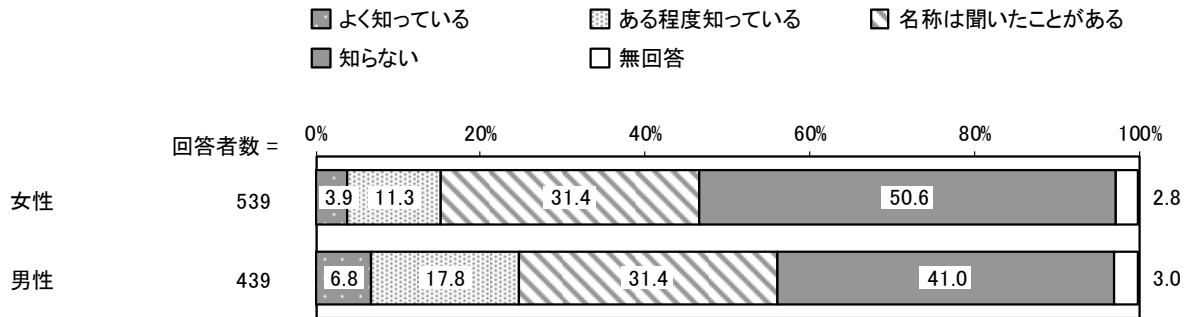
年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「名称は聞いたことがある」の割合が高くなっています。また、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。



(3) 泉佐野市人権擁護都市宣言〔昭和 53(1978)年〕

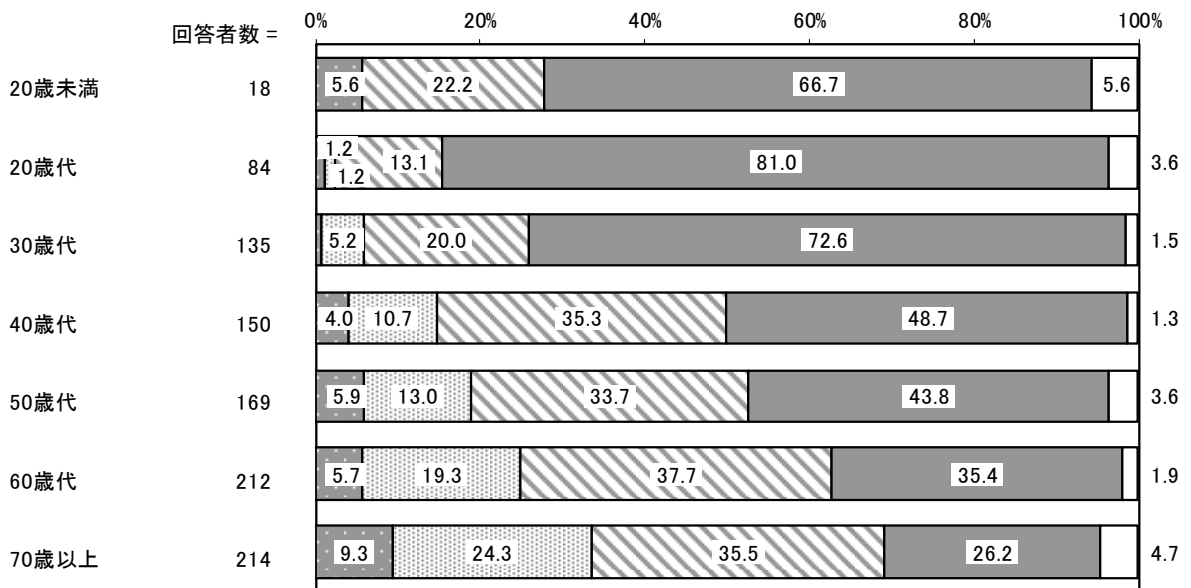
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

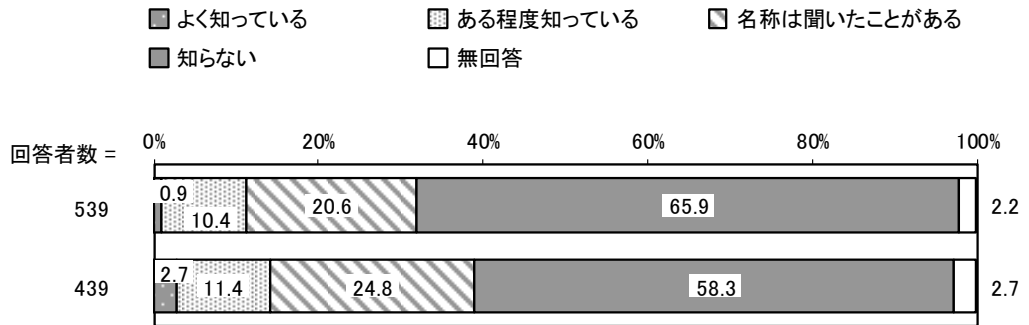
年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「ある程度知っている」の割合が高くなっています。



(4) 大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例（部落差別調査等規制等条例）〔昭和60(1985)年〕

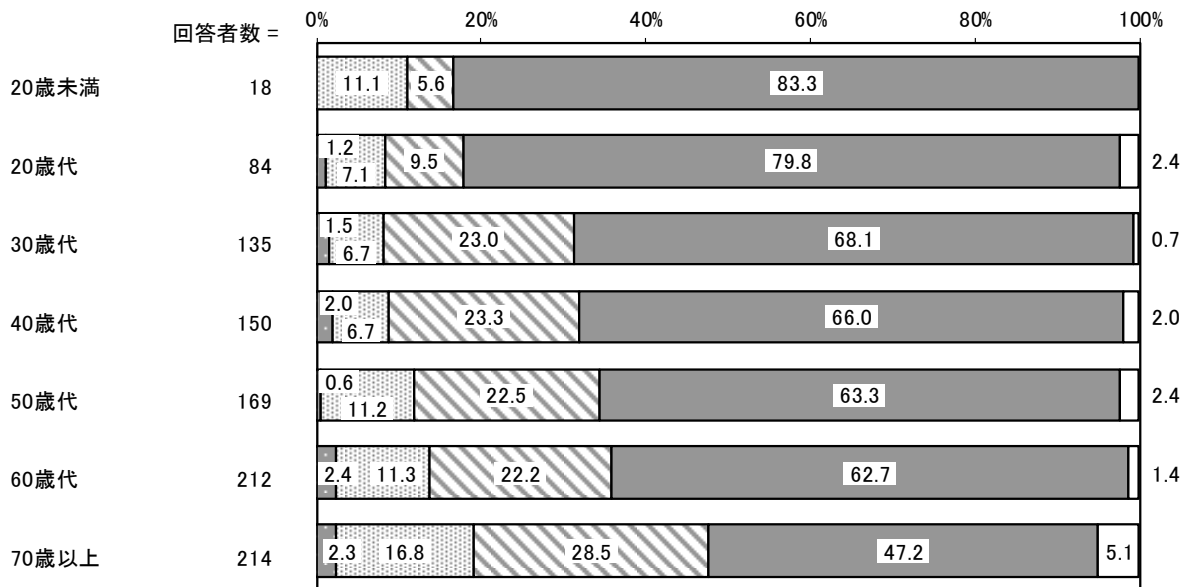
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

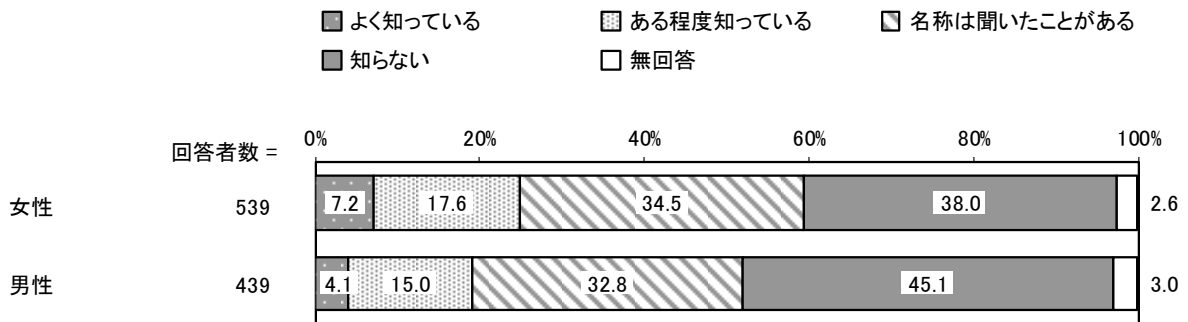
年齢別で見ると、他に比べ、20歳未満で「知らない」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「ある程度は知っている」「名称は聞いたことがある」の割合が高くなっています。



(5) 児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）〔平成元(1989)年〕

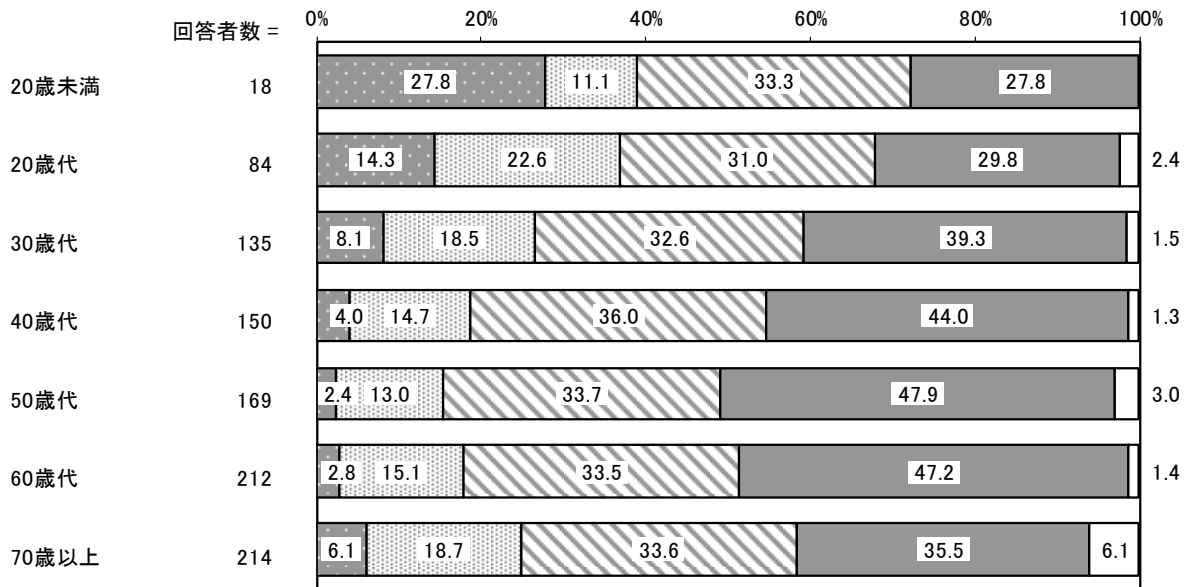
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

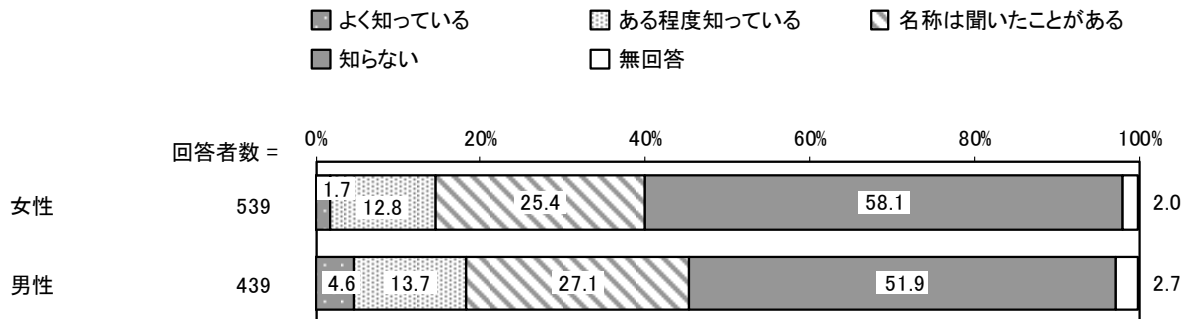
年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「よく知っている」の割合が高くなっています。また、20歳代で「ある程度知っている」の割合が高くなっています。



(6) 泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例（泉佐野市差別撤廃条例）〔平成5（1993）年〕

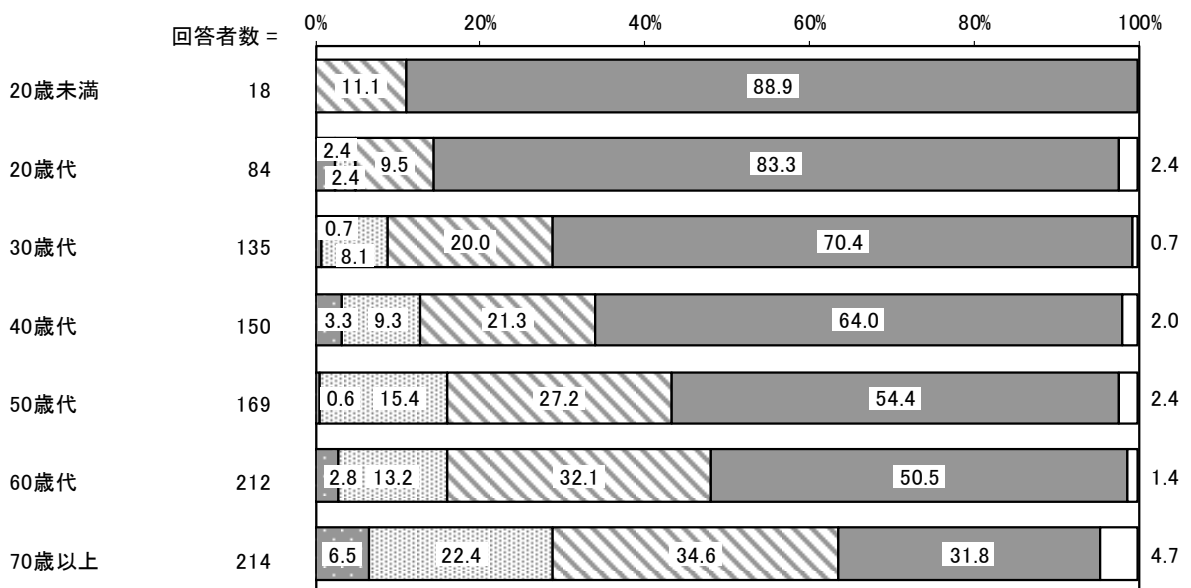
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

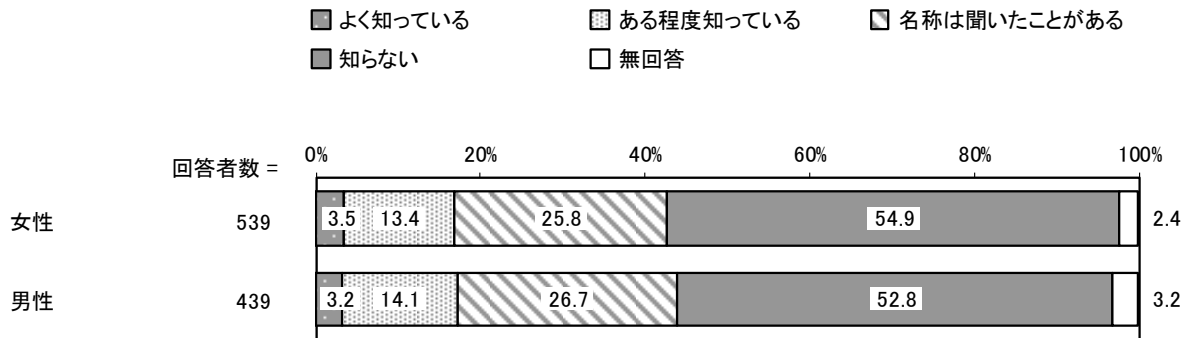
年齢別で見ると、他に比べ、20歳未満で「知らない」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「ある程度知っている」「名称は聞いたことがある」の割合が高くなっています。



(7) 泉佐野市個人情報保護条例〔平成 11(1999)年〕

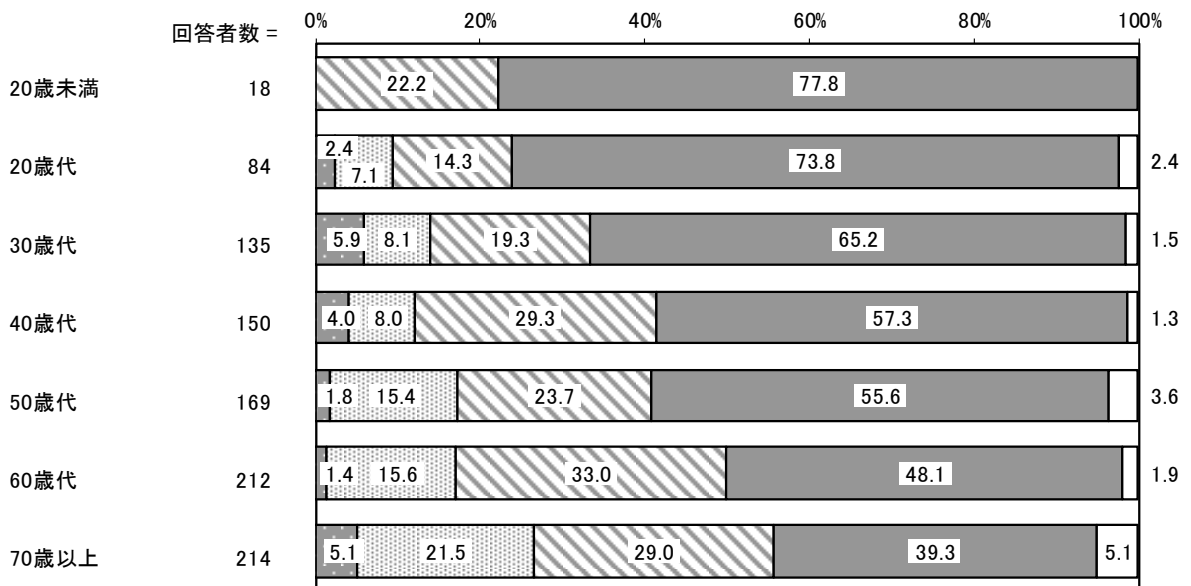
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

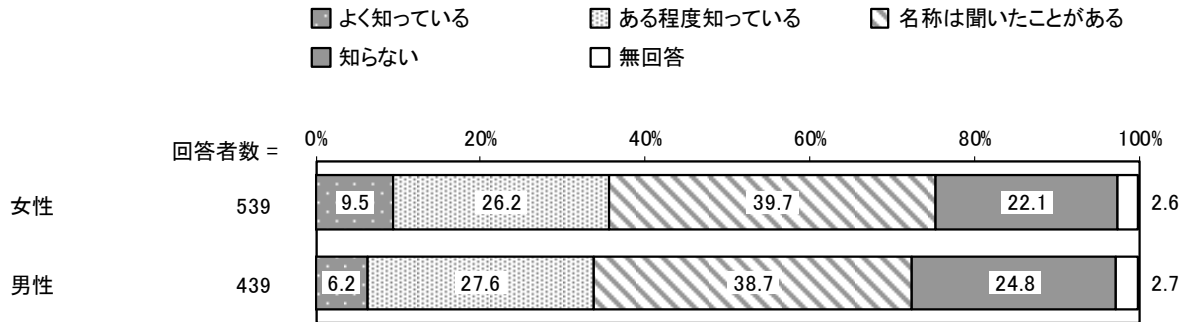
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「ある程度知っている」の割合が高くなっています。



(8) ストーカー行為等の規制等に関する法律〔平成12(2000)年〕

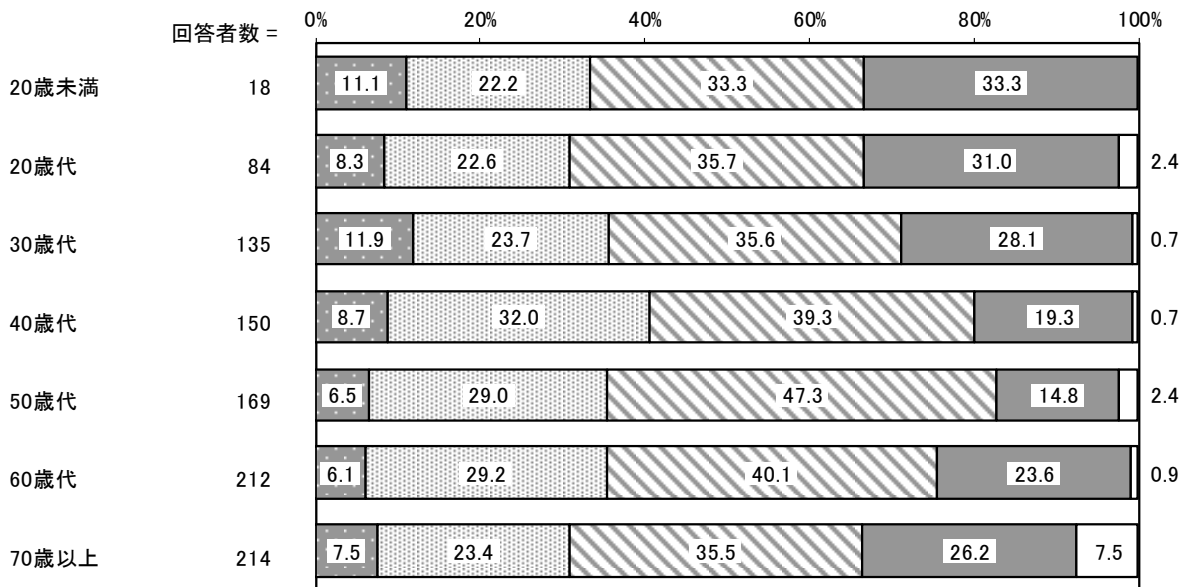
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

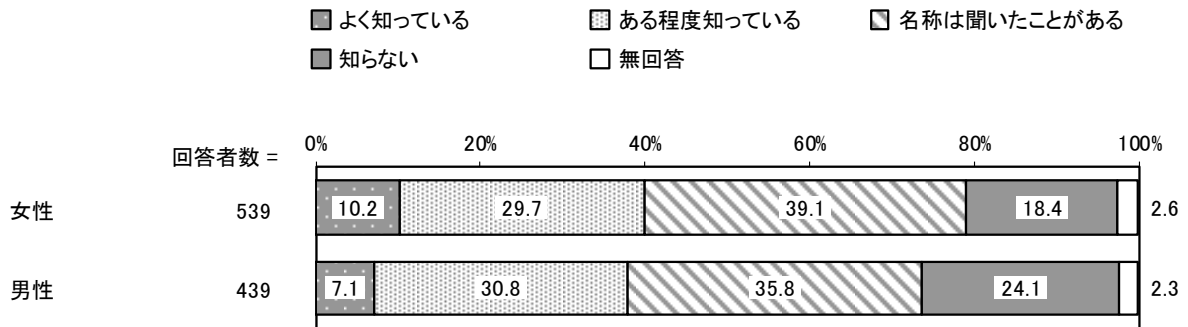
年齢別でみると、他に比べ、20歳未満、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。また、50歳代で「名称は聞いたことがある」の割合が高くなっています。



(9) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）〔平成13(2001)年〕

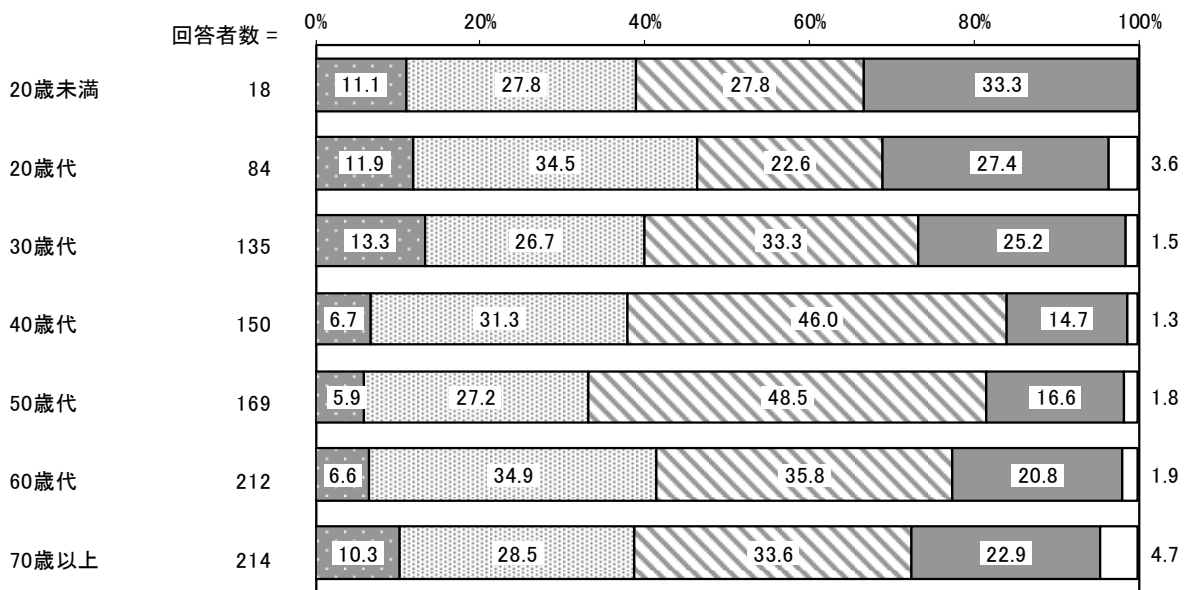
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「知らない」の割合が高くなっています。また、40歳代、50歳代で「名称は聞いたことがある」の割合が高くなっています。

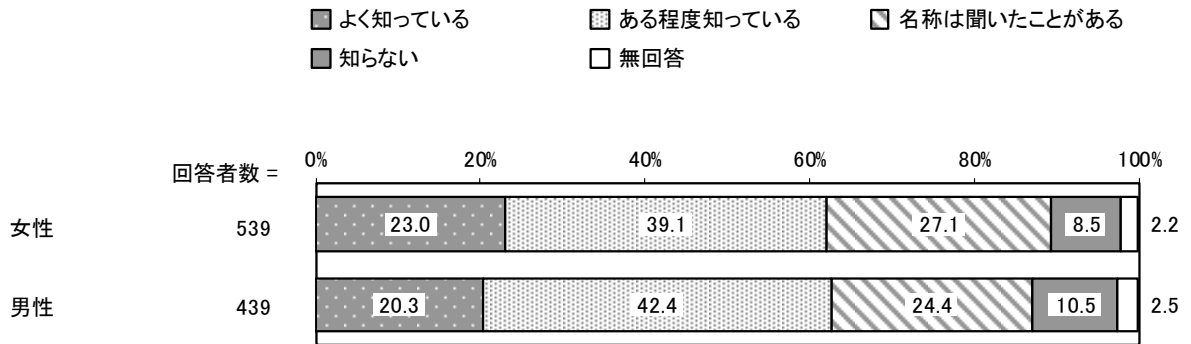




(10) 個人情報保護法〔平成 15(2003)年〕

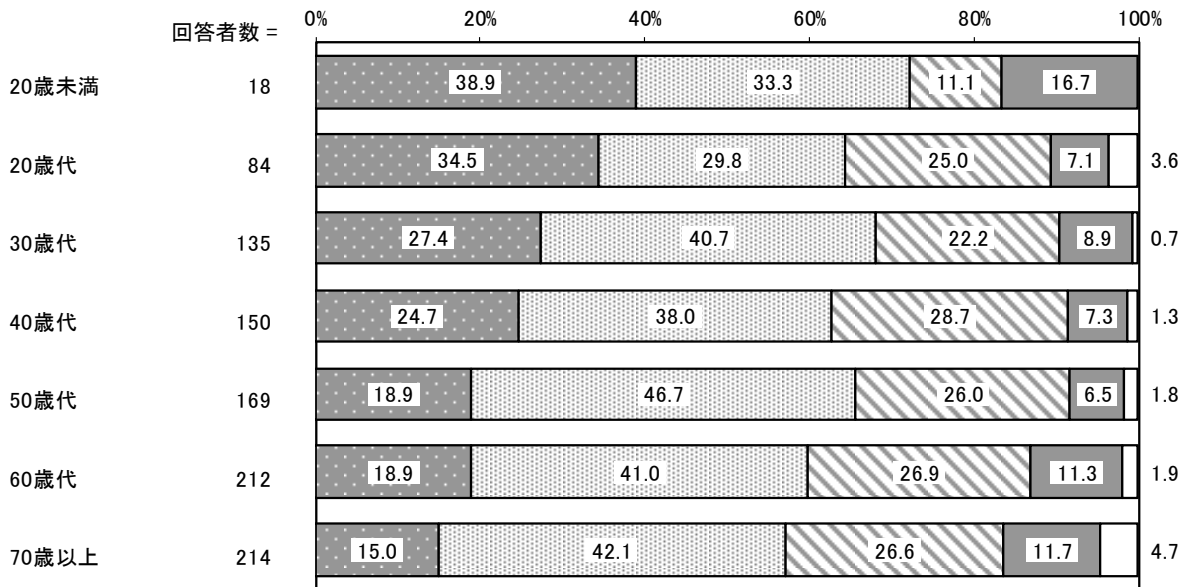
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

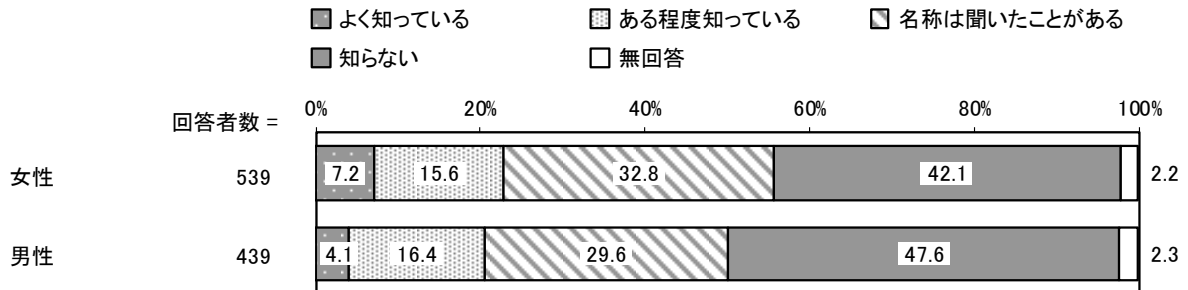
年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「よく知っている」の割合が高くなっています。また、50歳代で「ある程度知っている」の割合が高くなっています。



(11) 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）  
〔平成 17(2005)年〕

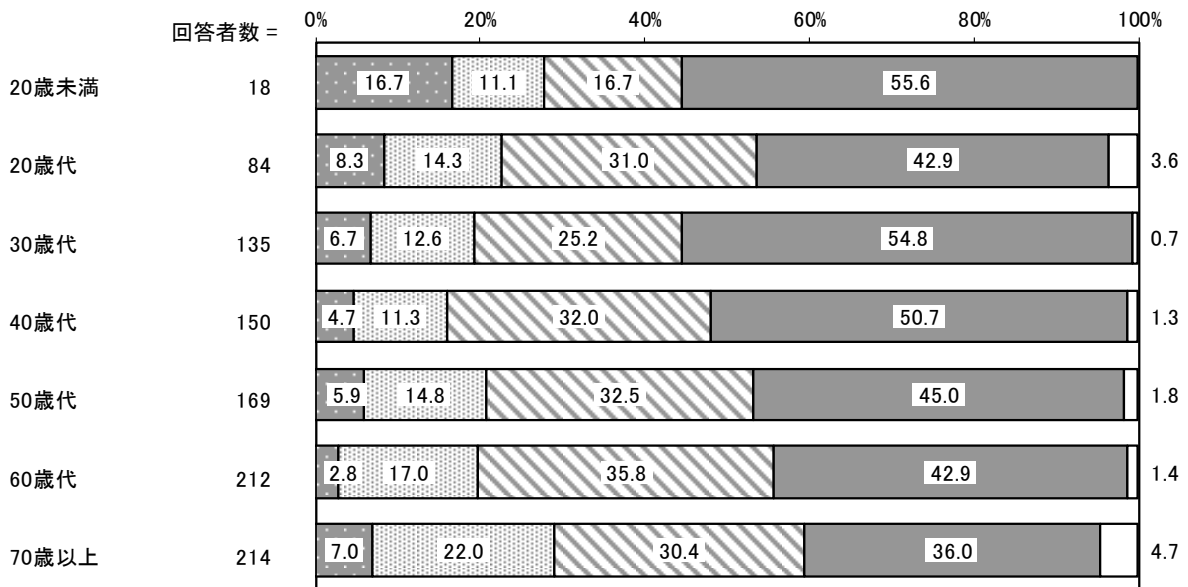
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

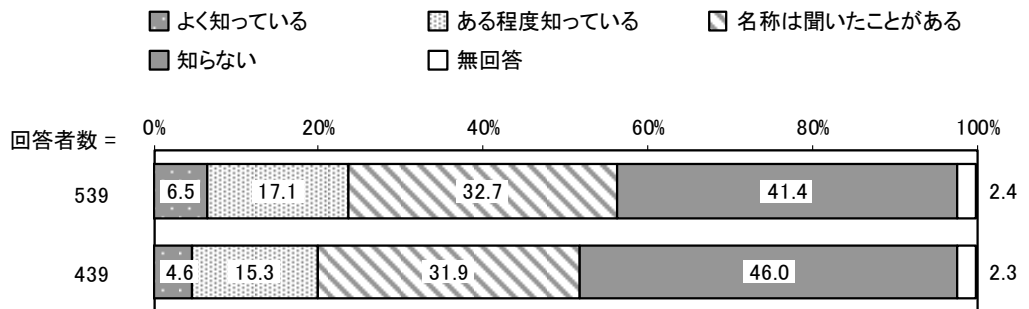
年齢別で見ると、他に比べ、20歳未満で「よく知っている」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「ある程度知っている」の割合が高くなっています。



(12) 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）  
〔平成 23(2011)年〕

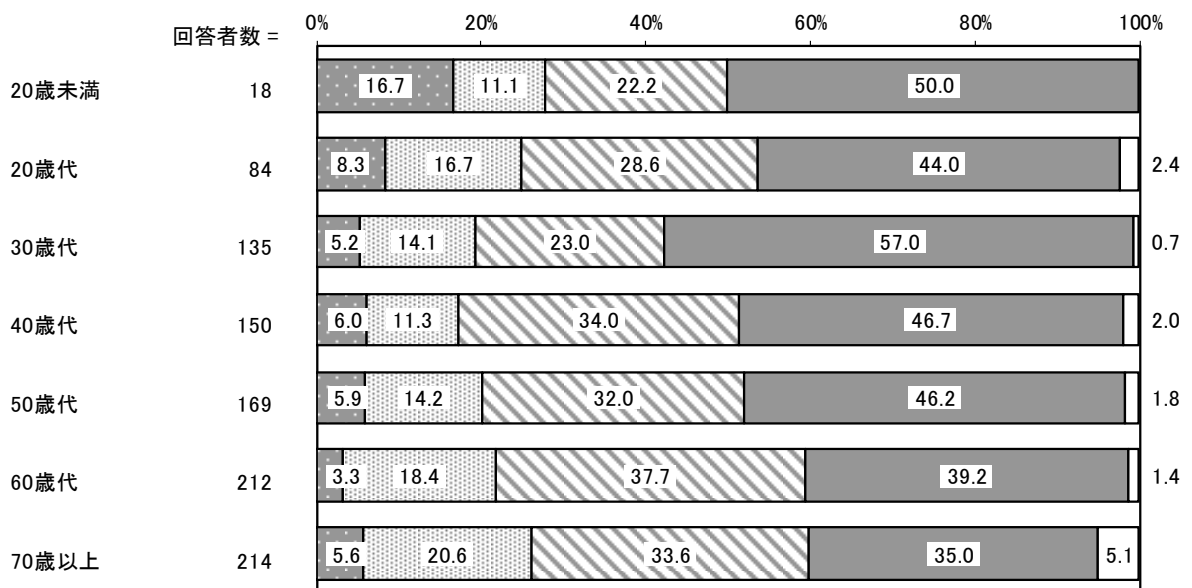
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳未満で「よく知っている」の割合が高くなっています。また、30歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

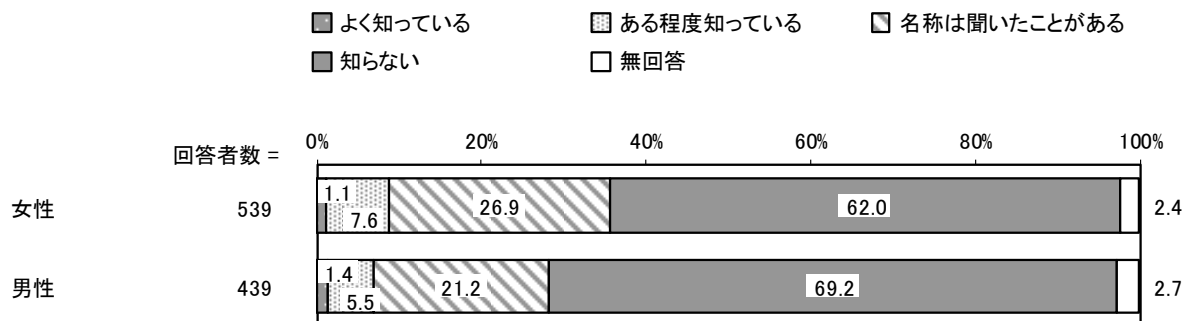


(13) 大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例

[令和元(2019)年]・大阪府パートナーシップ宣誓証明制度

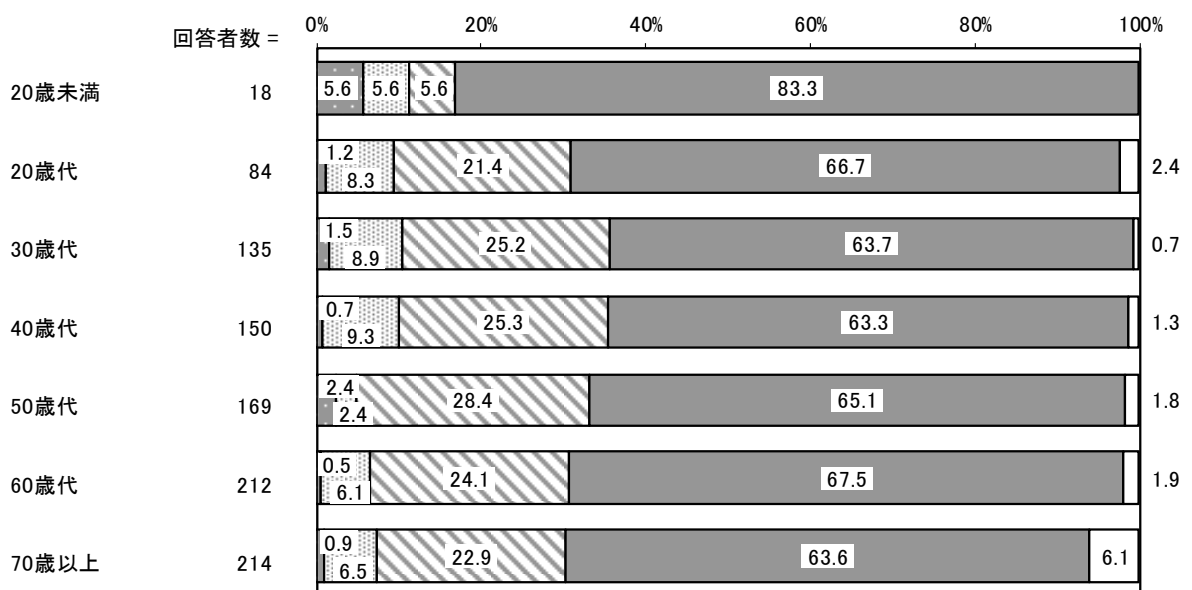
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「名称は聞いたことがある」の割合が高くなっています。また、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



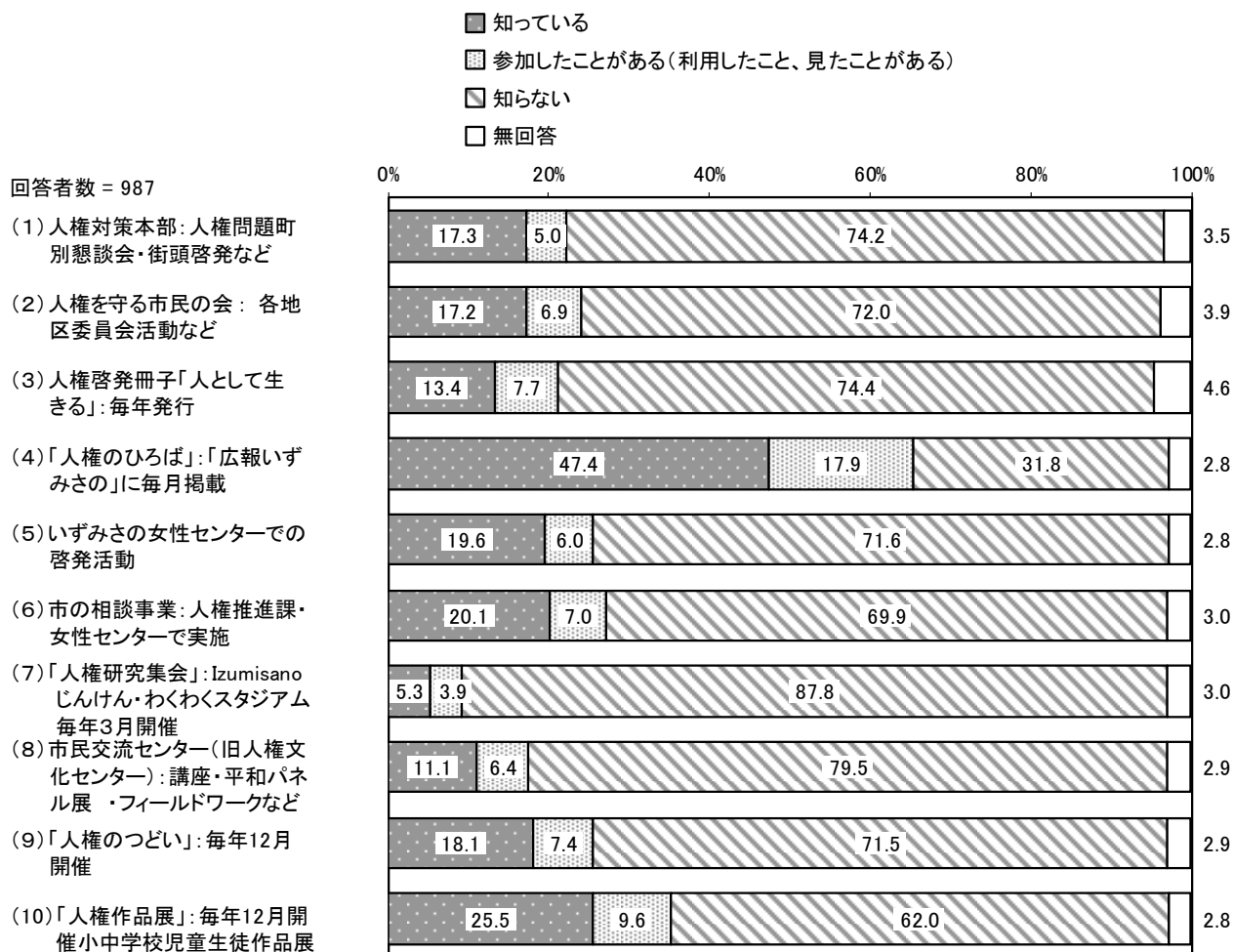
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳未満で「知らない」の割合が高くなっています。



問 44 泉佐野市では、市民の皆さんに人権問題への関心をもっていただくために、取り組んでいる啓発活動があります。下記の各活動について、どの程度知っていますか。(それぞれに○は1つずつ)

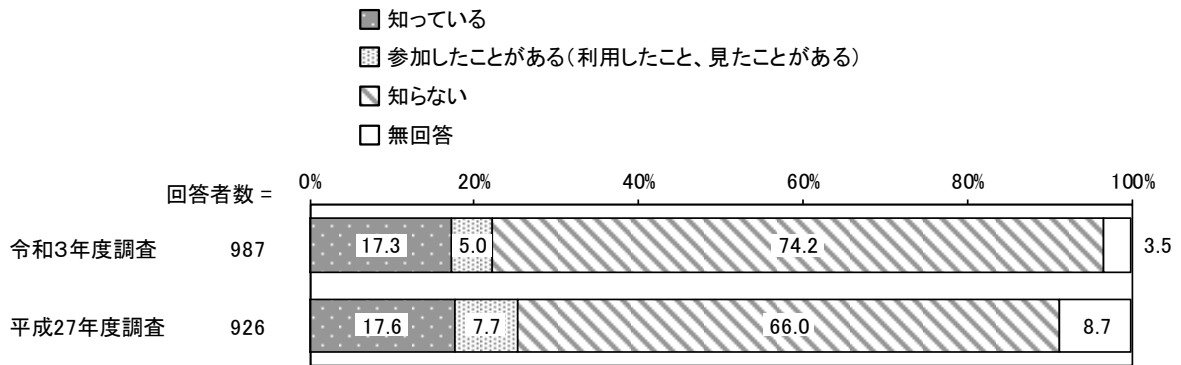
「人権のひろば」:「広報いずみさの」に毎月掲載で「知っている」の割合が47.4%と高くなっています。



(1) 人権対策本部：人権問題町別懇談会・街頭啓発など

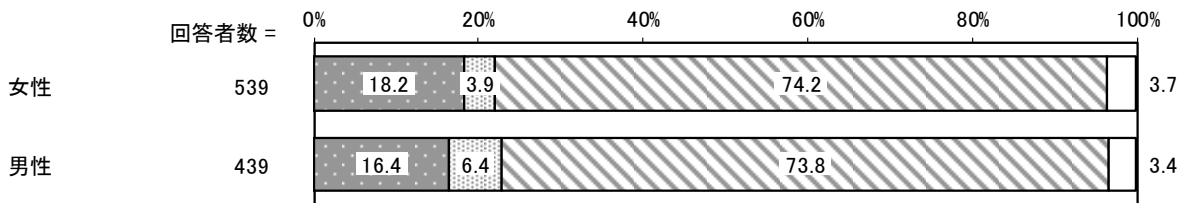
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



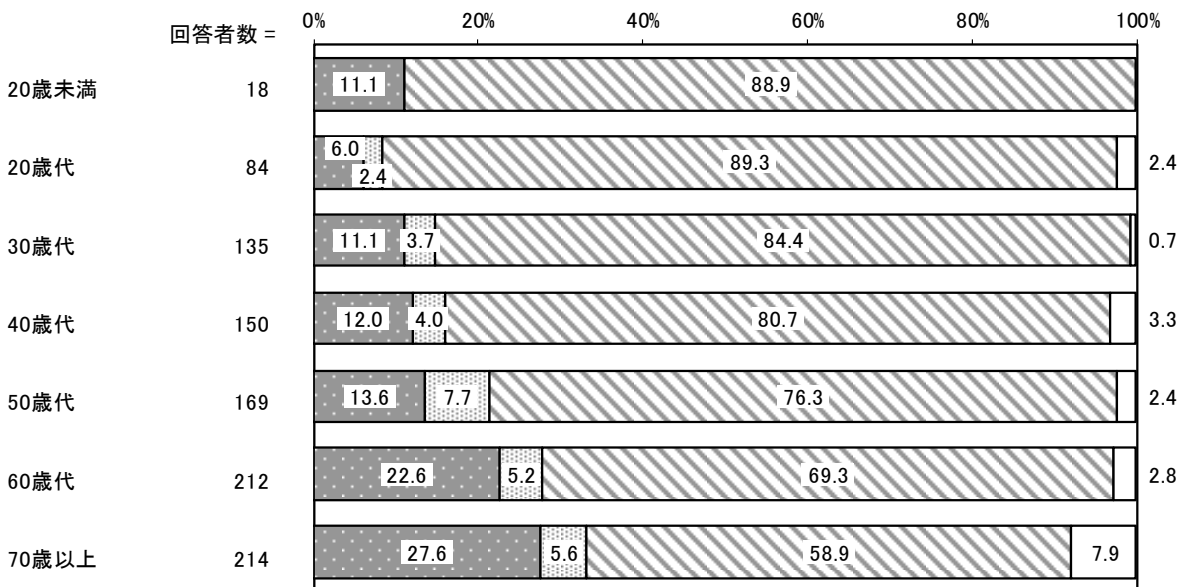
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

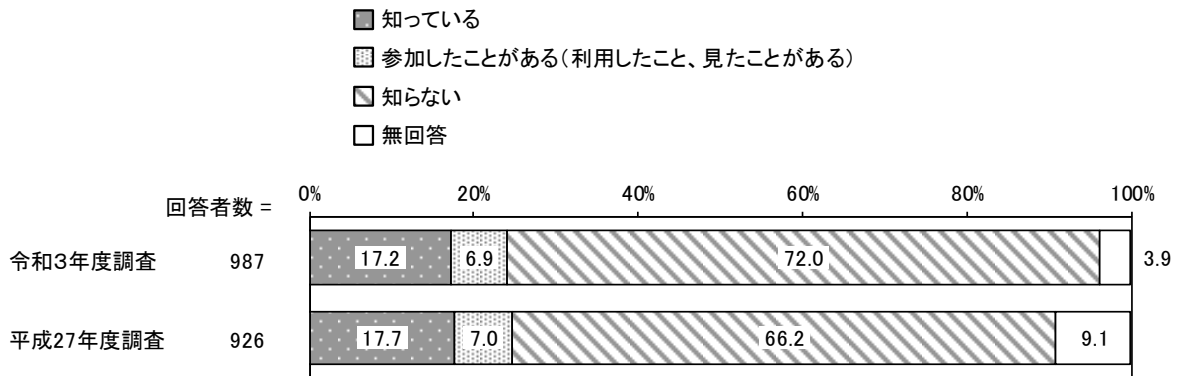
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「知っている」の割合が高くなっています。



(2) 人権を守る市民の会：各地区委員会活動など

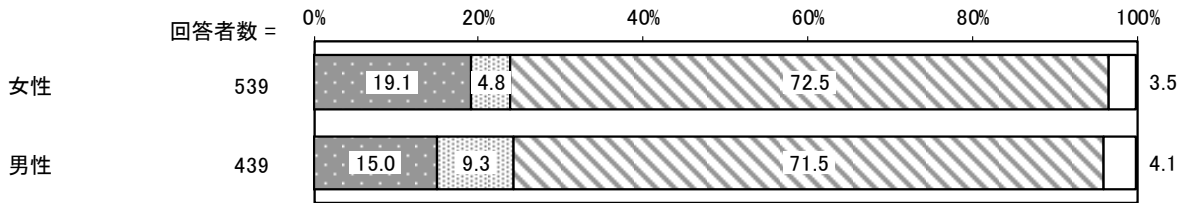
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



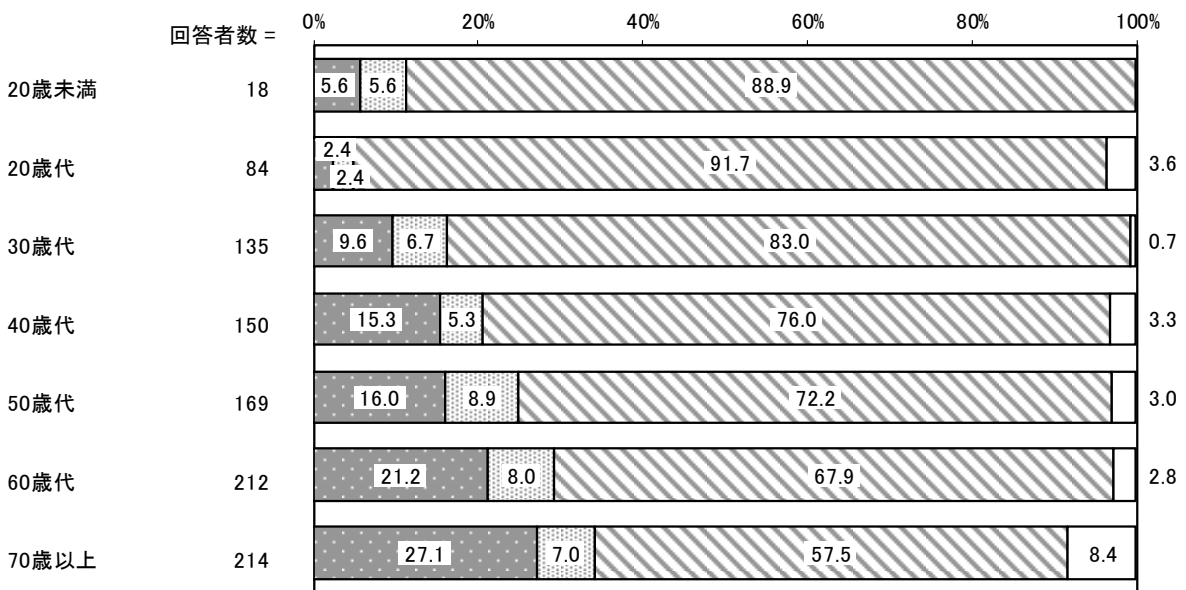
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

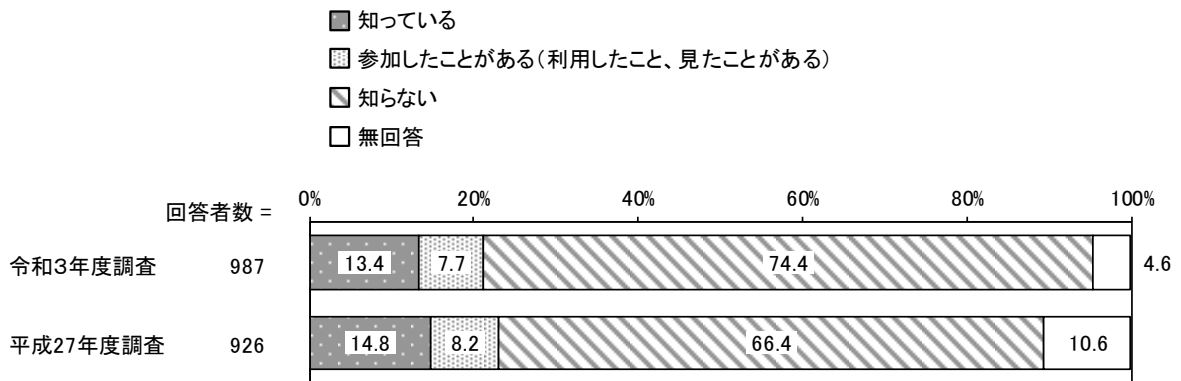
年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で「知っている」の割合が高くなっています。



### (3) 人権啓発冊子「人として生きる」：毎年発行

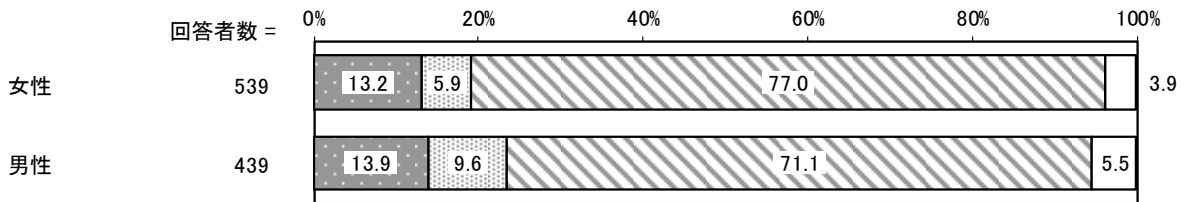
#### 【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



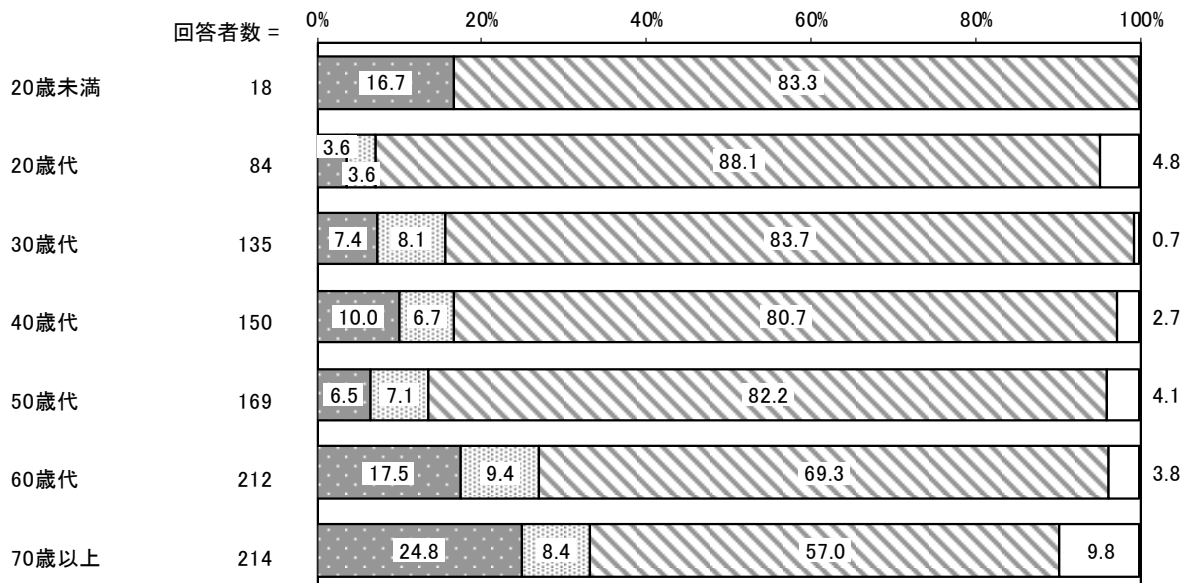
#### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高くなっています。



#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「知っている」の割合が高くなっています。

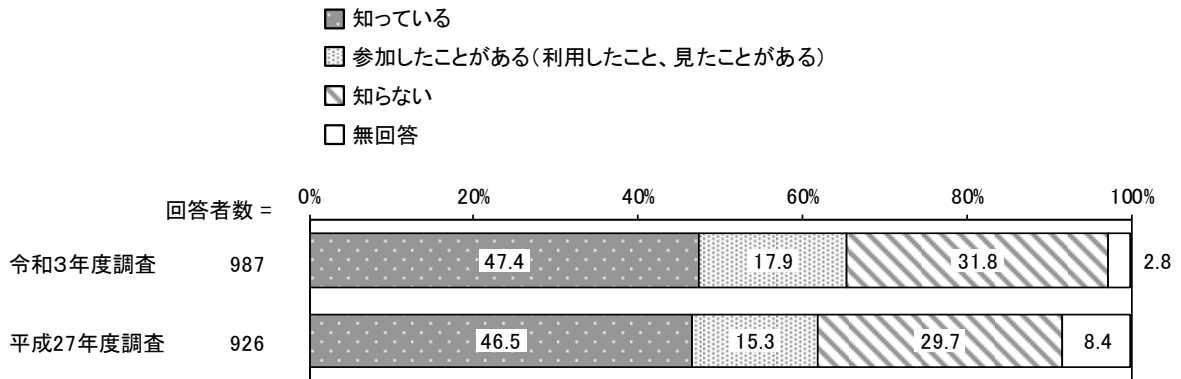




(4) 「人権のひろば」：「広報いずみさの」に毎月掲載

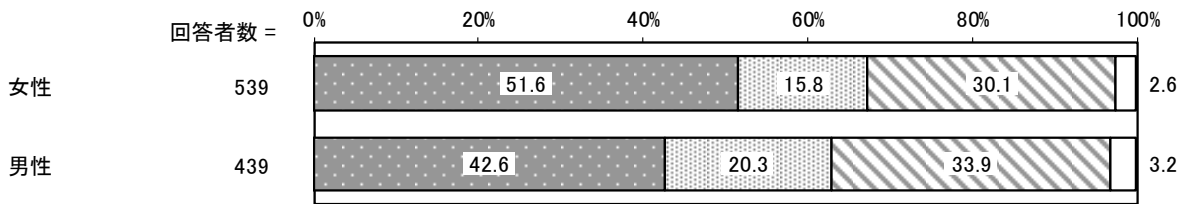
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



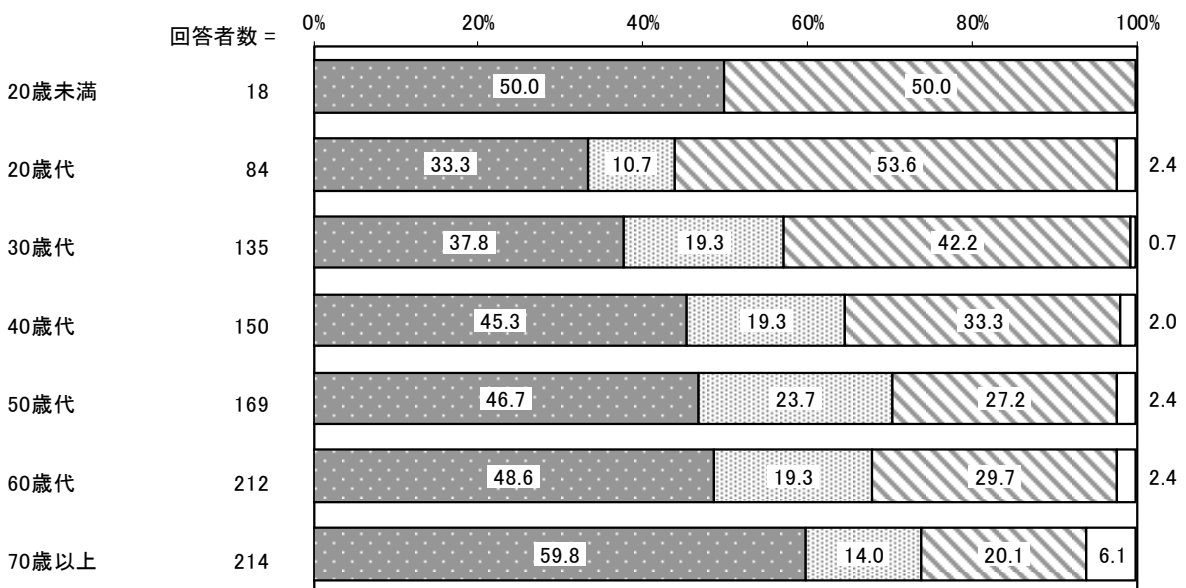
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「知っている」の割合が高くなっています。



【年齢別】

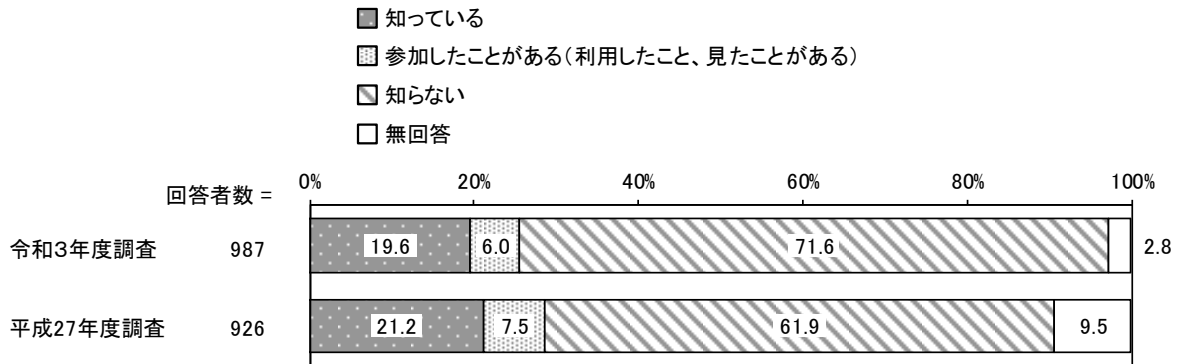
年齢別で見ると、他に比べ、50歳代で「参加したことがある (利用したこと、見たことがある)」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「知っている」の割合が高くなっています。



(5) いずみさの女性センターでの啓発活動

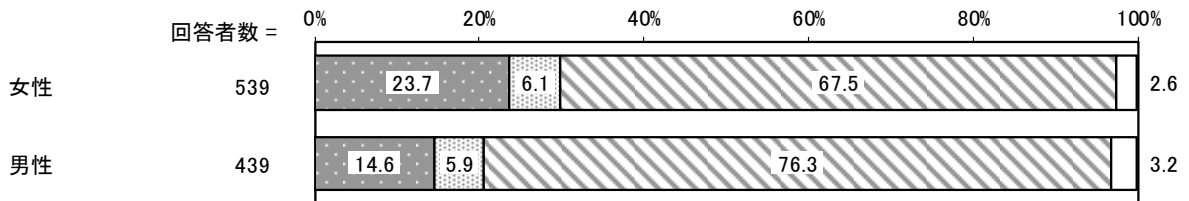
【前回調査との比較】

平成 27 年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



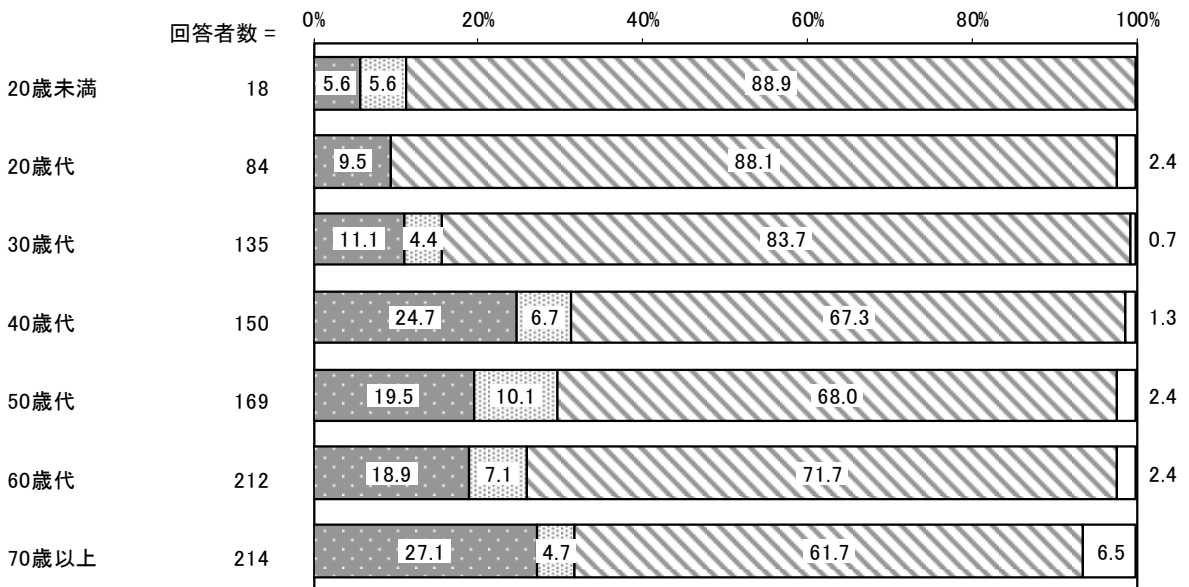
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「知っている」の割合が高くなっています。



【年齢別】

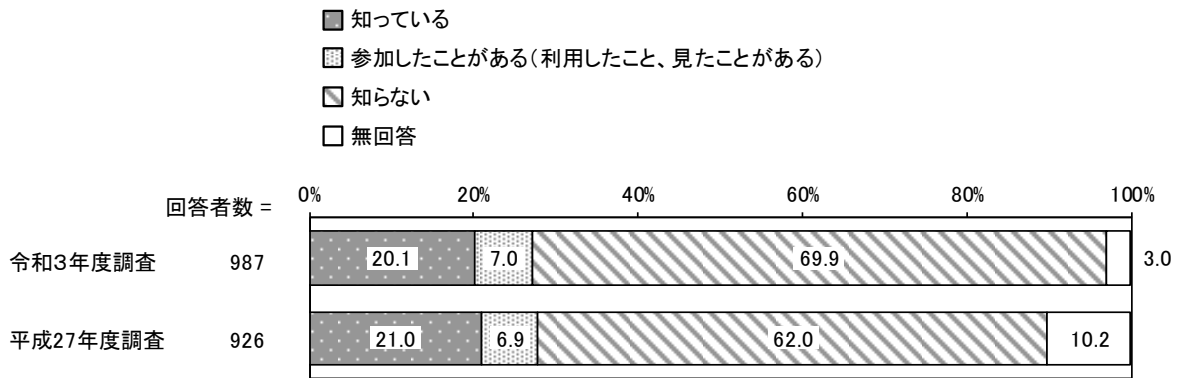
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「知っている」の割合が高くなっています。



(6) 市の相談事業：人権推進課・女性センターで実施

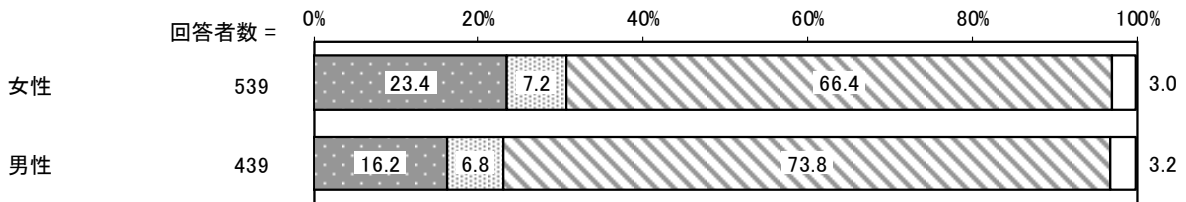
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



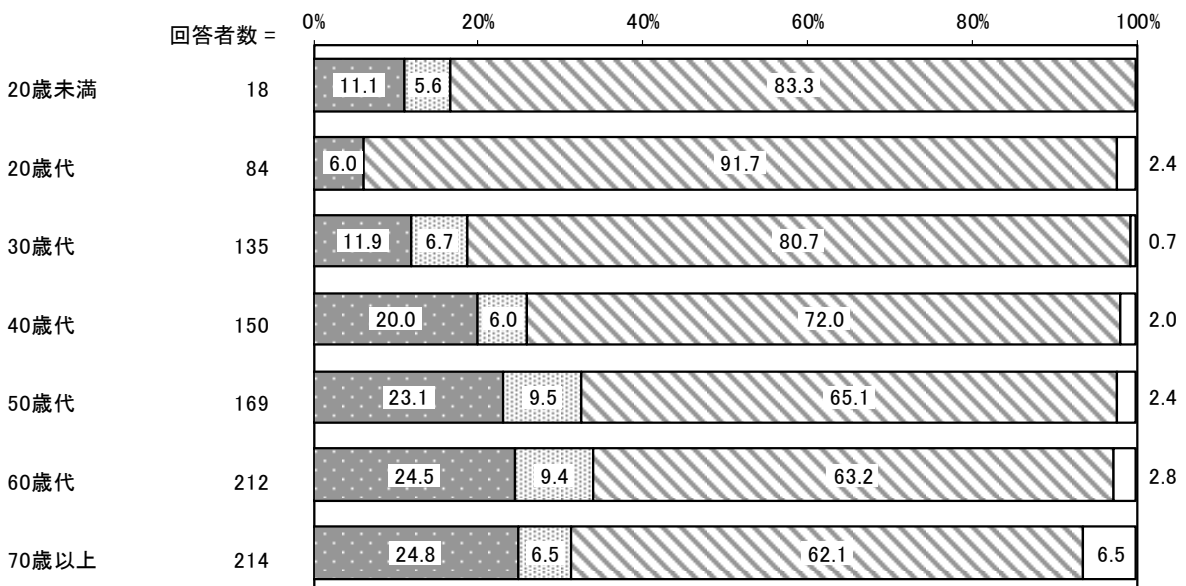
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「知っている」の割合が高くなっています。



【年齢別】

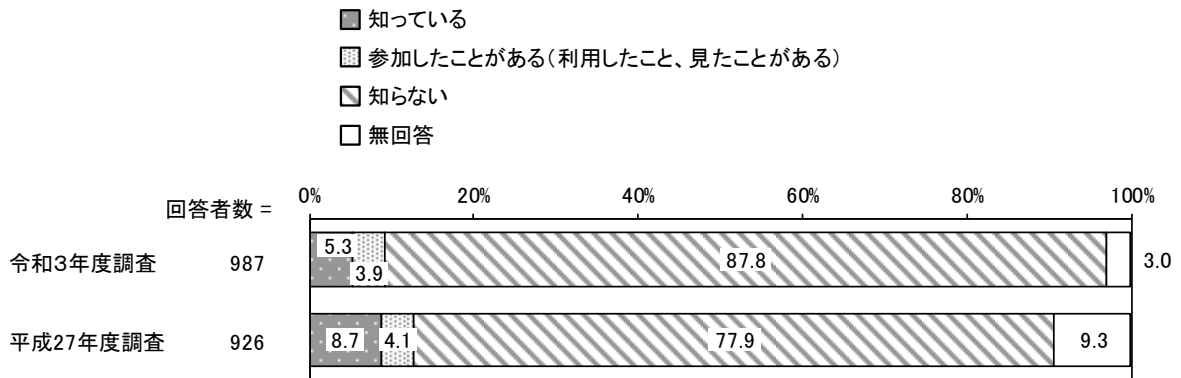
年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「知っている」の割合が高くなる傾向がみられます。



(7) 「人権研究集会」: Izumisano じんけん・わくわくスタジアム 毎年3月開催

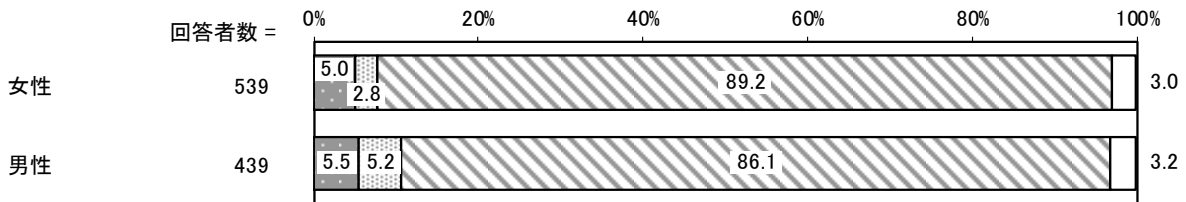
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



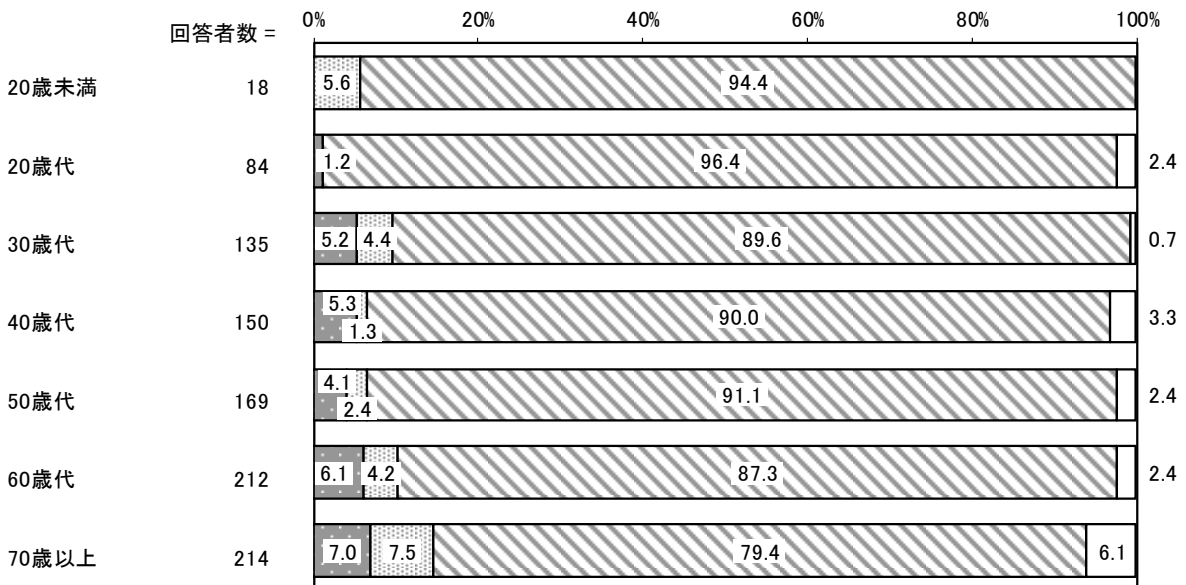
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



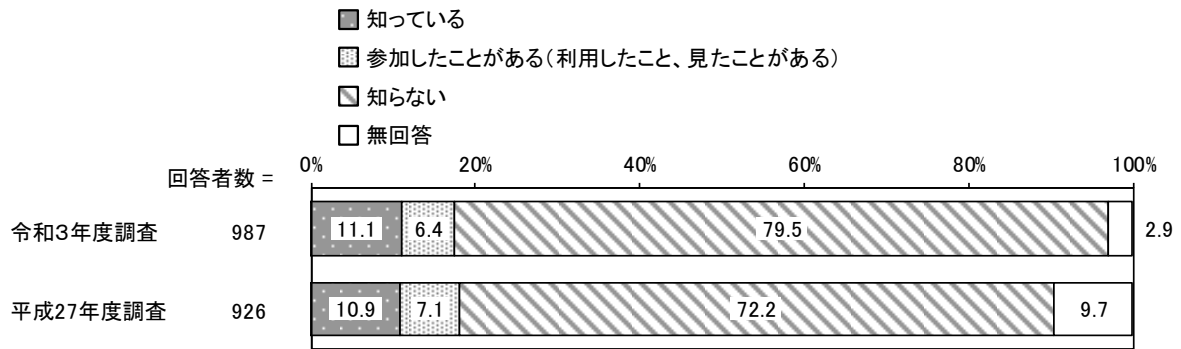
【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられません。



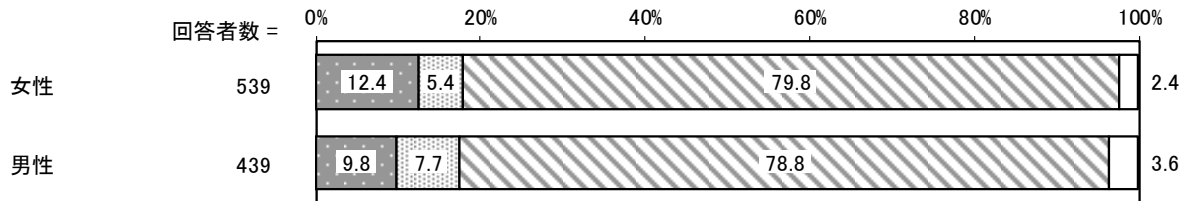
(8) 市民交流センター（旧人権文化センター）：講座・平和パネル展 ・フィールドワークなど  
**【前回調査との比較】**

平成 27 年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



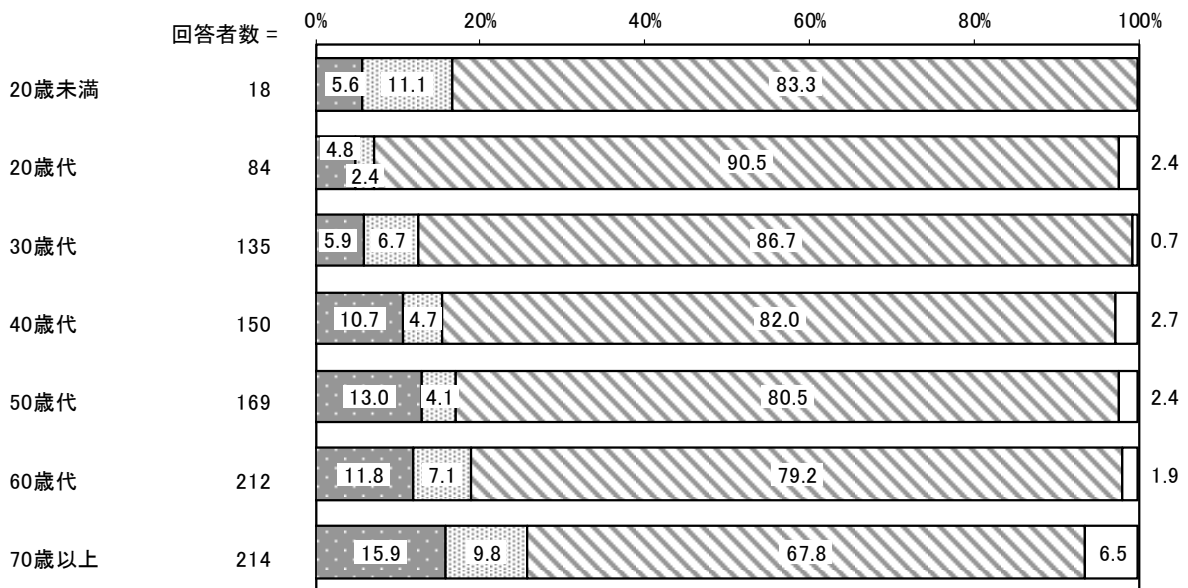
**【性別】**

性別で見ると、大きな差異はみられません。



**【年齢別】**

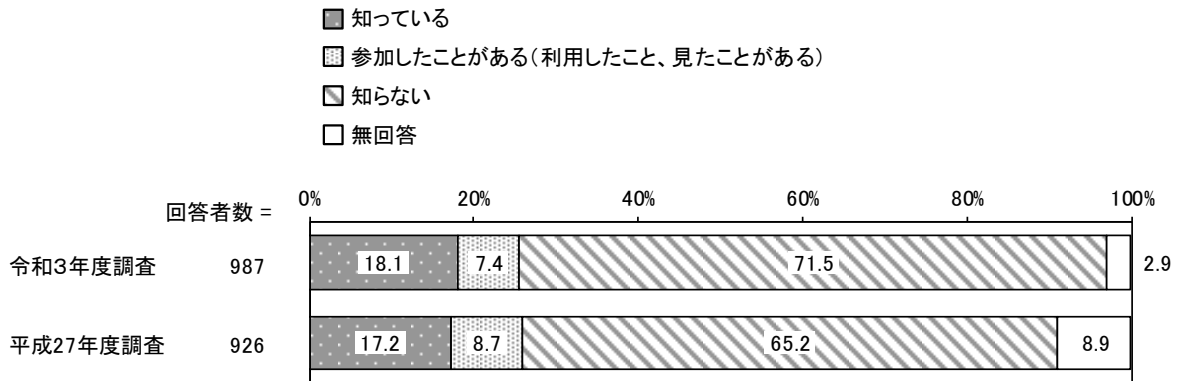
年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「知っている」の割合が高くなっています。



(9) 「人権のつどい」：毎年12月開催

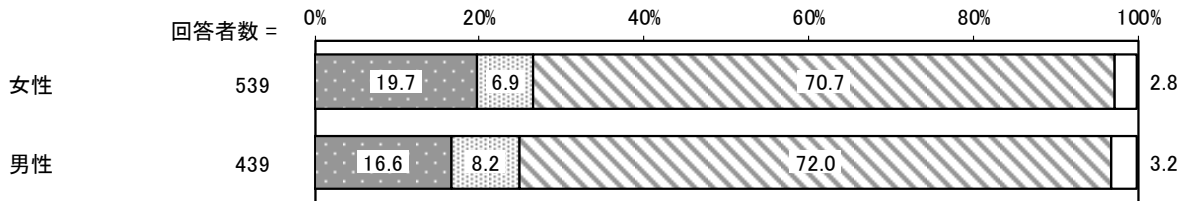
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



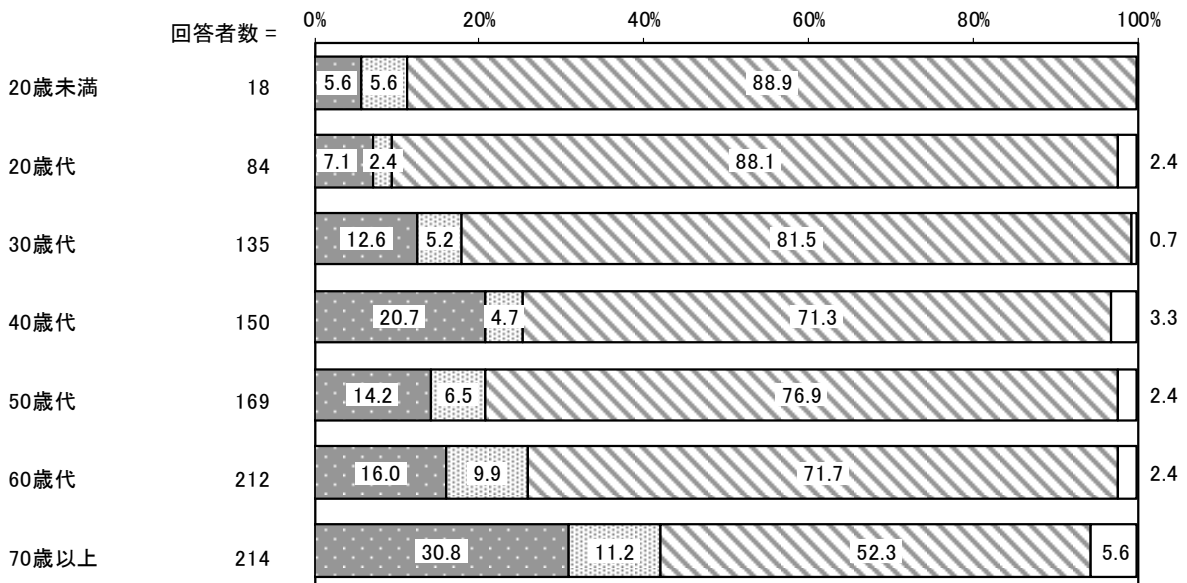
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

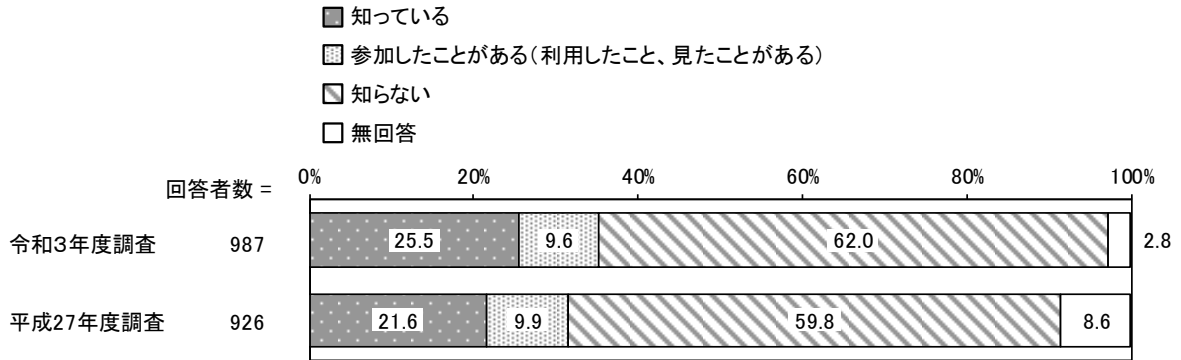
年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で「知っている」の割合が高くなっています。



(10) 「人権作品展」：毎年12月開催小中学校児童生徒作品展

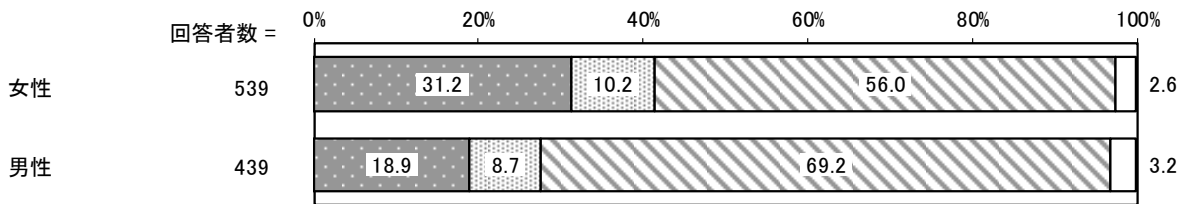
【前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



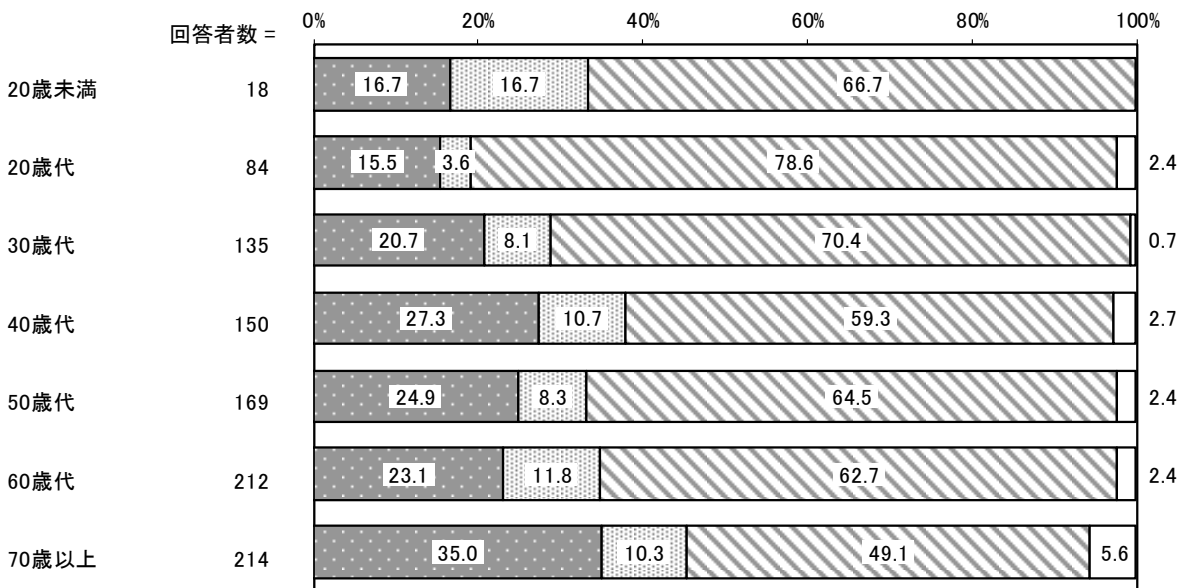
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「知っている」の割合が高くなっています。



【年齢別】

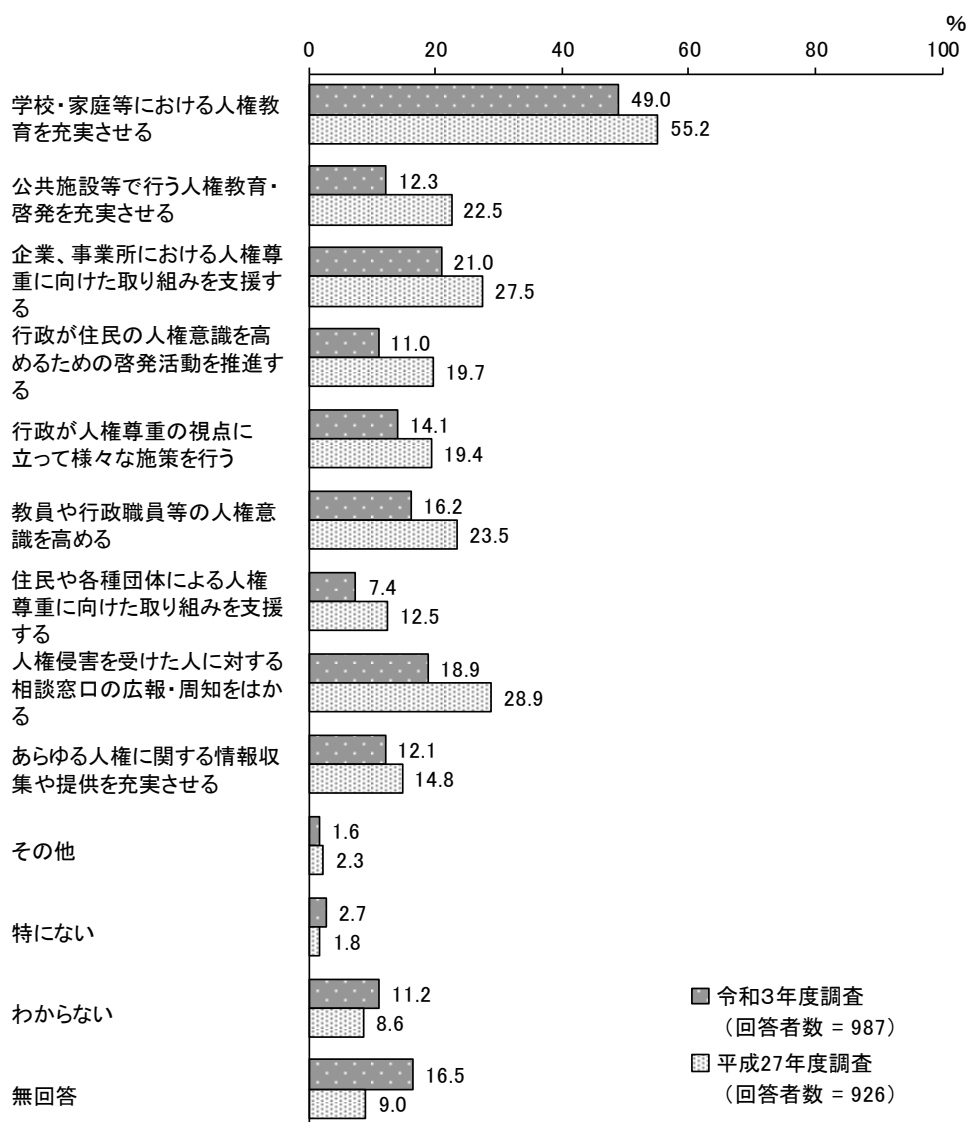
年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「参加したことがある(利用したこと、見たことがある)」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「知っている」の割合が高くなっています。



**問 45 あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、どのような人権教育や啓発の施策の推進が必要だと思いますか。（必要と思われる番号に○を3つ以内）**

「学校・家庭等における人権教育を充実させる」の割合が49.0%と最も高く、次いで「企業、事業所における人権尊重に向けた取り組みを支援する」の割合が21.0%、「人権侵害を受けた人に対する相談窓口の広報・周知をはかる」の割合が18.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「学校・家庭等における人権教育を充実させる」「公共施設等で行う人権教育・啓発を充実させる」「企業、事業所における人権尊重に向けた取り組みを支援する」「行政が住民の人権意識を高めるための啓発活動を推進する」「行政が人権尊重の視点に立って様々な施策を行う」「教員や行政職員等の人権意識を高める」「住民や各種団体による人権尊重に向けた取り組みを支援する」「人権侵害を受けた人に対する相談窓口の広報・周知をはかる」の割合が減少しています。





【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「公共施設等で行う人権教育・啓発を充実させる」「行政が住民の人権意識を高めるための啓発活動を推進する」「行政が人権尊重の視点に立って様々な施策を行う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	学校・家庭等における人権教育を充実させる	公共施設等で行う人権教育・啓発を充実させる	企業、事業所における人権尊重に向けた取り組みを支援する	行政が住民の人権意識を高めるための啓発活動を推進する	行政が人権尊重の視点に立って様々な施策を行う	教員や行政職員等の人権意識を高める
女性	539	50.5	9.6	20.8	8.3	11.9	16.9
男性	439	47.8	15.7	21.4	14.4	17.1	15.7

区分	住民や各種団体による人権尊重に向けた取り組みを支援する	人権侵害を受けた人に対する相談窓口の広報・周知をはかる	あらゆる人権に関する情報収集や提供を充実させる	その他	特になし	わからない	無回答
女性	5.6	19.5	13.4	0.9	2.2	12.8	16.7
男性	9.8	18.5	10.5	2.5	3.4	8.7	16.2

【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳未満で「公共施設等で行う人権教育・啓発を充実させる」の割合が、20歳代で「あらゆる人権に関する情報収集や提供を充実させる」の割合が高くなっています。また、50歳代で「行政が人権尊重の視点に立って様々な施策を行う」の割合が高くなっています。

単位：%

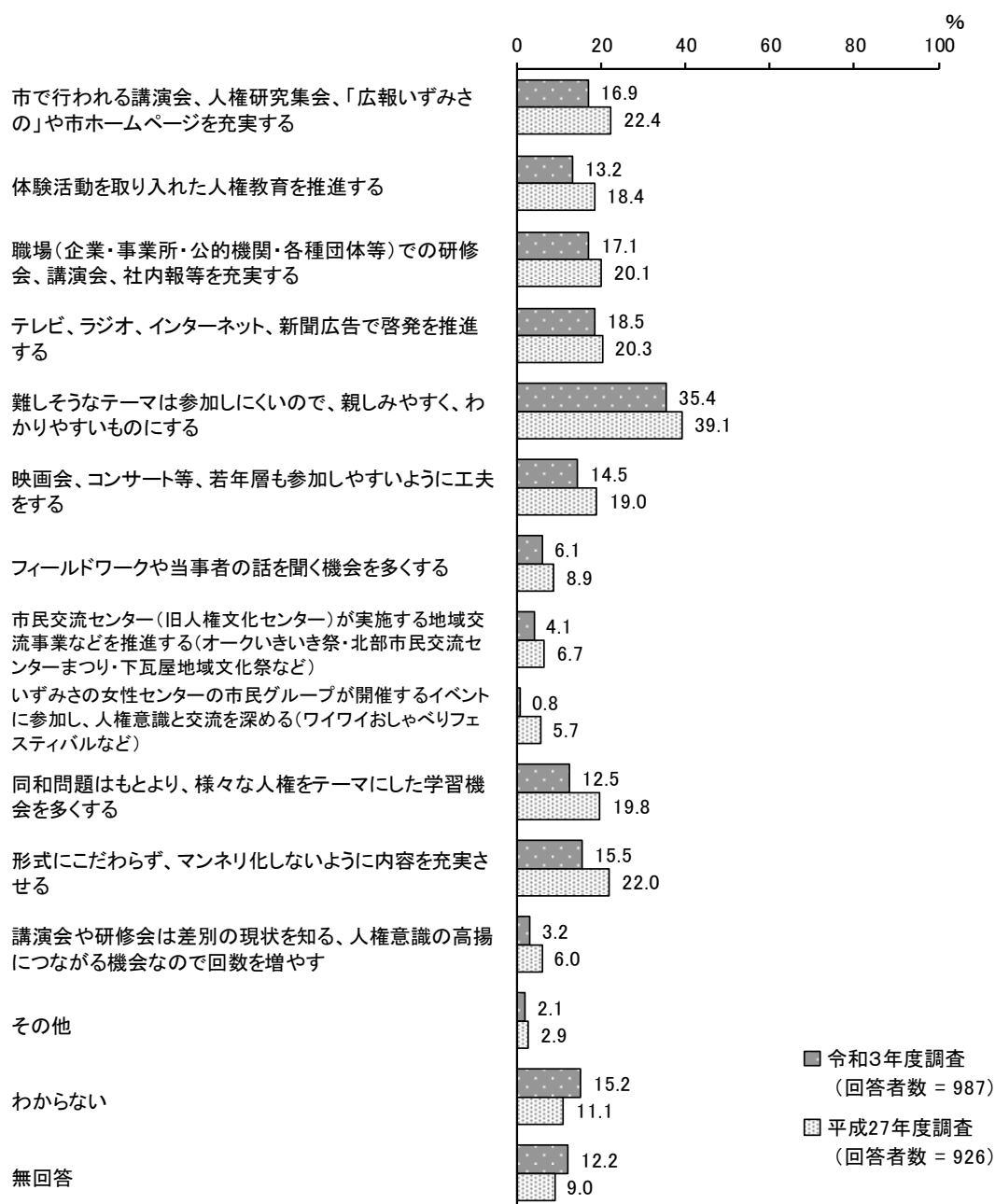
区分	回答者数 (件)	学校・家庭等における人権教育を充実させる	公共施設等で行う人権教育・啓発を充実させる	企業、事業所における人権尊重に向けた取り組みを支援する	行政が住民の人権の啓発活動を進めるための啓発活動を進める	行政が人権尊重の視点に立って様々な施策を行う	教員や行政職員等の人権意識を高める
20歳未満	18	44.4	22.2	11.1	—	11.1	22.2
20歳代	84	56.0	7.1	26.2	4.8	11.9	19.0
30歳代	135	54.8	15.6	31.1	8.9	11.1	14.8
40歳代	150	56.7	13.3	27.3	4.7	12.0	16.7
50歳代	169	49.1	10.7	13.6	12.4	18.3	13.0
60歳代	212	42.0	11.8	18.4	13.7	13.7	18.9
70歳以上	214	44.9	12.6	17.3	16.4	15.9	15.4

区分	住民や各種団体による人権尊重に向けた取り組みを支援する	人権侵害を受けた人に対する相談窓口の広報・周知をはかる	あらゆる人権に関する情報収集や提供を充実させる	その他	特になし	わからない	無回答
20歳未満	5.6	16.7	5.6	11.1	—	22.2	5.6
20歳代	3.6	17.9	19.0	3.6	2.4	8.3	19.0
30歳代	5.2	13.3	11.1	—	2.2	8.1	20.7
40歳代	6.7	16.0	12.0	1.3	1.3	11.3	17.3
50歳代	6.5	21.3	11.2	1.2	3.0	16.6	12.4
60歳代	8.0	21.7	10.8	1.9	3.3	10.8	17.5
70歳以上	11.2	20.6	12.1	1.4	3.7	9.3	15.4

**問 46 あなたは、人権問題によりよい理解を深めるためには、どうすれば良いと思いますか。（良いと思われる番号に○を3つ以内）**

「難しそうなテーマは参加しにくいので、親しみやすく、わかりやすいものにする」の割合が35.4%と最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、インターネット、新聞広告で啓発を推進する」の割合が18.5%、「職場（企業・事業所・公的機関・各種団体等）での研修会、講演会、社内報等を充実する」の割合が17.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「市で行われる講演会、人権研究集会、「広報いずみさの」や市ホームページを充実する」「体験活動を取り入れた人権教育を推進する」「同和問題はもとより、様々な人権をテーマにした学習機会を多くする」「形式にこだわらず、マンネリ化しないように内容を充実させる」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「市で行われる講演会、人権研究集会、「広報いずみさの」や市ホームページを充実する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	市で行われる講演会、人権研究集会、「広報いずみさの」や市ホームページを充実する	体験活動を取り入れた人権教育を推進する	職場(企業・事業所・公的機関・各種団体等)での研修会、講演会、社内報等を充実する	テレビ、ラジオ、インターネット、新聞広告で啓発を推進する	難しそうなテーマは参加しにくいので、親しみやすく、わかりやすいものにする	映画会、コンサート等、若年層も参加しやすいように工夫をする	フィールドワークや当事者の話を聞く機会を多くする
女性	539	13.7	13.7	15.2	18.0	36.7	17.4	8.2
男性	439	20.5	12.8	19.6	19.6	34.4	11.2	3.6
その他	2	—	—	—	—	—	—	—

区分	回答者数(件)	市民交流センター(旧人権文化センター)が実施する地域交流事業などを推進する(オークいきいき祭・北部市民交流センターまつり・下瓦屋地域文化祭など)	いずみさの女性センターの市民グループが開催するイベントに参加し、人権意識と交流を深める(ワイワイおしゃべりフェスティバルなど)	同和問題はもとより、様々な人権をテーマにした学習機会を多くする	形式にこだわらず、マンネリ化しないように内容を充実させる	講演会や研修会は差別の現状を知る、人権意識の高揚につながる機会なので回数を増やす	その他	わからない	無回答
女性	3.3	0.9	11.5	15.4	2.8	1.5	15.4	12.8	
男性	4.8	0.7	13.7	15.7	3.9	3.0	14.6	11.2	
その他	—	—	—	—	—	—	100.0	—	

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満で「テレビ、ラジオ、インターネット、新聞広告で啓発を推進する」の割合が、70歳以上で「市で行われる講演会、人権研究集会、「広報いずみさの」や市ホームページを充実する」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「難しいようなテーマは参加しにくいので、親しみやすく、わかりやすいものにする」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	回答者数(件)	市で行われる講演会、人権研究集会、「広報いずみさの」や市ホームページを充実する	体験活動を取り入れた人権教育を推進する	職場(企業・事業所・公的機関・各種団体等)での研修会、講演会、社内報等を充実する	テレビ、ラジオ、インターネット、新聞広告で啓発を推進する	難しいようなテーマは参加しにくいので、親しみやすく、わかりやすいものにする	映画会、コンサート等、若年層も参加しやすいように工夫をする	フィールドワークや当事者の話を聞く機会を多くする
20歳未満	18	—	5.6	16.7	38.9	44.4	22.2	5.6
20歳代	84	6.0	14.3	20.2	34.5	47.6	22.6	4.8
30歳代	135	12.6	13.3	20.0	17.8	40.0	14.1	5.9
40歳代	150	10.0	16.0	18.0	19.3	36.0	18.0	7.3
50歳代	169	10.7	11.2	17.8	17.8	33.7	11.2	3.6
60歳代	212	20.3	16.0	16.5	15.6	33.5	14.2	6.6
70歳以上	214	30.8	10.3	13.6	14.5	30.4	11.7	7.5

区分	回答者数(件)	いずみさの女性センターの市民グループが開催するイベントに参加し、人権意識と交流を深める(ワイワイおしゃべりフェスティバルなど)	同和問題はもとより、様々な人権をテーマにした学習機会を多くする	形式にこだわらず、マンネリ化しないように内容を充実させる	講演会や研修会は差別の現状を知る、人権意識の高揚につながる機会なので回数を増やす	その他	わからない	無回答
20歳未満	5.6	—	—	16.7	—	—	27.8	—
20歳代	1.2	1.2	17.9	17.9	1.2	1.2	10.7	4.8
30歳代	5.9	—	12.6	18.5	1.5	1.5	9.6	20.7
40歳代	3.3	—	14.0	13.3	2.7	2.7	12.7	16.0
50歳代	1.8	1.2	18.9	14.2	4.7	2.4	18.3	10.1
60歳代	3.3	0.9	7.5	16.0	2.4	3.3	16.5	10.4
70歳以上	6.5	1.4	9.8	14.5	5.6	1.4	17.8	11.2